SYLLABUS

2023



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

シラバスとは

シラバスは、3 学年の授業計画を示したものです。授業ごとに、授業科目、単位数、時間、対象学年、学期、担当教員をはじめ授業ごとの目標や成績評価の基準や方法、使用するテキストなどを示しています。シラバスをとおして授業のイメージを図り、しっかりと準備して授業に臨みましょう。なお、授業は、学生の皆さんの理解の程度や科目間の学習進度に合わせながら進めるため、予定が変更になることもあります。次回の授業の内容や予定の変更等については、講義ごとに案内します。毎回の授業をしっかりと受講し、次の授業に臨むための学習準備をしていきましょう。

目次

\bigcirc	ンフハノ	ح .	は	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
\bigcirc	教育理念		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
\bigcirc	教育目的	J •	•	•	•	•	•	•	•	•	٠	٠	•	3
\bigcirc	教育目標	Ę.	•	•	•	•	•	•	•	٠	٠	٠	•	3
\bigcirc	教育理念	SIC	基	づ	<	方	針	•	•	•	•	•	•	3
\bigcirc	ディプロ	17	ポ	IJ	シ	_	•	•	•	•	•	•	•	4
\bigcirc	カリキュ	- ラ	7	ポ	IJ	シ	_	•	•	•	•	•	•	4
\bigcirc	カリキュ	- ラ	4	デ	ザ	イ	ン	•	•	•	•	•	•	6
\bigcirc	3年間の)履	修	科	I	と	進	度	•	•	•	•	•	7
\bigcirc	1年次開	誹	科	Ħ	と	進	度	•	•	•	•	•	•	8
\bigcirc	2年次開	誹	科	Ħ	と	進	度	•	•	•	•	•	•	9
\bigcirc	3年次開	講	科	目	ح	進	度	•	•	•	•	•	•	10
授	業計画)													
\bigcirc	基礎分野	٠.	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	11
\bigcirc	専門基礎	分	·野	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42
\bigcirc	専門分野	7	基	礎	看	護	学	•	•	•	•	•	•	90
\bigcirc	専門分野	5	領	域	横	断	•	•	•	•	•	•	•	121
\bigcirc	専門分野	4	地	域	•	在	宅	看	護	論	•	•	•	135
\bigcirc	専門分野	5	成	人	看	護	学	•	•	•	•	•	•	147
\bigcirc	専門分野	5	老	年	看	護	学	•	•	•	•	•	•	158
\bigcirc	専門分野	5	小	児	看	護	学	•	•	•	•	•	•	165
\bigcirc	専門分野	5	母	性	看	護	学	•	•	•	•	•	•	173
\bigcirc	専門分野	5	精	神	看	護	学	•	•	•	•	•	•	181
\bigcirc	専門分野	7	看	護	の	統	合	と	実	践	•	•	•	189
\bigcirc														
\bigcirc	専門分野	5	臨	地	実	習	•	•	•	•	•	•	•	196

教育理念

生命尊重と人間愛の精神を基盤として豊かな感性と人間性を備え、専門職業人としての使命感・倫理 観を持ち、科学的根拠に基づく看護を実践できる能力を育成するとともに、主体的に学び続ける姿勢と 社会に貢献できる有能な人材の育成をします。

教育目的

看護師に必要な専門知識・技術・態度を修得させ、多職種と連携し地域に貢献できる看護師を育成することを目的とします。

教育目標

- 1. 人々の多様な価値観を認識し、人間関係を形成するための基礎的能力を育成する。
- 2. 地域の人々の命と生活を守り、人間をかけがえのない存在として総合的に理解できる力を育成する。
- 3. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる能力を育成する。
- 4. 専門職業人としての使命感を持ち、倫理に基づいた看護を実践できる能力を育成する。
- 5. 保健・医療・福祉のしくみと多職種の役割を理解し、連携・協働しながら、地域に密着したチーム 医療を実践するための基礎的能力を育成する。
- 6. 看護を探求し、看護の向上を目指して自ら学び続ける姿勢を育成する。

教育理念に基づく方針

別府市医師会立別府青山看護学校は別府市にその所在を置き、地域の人々の健康な暮らしを支えることを役割として認識し、地域医療の担い手として能力を発揮できる有能な人材を育成することを目指しています。別府市は、人口 11 万人を超える大分県 2 番目の都市ですが、全国平均よりも高い高齢化率に加え、障害をもつ多くの人々が暮らし、また、外国からの留学生が多く暮らし、国内外からの観光客が多いといった多様な人々が暮らす特徴のある都市です。そのような特徴を背景にもつ地域を基盤に、人間関係を築く力、多様な人々に心を込めた看護を提供できる力、科学的根拠に基づいた看護を実践する力、倫理観や責任感にもとづき自ら考え行動する力、多職種と連携・協働するための力、そして卒業後も常に学び続ける姿勢を身につけることができるように、総計 102 単位の科目をもって教育課程を編成します。また、科目の履修に加えて行事や課外活動をとおして地域の人々と関わる時間を積極的にもち、人々とのかかわりをとおして、看護師として、ひとりの人間として豊かな感性を育てていきます。また、地域に暮らす人々とのかかわりをとおして人々の健康な暮らしについて関心を持ち、学生各々が主体的に学ぶ姿勢を強くしていくことを期待しています。学生の皆さんひとりひとりの気づきと豊かな発想を尊重し、様々な教育上の工夫を加えながら、この地域で学生の皆さんと共に温かい学校を創る思いで、以下の方針を示します。

ディプロマポリシー(卒業時到達目標の方針)

地域医療の担い手として能力を発揮するために、地域や地域の人々を愛し、教育理念・教育目的・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、所定の単位を修めた次のような人材を社会に輩出いたします。

- 1. よりよい人間関係を築く力を身につける。
- 2. 地域愛を基盤に、心のこもった看護が提供できる力を身につける。
- 3. 確かな知識と技術をもち、科学的根拠のもと看護を実践する力を身につける。
- 4. 専門職業人としての倫理や責務に基づいて考え、行動できる姿勢を身につける。
- 5. 多職種と連携・協働するために必要な基礎的な力を身につける。
- 6. 看護を探求し、学び続ける姿勢を身につける。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

ディプロマポリシーに掲げた看護師を育成するため、以下の方針に基づいて 3 年間のカリキュラム を編成し、実施いたします。

1. 〔DPよりよい人間関係を築く力を身につける。〕

看護の対象は人間です。その対象とは患者とその家族であり、地域に暮らす人々であり、ともに保健・医療・福祉を支えている多職種です。看護師は、その人々と良好な人間関係を築く努力を惜しまず行う必要があります。まずは、基礎分野において人間や人間を取り巻く社会を理解し、心理学・感性の哲学・人間関係論といった科目をとおして人間関係を築くための知識を身につけ、さらに、専門基礎分野の臨床心理では援助的な人間関係を構築するための方法を学びます。それらを基盤にして、グループワークにおける意見交換、実習におけるリフレクション、課外活動における学生主体のグループ活動を多く取り入れ "相手の話を聴くこと、 "相手の考えを知ること、 "相手の気持ちをわかろうとすること、 "相手に分かるように自分の考えを伝えること、 "相手の反応をみて自己を振り返ること、 を繰り返し体験していきます。その過程において自己を見つめ、相手を尊重する姿勢や、相手と協調する力を養っていきます。これは、看護師として必要なコミュニケーション力を養うものでもあり、本校が最も重要と考えている教育課程実施の方針です。

2. 〔DP 地域愛を基盤に、心のこもった看護が提供できる力を身につける。〕

対象に心のこもった看護を提供するためには対象を理解することが必要となります。基礎分野で 人間や社会について学び、専門分野では基礎看護学をはじめ各領域にわたり身体的・精神的・社会 的・霊的側面から人間を統合体として理解するための学習を積み重ねます。また、地域の様々な場に おける体験学習、実習、学生主体の課外活動をとおして地域に暮らす人々との交流を深めます。中で も、様々な看護活動の場で展開する地域・在宅看護論実習は本校の教育課程実施における特徴を現す もので、人々や暮らしに関心を寄せ、理念に掲げる地域医療の担い手となる看護師を養うためにも力 を入れるところです。そして、地域の人々との出会いや交流をとおして思いやりや優しさ、誠実さを 育み、豊かな感性を養うことを期待します。

3. [DP 確かな知識と技術をもち、科学的根拠のもと看護を実践する力を身につける。]

人々の命と生活を守る看護専門職として責務を果たすためには、対象に安心・安全な援助を提供するための確かな知識と技術が必要です。そこで、解剖生理の知識をはじめ疾病や健康段階に応じた看護を学ぶ中で、知識を看護に活かすことができる授業の展開をします。そのひとつに、解剖生理学の知識を、症候論に関連させて展開していく授業があります。基礎看護学における臨床判断では、"気づき、を看護専門職の気づきに発展させ臨床判断する力に導きます。これらの知識を各看護学領域の実習で統合させ、看護実践能力につなげます。また、1年次から患者を想定した基礎看護技術のトレーニングを行います。卒業後即実践につなげることができる技術の習得を目指します。2年次から3年次にかけては、各専門領域別の実習をとおして健康段階別・発達段階別の看護について学びを深め、臨床場面を想定したシミュレーション演習や臨地実習をとおして状況を判断しながら看護を実践する力を養っていきます。

4. 〔DP 専門職業人としての倫理や責務に基づいて考え、行動できる姿勢を身につける。〕

成長するまでに培ってきた個々の道徳的考えは、人々の生命や生活を前にその判断を求められ試される時がやってきます。1 年次における看護倫理の講義をとおして "倫理、とは何であるかを学び、看護師の行動指針となる「看護者の倫理綱領」について理解を深めていきます。また、グループワークをとおして他者の価値観や、自己の価値観に気づいていけるような授業を展開します。また、実習をとおして "リフレクション" の時間をもち、臨床指導者や専任教員の客観的な視点により実施した看護の振り返りを丁寧に支援します。1 年次からの学習や実習における体験をとおして、自分の行動が他者に与える影響について考え、専門職業人としての責任感と倫理観を養っていきます。

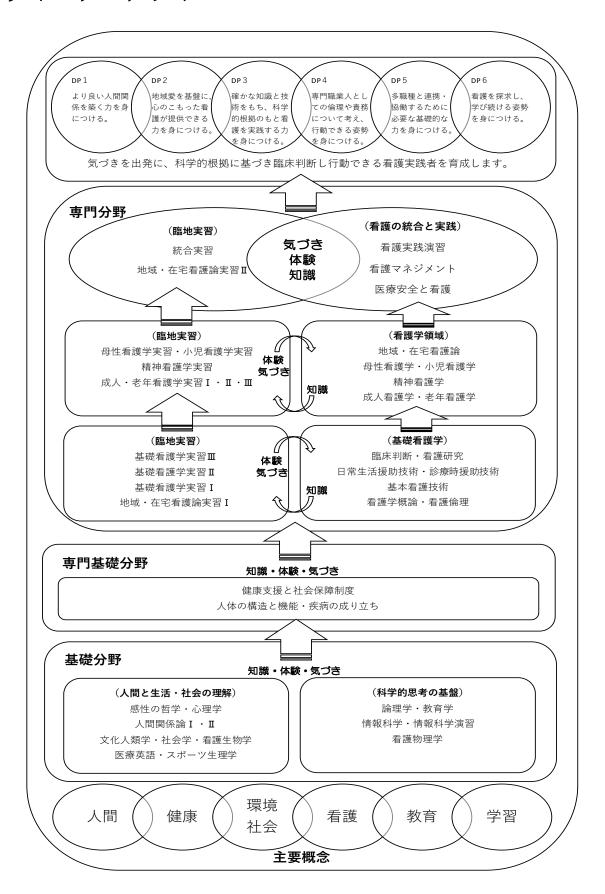
5. (DP 多職種と連携・協働するために必要な基礎的な力を身につける。)

看護はチームで行われます。専任教員が担当する看護学の講義ではグループワークを多く取り入れ、メンバーと協力して最後まで考え抜く力、答えを出す力を養います。地域・在宅看護論や領域横断科目となる家族看護・専門職連携・継続看護をとおしては、保健・医療・福祉にかかわる多職種の役割を学びます。また実習や演習をとおして他専門職学生との交流を深め、専門職間の連携・協働の必要性について考えていきます。このような活動をとおして、メンバーシップ・リーダーシップを身につけながら、多職種と連携・協働する力、地域・在宅で看護を実践する力を養っていきます。

6. 〔DP 看護を探求し、学び続ける姿勢を身につける。〕

各看護学領域で与えられる課題の解決に向けて、個人またはチームで情報を集め整理し、ねばり強く最後まで考え抜き自ら答えを導き出すことのできる講義や実習を展開します。また、看護研究の授業をとおして研究方法を学習し、一つの事例を掘り下げて考え事例としてまとめる力を養っていきます。これらは臨床において課題を発見する力、今後の看護を発展させる力として必ず役立つものとなります。さらに、課外活動では、学生の皆さんの気づきや発想を最大限発揮できる主体的な活動を支援します。主体的な活動は、探求心や学び続ける力を養うものとなります。

カリキュラムデザイン



履修科目と進度

t d	内板	授業科目		年	. =1	مادر	=	165	14				100	la =	1	1	=1	- = I		2年次	I ac a		. =1	T		=1	II.	Je e	I = =	34			E		
8	容力	論理学	xre 1	30	4月5	5月 6	月 7月	8月	9月	108	11/9 12	8 13	2月	3月	4月	5月6	Ĥ.	7月8	F) 9,	月 10月	11/8	12/3	1月2	月 3	月 4	F) 5 F	6,7	7,9	8月	9月	10,8	11/9	12月]	月:	2月
	т г)	教育学		30				۰		\vdash	+	+	+	Н	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	Н	Н	\vdash	+	+	_
		石護物理学	_	30		_	т			\vdash	+	+	+	Н	\neg	\dashv	\forall	+	+	+	\vdash	Н	\dashv	\dashv	+	+	+	+	\vdash			\dashv	+	\dashv	_
	0	情報科学		30													Ţ		J														寸	_	_
		情報科学演習	1	30								\perp							T														\Box		_
#	А	社会学	1	30						П	T	\perp		П		\Box	I	T	T				\Box	\perp	T	T	F						\perp	I	_
3	版 と	文化人類学		30									+	Н	\sqcup	\perp	4	\perp	+	+	\vdash	Ш	\perp	1	1	+	+	1	1	\vdash	\square	\sqcup	\dashv	4	_
)	4.	心理学 看護生物学	1	30							-		+	\vdash	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	$\vdash\vdash$	+	+	+	+	+	+	-	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
7	*	有該工物子 感性の哲学	1	30		-	-	+	-	-	+	+	+	\vdash	\dashv	\rightarrow	+	+	+	+	\vdash	Н	\rightarrow	+	+	+	+	+	\vdash		\vdash	\vdash	+	+	_
	社	人間関係論Ⅰ		15		_	_	_	_	\vdash	+	+	+	\vdash		\rightarrow	+	+	+	+	\vdash	Н	+	+	+	+	+	+	\vdash	Н	Н	\dashv	+	+	-
	食の	人間関係論		30	\Box	\top	+	+	-	н				Н	\neg	\vdash	\dashv	\top	+	+	\vdash	Н	\neg	\dashv	+	+	+	+	\vdash	Н	Н	\Box	+	\dashv	_
	10	医療英語	1	30	\sqcap	\top	\top	\top	\vdash					П	\neg	\neg	\forall	\neg	\top	\top	\vdash	Н	\neg	\neg	\top	\top	$^{+}$	\top	\vdash	П	П	\Box	\top	\dashv	_
	166	スポーツ生理学	1	30				\top		П	\neg	Т	Т	П			\neg		Т					\neg	\top	Т	Т	Т					\neg	\neg	Т
	10 /	解剖生理学	1	30													\Box		\perp						\perp	\perp							\Box	\Box	
	推放之口	解剖生理学		30			_	-		Ш	\perp	_	\perp	Ш		\perp	4	\perp	4	\perp		Ш	4	4	4	\perp	┸	┺	╙				_	4	
		エルチ	1	30	Д,	-	+	+	_	ш	+	+	+	Н	-	\rightarrow	4	+	+	+	_	Н	-	+	+	+	+	╀	⊢	Н	Н	\vdash	+	+	_
		病理学総論 症候論	1	15 30	\vdash	-	-	-	-	-	-	+	+	Н	-	-	+	+	+	+	\vdash	Н	\rightarrow	+	+	+	+	+	⊢		\vdash	\dashv	+	+	_
	埃	症候論		30	\vdash	+	+	+	-	-	-	-	-	Н	\dashv	\rightarrow	+	+	+	+	\vdash	Н	\rightarrow	+	+	+	+	+	\vdash		Н	\dashv	+	+	_
	19 0	微生物学		30	\vdash	-				-	-	_	_	Н		\dashv	+	+	+	+	\vdash	Н	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	Н	Н	\dashv	+	\dashv	-
Į	成	疾病論		30	\vdash	-	-	-				+	+	Н	\neg	\neg	\dashv	\top	$^{+}$	\top	\vdash	Н	\neg	\dashv	\top	+	$^{+}$	+	\vdash	Н	П	\Box	\top	\dashv	_
9	· 9 立	疾病論	1	30	\sqcap	\neg	\top							П		\neg	\neg	\neg	\top	\top	\vdash	П	\neg	\neg	\top	\top	\top	\top	\vdash			\Box	\neg	\neg	_
	5	疾病論Ⅲ	1	30			\perp	Г									I		T	\perp						\perp								\Box	
ŧ		疾病論IV		30	\perp	T	\perp			Ш	1			П		\Box	1	\perp	T		\vdash	Ш	\Box	T	T	T							\perp	1	_
-	<u> </u>	疾病論 V		30	\vdash	4	\perp						\perp	Ш	\Box	\perp	4	\perp	\perp	\perp	\vdash	Ш	_	4	\perp	\perp	\perp	\perp	\vdash	Ш	Ш	Ш	4	4	_
7	保	保健医療論治療論		15	\vdash	+	+	+	\vdash	Ш		4		Н	\square	\dashv	4	+	+	+	\vdash	$\vdash \vdash$	\dashv	+	+	+	+	+	-	\vdash	\vdash	$\vdash \vdash$	+	+	_
	0	治療語 臨床栄養学		30	\vdash	+	+				1	-		H	\blacksquare	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	投液	臨床業理学		30	\vdash	+	+							\vdash	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	-
	\vdash	公衆衛生学	1	30	\vdash	+	+	+			-			H	\dashv	-					\vdash	$\vdash\vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	+	-
	* *	社会福祉		45	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	H								Н	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	+	-
	A 7	臨床心理Ⅰ	1	15	\vdash	+	\top	+	\vdash	\vdash	+	+	\top	Н			1				\vdash	\vdash	\dashv	\dashv	+	\top	+	\top	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	\forall	-
	# R # 2	臨床心理Ⅱ	1	30							丁			П																			\top		_
	Ĺ.	関係法規		30			\perp				\perp	\perp						\perp	I				\Box			\perp	\perp						\Box	\Box	
1		看護学概論 		30						Ц	\perp			Ш			\perp		\perp			Ш	\perp										\perp	\perp	_
		看護倫理 基本系護は後 L		15						Ш				Н	\Box		4	\perp	\perp	-		\sqcup	_	4	\perp	+	1	-		\square	\square	\sqcup	\dashv	4	_
	签	基本看護技術	1	30										Н	\vdash	\perp	4	+	+	+	\vdash	$\vdash \vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	推剪	基本看護技術 II 日常生活援助技術 I	1	30				+						H		+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	19.	日常生活援助技術=		60				-						Н	\vdash	+	+	+	+	+	\vdash	$\vdash \vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	-
	学	診療時援助技術	_	60	\vdash	+	+	f						H					+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	+	-
		臨床判断		30	\vdash	+	+	\top	\vdash	\vdash	+	+	\top	Н								\vdash	\dashv	+	+	+	+	\top		Н	Н	\vdash	+	+	-
	L	看護研究	1	30							丁			П																			\Box		_
		家族看護		15	\Box	\perp	\perp	\perp			\perp	\perp					\Box	\perp	I				\Box			\perp	\perp						\Box		_
	_	保健指導論		30	\perp	1	1	Ĺ	\perp	Ц	\perp	1	1	П		\Box			ĮÍ.			Ш	\perp	_[\perp	1	1	Ĺ		Щ		Ш	_[_
	核核	周術期と看護	1	30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	\perp	Н					g i			$\vdash \vdash$	\dashv	\perp	\perp	+	+	\vdash		\vdash	$\vdash \vdash$	\sqcup	\dashv	4	_
	10	薬物療法と看護 終末期と看護		30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	H			-	-	1			$\vdash \vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	žří	専門職連携		30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	\vdash		+	+	+	+			\vdash	+	+	+						\vdash	\vdash	+	+	-
		維続看護	_	15	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	H	\vdash	+	+	+				\vdash	+	+	+						\vdash	\vdash	+	+	-
		地域・在宅看護概論		15	\vdash	\top	\top					\top	\top	П	\neg	\vdash	\forall	\top	T			Н	\dashv	\dashv	\top	\top	\top	\top	\vdash	П	\vdash	\vdash	+	\forall	_
	有坂	地域・在宅看護方法論	1					Г									⇉		I					丁									寸	⇉	_
	族 -	地域・在宅看護方法論=		30		\perp	\perp												I																
	胎在地	地域・在宅看護方法論!!			\perp	T	T		\Box	П	T			П		\Box	I	T	T	\perp			\Box	\perp									\bot	Ţ	_
	<u> </u>	地域・在宅看護方法論IV		15	\vdash	_	+	\perp	\vdash	Щ	1	_	\perp	Ш	\Box		4	_	1	1	\vdash	Ш	_	_	1	\perp	\perp	1					_	4	_
	痰	成人看護学概論 成人看護方法論	1		\vdash	+	+	+	\vdash	Н	-		+	\vdash				+	+	+	\vdash	$\vdash \vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	人套	成人有護方法論	_	30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	\vdash				+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
,	换	成人有護方法論川		30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	Н					+	+	\vdash	\vdash	\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	-
1	学	成人看護方法論IV		30	\vdash	+	+	+	\vdash	\forall	+	+	+	H	\dashv		7				\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	+	-
	8 _	老年看護学概論		15	\Box			\top						П			_		T					\Box			\top						\top		_
-	H			30			\perp				\perp	Τ														\perp	\Box						\Box		
	Ŧ ⁺	老午有護力法調Ⅱ		30	\perp	T				Ш	\perp			П		\Box	\Box	\perp	Ţ					I									\perp		_
	看小	小児看護学概論		15	\vdash	1	1	1		Щ	1			Ш			J	1	\perp				_	1	1	1						\Box	_	4	_
	長児	小児看護方法論			\vdash	+	+	+	\vdash	\sqcup	+	+	\perp	Ш				+	+	1			\dashv	\perp	\perp	+	\perp	\perp	-	Н	Ш	\sqcup	\dashv	4	_
	\vdash	小児看護方法論 母性看護学概論		30 15	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+		Н	\vdash	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	育技技	母性石護方法論		30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+		H			H	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
	学生	母性看護方法論=	1	30	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	Н			7	+	+				\dashv	+	+	+	+	+	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	+	-
	n	精神看護学概論		15	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	Н			\forall	+	+				\dashv	\top	+	\top	+	\top	\vdash	Н	\vdash	\vdash	+	\forall	-
	技 10	精神石護方法論	1	30	\Box			Τ						П					丁														\top		_
	7	精神右護万法論		30			\perp	\perp			\perp	\perp											\Box	\Box									\Box		_
	* 2.1	看護マネジメント		30	\Box	\perp	\perp	\perp	\Box	П	\perp	\perp		\Box		\Box	J		T			Ш	\Box	\Box					\Box				\Box	\Box	_
	24 77 77	医療安全と看護		30	\perp	_[1	\perp	\perp	Ц	_[_	\perp	П					1		\perp	Щ	_[_[\perp	1	Ĺ	Ĺ					_[1	_
		⁷ 右護実践演習		30	\vdash	+	+	+	\vdash		+	+	+	Н	\Box	\perp	4	+	\perp	+	\vdash	Ш	\dashv	4	+	+	\perp	\perp					\dashv	4	_
		基礎看護学実習 基礎差護学使初		45	\vdash	+	+	+	\vdash		+	+	+	\vdash		+	4	-	\perp	+	\vdash	$\vdash \vdash$	+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
		基礎右護学実習Ⅱ 基礎右護学実習Ⅲ		90	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	-	+	+	\vdash		+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	_
		空流句談子表首!!! 地域・在宅看護論実習			\vdash	+		+	\vdash	\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	\vdash		+	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	+	+	-
	_	地域・在宅看護論実習=			\vdash		1	+	\vdash	\vdash	+	+	+	H	\vdash	+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	+	+	+	\vdash			\vdash	+	+	-
	15. 16	成人老年看護学実習!	2		\vdash	+	+	+	\vdash	\vdash	+	+	+	Н		+	+	+	+	+	\vdash	\vdash	\dashv	\neg			т	+	\vdash			\dashv	+	+	-
	*	成人老年看護学実習=			\Box	\top	\perp	\top	\vdash	\Box	\top	\top		П			\top	\top	\dagger			Н	\neg								\Box		+	\top	_
	8	成人老年看護学実習Ⅲ	2	90										П			╛																\Box		_
		小児看護学実習		90			T					T							T	\perp													\Box	\Box	
		母性看護学実習	_	90	\perp	\perp	\perp	Ĺ	\perp	П	\perp	\perp	\perp	П	\Box	\perp	Ī	\perp	Ţ		\Box	Ш	\perp				Ľ			\Box		\Box	\perp	Ī	_
		精神看護学実習 第4章		90	\vdash	_	1	1		Ш	1	+		Ш		_	4	_	\perp	_		\square	_	_	1	1	1					\Box	\rightarrow	4	_
		統合実習	1.2	90	ıΙ	- 1	- 1	1	1		- 1	1	1	ı l		_ I	- 1	- 1	- 1	- 1	1	ıl	- 1	- 1	- 1	- 1			4	-		. 1	- 1	- 1	

1年次 開講科目と進度

基礎分野	客 科学的思考の基盤 人間と生活・社会の	授業科目 論理学 教育学 看護物理学 情報科学演習 社会学 文化人類学 心理学 看護生物学 感性の哲学	平G数 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
礎分	学的思考の基盤 人間と生活・社会	教育学 看護物理学 情報科学 情報科学演習 社会学 文化人類学 心理学 看護生物学	1 1 1 1 1	30 30 30 30 30												
礎分	的 忠考 の 基 설 人 間 と 生 活 ・ 社 会	看護物理学 情報科学 情報科学演習 社会学 文化人類学 心理学 看護生物学	1 1 1 1	30 30 30 30												
礎分	3 の基盤 人間と生活・社会	情報科学 情報科学演習 社会学 文化人類学 心理学 看護生物学	1 1 1	30 30 30												, ,
礎分	基盤 人間と生活・社会	情報科学演習 社会学 文化人類学 心理学 看護生物学	1 1 1	30 30												
礎分	生人間と生活・社会	社会学 文化人類学 心理学 看護生物学	1	30												
礎分	間と生活・社会	文化人類学 心理学 看護生物学	1													
分	間と生活・社会	心理学 看護生物学		20												
	生 活 社 会	看護生物学	1	30												
野	活 · 社 会			30												
	・ 社 会	感性の哲学	1	30												
	会	(で)エットコ	1	30												
	I	人間関係論	1	15												
	0)	人間関係論	1	30												
	理	医療英語	1	30												
	解	スポーツ生理学	1	30												
	構 人	解剖生理学 I	1	30												
		解剖生理学	1	30												
F	WE との	生化学	1	30												
		病理学総論	1	15												
		症候論	1	30												
専	疾	症候論Ⅱ	1	30												
門	病の	微生物学	1	30												
基	成	疾病論	1	30												
礎	4)	疾病論Ⅱ	1	30												
分	立 ち	疾病論Ⅲ	1	30												
野		疾病論IV	1	30												
		疾病論V	1	30												
	回	保健医療論	1	15												
	復	治療論	1	30												
	の 促	臨床栄養学	1	30												
	進	臨床薬理学	1	30												
		看護学概論	1	30												
	基	看護倫理	1	15												
	礎	基本看護技術	1	30												
	看 護	基本看護技術Ⅱ	1	30												
専	学	日常生活援助技術I	1	30												
守 門 -		日常生活援助技術Ⅱ	2	60												
l .	宅在	地域・在宅看護概論	1	15												
分 -	:	成人看護学概論	1	15												
野	護 看 年	老年看護学概論	1	15												
2	護 看 児	小児看護学概論	1	15												
_		母性看護学概論	1	15												
	18 26	基礎看護学実習	1	45												
	* 77	地域・在宅看護論実習	2	90												
		合計	45	1260												

2年次 開講科目と進度

分	内 教	拉莱拉口	学	年						2年	次					
野	容 育	授業科目	単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	社	公衆衛生学	1	30												
	会 部	社会福祉	2	45												
	保支票支	臨床心理 I	1	15												
	制を	臨床心理Ⅱ	1	30												
	150	関係法規	1	30												
		診療時援助技術	2	60												
		臨床判断	1	30												
		看護研究	1	30												
		家族看護	1	15												
	領	* 保健指導論	1	30												
	域	* 周術期と看護	1	30												
	横断	薬物療法と看護	1	30												
	E)	* 終末期と看護	1	30												
		継続看護	1	15												
		地域・在宅看護方法論I	1	30												
		成人看護方法論	1	30												
		成人看護方法論Ⅱ	1	30												
		成人看護方法論Ⅲ	1	30												
		成人看護方法論Ⅳ	1	30												
		老年看護方法論I	1	30												
		老年看護方法論Ⅱ	1	30												
		小児看護方法論I	1	30												
		小児看護方法論Ⅱ	1	30												
		母性看護方法論I	1	30												
		母性看護方法論Ⅱ	1	30												
	看舞	精神看護学概論	1	15												
	護神	精神看護方法論 I	1	30												
	学 ^件	精神看護方法論Ⅱ	1	30												
		医療安全と看護	1	30												
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90												
		基礎看護学実習Ⅲ	2	90												
		合計	35	1035												

※2月より、3年次の実習が開始します。

3年次 開講科目と進度

分	内 教	授業科目	学	年						3年	次					
野	容 育	汉耒行日	単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		専門職連携	1	30												
		地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	30												
		地域・在宅看護方法論Ⅲ	1	30												
		地域・在宅看護方法論Ⅳ	1	15												
	: 合の 1	看護マネジメント	1	30												
	と統訂	看護実践演習	1	30												
		地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90												
		成人老年看護学実習	2	90												
		成人老年看護学実習	2	90												
		成人老年看護学実習Ⅲ	2	90												
		小児看護学実習	2	90												
		母性看護学実習	2	90												
		精神看護学実習	2	90												
		統合実習	2	90												
合計 22 885																

基礎分野

授業計画

基礎分野は、専門基礎分野・専門分野の基礎となる分野で、看護に欠かせない科学的根拠の基盤や、人間関係構築の基盤となる重要な科目を総計 14 科目(14 単位)で構成しています。科学的思考の基盤を構成する科目では、看護を科学的に客観的に、系統的に考えるための基本的知識と、思考を整理する方法や情報を適切に活用するための方法を学びます。また、人々の多様な価値観や生活を理解するため、人間と生活・社会の理解を構成する科目においては社会学、文化人類学をとおして社会の中に暮らす人間を理解します。心理学、看護生物学では個としての人間を理解します。また感性の哲学、人間関係論、医療英語、スポーツ生理学をとおしては人々との人間関係を構築するための看護者としてのコミュニケーション能力を高めるための基本的知識を身につけます。

科目区分	基礎分野	科 目 名	論理学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	野村 文宏	実 務 経 験 関 連 資 格	別府大学 文学部 史学・文化財学科 教授		
目 的	グ) の重要性を	理解し、そのため	立てて考察し理解する方法を学ぶ。次に、批判 めの技法を学ぶ。最後に、論理学や批判的思考 本的姿勢や②具体的技法について理解し学ぶ。		
目標	2. クリティカ		事項を理解する。 よび批判への視点を理解する。 基本的姿勢と具体的注意事項について理解す	' వే .	DP 〜の対応 DP3 DP1,2,5 DP6
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	ガイダンス ・イントロダク ・論理学とはと	学ぶかを理解する。 クション:論理の基本についての講義 どのような学問分野でありこの講義で何を何 のか理解する。	配布資料 パワーポイント	論理学とはどのような学問なのか、 辞書で調べるなど して考えてみよう
第 2 回 〔講義〕	到達目標 授業内容	さまざまな接続論理学	売関係について、論理学的観点から理解する。 接続関係について	配布資料 バワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 3 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	接続の構造に会論理学・接続の構造に	ついて、論理学的観点から理解する。 こついて	配布資料 バワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 4 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	議論の組み立つ論理学・議論の組み込	てについて、論理学的観点から理解する。 立てについて	配布資料 バワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 5 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	論証の構造にて 論理学 ・論証の構造に	ついて、論理学的観点から理解する。 こついて	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 6 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	推測と演繹に流神理学・推測と演繹に	ついて、論理学的観点から理解する。	配布資料 バワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 7 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	解する クリティカルシ	レンキングと批判の視点の大切さについて理 レンキングについて学ぶ レシンキングとは何か。批判の視点の大切さ	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 8 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	議論の明確化に ら理解する。 クリティカルシ	こついて、クリティカルシンキングの視点か シンキング	配布資料パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと ・宿題・課題を解

		・議論の明確化について		き授業に臨むこと
第 9 回 〔講義〕	到達目標	隠れた前提について、クリティカルシンキングの視点から 理解する。	配布資料パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお
	授業予定	クリティカルシンキング ・隠れた前提について		くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 1 0 回 〔講義〕	到達目標	根拠の確かさについて、クリティカルシンキングの視点から理解する。	配布資料パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお
	授業予定	クリティカルシンキング ・根拠の確かさについて		くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 11 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際の、問題をつかむことの大切さを 理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお
	授業予定	論文・レポートを書く (ロジカルライティング) ・問題をつかむ		くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 1 2 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際の、組み立て方、構成の仕方について理解する。	配布資料パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお くこと
	授業予定	論文・レポートを書く(ロジカルライティング) ・論文・レポートを組み立てる		・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 13 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際、具体的に注意すべき事項につい て理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお
	授業予定	論文・レポートを書く(ロジカルライティング) ・具体的に注意すべきこと 1		くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 14 回 〔講義〕	到達目標	論文・レポートを書く際、具体的に注意すべき事項につい て理解する。	配布資料 パワーポイント	・講義内容や練習 問題を復習してお
	授業予定	論文・レポートを書く(ロジカルライティング) ・具体的に注意すべきこと 2		くこと ・宿題・課題を解 き授業に臨むこと
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト 参考図書	教科書は使用しません。授業内でプリントを配布します。 山田ズーニー『伝わる・揺さぶる!文章を書く』(PHP 新書) 渡辺健介『世界―やさしい 問題解決の授業』(ダイヤモン)	ぶ社)	
は 株 い め・	そ の 他 の学習方法	配布資料、パワーポイント 講義内容や練習問題を復習し、宿題・課題がある場合は自分	で解いて埓業に乾	iオo ア レ
	の子官万法の留意点	調義内谷や練音問題を復音し、信題・課題がある場合は自分 論理的な力は知識ではなく練習問題(トレーニング)を通じ る課題に意欲的に取り組んでください。		

科	目 区	分	基礎科目	科目名	教育学	単 位	1 単位
対	象 学	年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担	当 教	員	伊藤 安浩	実 務 経 験 関 連 資 格	大分大学 教育学部 教授		
目		的		在として成立する めの基礎的知識を	るために、必要な不可欠な営為である教育につい む学ぶ。	^ゝ て理解し、人間	引を対象とする看護を
							DPへの対応
目		標			引する教育学の意義について理解する。 こ必要性、教育の内容、教育の方法、教育の評価	面に関する基礎	DP1,2 DP3,5
			を理解する。 3. 教育に関す	る自分の考えを研	笙立し、看護活動に活用する。		DP4,6
	業回方法				内容	使用教材	授業に関する
	1		到達目標	教育学を学ぶ意	賃義について理解する。	配布資料	課題にきちんととり
	講義		授業予定	ガイダンス			くんでください。
			******	教育学を学ぶ意	意義について説明する。		
第	2	回	到達目標	現代社会におり	ける教育の現状を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業内容	現代社会におり	ける教育の現状を説明する。		くんでください。
第	3	回	到達目標	教育の語源と気	E義を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	教育の語源と知	E義を説明する。		くんでください。
第	4	回	到達目標	教育の法的基盤	2を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	教育の法的基盤	とを説明する。 とを説明する。		くんでください。
第	5	回	到達目標	誕生直後の人間	間の姿に見る教育の意義を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	誕生直後の人間	間の姿に見る教育の意義を説明する。		くんでください。
第	6	回	到達目標	人間の成長・昇	経達と教育の関係について理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	人間の成長・昇	経達と教育の関係について説明する。		くんでください。
第	7	回	到達目標	生涯学習の意義	&について理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定		&について説明する。		くんでください。
第	8	回	到達目標	***************************************	りについて理解する。	配布資料	課題にきちんととり
	講義)	授業予定		りについて説明する。		くんでください。
第 〔	9 講 義	回	到達目標	教育評価の方法 ~について理解	长〜集団準拠評価,目標準拠評価,個人内評価 解する。	配布資料	課題にきちんととりくんでください。
			授業予定	教育評価の方法 ~について説明	去〜集団準拠評価,目標準拠評価,個人内評価 月する。		
	10講義		到達目標	教育評価の方法 理解する。	去〜自己評価,相互評価,他者評価〜について	配布資料	課題にきちんととり くんでください。
			授業予定	教育評価の方法 説明する。	去〜自己評価,相互評価,他者評価〜について		
第	1 1	□	到達目標	家族と人間の原	戊長・発達の関係について理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	家族と人間の原	戊長・発達の関係について説明する。		くんでください。
第	1 2	回	到達目標	アメリカの家族	たとの比較から,日本の家族の特徴を理解す	配布資料	課題にきちんととり
(講義)		る。			くんでください。
			授業予定	アメリカの家店 る。	実との比較から,日本の家族の特徴を説明す		
第	1 3	回	到達目標	歴史的に見た日	日本の家族の特徴を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	歴史的に見た日	日本の家族の特徴を説明する。		くんでください。
第	1 4	回	到達目標	テクノロジーの)進歩に伴う家族像の変化を理解する。	配布資料	課題にきちんととり
(講義)	授業予定	テクノロジーの)進歩に伴う家族像の変化を説明する。		くんでください。
第	1 5	回		まとめ			
				終講試験(50分	·)		
成	績 評	価の	基準と方法	基準 : 履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。		

		方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。
使用教材	テキスト	
	参考図書	系統看護学講座 基礎分野 教育学
	その作	
授業以外	の学習方法	看護師は、自分自身を常に振り返りながら研鑽し向上していかなければなりません。さらに、患者
		や家族に対して、指導や助言が必要となり、教育者としての役割も担っています。教育とは、看護
		とは、自分の考えをもてるようになりましょう。
履 修 上	の留意点	看護と教育の関連について注目しながら、常に「なぜ?」と考えながら授業を受けましょう。

科目	ヹ 分	基礎分野	科目名	看護物理学	単 位	1 単位
対象与	学 年	1年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当费) 員	小林 正	実 務 経 験 関 連 資 格	大分大学 名誉教授		
目	的	看護技術の原理	や原則を理解する	るための基礎を学ぶ。		
						DP への対応
目	標		通して看護に必 る物理学の原理	要な物理学の基礎を学び、身体/身体ケアや を理解する。	検査・治療・	DP3
授業 [内容	使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 [講]	菱 〕	到達目標		とおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身 検査・治療・処置に関係する原理を理解す	教材提示装 置による講 義、演習、	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨 みましょう。
		授業予定	2. 数学の準	物理学の応用・・・看護物理学 備	宿題(次回講 義の前に提 出)	
			3. スマホの 演習と宿 宿題:度	と孤度(radian) 三角関数 sin cos tan 関数電卓機能による各種計算問題の 題 ・孤度の変換 角関数の計算とグラフ表示		
第 2 〔講 4		到達目標		おして看護に必要な物理学の基礎を学び、身 検査・治療・処置に関係する原理を理解する。	教材提示装 置による講	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨
〔演習		授業内容	5. 国際(SI SI 接頭語	は スカラー量とベクトル量) 単位系 基本単位と組立単位 写(キロ・ミリ)	義、演習、 宿題(次回講 義の前に提	みましょう。
*** -			+	g) と重さ (k g重)	出)	
第 3 〔講章	菱〕	到達目標		とおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身 検査・治療・処置に関係する原理を理解す	教材提示装 置による講 義、演習、	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨 みましょう。
		授業予定	8. 体位と体 9. MKSと(と分解 三角関数の応用 演習問題 位変換への力学の応用 CGS 単位系の換算 ュートン)と dyn (ダイン)	宿題(次回講 義の前に提 出)	
第 4 〔講章	養〕	到達目標		とおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身 検査・治療・処置に関係する原理を理解す	教材提示装 置による講 義、演習、	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨 みましょう。
		授業予定	11. トルクと 12. 仕事とエ	力のモーメント)と「てこ」の原理 体位変換 看護への応用 ネルギー(J、cal、erg) N (ワット))の演習問題	宿題(次回講 義の前に提 出)	
第 5 〔講 章 〔演 章	莨 〕	到達目標 授業予定	体/身体ケアや る。 13. 重心 重/		教材提示装 置による講 義、演習、 宿題(次回講 義の前に提	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨 みましょう。
***			重心線	件 (倒れない条件) 支持基底面 応用	出)	
	第 6 回 〔講義〕 〔演習〕	到達目標		とおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身 検査・治療・処置に関係する原理を理解す	教材提示装 置による講 義、演習、	事前課題にしっかり と取組み、授業に臨 みましょう。
		授業予定	15. 運動量と	撃力 定義と計算 身体ケアへの応用	宿題(次回講	

		16. 力のつりあい 牽引と身体ケアについて	義の前に提	
## 7 E	如本口無	白にと田名としたして毛帯に立西と帰田坐の甘林と巻が「白	出)	古台細胞(*) 1 1 1
第 7 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕	[전·사·스 다	3.	義、演習、	みましょう。
	授業予定	17. 作用 反作用の力 と つりあいの力	宿題(次回講	
		看護への応用	義の前に提	
- Mr. o 17	70+ P F	18. 摩擦力と摩擦係数 看護と摩擦	出)	-t-M-smirts
第 8 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕	14 Mr = 11.	3.	義、演習、	みましょう。
	授業予定	19. 熱力学	宿題(次回講	
		:温度·比熱 水の状態変化 融解熱・気化熱の問題	義の前に提	
		20. 看護における冷罨法と温罨法	出)	
		水の状態変化と計算問題		
		21. 体熱の産生・喪失のバランス		
		伝導・対流・放射での熱の移動		
第 9 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕		る。	義、演習、	みましょう。
	授業予定	22. 看護における電気	宿題(次回講	
		電流・電圧・抵抗 オームの法則	義の前に提	
		直流と交流 直列・並列回路 演習問題	出)	
		23. 安全電気		
		電撃:マクロショックとミクロショック		
		24. 電力と電力量の計算		
第 10 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕		ర .	義、演習、	みましょう。
	授業予定	25. 看護における圧力	宿題(次回講	
		: 胃洗浄とサイホン 血圧 ボンベの圧力	義の前に提	
		単位の変換	出)	
		: Pa kg(重)/cm² mmHg cmH2O Torr atm		
第 11 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕		ర .	義、演習、	みましょう。
	授業予定	26. ネブライザーの原理 動圧と側圧	宿題(次回講	
		27. 流体: 連続の式 ベルヌーイの式	義の前に提	
		28. 毛細管現象 表面張力	出)	
		濡れの現象と界面活性剤		
第 12 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
〔講義〕		体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔演習〕		ర .	義、演習、	みましょう。
	授業予定	29. 血圧測定と音の関係	宿題(次回講	
		30. 起立性低血圧	義の前に提	
		31. 血圧測定に関する注意事項とその根拠	出)	
第 1 3 回	到達目標	身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
	判廷日你		1) The AR
〔講義〕	判廷日保	体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
〔講義〕 〔演習〕	为廷日你	体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す る。	置による講 義、演習、	と取組み、授業に臨 みましょう。
	授業予定			
		3.	義、演習、	

第	1	4	回		到達	目標		身近な現象をとおして看護に必要な物理学の基礎を学び、身	教材提示装	事前課題にしっかり
(講	義)					体/身体ケアや検査・治療・処置に関係する原理を理解す	置による講	と取組み、授業に臨
(演	習)					ప .	義、演習、	みましょう。
					授業	予定		34. 酸素ボンベ と その取り扱い	宿題(次回講	
								35. ボイルの法則 シャルルの法則	義の前に提	
								ボイル・シャルルの法則	出)	
第	1	5	回					まとめ		
								終講試験(50分)		
								基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
成	績	評	価の	基	準。	と方	法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。課	題レポート(ほ	ぼ毎回)と 終講時
								の筆記試験の結果を 100%として評価する。		
				テ	牛	ス	ŀ	完全版 ベッドサイドを科学する -看護に生かす物理学	≧- (学研メデ	ィカル秀潤社)
使	用	教	材	参	考	図	書			
				そ	ď	り	他			
授	業	以	外	の :	学習	方	法			
								授業の進め方		
								授業は、中等教育の物理学Ⅰ・Ⅱや力学Ⅰ・Ⅱ((力の合成、ト	ルクなど)、数学
								(三角関数)の知識を用いて講義を進める。教材提示	装置を用いて	、教科書及び配布
								教材をプロジェクターで教室正面のホワイトボート	ドに映して効果	率よく授業を進め
屋	Æ	*	L	D	留	音	点	る。時には既成品の血圧計、体温計、放射温度計、	レーザー長さ	測定器等を持ち込
ル及	15	,		٧)	Н	<i>1</i> 05%	.m	み、装置の測定原理、仕様、測定法を分かり易く説	明する。或い	は講義の説明を助
								ける実験装置、または動画ソフト等を導入して分か	ゝり易く授業を	と進めていく。
								ほぼ毎回のように宿題を出します。宿題は A4 サイズの	レポート用紙	を縦向きで記入・
								作成して下さい。宿題の提出は次の授業の開始前にクラ	スごとに集め	て提出してくださ
								γ ₂ °		

科目区分	基礎分野	科目名	情報科学	単位	1 単位		
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間		
In the date of	①佐伯圭一郎	実務経験	①大分県立看護科学大学 健康情報		1		
担当教員	②品川佳満	②品川佳満 関連資格 ②大分県立看護科学大学 健康情報学 准教授					
目 的	社会における情	社会における情報化進展およびコンピュータの役割や、仕組みとその利用方法について理解する。					
					DP への対応		
	1. コンピュー	タやネットワーク	rに関する基礎的な用語を理解する。		DP3,4,5,6		
目標	2. 医療機関に	おける個人情報的	R護のための対策・対応について理解	する。			
<u></u> Н 725	******		る危険を理解し、トラブルを事前に回				
	4. インターネ	ットや文献データ	マベースを用いて、精度の高い検索方	法を理解する。			
	5. 統計的デー	タの適切な理解と	: 基本的処理について理解する。				
授 業 回 数 〔 方 法 〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習		
第 1 回	到達目標	信報のさまざる		場におけ テキスト	テキストの対応部分		
一一一一一一一一	为廷日际		は活用の意義を説明できる	配付資料	を予習すること		
(品川)		情報の定義と特		HOLLY	610/000		
第 2 回	到達目標)ハードウェアについて説明できる	"	"		
〔講義〕	授業内容		最システムの基礎知識(1)コンピュータ				
(品川)		み					
第 3 回	到達目標	ソフトウェアや	マネットワークの仕組みについて説明	できる 〃	"		
〔講義〕	授業予定	情報機器・情報	gシステムの基礎知識(2)ネットワーク	'やアプ			
(品川)		リケーションン	/フトの仕組み				
第 4 回	到達目標	個人情報の保証	隻に関するルール,情報倫理の原則を	説明でき 〃	"		
〔講義〕		る					
(品川)	授業予定	個人情報の保証	・情報倫理 ニュー・				
第 5 回	到達目標	情報セキュリラ	- イを脅かす事例を知り、セキュリテ	ィ技術の 〃	n		
〔講義〕		概要を説明でき					
(品川)	授業予定		ティ(1)セキュリティ技術				
第 6 回	到達目標		†策の具体的内容を説明できると共に 	, 実践で 〃	"		
〔講義〕 (品川)	極業又会	きる態度を身に					
	授業予定		ティ(2)セキュリティ対策	アヨガロア "	, n		
第 7 回 〔講義〕	到達目標	と療児場で利用 きる	月されている各種情報システムについ	て説明で <i>n</i>	"		
(品川)		.					
第 8 回	到達目標		ステムや看護情報システムの仕組みと	利用法をリカ	<i>n</i>		
〔講義〕	27,217	説明できる	· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13/13/2			
(品川)		医療における情	青報システム(2)				
第 9 回	到達目標		・の上手な作成法や,プレゼンテーシ	ョン・ネ 〃	"		
〔講義〕		ットワークへの	o情報発信の適切な行い方を説明でき	3			
(佐伯)	授業予定	文章の作成・愉	青報発信の技法				
第 10 回	到達目標	基本的な調査や	>実験のデザインと進め方について説	明できる 〃	"		
〔講義〕	授業予定	調査や実験に。	くるデータ収集				
(佐伯)							
第 11 回	到達目標		なる確率や統計学の基本概念を理解	し, 説明 "	"		
〔講義〕		できる					
(佐伯)	授業予定	,,,,,	行(1)確率・統計の考え方				
第 12 回	到達目標		生の主要なものを説明できる 	"	"		
〔講義〕	授業予定	統計データ解析	T(2)記述統計				
(佐伯)	如序口裡	世別休司 で サー	- 的も研込も単明でもで		20		
第 13 回 (業 義)	到達目標		に的な理論を説明できる そ(2)##別知計の基礎	"	"		
〔講義〕	授業予定		行(3)推測統計の基礎				

(佐伯)						
第 14 回	到達目標	基本的な推測統計の手法が説明でき、検定結果を適切に読み	"	n		
〔講義〕		取ることができる				
	授業予定	統計データ解析(4)推測統計各論				
第 15 回		まとめ				
		終講試験 (50 分)				
成績評価の	基準と方法	:方法 基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
		方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
	テキスト	スト 系統看護学講座「看護情報学」医学書院				
使用教材	参考図書					
	その他					
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおきましょう。				
履修上	の留意点	課題にきちんと取り組んでください。				

科	目	区	分	基礎分野	科目名	情報科学演習	単 位	1 単位
対	象	学	年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
担	当	教	員	佐伯圭一郎	実務経験関連資格	大分県立看護科学大学 健康情報学	教授	
				コンピュータを		管理の道具として使いこなす方法を理	 解し、コミュニケーション	
目			的	に、看護研究に	必要な統計処理の	D基礎知識について学び、実際にコン	ピュータを使った処理技術	斯を理解する。
								DPへの対応
目			標	1. ネットワー	クの利用方法を理	里解する。		DP3,4,5,6
Н			际	2. ファイル管	理と文書作成にて	ついて理解する。		
				3. 表計算、プ	゚レゼンテーショ	/、統計処理の基礎を理解する。		
授	業	回	数			内容	使用教材	授業に関する
		法			Ţ			準備学習
		1		到達目標		カスキルと知識を身につけ,安全確実		テキストの対応部分
(講	義)			行うことができる	配付資料	を予習すること、ま
				授業予定	コンピュータ	操作の基礎		た「情報科学」の講
								義の対応部分を復習
AA:		2	回	到法口価	1 1/h. 3	、めイソトララ… L 利田の甘土畑塾と	死み 生	しておくこと
第		Z 義		到達目標		トやイントラネット利用の基本知識を; - クサービスを利用できる	未め,女 _ル	"
Ĺ	岬	找	1		+	- クッーヒスを利用できる D利用(1)ネットワークの仕組みと基本		
第		3	回	到達目標	+	物率よく行う技術を身につける, デー		
		義		为定日你	の仕組みが説明		"	"
`	H1 4	-		授業予定	+	・・・ D利用(2)情報検索の技術,データベー	· ス	
第		4	回	到達目標	+	ダベースを理解し、学術論文を検索す		
		義)		基本的記述を具		"	"
				授業予定	ネットワークの	D利用(3)文献データベース		
第		5	回	到達目標	基本的な文書作	作成・編集操作を身につけ, 罫線を用	いた表を	
ĺ	講	義)		作成できる		"	"
				授業予定	文書作成(1)W	ord による文書作成の基本と作表		
第		6	回	到達目標	図なども組み込	込み、全体の構成も考慮した文書作成	ができる	
(講	義)	授業予定	文書作成(2)W	ord による表現力のある文書作成	"	"
第		7	回	到達目標		トの基本操作を行える	"	"
(講	義)	授業予定	プレゼンテージ	ンョン(1)パワーポイントの基本		
第		8	回	到達目標	動画や写真なる	どを加工したプレゼンテーションを作	式できる	
(講	義)	授業予定	· ·	レョン(2)画像・動画処理	"	"
第		9	回	到達目標	24131	こおけるデータ入力や作表などの基本		
Ĺ	講	義	۱	F型게하 그 다	きる ままな(1) E	1.0 甘土坦//5	"	"
Adr-	_			授業予定	表計算(1)Exce		Tota	
		. 0 : ≠		到達目標 一		で計算式や関数を使って,データを加.		22
		義		授業予定	表計算(2)計算	・関数の利用 りやグラフによる1変数の記述統計を?	お貼べき	"
-		1 義		到達目標	数値による安和	117/1/による1変数の記型統計を	夫践でさ _ル	"
Ļ	岬	找	1		-			
笙	1	. 2	同	到達目標	-	「による記述机計 I りやグラフによる 2 変数の記述統計を	実践で	
		義		~1V_ II_M	数値による安か	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	川	<i>1)</i>
`	нга	-~			-	 1による記述統計 2		
第	1	. 3	ョ	到達目標		・検定の手法を表計算ソフトで行える	"	"
		義		授業予定		1による推測統計		
		4		到達目標	+	ゼンテーション,文書作成のソフトウ	ェアを連	
		義				けることができる	"	1)
				授業予定	ソフトウェアの	D連携/総合演習		

第 1 5 回	まとめ
	終講試験 (50分)
成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。
	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。
テキスト	系統看護学講座「看護情報学」医学書院
使用教材 参考図書	
その他	
	IT化の進展は、医療・看護の現場において、患者の所見や検査結果、看護データなどが、電子デ
授業以外の学習方法	ータとして日常的に蓄積され、いつでも、だれでも、容易に利用できるようになりました。情報リ
	テラシーをしっかり学習しましょう。
履修上の留意点	提示した課題には、しっかり取り組んでください。

科目区	分	基礎分野	科目名	社会学	単 位	1 単位
対象学	年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
Des States	1	W → - N □ □	実務経験	長崎県立大学 非常勤講師		l
担当教	貝	松森 武嗣	関連資格	(元) 別府大学 文学部 史学・文化財学科	教授	
目	的	社会の仕組みや	*構成を理解し、ネ	社会的存在としての人間について理解し、社会を	をさまざまな角度	度からとらえること
<u> </u>	н.,	で、人々の多様	き性を認め、多様7	な人々が生きやすい社会について学ぶ。		T
						DP への対応
目	標		みや構成を理解			DP1,2,3,5
			を客観的に理解で	する。 な人々が生きやすい社会について理解する。		
授業回	***	3. 八々の多塚	(住を認め、多様/	は人々が生きやすい社会について理解する。		授業に関する
〔方法				内容	使用教材	単 備 学 習
第 1		到達目標	授業概要の説明	月、戦前の日本社会の特徴を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義)	授業予定	授業概要の説明	月、日本社会の変容(1)戦前を説明する。	=	組む(生活の基本的
						単位、相互扶助な
						ど)
	回	到達目標		代の日本社会の特徴を理解する。	-	課題にきちんと取り
〔講義	J	授業内容	日本社会の変名	客(2)戦後〜1970 年代を説明する。		組む(生存権、農地
第 3	日	 到達目標	1080 年代以路	の日本社会の特徴を理解する。		改革など) 課題にきちんと取り
元講義		型度日保 授業予定		字(3)1980 年代以降を説明する。	_	組む(都市社会の変
\ m. •~		1XX 1 /C		1 (0) 1200 1 1 (0)(17 2 1)(17) 0 0		容など)
第 4	回	到達目標	コミュニティの	D意味を理解する。		課題にきちんと取り
〔講義)	授業予定	コミュニティの	D定義、都市コミュニティの理論などを説明す		組む(概念の内容、
			る。			コミュニティの類型
						など)
	回	到達目標	_	ジ成と社会参加を理解する。 ※は、社会会相談で発明され	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義	J	授業予定	コミュニアイガ	ジ成と社会参加を説明する。		組む(中央社会福祉 審議会の答申など)
						田政芸の日中など)
第 6	回	到達目標	地域福祉の基本	は理念(1)普遍化、統合化を理解する。		課題にきちんと取り
〔講義)	授業予定	地域福祉の基本	は理念(1)普遍化、統合化を説明する。		組む(授業の復習な
						ど)
	回	到達目標	地域福祉の基本	ト理念(2)住民主体の原則、生活の共同化を理		課題にきちんと取り
〔講義	J		解する。		-	組む(授業の復習な
		授業予定	地域福祉の基準	は理念(2)住民主体の原則、生活の共同化を説		ど)
第 8	回	到達目標	地域福祉の内容	なを理解する.	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義		授業予定	地域福祉の内容		10113211	組む(5つの具体的
						内容など)
第 9	口	到達目標	地域福祉の対象	泉を理解する。		課題にきちんと取り
〔講義)	授業予定	地域福祉の対象	泉を説明する。		組む(地域問題とし
Andre at -		7011-1- 1	÷ (b) + 1 = 1 ;	m A) Vi th a mini) a	min 1 New de l	ての生活問題など)
第 1 0		到達目標		里念と沿革を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義	ر	授業予定	一局断有偏低の場	里念と沿革を説明する。		組む(老人福祉法など)
第 1 1	回	到達目標	高齢化の現状と	と将来を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義		授業予定		と将来を説明する。	1	組む(高齢化の特徴
						など)
第 12	回	到達目標	地域福祉の構成	丈(1)-在宅福祉・環境改善サービス-を理解	配付資料	課題にきちんと取り
〔講義)		する。			組む(在宅福祉サー

	授業予定	地域福祉の構成(1)-在宅福祉・環境改善サービス-を説明		ビスの類型化など)	
		する。			
第 13 回	到達目標	地域福祉の構成(2)-組織化活動、共同募金・福祉基金-を	配付資料	課題にきちんと取り	
〔講義〕		理解する。		組む(介護・施設の	
	授業予定	地域福祉の構成(2) – 組織化活動、共同募金・福祉基金 – を		社会化など)	
		説明する。			
第 1 4 回	到達目標	地域福祉の主体-ボランティア活動、社協-を理解する。	配付資料	課題にきちんと取り	
〔講義〕	授業予定	地域福祉の主体-ボランティア活動、社協-を説明する。		組む(ボランティア	
				活動の特質など)	
第 15 回		まとめ			
		終講試験			
成 總 載 価 <i>a</i>	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
从根矸仙。	を平しり伝	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。			
	テキスト				
使用教材	参考図書	系統看護学講座 基礎分野 社会学			
	そ の 他 配布資料				
格 紫 N M	の学習方法	社会の仕組みや構成について学んだことを今の自分にあてはめて、人間の行動や、人と人との関係			
以来以外	シナョカ 仏	性を社会的に理解していきましょう。			
 履修上	の留意点	基礎分野の人間と生活・社会の理解に位置付けられています。様々な角度から人間をとらえ、多様			
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		な人々の生きやすい社会について考えていきましょう。			

当教員 計塚 瑞樹 関連 資格 別府大学 文学部 教職課程 准教授 文化人類学の基本的な考え方を学習することで、人間の物の見方や行動様式の多様性を理解すると同時に、自分か 拠する社会において当たり前となっている考え方を、一歩距離をおいて見つめ直寸視点の獲得を目的とする。人に	科目区分	基礎分野	科目名	文化人類学	単 位	1 単位	
対象 場所	対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間	
例	担当教員	針塚 瑞樹					
	目 的	拠する社会にお	いて当たり前とフ	なっている考え方を、一歩距離をおいて見つめ真	直す視点の獲得を		
内容 使用数材 準 備 学	目 標	2. 自分にとっ	っての「当たり前」	が他者にとっての「当たり前」と異なることを	を理解する。	DP への対応 DP1,2,4,5	
 (講義) 授業予定 授業の進め方について 文化を学ぶ意義について話し合い、理解を深める (講義) 授業内容 文化人類学の学問的特質を説明できる テキスト 提示した予習やでは、 ないて文化人類学を学ぶことの意義はどのようなものかについて考える。 (講義) 関連目標 質的研究とはどのような研究の手法であるか説明できる 使業予定 他者を理解するための手法としての質的研究の特徴を理解する。 (講義) 授業予定 エスノグラフィーとはどのような研究の手法であるか説明できる に取り組む。 (講義) 授業予定 エスノグラフィーとはどのような研究の手法であるか説明できる に取り組む。 (講義) 授業予定 エスノグラフィーの研究の視点と方法について理解する。 (講義) 授業予定 家族の機能・類型とその変化について説明できる に取り組む。 (講義) 授業予定 家族の機能と類型、その変化について理解する 配布資料 に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明で表え、議論する① 取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 	授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習	
文化を学ぶ意義について話し合い、理解を深める	第 1 回	到達目標	文化という概念	念について説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
【 講 義 】 授業内容 文化人類学とはどのような学問であるか理解し、現代社会において文化人類学を学ぶことの意義はどのようなものかについて考える。	〔講義〕	授業予定	20010 10 10 10		配布資料	に取り組む。	
# おいて文化人類学を学ぶことの意義はどのようなものかについて考える。 3 回 到達目標 質的研究とはどのような研究の手法であるか説明できる テキスト 指示した予習や記憶 投業予定 他者を理解するための手法としての質的研究の特徴を理解する。 記 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	·	到達目標	文化人類学の	学問的特質を説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
 【講義】 授業予定 他者を理解するための手法としての質的研究の特徴を理解する。 「講義】 到達目標 エスノグラフィーとはどのような研究の手法であるか説明できる に取り組む。 「講義】 授業予定 エスノグラフィーの研究の視点と方法について理解する。 「講義】 授業予定 家族の機能・類型とその変化について説明できる に取り組む。 「講義】 授業予定 家族の機能と類型、その変化について理解する に取り組む。 「講義】 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 「講義】 できる① 現達目標 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 「講義】 でする① 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 「講義】 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる に取り組む。 「本子スト に取り組む。 「本子スト に取り組む。 「本日本 に取り組む。 「本日本 に取り組む。 「本日本 に取り組む。 「本日本 に取り組む。 「本日本 に取り組む。 「本日本 に取り組む。 	〔講義〕	授業内容	おいて文化人類		配布資料	に取り組む。	
6 4 回 到達目標 エスノグラフィーとはどのような研究の手法であるか説明できる テキスト 指示した予習や記の資料 (講義) 授業予定 エスノグラフィーの研究の視点と方法について理解する。 デキスト 配布資料 に取り組む。 (講義) 授業予定 家族の機能・類型とその変化について理解する 配布資料 に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる(講義) ごの 配布資料 に取り組む。 (講義) 要例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明でいて考え、議論する① で取り組む。 で取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できるのでは、で、現り組む。 デキストの資料 指示した予習や認定の意味を表現を表現 に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できるのでは、現り組む。 デキストの資料 に取り組む。	第 3 回	到達目標	質的研究とはる	どのような研究の手法であるか説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
(講義) きる 配布資料 に取り組む。 第 5 回 到達目標 (講義) 家族の機能・類型とその変化について説明できる テキスト 指示した予習や調に取り組む。 (講義) 授業予定 家族の機能と類型、その変化について理解する 配布資料 に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる(講論する) デキスト 指示した予習や調に取り組む。 (講義) 専例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明でいて考え、議論する① 下キスト 指示した予習や調に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できるのでいて説明できる。 デキスト 指示した予習や調度を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	〔講義〕	授業予定		るための手法としての質的研究の特徴を理解す	配布資料	に取り組む。	
授業予定	第 4 回	到達目標	エスノグラフ	ィーとはどのような研究の手法であるか説明で	テキスト	指示した予習や課題	
(講義) 授業予定 家族の機能と類型、その変化について理解する 配布資料 に取り組む。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる① デキストで取り組む。 授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明でいて考え、議論する① 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② デキストで表す。 指示した予習や認定の事務を表する。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② で取り組む。 で取り組む。 (政業予定) 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② で取り組む。	〔講義〕	授業予定	+				
第6回 到達目標 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる① デキスト 配布資料 指示した予習や認定を表す。 授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明でいて考え、議論する① 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② デキスト 電子スト 電子スト である② 指示した予習や認定を表す。 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② で取り組む。 技業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方につ	第 5 回	到達目標	家族の機能・舞	頁型とその変化について説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
(講義) きる① 配布資料 に取り組む。 第7 回 (講義) 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② 近来予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② 正取り組む。 (講義) 授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方につ に取り組む。	〔講義〕	授業予定	家族の機能と数	頁型、その変化について理解する	配布資料	に取り組む。	
授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方について考え、議論する① 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② で取り組む。	第 6 回	到達目標	現代社会におり	ける家族・親族の多様な在り方について説明で	テキスト	指示した予習や課題	
第 7 回 [講義] 到達目標 現代社会における家族・親族の多様な在り方について説明できる② 指示した予習や記した予習や記した。 (講義) 授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方につ	〔講義〕		きる①		配布資料	に取り組む。	
(講義) きる② 配布資料 に取り組む。 授業予定 事例を基に現代社会における家族・親族の多様な在り方につ		授業予定	7				
	第 7 回 〔講義〕	到達目標	_	ナる家族・親族の多様な在り方について説明で		指示した予習や課題 に取り組む。	
		授業予定					
8 回 到達目標 文化人類学における宗教概念について説明できる テキスト 指示した予習や詞	第 8 回	到達目標	文化人類学に	おける宗教概念について説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
(講義) 授業予定 「宗教」という言葉が幅広い思想や実践を含むことを理解す 配布資料 に取り組む。 る。	〔講義〕	授業予定		う言葉が幅広い思想や実践を含むことを理解す	配布資料	に取り組む。	
7 回 到達目標 トランスナショナルという時代状況と、宗教に対する理解の テキスト 指示した予習や	第 9 回	到達目標	トランスナシ	ョナルという時代状況と、宗教に対する理解の	テキスト	指示した予習や課題	
〔講義〕 重要性について説明できる 配布資料 に取り組む。	〔講義〕		重要性について	て説明できる	配布資料	に取り組む。	
授業予定 トランスナショナル時代状況において、宗教に対する理解が 重要である理由について話し合い、理解する。		授業予定					
育 10 回 到達目標 病気を認識する様式があるとはどういうことか説明できる テキスト 指示した予習や記録	第 10 回	到達目標	病気を認識する	る様式があるとはどういうことか説明できる	テキスト	指示した予習や課題	
〔講義〕 授業予定 病気の認識についての普遍性と多様性について理解する。 配布資料 に取り組む。	〔講義〕	授業予定	病気の認識に	ついての普遍性と多様性について理解する。	配布資料	に取り組む。	
	第 11 回 (講 義)	到達目標		いて病気の観念と治療の制度の観点から説明で		指示した予習や課題 に取り組む。	
授業予定 社会によって異なる病気の観念と医療の制度が関連づけられ 体系化された医療制度のなかで、病気と医療の現象化するこ とを理解する		授業予定	体系化された				
第 1 2 回 到達目標 病気や障害を環境に対する適応/不適応という視点から説明 テキスト 指示した予習や調	第 1 2 回	到達目標	病気や障害を現	環境に対する適応/不適応という視点から説明	テキスト	指示した予習や課題	

〔 講 義 〕		できる	配布資料	に取り組む。		
		発達障がいの事例に基づき、障害の個人モデルと社会モデル				
		の見方を理解する。				
第 13 回	到達目標	「いのち/生命」の認識や表現が文化により異なることを説	テキスト	指示した予習や課題		
〔講義〕		明できる	配布資料	に取り組む。		
	授業予定	生物が生きていることには、客観的な領域と主観的な領域が				
		あり、それらに価値の考え方が関連することを理解する				
第 1 4 回	到達目標	「いのち/生命」のはじまりや存在に関する認識が、文化や	テキスト	指示した予習や課題		
〔講義〕		時代状況によって変化することを説明できる	配布資料	に取り組む。		
	授業予定	事例に基づき「いのち/生命」の誕生をどのように認識する				
		のかは、人々の規範や技術の発展の相互作用により変化する				
		ことを理解する				
第 15 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
 成績証価σ) 基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
从模計画。	- 本年でガム	方法 : コメント 40 点、筆記試験 60 点として評価を行う。60 点未満は再試験とする。				
	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院				
使用教材	参考図書	授業中に提示する。				
	その他	毎授業後に授業の内容に関して考えたことをできるだけ具体的にコメントする。				
授業以外	の学習方法	授業の前に、教科書の該当箇所を精読し、疑問に思うところや	や興味深いところ	<u></u> ろを把握する。		
履修上	の留意点	授業は授業者と受講生と一緒につくるものです。対話をしながら一緒に良い授業をつくりましょ				
度 修 上	の 田 息 点	う。				

科目区	分	基礎分野	科目名	心理学	単位	1 単位
対象学	年	1 学年	学 期	後期	時間	30 時間
担当教	員	麻生 良太	実 務 経 験 関 連 資 格	大分大学 教育学部附属教育実践総合センター	- 准教授	
目	的			c分野で従来積み上げられてきた研究を概観し、 どのように対応すべきか、また、実際になされ		
目	標		要について理解す	⁻ る。 ごのように対応すべきかについて理解する。		DP への対応 Dp1,2
授業回〔方法				内容	使用教材	授業に関する
	回	到達目標	心理学の概要に	こついて理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	ガイダンス 心理学とは を	説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 2	回	到達目標	感覚と知覚の関	見係について理解する。	テキスト	指示した予習、復
(講義)	授業内容			配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 3	回	到達目標	知覚された世界	ママック マップ スティス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイ	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	知覚された世界	、ゲシュタルト心理学を説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 4	回	到達目標	空間・時間の知]覚、対人知覚について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	空間・時間の知	7覚、対人知覚について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 5	回	到達目標	学習と記憶、第	件反射について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	学習と記憶、系	た件反射について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 6	回	到達目標	記憶のメカニス	、、記憶の種類について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	記憶のメカニス	、 記憶の種類について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みましょう
第 7	回	到達目標	感情・情緒・情	動について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	感情・情緒・信	責動について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みまし ょう
第 8	回	到達目標	動機の種類、情	青緒、情動について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定	動機の種類、信	育緒、情動について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みまし ょう
第 9	回	到達目標	情の役割、相互	主主体性について理解する。	テキスト	指示した予習、復
〔講義)	授業予定		Ī主体性について説明する。	配布資料	習、課題についてき ちんと取り組みまし ょう
第 10 〔講義		到達目標	精神発達のプロ 解する。	1セス(1):ピアジェの認知発達理論について理	テキスト 配布資料	指示した予習、復 習、課題についてき
		授業予定	精神発達のプロ明する。	ιセス(1):ピアジェの認知発達理論について説		ちんと取り組みまし ょう

復てま 復てま 復てま 復きし きし きし きし				
ま 復てま 復てま				
復でましてまし				
さし 復てまし				
さ し 復 て ま				
ましてましてまし				
復 てき まし				
てき				
てき、まし				
まし				
復				
~				
てき				
まし				
方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
人間の心の働きについて幅広く学びます。看護援助と密接に関係しています。日頃から、人間の心				
理について考えましょう。				
まし				
よう。				

科目区分	基礎分野	科目名	看護生物学	単 位	1 単位	
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間	
担当教員	西村 靖史	実 務 経 験 関 連 資 格	別府大学 文学部 人間関係学科 教授			
目 的	生命現象の基礎	巻を理解し、生物 学	学の基礎的知識の習得と生物学をとおして人に :	ついて考える視点	点について学ぶ。	
					DP への対応	
目 標	れる生命のミ	ミクロな現象につい	⊂ネルギー、遺伝子の働き、個体発生といった生 いて理解する。 な現象について理解する。	生物体内にみら	DP3	
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学習	
第 1 回	到達目標	生物や生命、生	上命観についての変遷を学び、生命の特徴と生	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕		命科学について	で理解する		を 事前に読んでお	
	授業予定	生命観とその変	7.遷		くこと。・講義内	
		生命と生物学			容や練習問題を復習	
		看護・医療の基	基礎科学としての生物学		しておくこと。	
第 2 回	到達目標	生命体の構造と	と機能について理解する	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕	授業内容	生物学における	5 構造と機能		を 事前に読んでお	
		細胞とその構造	5、細胞の化学成分、細胞膜の輸送		くこと。 ・講義内	
		細菌とウィルス	ζ		容や練習問題を復習	
					しておくこと。	
第 3 回	到達目標	生体維持のエス	トルギーについて生化学的機能について理解す	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕		る		_	を 事前に読んでお	
	授業予定	生体寧の化学原	反応		くこと。・講義内	
		ATP の生合成			容や練習問題を復習	
					しておくこと。	
第 4 回	到達目標		いらだのなりたちについて理解する#01	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕	授業予定	細胞分裂			を事前に読んでお	
		細胞の分化と低	国体のなりたち		くこと。・講義内	
		細胞の老化			容や練習問題を復習	
ᄷ -	到達目標	害仁桂起しるの	○伝達・発言の仕組みについて理解する#01	テキスト	しておくこと。 ・教科書の指定部分	
第 5 回 〔講義〕	授業予定) ナ ムト	を 事前に読んでお	
(神教)	仅未了化	遺伝の法則と刻遺伝情報の担い			くこと。・講義内	
		DNA の複製	77 (DIVA)		容や練習問題を復習	
		DIMIの複数			しておくこと。	
第 6 回	到達目標	遺伝情報とその	○伝達・発言の仕組みについて理解する#02	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕	授業予定	遺伝情報の伝達		=	を 事前に読んでお	
		タンパク質の台			くこと。・講義内	
		遺伝子組み換え	と技術とゲノムの構造解析方法、変異		容や練習問題を復習	
					しておくこと。	
第 7 回	到達目標	遺伝情報とその	O伝達・発言の仕組みについて理解する # 03	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕	授業予定	ヒトの遺伝		1	を 事前に読んでお	
		遺伝子組み換え	この応用		くこと。・講義内	
					容や練習問題を復習	
					しておくこと。	
第 8 回	到達目標	生殖と発生のシ	マカニズムを理解する	テキスト	・教科書の指定部分	
〔講義〕	授業予定	無性生殖と有性	生生殖		を 事前に読んでお	
		動物の授精と発	&生、哺乳類の発生		くこと。・講義内	
					容や練習問題を復習	
				1	しておくこと。	

第 9 回 到達目標	個体の調節機能について理解する	テキスト	・教科書の指定部分			
〔 講義 〕 授業予定	ホメオスタシス	-	を 事前に読んでお			
(各器官系の働き(呼吸、消化、循環、免疫、排出)		くこと。・講義内			
	神経性相関、液性相関、無脊椎動物のホルモン		容や練習問題を復習			
	The second of th		しておくこと。			
第 1 0 回 到達目標	刺激の受容と行動の関係について理解する#01	テキスト	・教科書の指定部分			
〔 講義〕 授業予定	神経系における情報処理、環境の情報とその受容		を 事前に読んでお			
	神経系の情報伝達		くこと。・講義内			
			容や練習問題を復習			
			しておくこと。			
第 1 1 回 到達目標	刺激の受容と行動の関係について理解する#02	テキスト	・教科書の指定部分			
〔講義〕 授業予定	神経系の系統的発達、効果器のはたらき		を 事前に読んでお			
	行動		くこと。・講義内			
			容や練習問題を復習			
			しておくこと。			
第 1 2 回 到達目標	生命の進化と多様性について理解する	テキスト	・教科書の指定部分			
〔講義〕 授業予定	化学進化と生命の起源、生物の多様化と絶滅の歴史		を 事前に読んでお			
	生物の分類と系統、ヒトの起源と進化、進化の仕組み		くこと。・講義内			
			容や練習問題を復習			
May 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	d di verrete		しておくこと。			
第 1 3 回 到達目標	生物と環境のかかわりについて理解する	テキスト	・教科書の指定部分			
[講義] 授業予定	生物の集団、動物の社会、生態系の経済、		を事前に読んでお			
	生態系の物質循環		くこと。・講義内			
			容や練習問題を復習しておくこと。			
第 1 4 回 到達目標	地球環境とヒトの共存について理解する	テキスト	・教科書の指定部分			
(講 義) 授業予定	人間活動による環境への影響、生物多様性の保全	- / + / r	を事前に読んでお			
(時数) 仅未了定	八同位別による保境への影音、主物多体性の体主		くこと。・講義内			
			容や練習問題を復習			
			しておくこと。			
第 1 5 回	まとめ					
	終講試験(50分)					
	- 基進 · 履修規定第 29 条に規定する評価基準に進ずる.					
成績評価の基準と方法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 生物学:医学書院 e テキスト					
使用教材参考図書						
その他						
南 朱 17 岁 ~ 24 四 十 7	高校で生物を選択しなかった人は、高校の教科書や参考書で	事前に基礎的知詞	戦を学習しておくこと			
授業以外の学習方法 	がのぞましいです。					
屋体上の郊寺上	専門基礎分野の解剖生理学を学ぶための基礎的知識を学習す	る科目です。人間	間の体の仕組みについ			
履修上の留意点	て関心を持ち、生きていくための体の部分と全体の働きを学	びましょう。				

科目区分	基礎分野	科目名	感性の哲学	単 位	1 単位		
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間		
	Y 11	実務経験	病院における看護師、助産師経験	I			
担当教員	清岡 佳子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校教員				
	感性の働きを身	- 	欠元から理論的に学び、さらに感性が社会的に	どのような意味を	持ち、表現されてい		
目 的	るかを理解し、	看護実践の基礎	知識として修得し、看護活動に役立つかについ	て考察する。さら	に、さまざまな議論		
	を通して感性の視点で人間の社会性について、感性活動を浮彫にしていくことを目的とする。						
					DP への対応		
	1. 自分自身の)感性に気づき、	自分自身の経験に感性的理論づけを行うことが	できる。	DP1,2		
目 標	2. 私たちの行	f動場面から感性	についてリフレフクションし、感性の視点から(固別性を理解す	DP6		
	る。						
	3. 人間として	ての社会性を感性の	の視点から捉えてみる。	.	DP4		
授業回数			内容	使用教材	授業に関する		
〔方法〕		1 .			準 備 学 習		
第 1 回	到達目標		感性の概要について理解する。(感性とは、感	パソコン使用	今の自分が思うあ		
〔講義〕	15 116 7 4	性の働き)		論文:感性について	るいは、考える感		
	授業予定		性を通じて世界に開かれていることを具体的	(倉橋重史)	性について表現で		
			・痛みなど身体的次元から、感情や気分など	カントの感性	きるよう学習す る。本授業がどの		
			至るまで、感性の働きを理論的に理解し、社 がどのような意味を担わされているか、表現		ように展開するの		
			かるのよりな思味を担わされているが、衣塊を述べることができる。		か、シラバスから		
		340 (4.2 %)	を述べることができる。		概要を理解してお		
					く。		
第 2 回	到達目標	1 感性の	 人体的側面の働きについて説明できる	感性人材の育て方・活かし方	、。 人間の受容器とし		
〔講義〕	22.0		感覚情報についての理解。	感性について	ての解剖生理につ		
(m) 44 /		,	及び平衡感覚、内臓感覚	70.12.	て復習しておく。		
		, , ,	の違いについて説明できる				
	授業内容	1. 感性の人体	本的側面の働きについて理解する。				
		2. 感性と感覚	覚器及び受容器について説明できる。自分自				
		身の感覚を何	作動させてみる。視覚に焦点をあててみる				
第 3 回	到達目標	視覚と感性(神	見覚と感覚器、「みる」の多様性、言語表現:	山上宋二記	見ると観察を関連		
〔講義〕		見かけ)につい	いて説明できる。	「」茶道辞典	づけて学習してお		
	授業予定	鑑賞の見る力、	見ることの意味を事例をとおして「見え		< ∘		
		る」というこ。	とについて説明できる。相手のことがどのよ				
		うにみえるかり	について、ナイチンゲールの相互性の中での				
		見えるについ	て考えることができる。(「目利き」とは?)				
第 4 回	到達目標		徳覚と感覚器、「きく」の多様性について説明	資料配布	きくと、コミュニ		
〔講義〕			表現:馬の耳)について説明できる。		ケーションについ		
	授業予定		ち」について感性論の視点でグループ討議		て学習しておく。		
第 5 回	到達目標		触覚と感覚器、「ふれる」の多様性、)につい	資料配布	触れるとフィジカ		
〔講義〕	哲本コウ	説明できる。) 上		ルアセスメントの		
	授業予定	,	メカニズムについて、触覚が人間へ及ぼす影響		関係について学習		
# (🗔	如李口柵	について理解で	·	次 判 和 	しておく。		
第 6 回 〔講義〕	到達目標		(「におう」の多種) について説明できる。	資料配布	臭うと看護との関 係について学習し		
、 神 我 丿	授業予定		ズムについて、嗅覚が人間へ及ぼす影響につ		保について字習し ておく。		
第 7 回	到達目標	いて述べるこ。	とかできる。 について説明ができる。	各料配 左	味覚と看護との関		
第 7 回 〔講義〕		1,70 12,70,	について説明ができる。 ズムと味覚の多様性について説明できる。	資料配布	味見と有護との関 係について学習し		
、 附 我 丿	授業予定	怀見のメガー/	ヘムL까見の夕怀性についし就明じさる。		「		
第 8 回	 到達目標	平衡咸骨レジ	容器について説明できる。	資料配布	平衡感覚と看護と		
O IHI I	四压口际	日 図心見し又1	ロガロ しょう アンプラング のっ	具作印制	「汚心兄こ何改こ		

		とることの感性の視点		習しておく			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	 人の感性とコミュニケーションについて考えることができる。 「言葉のケア」を深めることの意義について説明ことができる。 	①シュラーの 共感 研究感性とは。②ネット「チャッド「チャッド「チャット」	言葉とコミュニケ ーションを関係づ けて学習してお く。			
	授業予定	患者中心のチーム医療でのコミュニケーションについて	ィルドケアの 言葉」				
第 10 回	到達目標	感情論と気分と日常性について説明できる。	資料配布	自分の感情。気分			
〔講義〕	授業予定	身体のメカニズムと感情との関係、日常生活と感情の変化		について向き合っ てみる。			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	感性の連続性と非連続性の問題について説明できる。感性 の社会・環境的側面について説明できる	資料配布 感性の研究	人と人との絆と感 性がどのように関			
	授業予定	人と人をつなぐものについての感性		係について学習し ておく。			
第 1 2 回 〔講義〕	到達目標	感性の実践的ケアについて理解できる。五感とセルフケア、色彩、アロマなど生活に取り入れ、五感に働きかけ、 体の声を聞くことができる。	資料配布 WHOのセルフケア				
数 1 2 日	授業予定	Q「個々のセルフケアについて。」演習 感性の感度をたかめる方法について理解し、取り組むこと	次业品大				
第 13 回 〔講義〕	到達目標	の必要性について説明できる。	資料配布				
	授業予定	感性能力を高めるための方法を身につける。みる、きく、 ふれる、臭う、味わう、痛み、かゆみなど表現することな どからだ全体を使った感性の磨き方について体験する。					
第 14 回	到達目標	全体まとめ:プロセスレコードによる感性のトレーニング	資料配布	感性力を磨く道具			
〔講義〕	授業予定	知覚(対象が表現したこと、私が感じたり、思ったこと、 私が話したり、行ったことを記述)		としてプロセスレ コードの活用につ いて学習してお く。			
第 15 回		まとめ		筆記試験の準備を			
		終講試験(50分)		しておく。			
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 筆記試験100点満点で、60点以上を合格とします。評価基準は、GPAを参考とし、筆試験80%、授業態度や課題レポートを20%として評価します。					
	テキスト	授業は配布した資料を使用します。					
使用教材	参 考 図 書 の 他	参考図書は授業ごとに提示します。					
授業以外	の学習方法	解剖生理や人間関係論、看護概論と関連付けて学習し、看護実践で感性力を磨いていけるよう学習 してください。					
履修上	の留意点	意 点 授業の出席日数が、3分の2以下の場合は、筆記試験を受ける資格がありません。また、授業中の態度や課題レポートは、20%の評価となっています。提出期限を守ってください。					

科目区	分	基礎分野	科目名	人間関係論 I	単 位	1 単位
対象学	年	1 学年	学 期	前期	時 間	15 時間
1m 1/2 +4%	1		実 務 経 験	放送大学 大分学習センター 所長(特任教	授)	<u> </u>
担当教	貝	古城 和敬	関連資格	大分大学 名誉教授		
目	的	人間関係の諸相	をグループワー:	クをとおして体験し、理解する。		
						DP への対応
_	標	1. 人間関係や	集団過程の諸相	を理解できる。		DP1
目	际	2. グループワ	DP5			
		理解できる	0			
授業回	数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法)			L144	医 用 软 构	準 備 学 習
第 1	回	到達目標	1. 社会心理等	学や集団力学の知見から、人間関係や集団過	配布資料「人	課題学習
〔講義)		程の諸相の-	一端を理解する。	間関係論課題	
		授業予定	1. オリエン	テーション	プリント1」	
			2. 人間関係記	侖とは何か−社会心理学や集団力学の知見か		
			5			
第 2	回	到達目標		7-ク(K J法)をとおして人間関係や集団過程	配布資料	課題学習
〔講義	J			ダーシップやメンバーシップ、集団のまとま	「KJ 法の実習」	
				体験し、理解する。	_	
		授業内容		フークの意義と目的		
				7ークの進め方		
*** -	1		+	7ークの実践(課題提示、ラベルづくり①)	men / Newlet	
第 3	回	到達目標		フークをとおして人間関係や集団過程の諸相	配布資料	課題学習
〔講義	J		,	ップやメンバーシップ、集団のまとまり、協	「KJ 法の実習」	
		松米乙宁	働)を体験し	、理解する。 クの実践(ラベルづくり②)	_	
第 4	ᇤ	授業予定 到達目標		7 の夫政(ノヘルつくり②) 7 ークをとおして人間関係や集団過程の諸相	配布資料	課題学習
第 1 〔講義	回回	判廷日际		リークをとおして八間関係や集団廻程の語相 ップやメンバーシップ、集団のまとまり、協	IL 作員科 「KJ 法の実習」	
(144) 450	,		() () () () () () () () () ()		「八」仏の天日」	
		授業予定		、在所する。 クの実践(ラベル集め、表札づくり①)	-	
第 5	回	到達目標		プワークをとおして人間関係や集団過程の諸	配布資料	課題学習
〔講義		21/21/1/		シップやメンバーシップ、集団のまとまり、	「KJ法の実習」	1 L/VEZ 1 L/
(m, 44				し、理解する。	,	
		授業予定	-	つの実践(ラベル集め、表札づくり②、空間配	1	
		******	置)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
第 6	回	到達目標	1. グループリ	フークをとおして人間関係や集団過程の諸相	配布資料	課題学習
〔講義)		(リーダーシ	ップやメンバーシップ、集団のまとまり、協	「KJ 法の実習」	
			働)を体験し	、理解する。		
		授業予定	グループワーク	つの実践(図解化①、文章化①)	1	
第 7	口	到達目標	1. グループリ	フークをとおして人間関係や集団過程の諸相	配布資料	課題レポートの作
〔講義)		(リーダーシ	ップやメンバーシップ、集団のまとまり、協	「KJ 法の実習」	成
			働)を体験し	、理解する。		
		授業予定	グループワーク	つの実践(図解化②、文章化②]	
第 8	口	到達目標	1. グループリ	7ークをとおして人間関係や集団過程の諸相	配布資料	課題レポートの作
〔講義)		(リーダーシ	ップやメンバーシップ、集団のまとまり、協	「KJ 法の実習」	成
			働)を体験し	、理解する。		
		授業予定	1. グループリ	フークの実践		
			(グループ)	こよる口頭発表と質疑応答)		
			2. 授業のまる	とめ		
成績証	備の	基準と方法	基準 : 履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。		
/火 個 田	ιш ν	金甲しカ仏	方法 :	<u></u>		

	課題レポート 70%	
	口頭発表と図解化作品 20%	
	授業への積極的参加(質疑応答)10%	
	計 60%未満は再試験とする。	
テキスト		
使用教材 参考図書		
その他		
授業以外の学習方法 普段より人との関係性づくりについて関心を持ち、よりよい人間関係とは何かを		
履修上の留意点	グループワークで自分の意見を述べ、相手の考えを聴くなど、グループ・ディスカッションの方法	
履修上の留意点 	を学びましょう。	

対 \$		分	基礎分野	科 目 名	人間関係論 II	単位	1 単位
	象 学	年	1 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
担 :	当教	員	榊原 有紀	実務経験	別府大学 文学部 人間関係学科 講師		
			手港にわけて虫	関連資格	臨床心理士 公認臨床心理士		/の柱と大き巻が ED
目		的		者との関係、医療 構築する能力を身	緊現場での同僚や多職種連携をはかるためのコミ みにつける	. ユークーンョン	7の持り月を子ひ、円
			日本人間内がと	株本チでに月でラ	11 - 17 - 30		DP への対応
_		lower .	1.自己理解、他	者理解について理	2解する。		DP1,4
目		標	2.アサーティブ	な自己表現につい	って理解する。		
			2.傾聴スキルを	理解する。			
	業回			授業に関する			
	方法			T .	内容 	使用教材	準備学習
	1		到達目標		/ョンの機能・目的について理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
l i	講義	ا	授業予定		ての人間について説明する。	配付資料	にきちんと取り組み
44		ᇤ	如李口柵		スコニケーションについて説明する。	ニナット	ましょう
第		回	到達目標		音理解を促進し、関係的自己を体験する。 本理解制度の重要性にのいて説明な行い。	テキスト、	指示した予習や課題
l i	講義	,	授業内容		音理解視点の重要性について説明を行い、コミ ノの体験的学習を行う。	配付資料	にきちんと取り組みましょう
第	3	回	到達目標		り的コミュニケーションについて理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
	講義		授業予定	+	かについて説明する。	配付資料	にきちんと取り組み
` .			12217		単的基盤について説明する。	10117711	ましょう
第	4	回	到達目標	闘病を支える力	間関係を理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
(I	講義)	授業予定	闘病を支える者	音としてのコミュニケーションの在り方や人間	配付資料	にきちんと取り組み
				関係構築の視点	京を体験的に学ぶ。		ましょう
第	5	回	到達目標	看護師としての)アサーションの理論とスキル	テキスト、	指示した予習や課題
(講義)	授業予定	ナースになぜて	?サーションが必要かを説明する。	配付資料	にきちんと取り組み
				DESC 法の説明	目をする。		ましょう
第		回	到達目標	アサーティブコ	コミュニケーションの看護への応用	テキスト、	指示した予習や課題
(講義)	授業予定	授業予定 アサーティブナースになるにはどうしたらよいかを説明す 配付資		配付資料	にきちんと取り組み
				3。			ましょう
- Auto					1ミュニケーションの体験学習。		
第	7		到達目標		への人間関係について理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
l i	講義	ر	授業予定		ームと看護師の役割について説明する。 いいて説明する。	配付資料	にきちんと取り組みましょう
第	8	回	 到達目標		ういて歌切りる。 5コミュニケーションエラーを理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
	講義				ションエラーの体験的学習を行う。	配付資料	にきちんと取り組み
\	NL1 424		汉朱 1 元			配门 其不	ましょう
第	9	回	到達目標	患者心理を理解	平する視点を育む。	テキスト、	指示した予習や課題
([講義)	授業予定	患者体験につい	って説明する。	配付資料	にきちんと取り組み
				看護理論にみる	ら患者・看護師関係を説明する。		ましょう
第	1 0	回	到達目標	受容と傾聴につ	いいて理解を深める。	テキスト、	指示した予習や課題
(į	講義)	授業予定	他者の話を聴く	ことについて考え、体験する。	配付資料	にきちんと取り組み
							ましょう
	1 1		到達目標	1711-	共感的理解について理解する。	テキスト、	指示した予習や課題
(講義)	授業予定	患者の話を共愿	以的に聴くために必要な視点の説明をする。	配付資料	にきちんと取り組み
Ava.	4.5		저나는 🖂 🖼	14, 2 H	크 성 〉 때 과 경상) - 《조현) - 4 숙성 > 11 m/ 11	- 1)	ましょう
	12		到達目標		書者心理を受容し、傾聴する意義を体験的に理	テキスト、	指示した予習や課題
l i	講義	ر	極宏之中	解する。	× 周囲反撲気が難しい車老のと囲み説明	配付資料	にきちんと取り組みましょう
			授業予定		子、人間関係構築が難しい患者の心理を説明、 考える(受容、傾聴、関係性構築)。		x U x J
	1 3	同	 到達目標	ロールプレイを		テキスト、	指示した予習や課題

(講	義〕	授業予定		患者の家族を含めた人間関係を説明し、ロールプレイを用い	配付資料	にきちんと取り組み	
					た体験的学習を行う。		ましょう	
第	1	4	到達目標	į	看護師としての自己像について体験的に理解する。	テキスト、	指示した予習や課題	
(講	義〕	授業予定		ロールプレイを用いた体験的学習を行い、看護師としての自	配付資料	にきちんと取り組み	
					己理解を深める。		ましょう	
第	1	5 E	1		まとめ			
					終講試験(50分)			
<u>⊏8</u> :	上 体 並 左 。 甘 淮 1. 土		у ±:	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。				
JAX.	成績評価の基準と方法		伍	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
テ キ ス ト 系統看護学講座 基礎分野			テキス	ት	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論:医学書院 e テキス	h		
使	用	教材	才 参 考 図	書				
			その	他				
					看護師は看護手技のほかに、対人コミュニケーションのなかな	から他者を理解す	トる視点が求められま	
授	授業以外		外の学習方法	法	す。自分自身のことも大切にしたよりよい看護実践のために、授業内で知ったことを日常にも活用			
					してほしいと思います。			
履	俏	▶上	の留意	点	素朴な疑問を大拙にし、心に浮かんだ質問を遠慮なくしましょう。			

科目区分	基礎分野	科目名	医療英語	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後 期	時 間	30 時間
担当教員	真部 健一	実務経験関連資格	(元)別府大学 短期大学部 教授		
目 的	ている。本授業	美では、看護・医療の	言語の異なる人々とのコミュニケーションに必 D現場で必要とされる英語の語彙や専門用語、 対話練習等の活動をバランスよく学習するこ	会話表現などの	基礎的基本的な英語のけることができる。
目標	を表現できるよ	 ようになる。	5文を理解したり、場面に応じて簡単な英語で 5現を身につけるとともに、英語に対する興味		DP への対応 DP1,2,4
授業回数〔方法〕		内	容	使用教材	授業に関する
第 1 回 〔講義〕	到達目標	2. 英語を通して看を抱くようになる	目標、内容、方法等について理解する。 f護の基本的なことを学習することに、興味 る。	テキスト配布資料	т ин 3
	授業予定	ガイダンス 自己紹介等			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	言えるようになる 2. 看護や医療に係	語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を る。 終る英語の語彙や表現を身につける。 英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理 解に努め、表現問 題の設問に解答す る。
	授業内容	Unit 1 May I hel ・初診受付の流れ ぶ	p You?(p.1~p.3) れを学ぶ① ・症状を伝える基本の表現を学		 英語辞書を活用する。 次回の小テストの準備をする。
第 3 回 〔講義〕	到達目標		英文の内容を理解する。 系る英語の語彙や表現を身につける。	テキスト 配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努
	授業予定	Unit 1 May I hel ・初診受付の流れ ぶ 受付・案内の英語	・症状を伝える基本の表現を学	小テスト	め、設問に解答する。2. 英語辞書を活用する。3. 次回の小テストの準備をする
第 4 回 〔講義〕	到達目標	言えるようになる 2. 看護や医療に係	語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を る。 終る英語の語彙や表現を身につける。 英文の内容を理解する。	テキスト 配布資料 小テスト	1. 会話文の内容理 解に努め、表現問 題の設問に解答す る。
	授業予定		you live? (p.6~p.8) ルを学ぶ② ・初診登録に必要な表現を学ぶ	-	 英語辞書を活用する。 次回の小テストの準備をする。
第 5 回	到達目標	1. 医療に関する芽	英文の内容を理解する。	テキスト	1. リーディング教
〔講義〕	授業予定	Unit 2 Where do	系る英語の語彙や表現を身につける。 o you live? (p.9~p.10) nを学ぶ② ・初診登録に必要な表現を学ぶ 表現(p.77)	配布資料 小テスト	材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書 等を用いて調べ る。
第 6 回	到達目標	1. 看護に係る英語	唇の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理

〔講義〕		言えるようになる。	配布資料	解に努め、表現問
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	小テスト	題の設問に解答す
.		3. 医療に関する英文の内容を理解する。		3.
	授業予定	Unit 4 What Department Do You Want to Visit?		2. 英語辞書を活用
		(p.16~p.18)		する。
		・患者を案内する		3. 次回の小テスト
		・各診療科の名称を学ぶ		の準備をする。
第 7 回	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト	1. リーディング教
〔講義〕		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	配布資料	材の内容理解に努
	授業予定	Unit 4 What Department Do You Want to Visit?	小テスト	め、以下の問いに
,		(p.19~p.20)		解答する。
,		・患者を案内する		2. 語彙、表現の演
		・各診療科の名称を学ぶ(補助教材の活用)		習問題は英語辞書
,				等を用いて調べ
,				る。
第 8 回	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理
〔講義〕		言えるようになる。	配布資料	解に努め、表現問
, ,,,		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	小テスト	題の設問に解答す
,		3. 医療に関する英文の内容を理解する。		3.
, <u> </u>	授業予定	Unit 5 What Are Your Symptoms? (p.21~p.23)		2. 英語辞書を活用
	汉未了足	 ・患者の症状を聞く ・風邪症状の表現を学ぶ 		する。
,		窓 目の症状を同く 風の症状の状況を予め		3. 次回の小テスト
,				の準備をする。
第 9 回	刘孝口捶	1 医病,即より苦力の中央も無知より	テキスト	1. リーディング教
	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。		
〔講義〕	Les Mir. et al.	2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	配布資料	材の内容理解に努
	授業予定	Unit 5 What Are Your Symptoms? (p.24~p.25)	小テスト	め、以下の問いに
,		・患者の症状を聞く・風邪症状の表現を学ぶ		解答する。
		病気の症状に関する表現の学習(P.77~p.78/補助教材の活		2. 語彙、表現の演
,		用)		習問題は英語辞書
				等を用いて調べ
				3.
第 10 回	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理
〔講義〕		言えるようになる。	配布資料	解に努め、表現問
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	小テスト	題の設問に解答す
		3. 医療に関する英文の内容を理解する。		る。
	授業予定	Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.26~p.28)		2. 英語辞書を活用
		・薬の処方について学ぶ・服薬指示の表現を学ぶ		する。
,				3. 次回の小テスト
				の準備をする。
第 11 回	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。	テキスト	1. リーディング教
第 11 回 〔講義〕	到達目標	1. 医療に関する英文の内容を理解する。 2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	テキスト配布資料	
	到達目標授業予定			1. リーディング教
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30)	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活	配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書 等を用いて調べ
〔講義〕	授業予定	2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習(p.79~p.80/補助教材の活用)	配布資料 小テスト	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書 等を用いて調べ る。
第 1 2 回	授業予定	2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活用)1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を言えるようになる。	配布資料 小テスト テキスト	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書 等を用いて調べ る。 1. 会話文の内容理 解に努め、表現問
第 1 2 回	授業予定	2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。Unit 6Take One Tablet Three Times a Day (p.29~p.30) 薬に関する表現についての学習 (p.79~p.80/補助教材の活用)1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	配布資料 小テスト テキスト 配布資料	1. リーディング教 材の内容理解に努 め、以下の問いに 解答する。 2. 語彙、表現の演 習問題は英語辞書 等を用いて調べ る。 1. 会話文の内容理

		・外科診療の流れを学ぶ ・痛みを表す表現を学ぶ		する。
				3. 次回の小テスト
				の準備をする。
第 13 回	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理
〔講義〕		言えるようになる。	配布資料	解に努め、表現問
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	小テスト	題の設問に解答す
		3. 医療に関する英文の内容を理解する。		る。
	授業予定	Unit 9 Ley's Check Your Daily Activities (p.41~p.43)		2. 英語辞書を活用
		・問診の流れを学ぶ・生活習慣を伝える表現を学ぶ		する。
				3. 次回の小テスト
				の準備をする。
第 14 回	到達目標	1. 看護に係る英語の対話文の概要を聞き取ったり、重要表現を	テキスト	1. 会話文の内容理
〔講義〕		言えるようになる。	配布資料	解に努め、表現問
		2. 看護や医療に係る英語の語彙や表現を身につける。	小テスト	題の設問に解答す
		3. 医療に関する英文の内容を理解する。		る。
	授業予定	Unit 10 Ley's Check Your Pulse and Blood Pressure?		2. 英語辞書を活用
		(p.46~p.48)		する。
		・診療前の計測を行う・・計測に関する表現を学ぶ		
		検査・診察に関する表現についての学習(p.78~p.79)		
第 15 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
よりをお供り	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
灰痕計価の	· 基 华 C 刀 伝	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
	テキスト	Check-Up! Basic English for Nursing 基礎から学ぶやさしい看	護英語:樋口昭	日彦/John Tremarco
 使 用 教 材	<i>)</i>	著 金星堂		
15年 用 教 初	参考図書			
	その他			
		看護の現場で異文化間の人との交流を行うために必要な、基礎	楚的・基本的な	英語能力を身につけ
授業以外	の学習方法	る科目です。授業で学習した語彙や表現、対話文等については、	何度も音読し	暗唱するようにして
		ください。		
房 & L	の留意点	高校までに学習した英語の知識を活用し、読解力、聴解力、会話	話力の伸長を目	指します。予習は必
/ 使 /16/上	の留息点	ず行って授業に臨んでください。英語の辞書は必ず持参してくた	ださい。	

科	目	区	分	基礎分野	科目名	スポーツ生理学	単 位	1 単位
対	象	学	年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担	当	教	員	長野 力	実務経験 関連資格	別府大学 健康センター所長 看護師養成所 健康運動指導士	講師経験	
目			的	現代における優して学ぶ。	建康のあり方につい	いて考察し、健康を保持・増進し、体力向上の	ための具体的方法	
目			標		と送るためにスポー Oための具体的方法	-ツとの関係を理解する。 去を理解する。		DP への対応 DP3
		回法				内容	使用教材	授業に関する
第		1	回	到達目標	健康生活を送る	るためにスポーツとの関係を理解する。	配布プリン	基本的な生活習慣を
(講	義)	授業予定		₹観の重要性、スポーツの意義、体力測定結果 などについて説明する。 - ト調査	ŀ	身につけること。
第	- :	2	回	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業内容	ストレッチ体持	桑、バレーボール	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	;	3	口	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	製、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	4	4	口	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	禄、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	!	5	回	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	農、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	(6	回	到達目標	体力向上のため	りの具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体技	R、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	•	7	回	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	湿、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	1	8	回	到達目標	体力向上のため	りの具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	自体重によるト	、レーニング方法のあり方や道具を使っての運	必要器具	身につけること。
					動について実践	桟及び理解する。	体操服準備	
第	9	9	回	到達目標	体力向上のため	めの具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	梨、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服	身につけること。
第	1	0	口	到達目標	体力向上のため	の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	R、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	1	1	回	到達目標	体力向上のため	りの具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体技	点、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	1	2	回	到達目標	体力向上のため	りの具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(演	習)	授業予定	ストレッチ体持	農、バレーボール、バトミントン	必要器具 体操服準備	身につけること。
第	1	3	回	到達目標	体力向上のため	5の具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
ζ	演	習)	授業予定	ストレッチ体搏	農、バレーボール、バトミントン	必要器具	身につけること。
							体操服準備	

第	1	4	到達目標		体力向上のための具体的方法を理解する。	体育館	基本的な生活習慣を
(〔演習〕 授業予定			体力測定まとめ	必要器具	身につけること。	
						体操服準備	
第	1	5 E	1		まとめ	体育館	基本的な生活習慣を
					終講試験(50分)	必要器具	身につけること。
					健康度アンケート	体操服準備	
43	结	₹	の基準と方	壮	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
双	쩭	計 1叫	の基準で力	広	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
			テキス	ŀ	けんこうストレッチング 運動のすすめ (講師著)		
使	用	教材	参考図	書			
			その	他			
松	來	N A	の学習す	淮	この科目は基礎分野の人間と生活・社会の理解に位置付けられ	1ています。生涯	E健康な生活が送れる
1又	未	以 ク	メ 外 の 学 習 方 法 よう実践をとおして創造と活用能力を養いましょう。				
					自ら健康観を持ち、スポーツ文化に親しんでください。将来看		ための基礎体力の向
履修上の留意点 上に務めることができるよう理論と習慣を学んでください。その体験が他者の健康を表				健康を考えることに			
					つながります。		

専門基礎分野

授業計画

専門基礎分野は、人体の構造と機能、疾病の成り立ち、回復の促進、健康支援と社会保障制度に分類し、総計 21 科目(22 単位)で構成します。人体の構造と機能では、看護学の観点から人体の構造や生命を維持するためのしくみを系統的に理解します。また、看護における観察力や判断力につなげるため、疾病の成り立ち・回復の促進では健康・疾病・障害・生活に関する基本的知識を身につけます。健康支援と社会保障制度では、人々が健康や障害の状態に応じて社会資源を活用しながら生活していくことを支援するため、保健・医療・福祉に関する基本的な知識を身につけます。また、臨床心理では、基礎分野で学習した人間関係論の知識を活用しながら援助的人間関係を築くための方法を学び、人々の健康を支援するために欠かせない専門的コミュニケーションの技術を養うための基盤をつくります。

科目区分	専門基礎分野	科目名	解剖生理学 I	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
		実務経験	病院における看護師経験		
担当教員	小林 恭子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員	Į	
H 44	解剖生理学では	、疾病・病態等	を学ぶ上での重要な基礎となるだけでなく、ネ	旨護実践の科学的	対根拠となりうるため
目	人体の基本的な	成り立ちを学ぶ。			
					DPへの対応
	1. 正常な人体	の構造と機能に	ついての基本を理解する。		DP3
目 標	2. フィジカル	アセスメントお	よび日常生活の営みを支える看護に必要な人体	本の構造と機能	
	について基本				
	3.疾病の成り	立ちを知る前提	となる人体の構造と機能についての基本を理解	犀する。	
授業回数			内容	 使 用 教 材	授業に関する
〔方法〕		1			準備学習
第 1 回	到達目標	+	基礎知識を理解する	テキスト	
[〔講義〕	授業予定	1. ガイダン		P27∼	
			告と機能を学ぶ目的を説明する。		
M	71)+ P [II		造と機能について説明する。	_ , ,	
第 2 回	到達目標		基礎知識を理解する	テキスト	
〔講義〕	授業内容		層性について説明する。	P8∼	
			細胞がつくる組織について説明する。		
第 3 回	刘泽口锤		メオスタシスについて説明する。	テキスト~	
第 3 回 〔講義〕	到達目標 授業予定		おける構造と機能について理解する。 ・唾液腺・咽頭・喉頭・食道の構造と機能に	P56~	
(時秋)	[汉未了及	1. 圏・口腔 ついて説明~		130	
			,る。 下のメカニズムについて説明する。		
第 4 回	到達目標		構造と機能について理解する。	テキスト~	
〔講義〕	授業予定		と機能について説明する。	P67~	
\ m, 42	12米 1 元		告と機能について説明する。		
			造と機能について説明する。		
第 5 回	到達目標		萃臓・腹膜の構造と機能について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 肝臓・胆道	・膵臓・腹膜の構造と機能について説明する。	P84∼	
第 6 回	到達目標	呼吸器の構造は	こついて理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 呼吸器の	構造について説明する。	P96∼	
第 7 回	到達目標	呼吸運動につい	いて理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 内呼吸とタ	外呼吸について説明する。	P108∼	
		2. 呼吸器と呼	乎吸運動について説明する。		
		3. 呼吸気量に	こついて説明する。		
第 8 回	到達目標	ガス交換と呼吸	及の調節について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. ガス交換。	とガスの運搬について説明する。	P116∼	
		2. 肺の循環。	と血流について説明する。		
		3. 呼吸運動	D調節について説明する。		
第 9 回	到達目標		幾能について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定		成と機能について説明する。	P126∼	
		1	パク質と赤血球沈降速度について説明する。		
			国と線維素溶解について説明する。 - ハーボ明オス		
Adr 1 0 □	전나무 니 급류	ļ	ついて説明する。	-1-,	
第 10 回	到達目標		機能について理解する。	テキスト - D150-	
〔講義〕	授業予定		の構成と心臓の構造について説明する。 4 継能について説明する	P150∼	
佐 1 1 🗔	初幸口冊		出機能について説明する。 ************************************	テキット	
第 11 回 〔講義〕	到達目標	木梢循環糸の植ついて理解する	構造と機能について理解する。特殊な循環に z	テキスト D175a	
、碑 我		フいく理解する	ు	P175∼	

	授業予定	1. 血管の構造について説明する。		ļ
		2. リンパとリンパ管について説明する。		
		3. 門脈系・脳循環・胎児・胎盤の血液循環について説明		
		する。		
第 12 回	到達目標	血液の循環調節のしくみについて理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 血液の循環の調節(血圧、血液の循環、血圧・	P187∼	
		血流量の調節、微小循環)について説明する。		
第 13 回	到達目標	腎臓の構造と機能について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 腎臓の構造と機能について説明する。	P210∼	
		2. 傍糸球体装置について説明する。		
		3. 尿の生成について説明する。		
第 14 回	到達目標	排尿路の構造と機能について理解する。	テキスト	
〔講義〕		体液の調節について理解する。	P225∼	
	授業予定	1. 排尿路の構造について説明する。		
		2. 尿の貯蔵と排尿について説明する。		
		3. 体液の調整について説明する。		
第 15 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
一成績越無の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
/人順 田 回り	本年 こ 万 仏	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
	テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖	上理学:医学書院 e テキス	スト
使用教材	参考図書			
	その他	ビジュランクラウド		
授業以外の	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上。	の留意点			

科目区	分	専門基礎分野	科目名	解剖生理学Ⅱ	単 位	1 単位
対象学	年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
10 V 44	=	고대판 축구	実 務 経 験	病院における看護師経験		•
担当教	貝	羽田野 京子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目	的	解剖生理学では、	、疾病・病態等を	と学ぶ上での重要な基礎となるだけでなく、看護	実践の科学的材	艮拠となりうるため人
п	пy	体の基本的な成	り立ちを学ぶ。			
						DP への対応
		1. 正常な人体	の構造と機能につ	ついての基本を理解する。		DP3
目	標	2. フィジカル	アセスメントおし	てび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の	構造と機能に	
		ついて基本を				
		3.疾病の成り	立ちを知る前提と	: なる人体の構造と機能についての基本を理解す	~る。	
授業回				内容	使用教材	授業に関する
〔方法 第 1	<u>」</u> 回	到達目標	神怒玄の構造!	:機能について理解する。	テキスト	準備学習
元 講義		授業予定	1.ガイダンス	一成化にフィーと左所する。	7171	
(1973 - 45%	,	1人来 1 元		神経組織について説明する。		
				の分類と機能・構造について説明する。		
第 2	回	到達目標		精造と機能について理解する。	テキスト	
〔講義		授業内容	+	: 脳神経の構造と機能について説明する。		
	•			後能について説明する。		
第 3	回	到達目標	感覚と運動の伝	5. 導路について理解する。	テキスト	
〔講義)	授業予定	1. 運動機能と	: 下行伝導路について説明する。		
			2. 感覚機能と	: 上行伝導路について説明する。		
			3. 痛み(疼痛	前)の分類と発生機序について説明する。		
第 4	口	到達目標	骨格・関節の刑	/態と構造と機能について理解する。	テキスト	
〔講義)	授業予定	1. 人体の骨格	8の構造と組成について説明する。		
			2. 骨の連結	(関節、不動性の連結)について説明する。		
			3. 骨格筋の構	清造と作用および神経支配について説明する。		
第 5	回	到達目標	体幹・上肢・丁	「肢の骨格と筋について理解する。	テキスト	
〔講義)	授業予定		E、胸郭、背部、胸部、腹部)の骨格と筋につ		
			いて説明する			
				上肢帯、上腕、前腕、手)の骨格と筋群および		
				こついて説明する。		
				骨盤(下肢帯、大腿、下腿、足)の骨格と筋群 の運動について説明する。		
第 6	回	到達目標		:筋について理解する。	テキスト	
(講義		月建日保		るについて理解する。	7 1 7 1	
(M1 4×			744 0 71111	骨格と筋について説明する。		
		2010 470		機構、種類と特性について説明する。		
			3. 不随意筋の)収縮の特徴が説明できる。		
第 7	回	到達目標	自律神経の調質	うについて理解する。	テキスト	
〔講義)	授業予定	1. 自律神経に	こよる調節について説明する。		
第 8	口	到達目標	内分泌系による	5調節について理解する。	テキスト	
〔講義)		内分泌器官の構	着造とホルモンの機能について理解する。		
		授業予定	1.内分泌系によ	る調節について説明する。		
第 9	回	到達目標		青造とホルモンの機能を理解する。	テキスト	
〔講義)	授業予定		下垂体系の構造と機能を説明する。		
				川甲状腺(上皮小体)の構造と機能を説明する。		
			+	肾、性腺などの構造と機能を説明する。 		
第 10		到達目標		きと機能について理解する。 	テキスト	
〔講義	J	授業予定	1. 眼の構造と	: 視覚について説明する。		

第	1	1	回	到達目標	感覚器系の構造と機能について理解する。	テキスト	
(講	義)	授業予定	1. 味覚と嗅覚について説明する。		
					2. 耳の構造と聴覚・平衡覚について説明する。		
第	1	2	回	到達目標	防御機能と適応について理解する。	テキスト	
(講	義)	授業予定	1. 皮膚の構造と機能について説明する。		
					2. 生体の防御機構について説明する。		
第	1	3	回	到達目標	体温調節について理解する。	テキスト	
(講	義)	授業予定	1. 熱の出納と体温調整について説明する。		
第	1	4	回	到達目標	生殖器系の構造と機能について理解する。	テキスト	
(講	義)		受精と発生について理解する。		
				授業予定	1. 男性生殖器系の構造と機能について説明する。		
					2. 女性生殖器系の構造と機能について説明する。		
					3. 受精と胎児の発生について説明する。		
第	1	5	回		まとめ		
					終講試験(50分)		
4	结	郵 6	# <i>a</i>	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
从	쩭	at 1	ЩУ	/ 基単こガ伝	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
				テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生	理学:医学書院	e テキスト
使	用	教	材	参考図書	ビジュランクラウド		
				その他	配布資料		
授	業	以	外	の学習方法	指定した範囲の教科書を事前に読んでおくこと。		
履	俏	<u> </u>	Ŀ.	の留意点			

科目区:	分 専門基礎	分野 科 目 名	生化学	単位	1 単位
対象学	年 1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教	藤岡 竜	実務経験 関連資格	別府大学短期大学部 食物栄養科 准教	7授	
目	的 くの現象な が維持され	が存在する。どのよう	・ ら理解することを目指す学問である。医療 にして医薬品が効くのか、どのようにして 解するためには、生化学の知識を欠かすこ 解する。	病気になるのか、どの	Oようにして生命活動 ごは、看護師として必
目	代謝につ	を構成する糖質や脂質、 ついて理解する。 子における基礎知識を	、タンパク質、核酸を中心に、構造と機能 理解する。	き、および	DP への対応 DP 3
授業回			内容	使用教材	授業に関する
	回 到達目	標細胞の構造と		テキスト	1 H T I
〔講義〕		定 1. ガイダン 2. 生化学を 3. 生体の化 ²			
第 2 〔講義〕	到達目	容 1. 代謝と生 2. 酵素の基	の役割を理解する。 体のエネルギーについて説明する。 礎知識について説明する。 応速度、酵素の阻害について説明する。"	テキスト	
第 3	可 到達目:		はたらきについて理解する。	テキスト	栄養学で学んだ内容
〔講義〕		定 1. 糖質につ	いて説明する。 糖、多糖の構造と機能について説明する。	7 (7)	を確認しておくとよい。
第 4 〔講義〕	回 到達目 授業予	定 1. 糖質の消 2. 糖質の分	代謝について理解する。 化と吸収について説明する。 解や代謝について説明する。 に関する遺伝性疾患について説明する。	テキスト	栄養学で学んだ内容 を確認しておくとよ い
第 5 〔講義〕	回 到達目 授業予	標脂質の種類と	はたらきについて理解する。 造と機能について説明する。	テキスト	栄養学で学んだ内容 を確認しておくとよ
第 6	回 到達目	標生体内の脂質	代謝について理解する。	テキスト	栄養学で学んだ内容
〔講義〕	授業予	2. 脂質の分類	化と吸収について説明する。 解や合成について説明する。 に関する遺伝性疾患について説明する。		を確認しておくとよい
第 7 〔講義〕	回 到達目 授業予		種類とはたらきについて理解する。 質、アミノ酸の構造と機能について説明す	テキスト	栄養学で学んだ内容 を確認しておくとよ い
第 8 〔講義〕	回 到達目 授業予	定 1. タンパク!	パク質代謝について理解する。 質の消化と吸収について説明する。 の分解や合成について説明する。	テキスト	栄養学で学んだ内容 を確認しておくとよ い
第 9 〔講義〕	回 到達目] 授業予	標 生体内のポルる。	フィリン代謝および異物代謝について理解リン代謝と異物代謝について説明する。	デキスト	
第 10 〔講義〕		する。 定 1. 遺伝子の	A)の構造の特徴と RNA との違いについて基 基礎知識について説明する。	里解 テキスト	
Mr. 4 1	70+ P		造と機能および代謝について説明する。	- 1	
第 11	回 到達目	悰 ┃ DNAの遺伝	情報について理解する。	テキスト	

〔講義〕	授業予定	1. 遺伝子の複製・修復・組換えについて説明する。		
第 1 2 回	到達目標	遺伝子情報からタンパク質が作られるまでの流れを理解す	テキスト	
〔講義〕		る。(1)		
	授業予定	1. 転写の基礎知識について説明する。		
第 13 回	到達目標	遺伝子情報からタンパク質が作られるまでの流れを理解す	テキスト	
〔講義〕		る。(2)		
	授業予定	1. 翻訳の概要とメカニズムについて説明する。		
		2. 翻訳後修飾について説明する。		
第 14 回	到達目標	1. 正常な細胞のさまざまなシグナル伝達の過程を理解す	テキスト	
〔講義〕		ప .		
		2. がんの発生機序と化学療法について理解する。		
	授業予定	1. シグナル伝達の概要と機序について説明する。		
		2. 内分泌の生化学的基盤について説明する。		
		3. がんの性質と細胞周期について説明する。		
		4. がん薬物療法について説明する。		
第 15 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
成績評価	の基準と方法	方法 : 終講筆記試験 60% 小テスト 30% 授業態度	10% 全体で 6	0 %未満は再試験と
		する。		
	テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔2〕生化学	:医学書院 e テ	キスト
使用教材	参考図書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔3〕栄養学	:医学書院 e テ	キスト
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上	の 留 意 点			

科目区分	専門基礎分野	科目名	病理学総論	単 位	1 単位		
対象学年	1 学年	学期	前期	時間	15 時間		
担当教員	局 敏郎	実務経験	医師	HJ IEJ	10 10 [1]		
担当教員	/印 英区内	関連資格					
目 的	因や成り立ち、独	正状について理 対について理解	から逸脱する場合の様々な症状・徴候のメカニン 解する。また、臓器、組織、細胞の変化としての	の病変について学	坐習し、疾病の成り立		
			やの器官に生じる病気ごとの原因や病気の成り」 看護師が知っておくべき最低限の知識を学ぶ。	立ちなどの特徴も	理解する。また、病 DP への対応		
	1 病気の原因	レ 病因に其づ。	く疾患の分類を理解できる。		DP3		
	- 1 7,3210 - 23,12	- 1 /11	ら、進展あるいは治癒経過などを学習し、病気と	トは何かを理解	DP3		
目 標	できる						
	3. 人体の構造。	と機能において、	正常から逸脱する場合の様々な症状・徴候の	メカニズムに共	DP3		
	通する現象を迅	理解できる。					
	4. 病理検査に	ついて、看護師る	としての役割を理解できる。		DP3,4,5		
授業回数			内容	使用教材	授業に関する		
〔方法〕			114	区加级和	準 備 学 習		
第 1 回	到達目標	病理学で学ぶる	ことを理解する。	テキスト			
〔講義〕	授業予定		ス 2. 看護と病理学、病気の原因(内因、外				
			医原病、職業がん)、病気の分類と病理学の学				
<i>M</i> r 0 □	加土口無	び方について記		1			
第 2 回	到達目標		ついて理解する。	テキスト			
し 神 我 」	授業内容		適応(細胞損傷の原因、適応現象(萎縮、肥大 死(壊死、アポトーシス)、細胞と組織の変				
			光(袋光、ケボドーンへ)、 和心と相様の复 复と創傷治癒障害について説明する				
第 3 回	到達目標	循環障害につい		テキスト			
〔講義〕	授業予定		うっ血、出血、血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、	1			
	3231472		る障害、ショック、高血圧症、DICについて				
		説明する					
第 4 回	到達目標	炎症と免疫、こ	アレルギーや自己免疫疾患、膠原病について理	テキスト			
〔講義〕		解する。					
	授業予定		頂、免疫と免疫不全、アレルギーと自己免疫疾				
		患、移植と再生	上医療について説明する				
第 5 回	到達目標	代謝障害につい	って理解する。	テキスト			
〔講義〕	授業予定		タンパク質代謝障害、糖尿病、そのほかの代				
	70+ P F	謝障害について		-, ,			
第 6 回	到達目標		F異常と遺伝子異常について理解する。	テキスト			
〔講義〕	授業予定		ど年症候群、加齢に伴う諸臓器の変化、個体の 寮、遺伝の生物学、先天異常、遺伝子の異常と				
			常、遺伝の生物子、元人共吊、遺伝丁の共吊と常・遺伝子異常の診断と治療について説明する				
第 7 回	到達目標	疾患、几人共 腫瘍について5		テキスト			
(講義)	授業予定		ナ州 する。 分類、悪性腫瘍の広がりと影響、腫瘍の発生病	7471			
(m1 424)	[X.] . L		所と治療について説明する				
第 8 回		まとめ 終講詞					
成績評価の	基準と方法		規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
	テキスト		至 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進	〔1〕病理学:图	 医学書院 e テキスト		
使用教材	参考図書	III RA 7 HIT/-					
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	そ の 他						
授業以外	の学習方法		書を事前に読んでおくこと。				
履修上	の留意点						

1	科目区分	専門基礎分野	科目名	症候論 I	単 位	1 単位
日 1	対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
関連	10 W # E		実務経験	病院における看護師経験	•	
	也 当 教 貝	小州 恭于	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
Test		身体を構成して	いる細胞・組織	・器官が形態や生理機能に異常な変化が生じる	ことで引き起こさ	される症状や徴候を学
Temperature	目 的	ぶ。さらにその	損なわれた生理	機能を回復したり、失われた機能を補填したり [、]	するにはどうすオ	ιばよいのかを考える
1、各種機能障害の原因・メカニズム・種類・症状を理解する 1 回 数		ことで、治療や	看護につなげる。			
1. 各種機能解害の原因・メカニズム・種類・症状を理解する						DP への対応
第 1 回		1. 各種機能障	害の原因・メカ	ニズム・種類・症状を理解する	1	,
第 1 回 (講義) 到達目標 授業予定 看護における症状のマネジメントについて説明する。 1. ガイダンス 2. 症状マネジメントと看護実践モデルについて説明する。 する。 4. 呼吸用難・呼吸不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解 する。 2. 呼吸困難の原因・メカニズム・随伴症状について説明する。 2. 呼吸困難の原因・メカニズムと特徴・種類・症状 を理解する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 有的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 有的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 3. チアノーゼの原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 4. 企業の分類・原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 5. 企業の分類・原因・メカニズムと特徴・随件症状について説明する。 2. 貧血の分類・原因・メカニズムと特徴・随件症状について説明する。 3. チアノーゼの定義と原因・分類について説明する。 5. 企業の原因・メカニズムと特徴・活発の ず、品曲傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因 チ、出曲傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因 チ、出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・活発の チ、出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・活発の チ、出血傾の分類・原因・メカニズムと特徴・活発の チ、出血傾の分類・原因・メカニズムと特徴・活発の チ、出血傾のが無ないのて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状と切て説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 5. デキスト② 第 7 回 (講義) 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 た不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 ・不全の原因を達による分類と発生メカニズムと 特徴・随伴症状ついて説明する。 2. 心不全の原因を達による分類と発生メカニズムと 特徴・随伴症状ついて説明する。 テキスト②				内容	使用教材	
(講義) 授業予定 1. ガイダンス 2. 症状マネジメントと看護実践モデルについて説明 する。		到達目標	看護における !	記状のマネジメントについて理解する ₋	テキスト①	平 加 子 百
第 2 回 到達目標 呼吸困難・呼吸不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解 する。 第 3 回 (講義) 投業內容 1. 呼吸困難・呼吸不全の原因・メカニズム・随伴症状について説明する。 デキスト① 第 4 回 到達目標 吸吸・喀痰・喀血の原因・メカニズムと特徴・種類・症状 を理解する。 アキスト① 第 5 回 (講義) 投業予定 1. 咳嗽・喀痰・喀血の分類・原因・メカニズムと特徴、症状を理解 する。 アキスト① 第 6 回 (講義) 投業予定 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 第 6 回 到達目標 日血傾向と黄疸の原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 アキスト① 第 6 回 到達目標 日出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			+			
# 2 回 到達目標 呼吸困難・呼吸不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解 テキスト① する。	(111 424)	汉朱 1 元			, , , , , ,	
# 2 回 到達目標 呼吸困難・呼吸不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解 する。						
(講 義) 授業内容 1. 呼吸器の構造と機能について説明する。 2. 呼吸困難の原因・メカニズム・随伴症状について説明する。 2. 呼吸困難の原因・メカニズムと特徴・種類・症状	第 2 回	到達目標	呼吸困難・呼吸	及不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解	テキスト①	
第 4 回	第 3 回		する。		テキスト②	
第 4 回 (講義) 到達目標 咳嗽・喀痰・喀血の原因・メカニズムと特徴・種類・症状 を理解する。 テキスト① テキスト② デキスト② 接業予定 1. 咳嗽・喀痰・喀血の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 デキスト② デキスト② デキスト② デキスト② デキスト② デキスト② デキスト② デキスト② (講義) 第 5 回 (講義) 到達目標 対面とチアノーゼの原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 デキスト② (講義) 第 6 回 (講義) 型達目標 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 デキスト② ジェスムと特徴・症状のいて説明する。 第 7 回 (講義) 型達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 デキスト① デキスト② 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 デキスト① デキスト② デキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと 特徴・随伴症状ついて説明する。 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと 特徴・随伴症状ついて説明する。	〔講義〕	授業内容	1. 呼吸器の	構造と機能について説明する。		
第 4 回 (講義) 到達目標 咳嗽・喀痰・喀血の原因・メカニズムと特徴・種類・症状 を理解する。 テキスト① テキスト② 授業予定 1. 咳嗽・喀痰・喀血の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状を理解 する。 デキスト① テキスト② 第 5 回 (講義) 到達目標 する。 資血とチアノーゼの原因・メカニズム・種類・症状を理解 する。 デキスト② デキスト② 授業予定 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 アキスト② デキスト② 第 6 回 (講義) 到達目標 表面傾向と黄疸の原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 アキスト① アキスト② デキスト② 第 7 回 (講義) 型達目標 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 アキスト② アキスト② 第 7 回 (講義) 型達目標 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状を理解する。 アキスト① アキスト② 第 7 回 (講義) 砂薬予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 アキスト② 2. 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状を理解する。 アキスト② 2. 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状を理解する。 アキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 アキスト②			2. 呼吸困難	の原因・メカニズム・随伴症状について		
 (講義) 技業予定 1. 咳嗽・喀痰・喀血の分類・原因・メカニズムと特徴、 随伴症状について説明する。 2. 病的呼吸の分類・原因・メカニズムと特徴、症状について説明する。 (講義) 類達目標 貧血とチアノーゼの原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 投業予定 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 2. 貧血の分類・原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 3. チアノーゼの定義と原因・分類について説明する。 第 6 回 到達目標 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 技業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 (講義) 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 (講義) 技業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 (講義) 技業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 (非義) 			説明する。			
授業予定	第 4 回	到達目標	咳嗽・喀痰・	客血の原因・メカニズムと特徴・種類・症状	テキスト①	
第 5 回 (講義) 到達目標 (食血とチアノーゼの原因・メカニズムと特徴、症状を理解 する。 テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 アキスト② テキスト② (講義) 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 アキスト② (講義) 2. 貧血の分類・原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 アキスト① テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 7. 出血傾向と黄疸の原因・メカニズムと特徴・誘発因 チ、出血時の症状ついて説明する。 アキスト② デキスト② デキスト② (講義) 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 アキスト① テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 アキスト① テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 アキスト②	〔講義〕		を理解する。		テキスト②	
第 5 回 (講義) 到達目標 貧血とチアノーゼの原因・メカニズム・種類・症状を理解 する。		授業予定				
# 5 回 到達目標						
第 5 回 (講義) 資血 打る。 資血とチアノーゼの原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① 技業予定 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 2. 貧血の分類・原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 第 6 回 (講義) 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① (講義) 投業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 テキスト② 第 7 回 (講義) 到達目標 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 テキスト① (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト②						
(講義) する。 テキスト② 授業予定 1. 赤血球の機能と末梢循環のしくみについて説明する。 2. 貧血の分類・原因・メカニズムと特徴・随伴症状について説明する。 いて説明する。 3. チアノーゼの定義と原因・分類について説明する。 テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 投業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 テキスト② テキスト② 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② テキスト②	#	70 t p las		- ·	~ 1 1 @	
授業予定		到達日標		- ゼの原因・メカニスム・種類・症状を埋解		
第6回 到達目標 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト② 授業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 テキスト② 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 テキスト① テキスト② 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② テキスト② テキスト②	し 碑 我 丿	授業予定		**・**********************************	7 + 1 1 4	
第6回 到達目標 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト② 授業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状を理解する。 テキスト① テキスト① テキスト① テキスト① テキスト② 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト② (講義) 投業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト②		汉来 1 足				
第6回 到達目標 出血傾向と黄疸の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト② 授業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① テキスト① テキスト② (講義) 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② (講義) 使業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト②				,, .,,,		
(講義) る。 テキスト② 授業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 第7回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① (講義) 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 テキスト②			3. チアノー	どの定義と原因・分類について説明する。		
授業予定 1. 出血傾向の分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 3 3 3 3 3 3 3 3 3	第 6 回	到達目標	出血傾向と黄疸	直の原因・メカニズム・種類・症状を理解す	テキスト①	
子、出血時の症状ついて説明する。 2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 る。 第 7 回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① 〔講義〕 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 テキスト②	〔講義〕		る。		テキスト②	
2. 黄疸の原因・メカニズムと特徴・症状について説明する。 第 7 回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① 〔講義〕 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 アキスト②		授業予定	1. 出血傾向	D分類・原因・メカニズムと特徴・誘発因		
第 7 回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① (講義) 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 デキスト②			子、出血時の	の症状ついて説明する。		
第 7 回 到達目標 心不全の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。 テキスト① (講義) 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。			2. 黄疸の原因	因・メカニズムと特徴・症状について説明す		
【講義】 授業予定 1. 心臓の構造と機能について説明する。 テキスト② 2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと特徴・随伴症状ついて説明する。 ・						
2. 心不全の原因疾患による分類と発生メカニズムと 特徴・随伴症状ついて説明する。				,—,,, ,—,,, ,—,,,, , , , , , , , , , ,	_	
特徴・随伴症状ついて説明する。	〔講義〕	授業予定	- V		テキスト(2)	
			· ·			
	44× 0 151	刘孝口栅	17171 11=1	7,	=+710	
			+		_	
【講義】 授業予定 1. 心臓の拍出機能と心電図について説明する。 テキスト② 2. 不整脈の原因疾患による分類と発生メカニズムと特 1. 心臓の拍出機能と心電図について説明する。 デキスト②	、 時 我 丿	1又未 1′ 化			177016	
②・ 小蛭派の床囚疾忠による万頬と光王 / ガースムと行 徴・随伴症状ついて説明する。						
	第 9 回	到達日標	+		テキスト①	
(講義) 授業予定 1. 血圧調節と末梢循環の仕組みについて説明する。 デキスト②				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
2. ショックの分類・原因ならびにメカニズムと特						
徴、経過に伴う徴候について説明する。						

第 1 0 回 到]達目標	浮腫の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①			
〔講義〕 授	業予定	1. 血漿膠質浸透圧と浮腫について説明する。	テキスト②			
		2. 浮腫の分類・原因ならびにメカニズムと特徴、随伴症				
		状について説明する。				
第 1 1 回 到]達目標	脱水の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①			
〔講義〕 授	業予定	1. 体液・電解質の調節とその異常について説明する。	テキスト②			
		2. 脱水の分類・原因ならびにメカニズムと特徴、随伴症				
		状について説明する。				
第 1 2 回 到]達目標	体液の調整機能障害の原因・メカニズム・種類・症状を理	テキスト①			
〔講義〕		解する。	テキスト②			
授	業予定	1. 電解質の調整機能について説明する。]			
		2. 電解質異常の分類・原因ならびにメカニズムと特徴、				
		症状について説明する。				
		3. 酸塩基平衡の異常について説明する。				
第 1 3 回 到]達目標	排尿障害(多尿・乏尿・無尿・頻尿・尿失禁)の原因・メ	テキスト①			
〔講義〕		カニズム・種類・症状を理解する。	テキスト②			
授	業予定	1. 腎泌尿器の構造と機能について説明する。				
		2. 排尿障害の分類・原因ならびにメカニズムと特徴、随				
		伴症状について説明する。				
第 1 4 回 到]達目標	各症候の生活に及ぼす影響と必要な看護を考える。		事前に課題に取り		
〔講義〕 授	業予定	各症候の病態生理の復習と、生活に及ぼす影響を考える。		組む。		
		また、どのような看護が必要か、グループワークなどで深				
		める。				
第 1 5 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
 成績評価の基準	まと方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
	- C /) IA	方法 : 終講筆記試験 80%、課題 20%。60%未満は再試験	とする。			
		①系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促送	進〔2〕病態生理	学:医学書院 e テキス		
 	キスト	F				
	7 7 1	②系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖	生理学:医学書	院 e テキスト		
使用教材		③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論	î:医学書院 e テ	キスト		
	考 図 書	緊急度・重症度から見た症状別看護過程:医学書院 e ナース	トレーナー			
	· , DI E	看護過程に沿った対症看護:Gakken				
そ	の他	配布資料				
授業以外の学	習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上の留	意点					

科目区分	専門礎分野	科目名	症候論Ⅱ	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
和小林日	77111187 출크	実 務 経 験	病院における看護師経験	•	1
担当教員	羽田野 京子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
	身体を構成して	いる細胞・組織	・器官が形態や生理機能に異常な変化が生じる	ことで引き起こさ	れる症状や徴候を学
目 的	ぶ。さらにその	損なわれた生理	幾能を回復したり、失われた機能を補填するにし	はどうすればよい	のかを考えること
	で、治療や看護	につなげる。			
目 標					DP への対応
	1. 各種機能障	音の原因・メカン	ニズム・種類・症状を理解する	T	DP3,5
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回	到達目標	高体温・低体流	显の原因・メカニズム・種類・症状を理解す	テキスト①	①体温とその調節
〔講義〕		る。		テキスト②	について復習して
	授業予定	1. 体温調節の	D仕組みについて説明する。	テキスト③	臨む。
		2. 高体温・値	氐体温の定義、メカニズムと随伴症状につい	ワークシート	
		て説明する。			
		3. 高体温・値	氐体温のある患者の訴えと生活に及ぼす影響		
		について考え	रे ठ 。		
第 2 回	到達目標	腹痛、下痢・例	更秘の原因・メカニズム・種類・症状を理解す	テキスト①	①腹部消化管の構
〔講義〕		る。		テキスト②	造と機能について
	授業内容		管の構造と機能について説明する。	テキスト③	復習して臨む。
			前・便秘の分類・原因ならびにメカニズムと	ワークシート	
		特徴について			
			前・便秘のある患者の訴えと生活に及ぼす影		
第 3 回	 到達目標	響について記	ちたる。 連性を整理し、説明できる。	PBL	
(講義)	型建日保 授業予定		主任を翌年し、武明できる。 定候の原因、発症のメカニズムを整理し、全	FBL	
(1944 456)	汉未了足	体共有する。			
第 4 回	 到達目標		原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	①口・咽頭・食道
〔講義〕	授業予定		血の定義・性状・分類・原因ならびに発症の	テキスト②	の構造と機能につ
		メカニズム	と特徴、随伴症状について説明する。	テキスト③	いて復習して臨
		2. 吐血・下血	血のある患者の訴えと生活に及ぼす影響につ	ワークシート	む 。
		いて考える。			
第 5 回	到達目標	嚥下障害の原因	囚・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	1. 咀嚼・嚥 ̄	下の仕組みについて説明する。	テキスト②	
		2. 嚥下障害の	D定義、メカニズムと随伴症状について説明	テキスト③	
		する。		ワークシート	
)ある患者の訴えと生活に及ぼす影響について		
<i>M</i> * ()=	初本口無	考える。	古山 → ボr田) □24日 → ンフ	DDI	
第 6 回	到達目標		車性を整理し、説明できる。 言紀の原因、※点のスカラブルを整理し、A	PBL	
〔講義〕	授業予定	クループ母に3 体共有する。	症候の原因、発症のメカニズムを整理し、全		
第 7 回	到達目標	-	因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	
(講義)	授業予定	1	D分類・原因ならびにメカニズムと特徴、随	テキスト②	
, HI 474 /	1人水 1 人		って説明する。	テキスト③	
			のある患者の訴えと生活に及ぼす影響につい	ワークシート	
		て考える。	The same same was a way and a same same same same same same same sa		
第 8 回	到達目標		メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	①脳の構造と機能
〔講義〕	授業予定	_	・筋肉の機能、脳循環や髄膜・髄液の働きに	テキスト②	について復習して
		ついて説明っ	する。	テキスト③	臨む。
		2. 頭痛の分類	質・原因ならびにメカニズムと特徴、随伴症	ワークシート	

		状について説明する。 3. 頭痛のある患者の訴えと生活に及ぼす影響について考				
		える。				
第 9 回	 到達目標	意識障害の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	①"意識障害"の病態		
第 9 凹 [〔講義〕		 意識障害の定義、分類、原因ならびにメカニズムと特 	ナキスト①	の関連性を図に表		
(神教)	仅耒丁止			の関連性を図に表してみる		
		徴、随伴症状について説明する。 2. 売勤時度のよる鬼犬の手としればた及ばた影響はのい	テキスト③	してみる		
		2. 意識障害のある患者の訴えと生活に及ぼす影響につい	ワークシート			
AA 1 0 E	如本口無	て考える。	DDI			
第 10 回	到達目標	症候の病態関連性を整理し、説明できる。	PBL			
〔講義〕	授業予定	グループ毎に症候の原因、発症のメカニズムを整理し、全				
*** 4 4 1		体共有する。				
第 11 回	到達目標	けいれん・てんかんの原因・メカニズム・種類・症状を理	テキスト①			
〔講義〕		解する。	テキスト②			
	授業予定	1. けいれん・てんかんの定義、分類、原因ならびにメカ	テキスト③			
		ニズムと特徴、随伴症状について説明する	ワークシート			
		2. けいれん・てんかんのある患者の訴えと生活に及ぼす				
		影響について考える。		0.5		
第 1 2 回	到達目標	運動麻痺の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	①運動機能と下行		
〔講義〕	授業予定	1. 運動制御のしくみについて説明する。	テキスト②	伝導路について復		
		2. 運動麻痺の分類、原因ならびにメカニズムと特徴、随	テキスト③	習して臨む。		
		伴症状について説明する。	ワークシート			
		3. 運動麻痺のある患者の訴えと生活に及ぼす影響に				
		ついて考える。				
第 13 回	到達目標	症候の病態関連性を整理し、説明できる。	PBL			
〔講義〕	授業予定	グループ毎に症候の原因、発症のメカニズムを整理し、全				
		体共有する。				
第 1 4 回	到達目標	感覚障害の原因・メカニズム・種類・症状を理解する。	テキスト①	①皮膚の構造と機		
〔講義〕	授業予定	1. 皮膚の構造と機能、感覚機能と上行伝導路について説	テキスト②	能、感覚機能と上		
		明する。	テキスト③	行伝導路について		
		2. 皮膚感覚の異常の原因ならびにメカニズムと特徴、随	ワークシート	復習して臨む。		
		伴症状について説明する。				
		3. 感覚障害のある患者の訴えと生活に及ぼす影響につい				
		て考える。				
第 15 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
жим (п. т.	<u>а</u> + с // ц	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
		①系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進〔2〕病態生	理学:医学書院 e	テキスト		
	テキスト	②系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学:医学	書院 e テキスト			
	, , , , ,	③系統看護学講座 基礎看護学〔4〕臨床看護総論:医学書院	eテキスト			
使用教材		④系統看護学講座 成人看護学〔1〕成人看護学総論:医学書	院 e テキスト			
	参考図書	緊急度・重症度から見た症状別看護過程:医学書院 e ナース	トレーナー			
	ジカロ音	看護過程に沿った対症看護:Gakken				
	その他	也 配布資料				
授業以外の	の学習方法	法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上。	多上の留意点 特に解剖生理学の知識が必要となります。良く復習して授業に臨むこと。					

科目区分	専門基礎分野	科目名	微生物学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
		実務経験	医師 (元) 大分大学 微生物学 講師	1	
担当教員	李 康生	関連資格	平松学園 教員		
	微生物とは何か	を理解する。			
目 的		『について理解する	, ,		
	主な病原微生物	別について理解する	, o		
					DP への対応
	 1. 微生物の性	三質について、その)種類と特徴を理解する。		DP3
目 標	2. 病原微生物	の構造と機能、	されらが人体に及ぼす影響を理解する。		DP3
	3. 感染及び異	!物に対する、ヒ	の生体反応について理解する。		DP3
	4. 感染症の予	防、治療について	ご理解する。		DP3
授業回数					授業に関する
〔方法〕			内容	使 用 教 材	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	微生物学の概要	そについて理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	ζ		
		2. 微生物の性	性質、微生物と人間、微生物学の対象と目的、		
		微生物学の対	歩みについて説明する。		
第 2 回	到達目標	細菌の性質につ	ついて理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業内容	1. 細菌の形態	と特徴、培養環境と栄養、細菌の遺伝、	1	
		細菌の分類、	常在細菌叢について説明する。		
第 3 回	到達目標	真菌の性質につ	ついて理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定	1. 真菌の形態	と特徴、真菌の増殖、真菌の分類と命名法、		
		栄養と培養に	こついて説明する。		
第 4 回	到達目標	原虫の性質につ	ついて理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定	1. 原虫の形態	まと特徴 病原原虫の種類		
第 5 回	到達目標	ウィルスの性質	賃について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定	ウィルスの特徴	改 構造と各部分の機能 ウィルスの増殖 ウ		
		ィルスの分類に	こついて説明する。		
第 6 回	到達目標	微生物感染の一	一般的機構と感染の成立・発症、さらにさまざ	微生物学	
〔講義〕		まな病原因子や	P感染様式について理解する。		
	授業予定		養構、感染の成立から発症・治癒まで、細菌感		
		染の機構、真菌	核感染の機構、原虫感染の機構、ウィルス感染		
		の機構について	ご説明する。		
第 7 回	到達目標		上体防御機構と免疫異常について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定		スタ 獲得免疫の仕組み 粘膜免疫の仕組み		
		-	世状について説明する。		
第 8 回	到達目標		う 布と感染源、感染経路について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定				
			について説明する。		
			事(バイオハザードとバイオセーフティ、意義		
			菌法、濾過除菌、消毒と消毒薬について説明す		
	71)+ P III	3.	TA block	out at at any	
第 9 回	到達目標		ご診断について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定		トる方法 生体の反応から診断する方法を説明		
A# 1 ∧ □	지나는 그 교	する。	. 2/145) = 0.1 or 111471. 2 o	المالية والمالية المالية	
第 1 0 回	到達目標		と治療について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定		巻 各種の化学療法薬 その他の治療法を説明		
## 1 1 □	邓小夫 口 4年	-	こついて説明する。	Alle the Alem and	
第 11 回	到達目標		対策について理解する。	微生物学	
〔講義〕	授業予定	感染症の发遷	感染症の現状と問題点 感染症への対策を説		

				明する。				
第	1	2 回	到達目標	病原細菌と細菌感染症について理解する。	微生物学			
(講	義〕	授業予定	グラム陽性球菌・陰性球菌 グラム陰性好気性杆菌・通性杆				
				菌 カンピロバクター属・ヘリコバクター属 グラム陽性杆				
				菌 抗酸菌と放線菌 嫌気性菌 スピロヘータ マイコプラ				
				ズマ リケッチア目 クラミジア科について説明する。				
第	1	3 回	到達目標	病原真菌と真菌感染症について理解する。	微生物学			
(講	義〕	授業予定	深在性真菌症をおこす真菌 深部皮膚真菌症をおこす真菌				
				表在性真菌症をおこす真菌について説明する。				
第	1	4 回	到達目標	寄生虫および病原原虫と原虫感染症について理解する。	微生物学			
(講	義〕		病原ウィルスとウィルス感染症について理解する。				
			授業予定	1. 根足虫類、鞭毛虫類、胞子虫類、繊毛虫類を説明する。				
				2. DNAウィルス RNAウィルス ウィルスの臨床的分				
				類について説明する。				
第	1	5 回		まとめ				
				終講試験(50分)				
뱌	ச≢	ͽឝ σ	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
<i>I</i> IX.	旭日	πщν	· 圣华 C 万 仏	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
			テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進	〔4〕微生物学:	医学書院 e テキスト		
使	用	教 材	参考図書					
			その他	配布資料、パワーポイント				
授	業	以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履	修	上	の留意点					

科目区分	専門基礎分野	科目名	疾病論 I	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
	①廣田 潤		①医師		
担当教員	②吉賀 攝	実務経験	②医師		
	③佐藤 文憲	関連資格	③医師		
	急速な少子高齢	・ 化の進展や、慢f	生疾患の増加など疾病構造の変化、医療技術の	進歩、看護業務の)複雑・多様化など看
目 的	護を取り巻く環	境は大きく変化	した。その中で質の高い看護を提供するために	は、正確な疾病の	知識を習得すること
	が重要である。	器官系統別に疾	患について学び、対象の病態の理解や看護につ	なげる。	
					DPへの対応
目 標	1. 各種疾患の	病因と病変の特征	徴について理解する。		D P 3
	2. 各種疾患の	病態、検査、治療	療、予防について理解する。		
授業回数			中容	使用数 ##	授業に関する
〔方法〕			内容	使 用 教 材 	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	1. 循環器の	構造と機能について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕		2. 主な症状	とその病態生理について理解する。	配布資料	を 事前に読んでお
(廣田)	授業予定	1. ガイダン	ζ	パワーポイント	くこと。 講義内容
		2. 循環器の	構造と機能について説明する。		や練習問題 を復習
		3. 症状とその	D病態生理について説明する。		しておくこと。
第 2 回	到達目標	主な症状とその	D病態生理について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業内容	1. 症状とその	D病態生理について説明する。	配布資料	
(廣田)		胸痛 動性	季 呼吸困難 浮腫 チアノーゼ	パワーポイント	
		めまい・タ	夫神 四肢の疼痛 ショック		
第 3 回	到達目標	主な検査につい	って理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	1. 主な検査に	こついて説明する。	配布資料	
(廣田)		・診察と診断の	り流れ	パワーポイント	
		・検査(心電	図 胸部X線検査 心エコー 法 脈波検査		
		心臓カテー	テル法 血行動態モニタリング)		
第 4 回	到達目標	主な治療・処間	置について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	1. 主な治療	・処置について説明する。	配布資料	
(廣田)		・内科的治療	(薬物療法 経皮的冠状動脈インターベンシ	パワーポイント	
		ョンペース	メーカ治療)		
			(心臓手術の周術期管理 冠状動脈バイパス術		
		など) 補足	助循環装置		
第 5 回	到達目標	主な循環器疾患	患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		配布資料	
(吉賀)	授業予定	1. 主な疾患の	D病態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
		虚血性心疾	患		
第 6 回	到達目標	主な循環器疾患	患の病態、検査、治療、予防を理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	1. 主な循環器	器疾患の病態、検査、治療、予防について説	配布資料	
(吉賀)		明する。		パワーポイント	
		心不全 血			
第 7 回	到達目標		息の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		配布資料	
(吉賀)	授業予定		D病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント	
		3.	Path also a path at a path at a path		
Adv			膜症 心膜炎 心筋疾患	_,	
第 8 回	到達目標	***********	息の病態、検査、治療、予防を理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定		の病態、検査、治療、予防について説明す	配布資料	
(吉賀)		3.	ケート という また マン・ウェース という とうしょう とうしょう とうしょう しょうしゅう しゅうしゅう しゅう	パワーポイント	
			先天性心疾患 動脈系疾患		
		静脈系疾	患 リンパ系疾患		

	711 H III	BOT NOT THE A 144 MAY I WANT I A	
第 9 回	到達目標	1. 腎泌尿器の構造と機能について理解する。	テキスト②
〔講義〕		2. 主な症状とその病態生理について理解する。	配布資料
(佐藤)	授業予定	1. ガイダンス	パワーポイント
		2. 腎泌尿器の構造と機能について説明する。	
		3. 主な症状とその病態生理について説明する。	
第 10 回	到達目標	主な症状とその病態生理について理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. 主な症状とその病態生理について説明する。	配布資料
(佐藤)		尿の異常 排尿に関連した症状 浮腫 脱水	パワーポイント
		循環器系の異常 血液の異常 尿毒症 疼痛	
		腫脹・腫瘤 その他の症状	
第 11 回	到達目標	主な検査について理解する。	テキスト②
〔講義〕	授業予定	1. 主な検査について説明する。	配布資料
(佐藤)		・診察と診断の流れ	パワーポイント
		・検査(尿検査 分泌物検査 腎機能検査 画像検査 経	
		尿道的操作および内視鏡検査 尿流動態検査 生検	
		性・生殖機能の検査)	
第 1 2 回	到達目標	主な治療・処置について理解する。	テキスト②
〔講義〕	授業予定	1. 主な治療・処置について説明する。	- 配布資料
(佐藤)		腎疾患の内科的治療 尿路感染症の治療	パワーポイント
		手術療法 腎・泌尿器がんの治療	
		排尿管理 透析療法 腎移植	
第 1 3 回	到達目標	主な腎泌尿器疾患の病態、検査、治療、予防について理解	テキスト②
〔講義〕		する。	配布資料
(佐藤)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	━ パワーポイント
, , , , , ,			
		腎不全とAKI・CKD	
		ネフローゼ症候群 糸球体腎炎	
第 1 4 回	到達目標	主な腎泌尿器疾患の病態、検査、治療、予防について理解	テキスト②
〔講義〕		する。	配布資料
(佐藤)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	- パワーポイント
		ప ం	
		全身性疾患による腎障害 尿細管間質性腎炎	
		腎血管性病変 尿細管機能異常 妊娠高血圧症候群	
		尿路・性器の感染症 尿路の通過障害と機能障害	
		発生・発育の異常 男性不妊症、男性性機能障害	
第 1 5 回		まとめ	
		終講試験(50分)	
	I	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。	
		方法 :	
		│ │終講試験は、循環器・腎泌尿器合わせて100%の試験とす	る。得点60%未満は再試験とする。
成績評価の	基準と方法	終講試験(100 点満点)内訳は以下のとおり	
		・第1回~第4回 循環器 (25点)	
		・第5回~第8回 循環器 (25点)	
		・第9回~第14回 腎泌尿器(50点)	
		①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕循環器:医学	書院 e テキスト
<u> </u>	テ キ ス ト 	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔8〕腎泌尿器:医生	学書院 e テキスト
使用教材	参考図書		
	その他	配布資料	
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
	の留意点		
,	- 14 167 117		

科目区分	専門基礎分野	科目名	疾病論Ⅱ	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
to the state of	①河野 宏	実務経験	①医師	1	
担当教員	②田村 洋一	関連資格	②医師		
	急速な少子高齢	」 化の進展や、慢	性疾患の増加など疾病構造の変化、医療技術の	進歩、看護業務の	複雑・多様化など看
目 的	護を取り巻く環	境は大きく変化	した。その中で質の高い看護を提供するために	は、正確な疾病の	知識を習得すること
	が重要である。	器官系統別に疾	患について学び,対象の病態の理解や看護につ	なげる。	
					DP への対応
目 標	1. 各種疾患の	病因と病変の特征	敳について理解する。		DP3
	2. 各種疾患の	病態、検査、治療	療、予防について理解する。		
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕		T	Mark a little		準備学習
第 1 回	到達目標		構造と機能について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕			とその病態生理について理解する。	□ 配布資料 □	を 事前に読んでお
(河野)	授業予定	1. ガイダン		パワーポイント	くこと。
			構造と機能について説明する。 の序態生型について説明する。		・講義内容や練習
		3. 独状とその	の病態生理について説明する。		問題 を復習してお くこと。
第 2 回	到達目標	主た症(サレス)	の病態生理について理解する。	テキスト①	100
衆	型達日標 授業内容		の病態生理について理解する。	」 テキスト① - 配布資料	
(河野)	投耒內谷		の柄忠生哇について説明する。 血痰・喀血 胸痛 呼吸困難 チアノーゼ	パワーポイント	
(何封)			熱 呼吸の異常 声の異常 いびき 意識障	2.). 11.12	
		害	然 竹炊の共市 戸の共市 いじさ 忌職陣		
第 3 回	到達目標	主な検査につい	ハア理解する	テキスト①	
「講義〕	授業予定	-	について説明する。	アイバー・シート 配布資料	
(河野)	1人来 1 元	・診察と診断(パワーポイント	
(13 24)		・ 検査	2014	7 4 1	
		P	客痰検査 咽頭・鼻腔ぬぐい液検査		
			象診断 内視鏡検査 生検 呼吸機能検査)		
第 4 回	到達目標		置について理解する。	テキスト(1)	
〔講義〕	授業予定	1. 主な治療	・処置について説明する。	配布資料	
(河野)			酸素療法 人口呼吸療法	パワーポイント	
		呼吸リバ	、ビリテーション 気道確保		
		胸腔ドレ	・ナージ 呼吸器外科の手術		
第 5 回	到達目標	主な呼吸器疾患	患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		配布資料	
(河野)	授業予定	1.疾患の病療	態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
	<u> </u>	感染症 間外	質性肺疾患 気道疾患 肺循環疾患		
第 6 回	到達目標	主な呼吸器疾患	患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		配布資料	
(河野)	授業予定	1.疾患の病療	態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
		呼吸不全	呼吸調節に関する疾患 肺腫瘍		
		肺・肺血管	系の形成異常		
第 7 回	到達目標	主な呼吸器疾患	患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		配布資料	
(河野)	授業予定	1. 疾患の病療	態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
		胸膜・縦隔	・横隔膜の疾患 肺移植 胸部外傷		
第 8 回	到達目標	1. 消化器の	構造と機能を理解する。	テキスト②	
〔講義〕		2. 主な症状	とその病態生理について理解する。	配布資料	
(田村)	授業予定	1. ガイダン	Z	パワーポイント	
			·		

# 9 回 別注目標 注な底状をその病態生理について説明する。			2. 消化器の構造と機能について説明する。				
# 9 回 四連目標 上立症状とその病態生理について理解する。							
(田村) 授業予定	## 0 EI	如本口冊		= + - 1 @			
# 下田	· ·			-			
下血 下痢 便秘 腹部膨満 食欲不振と体重減少 腹水 資値 倉譲降害 (肝性解症)		 技業					
# 10 回 到達目標 立た検査について理解する。 テキスト② 配布資料 (田村)				Ny-5121			
# 10 回 到達目標 主な検査について理解する。							
(Mr. 1 0 🖂	初本日無		1 @			
(田村)				-			
・検査 (機便検査 肝機能検査 豚外分泌検査 超音波検査 円機能検査 下機を 放射線検査 X線CT MR I		授業才正					
(素便検査 肝機能検査 豚外分泌検査 超音波検査 内視鏡検査 肝生検 放射線検査 X線CT MRI シンチグラフィー PET) 第 11 回				ハリーホイント			
第 11 回							
# 1 1 回 到達目標							
第 1 1 回 (講義) 到達目標 技な治療・処置について理解する。							
(講義) 授業予定 1. 主な治療・処置について説明する。 配布資料 パワーポイント 第 1 0 回 到達目標 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す テキスト② 配布資料 パワーポイント 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 第 1 3 回 到達目標 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す テキスト② 配布資料 パワーポイント 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 第 1 4 回 授業予定 1. 疾患の病態、検査、治療、予防について理解す テキスト② 配布資料 パワーポイント 授業予定 1. 疾患の病態、検査、治療、予防について理解す テキスト② 配布資料 パワーポイント 腸および腹膜疾患 肝臓・胆嚢の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 腸および腹膜疾患 肝臓・胆嚢の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 勝動よび腹膜疾患 所臓・胆嚢の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 膵臓の疾患 急性腹症 腹部外傷 まとめ 終講試験(50分) 基準: 履修規定第 29条に規定する評価基準に準ずる。 方法: 終講試験(100点満点) 内訳は以下のとおり・第1回〜第7回 呼吸器 (50点)・第8回〜第14回 消化器 (50点)・第8回〜第14回 消化器 (50点) ・第8回〜第14回 消化器 (50点) ・第10〜第14回 消化器 (50点) ・第10〜9 では、 10〜9 では、	第 1 1 同	到達日輝	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	テキスト②			
# 1 0 回 到達目標 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す テキスト② 配布資料	· · ·						
第 1 0 回 (講義) 到達目標 表。 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 第 1 3 回 (講義) 到達目標 長業予定 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 服力を対した。 服力を対した。 服力を対した。 服力を対した。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、		1人来 1 元					
(講義) 2。		到達日樗					
(田村) 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 デキスト② 配布資料 (田村) 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 パワーポイント 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。 腸および腹膜疾患 肝臓・胆嚢の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 脱酸の疾患 手 1 4 回 (講義) (田村) 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。 R 2 本 3 化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 R 2 本 3 化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 R 2 本 3 を 2 を 3 を 3 を 4 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4		为连日保					
第 1 3 回 (講義) 到達目標 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 テキスト② 配布資料 パワーボイント (田村) 授業予定	<u> </u>	授業予定		4			
第13回 (講義) (田村) 到達目標 を表消化器疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。 服および腹膜疾患 肝臓・胆嚢の疾患 デキスト② 配布資料 パワーポイント 第14回 (講義) (田村) 到達目標 を表消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 の。 (田村) デキスト② 配布資料 パワーポイント 第15回 まとめ 終講試験(50分) 本準 と方法 基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準する。 方法: 終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回〜第7回 呼吸器 (50点) ・第8回〜第14回 消化器 (50点) 得点60%未満は再試験とする。 得点60%未満は再試験とする。 終講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回〜第7回 呼吸器 (50点) 使用教材 (投業以外の学習方法 デキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学(2)呼吸器: 医学書院e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学(5)消化器: 医学書院e テキスト 投業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	(11 /13 /	[X 未] 元					
(講義)	第 1 3 回	到達目標		テキスト②			
(田村) 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。		7,212					
# 1 4 回	· · · · · · · · - · · · -	授業予定		4			
第 1 4 回 (講義) 到達目標 る。 主な消化器疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。 所養的疾患 急性腹症 腹部外傷 テキスト② 配布資料 パワーポイント 第 1 5 回 まとめ 終講試験(50分) 基準: 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 方法: 終講試験は、呼吸器・消化器合わせて 1 0 0 %の試験とする。得点 6 0 %未満は再試験とする。 終講試験 (100 点満点) 内訳は以下のとおり ・第1回〜第7回 呼吸器 (50 点) ・第8回〜第14回 消化器 (50 点) ・第8回〜第14回 消化器 (50 点) 使用教材 テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他配布資料、パワーボイント 技業以外の学習方法指定した教科書を事前に読んでおくこと。	(, , , , ,	1,0,10 1 / C					
【講義】 5。 配布資料 (田村) 授業予定 1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。 膵臓の疾患 急性腹症 腹部外傷 パワーポイント 成績評価の基準に多り まとめ 終講試験(50分) 基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法: 株舗試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回〜第7回 呼吸器 (50点) ・第8回〜第14回 消化器 (50点) 使用教材 テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2)呼吸器: 医学書院eテキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5)消化器: 医学書院eテキスト 参考図書 その他配布資料、パワーポイント 投業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	第 1 4 回	到達目標		テキスト②			
第 15 回 膵臓の疾患 急性腹症 腹部外傷 成績評価の 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 経講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50点) ・第8回~第14回 消化器 (50点) 使用教材 デキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔2〕呼吸器:医学書院eテキスト 受養 図 書 その他 配布資料、パワーポイント 投業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。				配布資料			
第 1 5 回 まとめ 終講試験(50分) 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 基準と方法 経講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50点) ・第8回~第14回 消化器 (50点) 使用教材 デキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器: 医学書院 e テキスト 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	(田村)	授業予定	1. 疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント			
成績評価の基準と方法 基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験 (100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50点) ・第8回~第14回 消化器 (50点) 使用教材 デキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。			膵臓の疾患 急性腹症 腹部外傷				
基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法: 終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験 (100点満点) 内訳は以下のとおり・第1回~第7回 呼吸器 (50点)・第8回~第14回 消化器 (50点) 大き事所を要求する。 中央器 (50点) ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他配布資料、パワーポイント 投業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	第 1 5 回		まとめ				
成績評価の基準と方法 方法 : 終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験 (100点満点) 内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50点) ・第8回~第14回 消化器 (50点) プ系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。			終講試験(50分)				
成績評価の基準と方法終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする。得点60%未満は再試験とする。 終講試験(100点満点)内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50点) ・第8回~第14回 消化器 (50点)で まるト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト参考図書 その他配布資料、パワーポイントでおくこと。			基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
成績評価の基準と方法 終講試験 (100 点満点) 内訳は以下のとおり・第1回~第7回 呼吸器 (50 点)・第8回~第14回 消化器 (50 点)・第8回~第14回 消化器 (50 点) 使用教材 テキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。			方法 :				
検 業 以 外 の 学 習 方 法 終講試験 (100 点満点) 内訳は以下のとおり ・第1回~第7回 呼吸器 (50 点) ・第8回~第14回 消化器 (50 点) プ系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他 配布資料、パワーポイント 投業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	は締ぎ無の	甘淮し七辻	終講試験は、呼吸器・消化器合わせて100%の試験とする	。得点60%未満は再試験	とする。		
・第8回~第14回 消化器 (50点) 使用教材 デキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他配行資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	双根評価の	基平 2 万 伝	終講試験(100 点満点)内訳は以下のとおり				
使用教材 プキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (2) 呼吸器: 医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (5) 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他 配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。			· 第1回~第7回 呼吸器 (50点)				
使用教材 プキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器:医学書院 e テキスト 参考図書 その他配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。			・第8回〜第14回 消化器 (50点)				
使用教材 ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器: 医学書院 e テキスト 参考図書 その他 配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。		テキマト	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔2〕呼吸器:医学書		<u></u>		
参考図書 その他 配布資料、パワーポイント 授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	庙 田 数 廿	/ τ Λ Γ	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器:医学書				
授業以外の学習方法 指定した教科書を事前に読んでおくこと。	文 用 教 的	参考図書					
		その他	配布資料、パワーポイント				
	授業以外の	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履 19 上 の 钼 息 点	履修上。	の留意点					

科	目区	分	専門基礎分野	科目名	疾病論Ⅲ	単 位	1 単位
対	象 学	年	1 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
Ji-1	\12 \		①加賀 明彦	実 務 経 験	①医師	•	
担	当 教	、貝	②野口 蒸治	関連資格	②医師		
目		的	急速な少子高齢	化の進展や、慢	生疾患の増加など疾病構造の変化、医療技術の	進歩、看護業務の	複雑・多様化など看
			護を取り巻く環	境は大きく変化	した。その中で質の高い看護を提供するために	は、正確な疾病の	知識を習得すること
			が重要である。	器官系統別に疾	患について学び、対象の病態の理解や看護につ	なげる。	
目		標					DP への対応
			1. 各種疾患の	病因と病変の特征	徴について理解する。		DP3
			2. 各種疾患の	病態、検査、治療	療、予防について理解する。		
ı	業 回方 法				内容	使用教材	授業に関する 準備 学習
第	1	п	到達目標	1. 脳神経の	構造と機能について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
(講義)		2. 主な症状	とその病態生理について理解する。	配布資料	を 事前に読んでお
()	授業予定	1. ガイダン	ζ	パワーポイント	くこと。・講義内容
				2. 脳神経の	構造と機能について説明する。		や練習問題 を復習
				3. 症状とその	D病態生理について説明する。		しておくこと。
第		口	到達目標	主な症状とその	D病態生理について理解する。	テキスト①	
	講義		授業内容		とその病態生理について説明する。	配布資料	
()			語とは 意識障害 高次脳機能障害	パワーポイント	
					障害 感覚機能障害		
					ある機能の障害 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア		
A**		———	和朱口無		R症状 頭痛 めまい		
第	3		到達目標	主な検査につい		テキスト①	
(講義)	授業予定	・診察と診断の	こついて説明する。	配布資料パワーポイント	
		,		・ 診察 C 診断 い・ 検査	DAJILA U	7.7-1.7	
					食査・生検)		
第	4	□	到達目標	-	置について理解する。	テキスト①	
(講義)	授業予定	1. 主な治療	・処置について説明する。	配布資料	
()		· 外科的治療?	去	パワーポイント	
				· 内科的治療	去		
第	5	П	到達目標	主な疾患の病態	態、検査、治療、予防について理解する。	テキスト①	
(講義)	授業予定	1. 疾患の病態	態、検査、治療、予防について説明する。	配布資料	
()		脳疾患	脊髄疾患 末梢神経障害	パワーポイント	
第	6	П	到達目標	主な脳神経疾病	患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
	講義			る。		配布資料	
(市村	.)	授業予定		態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
					圣障害 筋疾患・神経筋接合部疾患		
ArAc			和朱口無	-	变性疾患		
٠.	7 業 美		到達目標		息の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト①	
(講義)	授業予定	る。	************************************	配布資料 パワーポイント	
`		,	1X未 ʃ 化		8、快宜、冶療、予防について説明する。 圣系の感染症 中毒 てんかん 認知症	, \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
					息に伴う神経疾患		
笛	8	回	到達目標		構造と機能について理解する。	テキスト②	
	講義		がた日本		#坦と破形に ブバ C 程解する。 とその病態生理について理解する。	配布資料	
	野口			1. ガイダン		パワーポイント	
`	~, ~	,	1277.17		、 構造と機能について説明する。		
					とその病態生理について説明する。		
			1	- · - · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- //4/	1	

第 9 回] 到達目標	主な症状とその病態生理について理解する。	テキスト②			
〔講義〕	授業予定	1. 主な症状とその病態生理について説明する。	配布資料			
(野口)		疼痛 形態の異常 関節運動の異常 神経の障害	パワーポイント			
		跛行 筋肉の異常 その他の障害				
第 10 回	到達目標	主な検査について理解する。	テキスト②			
〔講義〕	授業予定	1. 主な検査について説明する。	配布資料			
(野口)		・診察と診断の流れ	パワーポイント			
		・検査(画像検査 電気生理学的検査 関節鏡検査				
		その他の検査)				
第 11 回		主な治療・処置について理解する。	テキスト②			
〔講義〕	授業予定	1. 主な治療・処置について説明する。	配布資料			
(野口)		保存療法 理学療法と作業療法 手術療法	パワーポイント			
Aub		義肢と装具				
第 12 回	到達目標	主な運動器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト②			
〔講義〕		3.	配布資料			
(野口)	授業予定	1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント			
		外傷性の疾患				
		(骨折 脱臼 捻挫及び打撲 神経の損傷 筋・腱・靭帯などの損傷)				
第 1 3 回		主な運動器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト②			
		こ。	配布資料			
(野口)		1.疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント			
	12216 172	非外傷性の疾患				
		(先天性疾患 骨・関節の炎症性疾患 骨腫瘍および軟				
		部腫瘍 代謝性骨疾患 腱の疾患 神経・筋疾患)				
第 1 4 回	到達目標	主な運動器疾患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト②			
〔講義〕		る。	配布資料			
(野口)	授業予定	1. 疾患の病態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント			
		上肢および上肢帯の疾患 脊椎の疾患				
		下肢及び下肢帯の疾患				
		ロコモティブシンドロームと運動器不安定症				
		フレイル サルコペニア 廃用症候群				
第 15 回	1	まとめ				
		終講試験(50分)				
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
		方法 : 終講試験は、脳神経・運動器合わせて100%の試験とする。	復去 (0 0/ 土港は五計験)・ナフ			
成績評価	の基準と方法	終講試験(100 点満点)内訳は以下のとおり	。行息00%木両は円武鞅とする。			
		・第1回~第7回 脳神経 (50点)				
		·第8回~第14回 運動器 (50点)				
		①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経:医学	学書院 e テキスト			
	テキスト	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔10〕運動器:医学				
使用教材	参考図書	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF				
	その他	配布資料、パワーポイント				
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
-	の留意点					

科目区分	専門基礎分野	科 目 名	疾病論IV	単位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
	①幸野 和洋	実務経験	①医師	1	1
旦当 教 員	②檜垣 直幸	関連資格	②医師		
	急速な少子高齢	化の進展や、慢	・ 性疾患の増加など疾病構造の変化、医療技術の	進歩、看護業務の	複雑・多様化など看
目 的	護を取り巻く環	境は大きく変化	した。その中で質の高い看護を提供するために	は、正確な疾病の	知識を習得すること
	が重要である。	器官系統別に疾	患について学び,対象の病態の理解や看護につ	なげる。	
					DP への対応
目 標	1. 各種疾患の	病因と病変の特征	徴について理解する。		D P 3
	2. 各種疾患の	病態、検査、治療	療、予防について理解する。		
授業回数			内容	 使用教材	授業に関する
〔方法〕			134	C /11 4X 1/1	準備学習
第 1 回	到達目標	1. 血液・造」	血器の構造と機能について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕		2. 主な症状	とその病態生理について理解する。	配布資料	を 事前に読んでお
(幸野)	授業予定	1. ガイダン	ス	パワーポイント	くこと。・講義内
		2. 血液造血器	器の構造と機能について説明する。		容や練習問題 を復
					習しておくこと。
第 2 回	到達目標	U	症候・病態生理について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業内容		と身体所見について説明する。	配布資料	
(幸野)		2. 検査(末標	消血検査 骨髄穿刺・骨髄生検)について説	パワーポイント	
		明する。			
			血 白血球増加症 白血球減少症 脾腫 リ		
			出血性素因)について説明する。		
第 3 回	到達目標	主な血液・造」	血器疾患の病態、検査、治療、予防について	テキスト①	
〔講義〕	_	理解する。		配布資料	
(幸野)	授業予定		態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
			系の異常 白血球系の異常		
第 4 回	到達目標	1	血器疾患の病態、検査、治療、予防について	テキスト①	
〔講義〕		理解する。		配布資料	
(幸野)	授業予定		態、検査、治療、予防について説明する。	パワーポイント	
			腫瘍 出血性疾患		
第 5 回	到達目標		代謝器官の構造と機能について理解する。	テキスト②	
〔講義〕			とその病態生理について理解する。	配布資料	
(檜垣)	授業予定	1. ガイダン		パワーポイント	
			代謝器官の構造と機能について説明する。		
··· -	#11\+ P !		とその病態生理について説明する。	_, , , ,	
第 6 回	到達目標		の病態生理について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定		とその病態生理について説明する。	配布資料	
(檜垣)			化・身長の異常を貌の変化を神経・筋症状	パワーポイント	
** 7 E	刘李口栅	+	症状 消化器症状 皮膚の変化 無月経	=+710	
第一7回	到達目標	主な検査につい		テキスト② _{和女姿料}	
〔講義〕	授業予定		について説明する。	配布資料	
(檜垣)			の検査(ホルモンの血中濃度・尿中ホルモン	パワーポイン	
			物測定 免疫学的評価 ホルモン負荷試験 、	F	
		画像検査			
			検査(糖尿病の診断・治療に用いる検査 脂 ※断・治療に用いる検査)		
ear o ⊫	전/) 축 디 4표		診断・治療に用いる検査) (4.執症患の症態・栓木・治療・Bについて)	=+-10	
第 8 回 (** * *)	到達目標		代謝疾患の病態、検査、治療、予防について	テキスト②	
〔講義〕	体をくけ	理解する。	小庄郎 -	□ 配布資料 □ ポワーポイント	
(檜垣)	授業予定	1. 王な疾患の	の病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント	

		視床下部-下垂体前葉系疾患 視床下部-下垂体後葉系疾患		
		甲状腺疾患 副甲状腺疾患 副腎疾患 性腺疾患		
		膵・消化管神経内分泌腫瘍 多発性内分泌腫瘍症		
		内分泌疾患の救急治療		
第 9 回	到達目標	主な内分泌・代謝疾患の病態、検査、治療、予防について	テキスト②	
【講義】		理解する。	□ 配布資料	
(檜垣)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント	
		ప .		
		糖尿病 脂質異常症		
		肥満症とメタボリックシンドローム 尿酸代謝異常		
第 10 回	到達目標	免疫のしくみとアレルギーについて理解する。	テキスト③	
〔講義〕	授業予定	1. 免疫のしくみとアレルギーについて説明する。	配布資料	
(檜垣)		免疫反応と病気 アレルギーに関与する免疫担当細胞と	パワーポイント	
		伝達物質 アレルギーのしくみ		
第 11 回	到達目標	主なアレルギー疾患の病態、検査、治療、予防について理	テキスト③	
〔講義〕		解する。	配布資料	
(檜垣)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント	
		ప .		
		気管支喘息 アレルギー性鼻炎 アトピー性皮膚炎		
		薬物のアレルギー アナフィラキシーショック 蕁麻疹		
		接触性皮膚炎 食物アレルギー		
第 1 2 回	到達目標	膠原病の主な症状・検査と治療について理解する。	テキスト③	
〔講義〕	授業予定	1. 主な膠原病の病態、検査、治療、予防について説明す	- 配布資料	
(檜垣)		る。	パワーポイント	
/		・症状(関節痛・関節炎 レイノー現象 皮膚・粘膜症状		
		発熱 たんぱく尿 筋力低下)		
		・検査と治療・膠原病の診断までの流れ		
		・検査(一般検査 血清・免疫学的検査 その他の検査)		
		·治療方法(一般療法 薬物療法)		
第 1 3 回	到達目標	主な膠原病の病態、検査、治療、予防について理解する。	テキスト③	
	授業予定	1. 主な膠原病の病態、検査、治療、予防について説明す	」 配布資料	
(檜垣)	1人来 1 元	1. 上な形が内の内恋、快直、石原、丁内に フィー Cin-919	パワーポイント	
		る。 関節リウマチ 全身性エリテマトーデス	7.7 4.4 2 1	
		病却ケクマケー 王母 ピエックマ ドーテム 抗リン脂質抗体症候群 全身性強皮症		
		3. 多発性筋炎・皮膚筋炎 混合性結合性組織病		
		タ光性肋灰・及肩肋灰 - 此古性相古性組織内 シェーグレン症候群 - ベーチェット病 - 血管炎症候群		
		リウマチ性多発筋痛症 成人発症スティル病		
245 1 4 ⊡	刘泽口栅		=+710	
第14回	到達目標	主な感染症の病態、検査、治療、予防について理解する。	テキスト③	
〔講義〕	授業予定	1. 主な感染症の病態、検査、治療、予防について説明す	配布資料	
(檜垣)		3.	パワーポイント	
		感染症の概要 検査・診断・治療 疾患の理解		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
		方法 :		
		終講試験は、血液造血器・内分泌代謝・アレルギー・感染症	合わせて100%	の試験とする。
成績評価の	基準と方法	得点60%未満は再試験とする。		
		終講試験(100 点満点)内訳は以下のとおり		
		・第1回~第4回 血液造血器(30点)		
		・第5回~第14回 内分泌代謝・アレルギー・感染症(70)	点)	
## pp 10 11		①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔4〕血液・造血器:		スト
使用教材	テキスト	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔6〕内分泌・代謝:		
		○小型目図1 III/工 4日751 W/V日図工 (0) [17) 仮,[(図)・	四月日かしノコ	* * 1

		③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症:医学書院 e テキスト			
	参考図書				
	その他	配布資料、パワーポイント			
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。			
履修上	の留意点				

科目区分	専門基礎分野	科目名	疾病論V	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
	①本多和夫 ②岡田豊和		①医師 ②医師		,
担当教員	③重見英男	実務経験	③医師		
	④甲斐宜貴	関連資格	④医師		
	⑤首藤謙一		⑤歯科医師		
	急速な少子高齢	┗ 化の進展や、慢性	生疾患の増加など疾病構造の変化、医療技術の	進歩、看護業務の	複雑・多様化など看
目 的	護を取り巻く環	境は大きく変化し	した。その中で質の高い看護を提供するために	は、正確な疾病の	知識を習得すること
	が重要である。	器官系統別に疾患	患について学び、対象の病態の理解や看護につ	なげる。	
					DP への対応
目 標	1. 各種疾患の	病因と病変の特徴	敞について理解する。		DP3
	2. 各種疾患の	病態、検査、治療	寮、予防について理解する。		
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕			112	C /11 4X 1/1	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	1. 女性生殖器	器の構造と機能について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕		2. 主な症状と	こその病態生理について理解する。	配布資料	を 事前に読んでお
(本多)	授業予定	1. ガイダンス		パワーポイント	くこと
			器の構造と機能について説明する。 		・講義内容や練習
			こその病態生理について説明する。		問題を復習してお
			出血 帯下 疼痛 発熱		くこと。
			満・腫瘤感 外陰部瘙痒感 排尿障害		
第 2 回	刘泽口捶		症状・不定愁訴 リンパ浮腫	テキスト①	
第 2 回 〔講義〕	到達目標 授業内容	-	ないでは、	」 ティスト① - 配布資料	
(本多)	仅未內谷		福療や処置について説明する。 器具 理学的検査 病理検査 細菌・ウィル	パワーポイント	
(49)		,,,	・ 画像検査 腫瘍マーカー検査 妊娠検査	7 7 4 7 1	
			染色低検査・遺伝子検査)		
			(膣洗浄 膣タンポン 導尿 腹腔穿刺		
		ダグラス窩	穿刺 レーザー治療 薬物療法 手術 避		
		妊)			
第 3 回	到達目標	主な女性生殖器	B疾患の病態、検査、治療、予防について理	テキスト①	
〔講義〕		解する。		配布資料	
(本多)	授業予定	1. 主な疾患の	D病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント	
		る。			
		性分化疾患			
			外陰・膣・子宮・卵管・卵巣・乳房の疾患		
		骨盤内炎症性	疾忠 <i>)</i> 月経異常・月経随伴症状 更年期障害		
		不妊症 不育			
第 4 回	到達目標		型 ペペーク ∴機能について理解する。	テキスト②	
(講義)	月建日保		こその病態生理について理解する。	配布資料	
(岡田)	授業予定	1. ガイダンフ	- 1777	パワーポイント	
() ()	2010470		と機能について説明する。		
			こその病態生理について説明する。		
		視力障害 視野	予異常 色覚異常 夜盲 充血 流涙 眼脂		
第 5 回	到達目標	主な検査・治療	寮や処置について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	1. 検査と治療	寮・処置について説明する。	配布資料	
(岡田)		・診察と診断の	つ流れ	パワーポイント	
		・検査(視力権	食査 屈折検査 開瞼法 開瞼反転法など)		
		・治療(点眼法	法 洗眼法 眼帯 手術など)		

A4+ 1	저나는 ㄷ ㄸ		- 1 - 1 @
第 6 回	到達目標	主な眼疾患の病態、検査、治療、予防について理解する。	テキスト(2) コナタ似
[講義]	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	配布資料
(岡田)		3.	パワーポイント
		機能の異常	
		・部位別の疾患(眼瞼 結膜 涙器 角膜 強膜 ぶど	
		う膜網膜・硝子体 水晶体 緑内障など)	
		・外傷 全身疾患との関連	
第 7 回	到達目標	1. 耳鼻咽喉の構造と機能について理解する。	テキスト③
〔講義〕		2. 主な症状とその病態生理について説明する。	配布資料
(重見)	授業予定	1. ガイダンス	パワーポイント
		2. 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能について説明する。	
		3. 耳にあらわれる症状	
		鼻にあらわれる症状	
		口腔・唾液腺・咽頭にあらわれる症状	
		喉頭にあらわれる症状	
第 8 回	到達目標	主な検査・治療や処置について理解する。	テキスト③
〔講義〕	授業予定	1. 検査と治療・処置について説明する。	配布資料
(重見)		・診察と診断の流れ	パワーポイント
		・検査 (聴力検査 平衡機能検査など)	
		・治療(耳・鼻・口腔・咽喉頭・気管・食道疾患・頸部疾	
		患の処置 手術療法)	
第 9 回	到達目標	主な耳鼻咽喉疾患の病態、検査、治療、予防について理解	テキスト③
〔講義〕		する。	配布資料
(重見)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント
		る。	
		耳疾患 鼻疾患 口腔・咽喉頭疾患	
		気道・食道・頸部疾患と音声・言語	
第 1 0 回	到達目標	1.皮膚の構造と機能について理解する。	テキスト④
〔講義〕	7,721,71	2. 主な症状とその病態生理について理解する。	配布資料
(甲斐)		1. ガイダンス	パワーポイント
(, ~ ,	1224 1 72	2.皮膚の構造と機能について説明する。	
		3. 主な症状(発疹 瘙痒 皮膚の変化)について説明す	
		る。	
第 11 回	到達目標	主な検査・治療や処置について理解する。	テキスト④
	授業予定	1. 検査と治療・処置について説明する。	
(甲斐)	八木 1 亿	・診察と診断の流れ	パワーポイント
		・検査(皮膚科的検査法 病原微生物の検査法 病理組織	7 4 1 4 1
		検査法 分子生物学的検査法)	
		・治療(全身療法 外用療法 手術療法 光線療法 レー	
		ザー療法 放射線療法 など)	
第 1 2 回	到達目標	すっぽ伝 成乳棒原伝 など) 主な皮膚疾患の病態、検査、治療、予防について理解す	テキスト④
第 1 2 回 〔 講 義 〕	10年日际		配布資料
(甲斐)	授業予定	る。 1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	配布資料
\ T 发 /	1又未了止		2.7. W(1 × 1.
		る。 表在性皮膚疾患	
		真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の疾患	
		脈管系の異常による疾患 物理・ル学的中毒障害・腫瘍シャガ名表異常症	
		物理・化学的皮膚障害 腫瘍および色素異常症	
Max : - :		感染症 全身性疾患に伴う皮膚病変	
第 1 3 回	到達目標	1. 歯・口腔の構造と機能について理解する。	テキスト⑤
〔講義〕		2. 主な症状とその病態生理について理解する。	配布資料

(首藤)		3. 主な検査・治療や処置について理解する。	パワーポイント		
	授業予定	1. ガイダンス			
		2. 歯・口腔の構造と機能について説明する。			
		3. 主な症状とその病態生理について説明する。			
		4. 主な検査と治療・処置について説明する。			
第 1 4 回	到達目標	主な歯・口腔疾患の病態、検査、治療、予防について理解	テキスト⑤		
〔講義〕		する。	配布資料		
(首藤)	授業予定	1. 主な疾患の病態、検査、治療、予防について説明す	パワーポイント		
		ప .			
		歯の異常と疾患 口腔領域の炎症 口腔粘膜の疾患			
		口腔領域の嚢胞 口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患			
		歯と顎骨の外傷			
第 1 5 回		まとめ			
		終講試験(50分)			
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
		方法 :			
		終講試験は、女性生殖器・皮膚・耳鼻咽喉・眼・歯科口腔合	わせて100%の	試験とする。	
		得点60%未満は再試験とする。			
成绩款研介) 基準と方法	終講試験(100 点満点)内訳は以下のとおり			
八根計画の	· 基单 C 刀 伍	・第1回~第3回 女性生殖器(20点)			
		・第3回~第5回 眼 (20点)			
		・第6回~第8回 耳鼻咽喉 (20点)			
		・第9回~第11回 皮膚 (20点)			
		・第 12 回~第 14 回 歯科口腔 (20 点)			
		系統看護学講座 専門分野:医学書院 e テキスト			
		①系統看護学講座 成人看護学〔9〕女性生殖器			
	テキスト	②系統看護学講座 成人看護学〔13〕眼			
 使 用 教 材		③系統看護学講座 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉			
医用软 构		④系統看護学講座 成人看護学〔12〕皮膚			
		⑤系統看護学講座 成人看護学〔15〕歯・口腔			
	参考図書				
	その他	配布資料、パワーポイント			
	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。			
履修上	の留意点				

科目区分	専門基礎分野	科目名	保健医療論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
担当教員	矢田 公裕	実 務 経 験 関 連 資 格	医師 別府市医師会立別府青山看護学校学校長		
目 的	きに、病に苦しが不治の病によりない。	む患者を絶望の減って生きる道を え	なこと、喜びと悲しみ、希望と絶望が行き交う。 間から救い出すことができる。しかし医療は限り いまがれ、手の施しようがないという厳しい現実 ない。どんな時にも医療者は、常に患者に寄りれ なの、十分な知識と技術に裏打ちされた職業人と	界があり、ときに 実に直面すること 系い、共に病気に	無力でもある。患者 もある。医療者の仕 向き合っていかねば たついて学ぶ。
目標	 生命を尊ぶる。 医学の歴史、 社会保障制度で理解する。 医の倫理、Iについて理解する。 医療現場のでするという。 	DPへの対応 DP4 DP3 DP5 DP 4 DP3、2			
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する
第 1 回 〔講義〕	到達目標	会学、宗教など	きることについて、医学だけでなく、哲学、社 ごさまざまな立場から理解する。 -	テキスト	, ин , п
	授業予定		と 出会いと別れ。生と死、希望と絶望、歓喜と悲る医療の現場についてイメージできるように説		
第 2 回 〔講義〕	到達目標	ついて理解する		テキスト	
	授業内容	る。	在実性について説明す スに基づく医療とは何かを説明する。		
第 3 回 〔講義〕	到達目標	変化してきたこ	晶社を取り巻く社会環境について、時代と共にことを理解する。	テキスト	
	授業予定	説明す る。 2. わが国の社	と、地域社会の変容、疾病構造の変化について 社会保障制度の4つの柱(①社会保険②公的扶 社④公衆衛生・医療)の概要を説明する。		
第 4 回 〔講義〕	到達目標	ーム医療の実際	要を知り、現代医療に携わる多職種の役割とチ 祭について理解する。	テキスト	
	授業予定	る。 2.現代医療に	の概要と、パブリックヘルスの対象を説明す に携わる多職種の役割について説明する。 なの実際について説明する。		
第 5 回 〔講義〕	到達目標	る諸問題を理解		テキスト	
	授業予定	2. 医療安全	表器移植における倫理について説明する。 こついて説明する。 景先端医療、医療情報の概要を説明する。		

第	6	回	到達目標	別府市医師会が担う医療政策について知ることができる。	テキス			
(講義)	授業予定	1. 別府市の医療の特徴、医療政策について説明する。	ŀ			
	2.			2. 別府市医師会の役割と機能やネットワーク、医療サービ	資料			
				スについて説明する。				
第	7	回	到達目標	意見交換が活発にできる	資料			
(講義)	授業予定	1. レポート内容を発表				
				2. 発学生の意見交換				
第	8	回		まとめ				
				終講試験(50分)				
				基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
				方法 :				
ਰਜ਼	縳 萩	AH σ) 基準と方法	終講筆記試験 80%、レポート 20%(日本臓器移植ネットワークがウエブサイトで公開している経				
HX.	限町	ΉЩ ν.	· 圣华 C 刀 伍	験者の手記、および提供ご家族の手記を読み、その概要と感想、自分の考えを 400 字詰め原稿用紙				
				2枚にまとめ、講義7回目に臨むこと。レポートは第7回講義終了時に提出すること) (60%未				
	満は再試験とする)							
	テ キ ス ト 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔1〕医療概論:医学書院eテキスト							
使	使用教材 参考 図 書							
			その他					
授	業以	外	の学習方法	第6講義までに別府市の医療についての情報収集をし、その現状をまとめて授業に臨む。				
履	修	上	の留意点					

私	目区分	▶ 専門基礎分野	科目名	治療論	単位	1 単位
<u> </u>	象学生		学期	後期	時間	30 時間
V3	<u> </u>	174	実務経験	[交符]	HA IEI	20 #3 [13]
担	当教员	金馬 義平	関連資格	医師		
目	Á	者の病気を治しる医療現場にお	の患者の病気や生たり生活の質((E活に関する情報を収集し、エビデンスのある。 QOL)を向上させたりすることを目的とする。 な患者の意思決定を支え、回復を促進するための がある。	実際に患者に接	接し治療が行われてい
目	相	2. 画像診断·	 外科医療について理解する。 画像診断・放射線治療について理解する。 がん治療の実際について理解する。 			
	業回数方法〕	τ		内容	使用教材	授業に関する 準備 学 習
	1 [1 到達目標	外科医療の基础	** どについて理解する	テキスト①	,
(講義〕		1. ガイダンス		第1章	
				や特徴と変遷、手術侵襲と生体の反応、 発症、創傷治癒について説明する		
第	2	到達目標	外科的治療を支	 支える分野について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業内容		ついて説明する (酸素療法と機械的人工換気) について説明	第3章	
第	3 [到達目標	外科的治療をう	 支える分野について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業予定	1. 体液管理、ついて説明	栄養管理、輸血療法、緩和医療に 月する	第3章	
第	4 [到達目標	外科的治療の気	実際について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業予定		本手技ついて説明する 逢合 抜糸 止血 胃管の挿入 体腔穿刺	第4章	
第	5	到達目標	外科的治療の気	実際について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業予定		版について説明する ガイド下の治療 画像ガイド下の治療	第4章	
第	6 E	到達目標	外科的基本手拉	支の実際について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業予定		こついて説明する 移植の臨床	第4章	
第	7	到達目標	救急看護の基礎	巻について理解する	テキスト①	
(講義〕	授業予定	救急処置	去の実際について説明する 置の範囲と対象 置法の原則と実際	第5章	
第	8 [到達目標	画像診断につい		テキスト②	
	講義〕	授業予定	1	ける放射線医学の役割について説明する	第2章~第	
			2. X線診断、	CT、MRI、超音波検査、核医学検査、 II管造影について説明する	7章	
第	9 [到達目標	放射線治療(約	総論)について理解する	テキスト②	
	講義〕	授業予定	2. 放射線治療 3. 正常組織 4. 治癒線量	察の原理について説明する 察の基礎について説明する D有害反応について説明する ・耐容線量と治療可能比について説明する	第8章	
1	10			総論)について理解する	テキスト②	
(講義〕	授業予定		祭の特徴と目的について説明する 重類について説明する	第8章	
第	11	到達目標	放射線による『	章害と防護について理解する	テキスト②	

〔講義〕 授業予定	1. 放射線障害について説明する	第 11 章		
	2. 放射線防護について説明する			
第 1 2 回 到達目標	がんの病態と診断について理解する	テキスト③		
〔 講義〕 授業予定	1. がんの生物学的特性について説明する	第2章		
	定義と種類 がんの発生、増殖と分化、浸潤と			
	転移、特有の病態と症候、診断と病期分類			
第 1 3 回 到達目標	がんの治療について理解する	テキスト③		
〔講義〕 授業予定	1. がん治療の選択と実際について説明する	第3章		
	2. 緩和ケアについて説明する			
	3. がんゲノム医療について説明する			
	4. 手術療法について説明する			
第 1 4 回 到達目標	がんの治療について理解する	テキスト③		
〔講義〕 授業予定	1. 薬物療法について説明する	第3章		
	2. 放射線療法について説明する			
第 1 5 回	まとめ			
	終講試験(50分)			
 成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。			
	①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 :医学書院 e テニ	キスト		
テキスト	②系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 :医学書院 e テキン	スト		
使用教材	③系統看護学講座 別巻 がん看護 : 医学書院 e テキスト			
参考図書				
その他				
授業以外の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。			
履修上の留意点				

科目区分	専門基礎分野	科 目 名	臨床栄養学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
担当教員	中津留 郁子	実 務 経 験 関 連 資 格	(元) 別府大学短期大学部 講師		
目 的		善、生活の質の向	どわっても人々の生活の質を高める為に欠く事 引上に寄与する学問でもある。看護者が臨床栄		
目標	 栄養素の種 栄養状態の ライフステ 	評価方法について ージと栄養につい	ニネルギー代謝について理解する。 工理解する。		DPへの対応 DP3 DP5 DP6
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標 授業予定		における看護の役割を理解する。 音護について説明する。	テキスト	教科書の指定部分を 事前に読んでおくこ
(#1 44)	IXX 1 /C		とぶということ 保健・医療における栄養学	1	と。 ・講義内容や 練習問題 を復習し ておくこと。
第 2 回	到達目標	各種栄養素の種	重類とはたらきを理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業内容	糖質の種類と	: はたらきについて説明する。 : 働き 脂質の種類とはたらき - ルのはたらき	ワークシー ト	
第 3 回	到達目標	各種栄養素の種	重類とはたらきを理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	タンパク質・	はたらきについて説明する。 アミノ酸の種類とはたらき・栄養価 種類とはたらき ミネラルの種類と働き	ワークシー ト	
第 4 回 〔講義〕	到達目標	2. エネルギー	ン・吸収・代謝について理解する。 - 代謝について理解する。	テキストワークシー	
	授業予定	2. エネルギー 食品のエネ	どと栄養素の吸収・代謝について説明する - 代謝について説明する。 - 小ギー 体内のエネルギー - 代謝の測定 エネルギー消費	F	
第 5 回	到達目標	18 の食品群の気	分類を中心に、食品ごとの特徴を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	食事摂取基	: の特徴について説明する。 基準 食品群とその分類 : れる栄養素 食品の調理	ワークシー ト	
第 6 回	到達目標	栄養ケア・マネ	ジメントの重要な基礎的事項を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	チームアプ	ジメントについて説明する。 ローチと栄養ケア・マネジメント スクリー セスメント ケア計画と実施・モニタリング	ワークシー ト	
第 7 回	到達目標	栄養状態を評価	新・判定するための具体的な方法を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定		h・判定について説明する。 ソントの意義・方法 臨床検査・診査	ワークシー ト	
第 8 回 〔講義〕	到達目標	ライフステーシ ジメントについ	ごとの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネ いて理解する。	テキスト ワークシー	
	授業予定	ライフステーシ ジメントについ	がどの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネッて説明する。	٢	

		乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期の栄養					
第 9 回	到達目標	ライフステージごとの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネ	テキスト				
〔講義〕		ジメントについて理解する。	ワークシー				
	授業予定	ライフステージごとの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネ	ŀ				
		ジメントについて説明する。					
		成人期・妊娠期・更年期・高齢期の栄養					
第 10 回	到達目標	病院における栄養管理の概要と各種疾患患者の食事療法の実	テキスト				
〔講義〕		際を理解する。	ワークシー				
	授業予定	病院における栄養管理の概要と各種疾患患者の食事療法の実	 				
		際について説明する。					
		チームで取り組む栄養管理 病院食の意義や種類					
		栄養補給法					
第 1 1 回	到達目標	各種疾患患者の食事療法の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	各疾患・症状別食事療法について説明する。	ワークシー				
		やせ・低栄養 肥満・メタボリックシンドローム	 				
第 1 2 回	到達目標	各種疾患患者の食事療法の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	各疾患・症状別食事療法について説明する。	ワークシー				
		循環器・消化器・栄養代謝・腎臓疾患	F				
第 1 3 回	到達目標	各種疾患患者の食事療法の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	各疾患・症状別食事療法について説明する。	ワークシー				
		血液・食物アレルギー・骨粗鬆症・摂食・嚥下障害)	 				
		場面別の栄養管理(小児 周手術期 高齢者の在宅療					
		養がんの食事療法)					
第 1 4 回	到達目標	栄養に関する各種問題を解決するための施策について理解す	テキスト				
〔講義〕		ప .	ワークシー				
	授業予定	栄養に関する各種問題を解決するための施策について説明す	 				
		ప .					
		生活習慣病の予防 食生活の改善への施策					
		食の安全性の表示					
第 1 5 回		まとめ					
		終講試験(50分)					
改建部年 ~	甘滋 1. 去 2.	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。					
双々群 1回の) 基準と方法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。					
	テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能〔3〕栄養学:医学書院 e テキスト					
使用教材	参考図書						
	その他	配布資料					
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。					
履修上	覆修上の留意点						

科目区分	専門基礎分野	科目名	臨床薬理学	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
担当教員	薬剤師	実務経験関連資格	別府医療センター 薬剤師	I	
目 的	効)、臨床応用(i 策(処置)、医薬品 て、薬物作用の	 的、間接的に摂取 適性疾患)、正し 品の取り扱い方に 理論、各薬物の特	収、適用することでヒトの生体機能に影響を及り い与薬法(薬物動態)、与薬後の注意(十分な観察 こついての理解が必要である。解剖生理学や生化 特徴(作用、副作用、体内動態)、作用機序、薬物 チーム医療の一員としての重要性についてもも	るとケア)、有害作 化学、基礎看護学 物の管理について	用(副作用)とその対 での学びをふまえ
目 標	2. 薬物の治療		の適応・副作用を理解する。 全な与薬管理・服薬指導をするうえでの留意点な 役割を理解する。	を理解する。	DPへの対応 DP3 DP3、4、5
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標 授業予定		スにおける看護師の役割について理解する。	テキスト③ テキスト別巻	
第 2 回 〔講義〕	到達目標授業内容	薬物の作用とれ 的規制について 薬理学の基礎対 薬効の個人差に	目互作用及び体内動態、薬物の保管・管理と法	テキスト③ テキスト別巻	
第 3 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	代表的な薬物の を理解する 抗感染症薬(原	の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 感染症治療に関する基礎事項、抗菌薬、抗真 レス薬・好寄生虫薬、感染症治療に関する問	テキスト③ テキスト別 巻	
第 4 回 〔講義〕	到達目標授業予定	を理解する 抗がん薬(が/	の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 ん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論、分	テキスト③ テキスト別巻	
第 5 回 〔講義〕	到達目標授業予定	を理解する 免疫治療薬(5	の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・	テキスト③	
第 6 回 〔講義〕	到達目標授業予定	代表的な薬物の を理解する 抗アレルギー製	こついて説明する の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 薬・抗炎症薬(抗ヒスタミン薬と抗アレルギ	テキスト③ テキスト別巻	
第 7 回 〔講義〕	到達目標授業予定	酸血症治療薬) 代表的な薬物の を理解する 末梢での神経液		テキスト③	
第 8 回 〔講義〕	到達目標授業予定	薬、筋弛緩薬 代表的な薬物の を理解する 中枢神経系に何	・局所麻酔薬)について説明する の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 作用する薬物(中枢神経系のはたらきと薬 薬、催眠薬・抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ	テキスト③	
			聚、催眠薬・机个女薬、机精神病薬、加うつ 薬、パーキンソン、症候群治療薬、抗てんか		

	ん薬、麻薬性鎮痛薬、片頭痛治療薬)について説明する					
第 9 回 到達目	目標 代表的な薬物の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 テキスト③	3)				
〔講義〕	を理解する					
授業予	予定 循環器系に作用する薬物(降圧薬、狭心症治療薬、心不全					
	治療薬、抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液凝					
	固系・線溶系に作用する薬物、血液に作用する薬物) につ					
	いて説明する					
第 10 回 到達目	目標 代表的な薬物の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 テキスト③					
〔講義〕	を理解する					
授業予	予定 呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、生殖					
	器・泌尿器系に作用する薬物について説明する					
第 1 1 回 到達目	目標 代表的な薬物の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 テキスト③	3)				
〔講義〕	を理解する					
授業予						
	療薬としてのビタミン)について説明する					
第 1 2 回 到達目		3)				
〔講義〕	を理解する					
授業予						
第 1 3 回 到達目		3)				
〔講義〕	を理解する					
授業予						
第 1 4 回 到達目	明する					
第 1 4 回 到達目 〔 講 義 〕	目標 代表的な薬物の作用のしくみ、医療用途および主な副作用 テキスト を理解する	3)				
授業予						
1又未了	17.					
第 1 5 回	皿用、有波末物に必要な架の和画にラジーで説明する まとめ					
	終講試験(50分)					
	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。					
成績評価の基準と	: 方法 本子 : 後時がた3/25米に死たする計画生子に干する。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。					
テキン		系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 薬理学:医学書院 e テキスト				
使用教材 参考 🛭						
そ の						
授業以外の学習						
履修上の留意						

科目区分	専門基礎分野	科目名	公衆衛生学	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
10 V 1/L 12	+111 75%	実務経験	環境計量士・(元)大分県庁職員	<u> </u>	
担当教員	吉川 政治	関連資格	大分大学医学部 環境・予防医学講座 講師	(医学博士)	
	社会において	果たすべき公衆領	育生の役割・地域ですすめるべき健康づくりのフ	方向や方法、人々	の健康づくりの基盤
目 的	づくりを理解し	ていく中で、看記	護職が果たすべき役割を明確にする。		
					DP への対応
目 標	1. 地域社会に	おいて人々が直	fiする健康上の課題について理解する。		DP3 · 4 · 5
	2. 公衆衛生学	の範囲と概要を理	里解する。		DP3 · 4 · 5
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕		1	1714	L 713 42 73	準 備 学 習
第 1 回	到達目標		いう言葉のもつ意味を、歴史的背景をふまえ	テキスト	統計学や疫学の分
〔講義〕		て理解する。		パワーポイ	野でも活躍した、近
	授業予定	1. ガイダンス	ζ.	ント	代看護教育の生みの
			: は何か説明する。		親であるナイチンゲ
			で 衛生の歴史について説明する。		ールの活躍につい
			ける公衆衛生の始まりと今日までの展開につい		て、学習しておきま
AMT 0 17	704 - 5	て説明する。		- 1)	しょう。
第2回			新生を学ぶ意義を理解する。	テキスト	自分の健康に影響
〔講義〕	授業内容		が対象を説明する。	パワーポイ	を与えるものについ
			舌と健康に関係する社会集団 - ^ 如素ない活動社会	ント	て、具体的に考えて おきましょう。
第 3 回	刘孝口栖		公的責任と活動対象	ニナット	
第 3 回〔講義〕	到達目標	国民の健康を認めている。	まもるための、日本における主な政策や看護職 - 冊解する	テキスト パワーポイ	自分や家族の健康 が、どのような人々
し時数)	授業予定		くみについて説明する。	ント	によって支えられて
	汉未了足		・国と地方自治体の役割		いるかイメージして
			またらき・多職種・住民との協働		おきましょう。
			長日本 21 について説明する。		4-6 2 2 2 7 8
第 4 回	到達目標	1	態を知るために、様々な指標があることを理解	テキスト	人口構成をはじめ
〔講義〕		する。		参考図書	とした保健統計は、
	授業予定	集団の健康をあ	こらえるための手法を説明する。	パワーポイ	人々の健康状態と密
		・疫学と保健	建統計①	ント	接な関係がありま
					す。基礎・小児・母
					性・成人・老年・精
					神・在宅・統合分野
					の概論と関係を持た
					せながら学習しまし
					よう
第 5 回	到達目標		とに、日本人の健康状態と健康上の課題につい	テキスト	人口構成をはじめ
〔講義〕		て理解する。		参考図書	とした保健統計は、
	授業予定	7,17,	こらえるための手法を説明する。	パワーポイ	人々の健康状態と密
		・疫学と保備		ント	接な関係がありま
		保健統計、分析	斤疫学に関する演習を実施する。		す。基礎・小児・母
					性・成人・老年・精
					神・在宅・統合分野の概論と関係を持た
					の概論と関係を持たせながら学習しまし
					せなから子百しましょう。
第 6 回	到達目標	晋倍レ健康 <i>1</i>	 生活とのつながりについて理解する。	テキスト	既習の、人々の健
京 講義〕	授業予定	+	ついて説明する。〔1〕	参考図書	康に大きく影響する
(N13 426.)	1久未 1 亿	-/ボ・/L C N生/K 1C	HVE/17 00 (+)	プラロョ パワーポイ	環境について復習し
				ント	ておきましょう。
	1	1		I	

第 7 回 〔講義〕	到達目標	人々の日常生活に直結する、身のまわりの環境問題とその対策、健康への影響について理解する。	テキスト 参考図書	既習の、人々の健康 に大きく影響する環
し 講 我 丿	[장·개K 그 구			
	授業予定	環境と健康について説明する。〔2〕	パワーポイ	境について復習して
		食育・食品保健について説明する。	ント	おきましょう。
第 8 回	到達目標	日本の公衆衛生上の、重要な感染症とその対策について理解	テキスト	基礎看護学で学習
〔講義〕		する。	参考図書	した、医療者の感染
	授業予定	感染症とその予防策について説明する。	パワーポイ	予防対策と関連させ
			ント	ながら学習を深めま
				しょう。
第 9 回	到達目標	国際保健活動について理解する。	テキスト	自分が知ってい
〔講義〕	授業予定	国際保健活動の概要を説明する。	参考図書	る、国際的な医療活
		グローバルな環境問題・地球環境問題について説明する。	パワーポイ	動についてイメージ
			ント	しておきましょう。
				また、COP などの国
				際的取り決めをとお
				して、地球環境問題
				について理解を深め
				ましょう。
22± 1 0 □	刘孝口栅	母子保健の対象となる人々や、しくみ(法制度・システ	ニナット	
第10回	到達目標		テキスト	母性看護の対象や看
〔講義〕	14 Mr = 11	ム)、具体的な保健活動について理解する。	参考図書	護活動について学習
	授業予定	1. 公衆衛生看護とは何か説明する。	パワーポイ	しておきましょう。
		2. 母子保健について説明する。	ント	また、関係法規と関
				連させながら学習し
				ていきましょう。
第 11 回	到達目標	成人保健・高齢者保健の対象となる人々や、しくみ(法制	テキスト	自分が住んでいる
〔講義〕		度・システム)、具体的な保健活動について理解する。	参考図書	地域で行われている
	授業予定	1. 成人保健の概要を説明する。	パワーポイ	保健活動について、
		2. 高齢者保健の概要を説明する。	ント	知っていることを明
				確にしておきましょ
				う。また、関係法規
				と関連させながら学
				習していきましょ
				う。
第 1 2 回	到達目標	精神保健・歯科保健・障害者保健・難病保健の対象となる	テキスト	自分の身のまわり
〔講義〕		人々や、しくみ(法制度・システム)、具体的な保健活動に	参考図書	で、知っている保健
		ついて理解する。	パワーポイ	活動について具体的
	授業予定	1. 精神保健の概要を説明する。	ント	にしておきましょ
	12/4 1 VL	2. 歯科保健の概要を説明する。		う。また、関係法規
		3. 障害者保健・難病保健の概要を説明する。		と関連させながら学
		3.		習していきましょ
答12	刘子口 ഘ	田中のスピルの健康細胞の、日本的を活動について四点し	ニナット	う。
第13回	到達目標	現代の子どもの健康課題や、具体的な活動について理解す	テキスト	自らが経験してき
〔講義〕	155 AHE → -1-	3.	参考図書	た小・中・高等学校
	授業予定	1. 学校における健康のとらえを説明する。	パワーポイ	生活において、健康
		2. 学校保健の展開について説明する。	ント	を守るために行われ
		3. 特別な支援を必要とする子どもたちについて説明する。		ていた保健活動につ
				いて、想起しておき
				ましょう。
第 1 4 回	到達目標	1. 働く人々に生じる健康問題と、健康管理のしくみについ	テキスト	働く人々におけ
〔講義〕		て理解する。	参考図書	る、健康上の問題に
		2. 過去の健康危機や日本における健康危機管理体制を知	パワーポイ	ついて新聞等を用い
		り、日ごろから私たちができることについて想像する。	ント	て調べておきましょ
			ı	1

	授業予定	1. 職場における健康と産業保健活動について説明する。		う。近年の日本にお	
		2. 健康危機管理・災害保健の概要を説明する。		ける代表的な災害に	
				おいて、保健活動に	
				携わった人々の職種	
				や活動について調べ	
				ておきましょう。	
第 1 5 回		まとめ			
		終講試験(50分)			
武德斯压	7 甘 摊 12 七 计	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
八根計Ш 2) 基準と方法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。			
	テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔2〕公衆衛生:医学書院 e テキスト			
使用教材	参考図書	国民衛生の動向			
	その他	配布資料 パワーポイント			
		指定のテキストを読み、人々の健康状態についてイメージし	しておきましょう	。また、日ごろか	
授業以外	の学習方法	ら、世界や日本の人々の健康状態に関心をもち、新聞やテレビニュースは敏感に確認しておきまし			
		よう。			
		公衆衛生は、人々の健康を目的とする看護と密接な関係があります。特に、人口構成を中心とし			
履修上	の 卒 上	た保健統計や、国の政策は看護師国家試験においても必ず出場	夏されるものです	。それぞれの看護学	
個人 1 多二人	の留意点	領域においても基本的知識となります。また、保健統計は年月	度ごとに変化して	いくものです。留意	
		しましょう。			

科目区分	専門基礎分野	科 目 名	社会福祉	単 位	2 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期・後期	時 間	45 時間
12 火 数 县	四ツ谷 年晴	実 務 経 験	大分県社会福祉介護研修センター 専門員		
担当教員	四/台 平明	関連資格	(元)大分県庁職員(障害福祉・高齢者福祉を	こかかわる)	
目 的			するための社会保障制度、障害者や要介護者が自	自立した生活を送	送るための社会福祉の
	概要と制度につ	いて理解する。			DP への対応
	1 社会保障制	度の概要を理解す	1		DP2 · 3
目 標		意義を理解する。			DP3 · 4
			必要性を理解する。		DP3 · 4 · 5
授業回数					授業に関する
〔方法〕			内容	使 用 教 材	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	わが国の人々な	が、誕生してから最期の時を迎えるまで、どの	テキスト	社会保障や社会福
〔講義〕		ような制度によ	よって支えられているのか理解する。	参考図書	祉についてイメージ
	授業予定	1. ガイダンス	Z.		しておきましょう。
		2. 社会保障制	制度について説明する。		家族や自分がどのよ
		3. 社会福祉の	の法制度について説明する。		うな制度の中で生活
					してきたのか、イメ
					ージしておきましょ
Antr 0 17	701 D FE	1 10 2 20		- 1)	5.
第 2 回	到達目標	1. ガイダンス		テキスト	自分の身のまわり
〔講義〕			制度について説明する。 の法制度について説明する。	参考図書	や、社会の中で起き ている諸問題を考え
	授業内容		の変化について説明する。		ておきましょう。公
	汉 亲的谷	1. 况代任云》	ク友化に フザ く説明する。		衆衛生における保健
					統計を想起し、現代
					社会における諸問題
					についてイメージし
					ておきましょう。
第 3 回	到達目標	現代の社会保障	章・社会福祉の動向について理解する。	テキスト	現代社会の変化に
〔講義〕	授業予定	1. 社会保障	・社会福祉の動向について説明する。	参考図書	ついてまとめておき
					ましょう。
第 4 回	到達目標	わが国の医療係	呆障制度の特徴を理解する。	テキスト	日本の医療保障制
〔講義〕	授業予定		制度の沿革について説明する。	参考図書	度について、知って
		2. 医療保障制	制度の構造と体系について説明する。		いることをまとめて
Art 5 13	初生口無	医房间外侧底	\ - TIII ETI . 1- 7	- 1 - 1	おきましょう。
第 5 回	到達目標		こついて理解する。	テキスト	病院を受診した際 の、自分や家族の負
[こ 講 義 〕	授業予定		と国民健康保険の概要を説明する。 療保障制度の概要を説明する。	参考図書	担金額を調べておき
		2. 同即日达第	京休早刊及の例女で 武明する。		担立領を調べておる
第 6 回	到達目標	保険診療のして	くみを理解する。	テキスト	病院を受診した際
〔講義〕	授業予定	_	のしくみについて説明する。	参考図書	の、診療費支払明細
	1221172		医療の概要を説明する。		書が手元にある場合
			費の概要を説明する。		は記載されている内
					容を確認しておきま
					しょう。
第 7 回	到達目標	介護保険制度な	が創設された背景について理解する。	テキスト	住んでいる地域の介
〔講義〕	授業予定	1. 介護保険制	制度創設の背景と介護保障の歴史について説明	参考図書	護保険料や、身近な
		する。			人 (家族など) の介
		2. 介護保険制	制度の概要を説明する。		護保険料について調
					べておきましょう。
					医療保険制度と介

第 8 回〔講義〕	到達目標 授業予定	介護保険制度の概要と課題を理解する。 1. 介護保険制度の概要を説明する。 2. 介護保険制度の課題と展望について説明する。	テキスト参考図書	護保険制度の違いについて調べておきましょう。 地域・在宅看護論と関連があります。 介護保険の公費 (国、都道府県、市町村)負担割合について調べておきまし
第 9 回 〔講義〕	到達目標授業予定	1. 所得保障の種類と受給対象者を理解する。 2. 年金保険制度の仕組みを理解する。 1. 所得補償制度のしくみについて説明する。 2. 年金保険制度の概要を説明する。	テキスト参考図書	よう。 地域・在宅看護論 と関連があります。 国民年金・基礎年 金の受給開始年齢に ついて調べておきま しょう。
第 10 回〔講義〕	到達目標 授業予定	1. 社会手当(児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、障害者手当)の受給対象者を理解する。 2. 労働保険制度の対象者を理解する。 1. 社会手当について説明する。 2. 労働保険制度の概要を説明する。	テキスト参考図書	住んでいる地域 の、児童手当の対象 年齢や支給額につい て調べておきましょ う。
第 11 回〔講義〕	到達目標 授業予定	 生活保護の対象者と、種類・方法について理解する。 事例をとおして、生活保護が実施されるまでの過程を理解する。 貧困・低所得問題と公的扶助制度の概要を説明する。 生活保護制度のしくみを説明する。 *生活保護の実施(事例) 	テキスト 参考図書	生活保護について 調べておきましょ う。
第 1 2 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	生活保護を取り巻く近年の動向について理解する。 1. 低所得者対策について説明する。 2. 生活保護を取り巻く近年の動向について説明する。	テキスト 参考図書	現代の生活保護を めぐる問題につい て、調べておきまし ょう。
第 13 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	現代における高齢者福祉の現状と具体的な高齢者福祉の施策について理解する。 1. 高齢者福祉の概要を説明する。	テキスト参考図書	公衆衛生や基礎看 護学概論の学習を想 起し、世帯構造別に みた世帯数や、高齢 者の健康状態につい て保健統計などをと おして調べておきま しょう。
第 1 4 回 〔講義〕	授業予定	障害者福祉の理念と、わが国の障害者福祉制度の変遷について理解する。 1. 障害者福祉の概要を説明する。	デキスト 参考図書	どのような人々を 障害者として位置づ けているのでしょう か、自分が考えたこ とをまとめておきま しょう。
第 15 回 〔見学〕	到達目標授業予定	1. 高齢者や障害者が自立した生活を送るための、生活面でのさまざまな支援の実際を理解する。 2. 高齢者福祉・障害者福祉の意義について理解する。 社会福祉施設を見学する。 見学施設 ①大分県社会福祉 介護研修センター	配布資料	社会福祉施設の見学 を予定しています。 日程は、後日お知ら せします。
第 16 回	到達目標	同上	配布資料	同上

〔見学〕	授業予定	同上				
第 1 7 回 〔見学〕	到達目標 授業予定	 高齢者や障害者が自立した生活を送るための、生活面でのさまざまな支援の実際を理解する。 高齢者福祉・障害者福祉の意義について理解する。 社会福祉施設を見学する。 ②社会福祉法人 太陽の家 	配布資料	社会福祉施設の見学 を予定しています。 現地集合となりま す。現地までのルー トや方法を調べてお きましょう。日程 は、後日お知らせし ます。		
第 18 回	康達目標	同上	配布資料	同上		
〔見学〕	授業予定	同上				
第 1 9 回 〔講義〕	到達目標	 児童に関わる法律と施策を理解する。 現代社会がもたらす、児童の健やかな成長・発達への影響と課題について理解する。 	テキスト 参考図書	日本、またはあな たの暮らす地域は、 子どもたちが健やか		
	授業予定	1. 児童家庭福祉の概要を理解する。		に育つ環境にありますか?理由とともに あなたの考えをまと めておきましょう。		
第 2 0 回 〔講義〕	到達目標	社会福祉における個人・集団への具体的な援助技術につい て理解する。	テキスト 参考図書	個別・集団への援 助技術について、テ		
	授業予定	 社会福祉援助について説明する。 個別援助(ケースワーク)の方法について説明する 集団援助(グループワーク)の方法について説明する。 		キストを読んでおき ましょう。		
第 2 1 回 〔講義〕	到達目標	 様々な職種間における連携について理解する。 医療・看護・福祉の連携における看護師の役割について理解する。 	テキスト 参考図書	テキストの事例を 読んでおきましょ う。		
	授業予定	 連携の必要性について説明する。 社会福祉実践と医療・看護との連携について説明する。 事例:連携の場面とその方法 		医療・看護・福祉 の連携の具体的な方 法について、再度イ メージしておきまし ょう。 専門職連携と関連 があります。		
第 2 2 回	到達目標	歴史的背景をもとに生まれた、現代における社会福祉の考	テキスト	これまでに学んだこ		
〔講義〕	授業予定	え方について理解する。 社会福祉の歴史について説明する。	参考図書	とを振り返り、社会 保障・社会福祉の考 え方についてまとめ ておきましょう。		
第 2 3 回		まとめ 終講試験(50 分)				
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。				
使用教材	テキスト 参考図書 その他	キスト I 国民衛生の動向				
授業以外	の学習方法	配布資料 ハリーボイント 社会保障制度や社会福祉は、各看護学領域との密接な関係がある科目です。各科目と、関連づけ 双方において予習・復習しながら学習をすすめましょう。				
履修上	の 留 意 点	身近な事例と照らし合わせながら講義に参加しましょう。ま ましょう。	きた、テキストを	た読んで講義に参加し		

科目区	分	専門基礎分野	科目名	臨床心理 I	単 位	1 単位
対象学	年	2 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
担当教	員	榊原 有紀		別府大学 文学部 人間関係学科 講師		
		111 77 a HHHH	1	臨床心理士 公認臨床心理士	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	11
目	的			技術におけるコミュニケーションの基礎知識を∜ ✓ョンといった人間関係を構築するための理論と		
						DP への対応
_	_	1. カウンセリ	ング・心理療法の)看護への応用について理解する。		DP1 · 2 · 3 · 4 ·
目	標	2. コーチング	`の理論を理解する	, ,		5 • 6
		3. アサーショ	ンの理論を理解し	、、アサーティブな対応について理解する。		
授業回	数					授業に関する
〔方法)			内容	使 用 教 材	準 備 学 習
第 1	回	到達目標	人間関係を形成	戊 するための基本的な手段であるコミュニケー	テキスト	人間関係論や基礎
〔講義)		ションのしくみ	なについて理解する。	配布資料	看護学で学んだ知識
		授業予定	1. ガイダンフ	ζ	=	を想起しておくこ
			2. コミュニケ	アーションが与える様々な影響について説明す		と。
			る。			
第 2	回	到達目標	カウンセリンク	ブ・心理療法の種類とその概要について理解す	テキスト	テキストを読んで
〔講義)		る。		配布資料	おくこと。
		授業内容	カウンセリング	ブ・心理療法の理論の概略を説明する。		
			・支持的精神	申療法・クライエント中心療法		
			・精神力動的	り精神療法・行動療法		
			・認知療法・	認知行動療法		
第 3	亘	到達目標	カウンセリング	ブ・心理療法の具体的な実践方法について理解	テキスト	カウンセリング・
〔講義)		する。		配布資料	心理療法の理論につ
		授業予定	カウンセリング	・心理療法の方法を説明する。		いて復習しておくこ
			*事例演習			と。
第 4	回	到達目標	カウンセリング	ず・心理療法の具体的な実践方法について理解	テキスト	
〔講義)		する。		配布資料	カウンセリング・
		授業予定	事例をとおして	て、カウンセリング・心理療法のスキルにおけ		心理療法の理論につ
			る自己の課題を	と明確にする。		いて復習しておくこ
			*事例演習			と。
第 5	回	到達目標	カウンセリン	/ グ・心理療法の具体的な実践方法について理	テキスト	カウンセリング・
〔講義)		解する。		配布資料	心理療法の理論につ
		授業予定	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	て、カウンセリング・心理療法のスキルにおけ		いて復習しておくこ
			る自己の課題を	と明確にする。		と。
			*事例演習			
第 6	回	到達目標		基本的スキルの具体的な方法を理解する。	テキスト	テキストを読んでお
〔講義)	授業予定		での理論と方法を説明する。	配布資料	くこと。
			(演習)			
				く」「質問する」		
A 44. —				, クする」「励ます」		ti ta a HH to di ta
第 7		到達目標)理論を理解する。	テキスト	他者との関係で自分
〔講義	,	授業予定		ョンの理論と方法を説明する。	配布資料	が困難に感じたこと
			*事例演習			をイメージしておく
446 O	ᇤ		まとめ			こと。
第 8	回		まさめ 終講試験(50分	()		
				<u></u>		
成績評	価の	基準と方法		規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教	材	テキスト		至 基礎分野 人間関係論 第2部::医学書院 e	テキスト	
人川牧	.k1	/ / / /	小小儿田 吸丁 時日	L 主吸刀 2 / 八回內 / 四回 2 / 四 · · 位于百见 C	/ 1/1	

	参	考 図	書			
	そ	Ø	他	配布資料 パワーポイント		
極 紫 N M	授業以外の学習		= %±:	講義当日予定の学習内容については、事前にテキストを読んでおくこと。また、他者との関係で		
1	の子	一百人	人	自分が困難に感じた場面を想起しておくこと。		
				看護職にとって、人間関係を築くことは職務の前提であり、看護活動においてはその中心となるも		
 履修上			- KT	र्तम और	留意点	のです。コミュニケーションやカウンセリングのスキルは講義をとおして身につけるものではな
腹 多 上	() I	田息	Ж	く、実践をとおして身につけていくものです。本科目で学んだ理論とスキルを、日ごろの人間関係		
				の中でも実践しながらスキルを身につけていきましょう。		

対象 字字 2 字字 字 期 (高男	科目区	分	専門基礎分野	科目名	臨床心理Ⅱ	単 位	1 単位
			***************************************			•	
A 別 子 別 連 音 格 別 連 音 格 別 連 音 格 別 所有に解念な別所言山名鑑学校 明任教具 1. 患者そその家族が置かれる様々な技能をおける名画師の投源について理解する。 2. 患者との財政が関係を対しる方法を理解する。 2. 患者との財政が関係を理解する。 2. 患者との財政が関係を理解する。 2. 患者との財力が関係を理解する。 2. 患者との財力が関係を理解する。 2. 患者との財力が関係を理解する。 4. 世界をはいまする人間関係を理解する。 4. 世界をはいまする人間関係を理解する。 5. 世界をはいまする人間関係を理解する。 5. 世界をはいまするというでは、自体的関節・心理解する。 6. 世界の野 は、世界とはどのような存在が理解する。 7. キネト 伊服子 (講 義) 投票予定							7. 7
	担当教	員	木畑 孝子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
2. 患者との相互作用を評価する方法・ソフレクション、ドついて学習する。			1. 患者とその	家族が置かれる権	様々な状況における看護師の役割について理解す	ける。	
1. 患者その寒族が置かれる様々な状況と音濃師のかかわりりを理解する。 2. 患者との相互作用を容飾する方法を理解する。 検験医療チームにおける人間関係を理解する。 検験医療	Ħ	的	2. 患者との相	互作用を評価する	る方法〝リフレクション〟について学習する。		
1							DP への対応
2. 患者との相互作用を評価する/法と理解する。 5・6 投業回数 (方法)	Ħ	limi	1. 患者その家族	族が置かれる様々	々な状況と看護師のかかわり方を理解する。		DP1 · 2 · 3 · 4 ·
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	П	1zr	2. 患者との相	互作用を評価する	る方法を理解する。		5 · 6
内容 使用 水台 準 像 学 習 第 1 回 到達目標 生者とはどのような存在が関係する。 デキスト PWP 投業予定			3. 保健医療チ	ームにおける人間	間関係を理解する。	T	
第 1 回 例送目標 患者とはどのような存在か理解する。 テネスト PWP 第 2 回 別送目標 患者とはどのような存在か理解する。 テネスト PWP 第 2 回 別送目標 患者と医療者の関係のあり方について理解する。 テキスト (講義) 授業内容 1. 患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。 ・ベブロウ・トラベルビー テキスト 第 3 回 授書目標 患者と医療者の関係のあり方について理解する。 ・ベブロウ・トラベルビー テキスト 第 4 回 別送目標 患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について対える。・ベブロウ・トラベルビー テキスト 第 4 回 別送目標 患者一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 ・ベブロウ・トラベルビー テキスト 第 5 回 (講義) 授業予定 1. リフレクションの10的と方法を説明する。 2. プロセスレコードの目的と方法を説明する。 2. プロセスレコードの目的と方法を説明する。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる。・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる・ まる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 おる・ まる。 ・ 浅瀬戸 おる。 ・ 浅瀬戸 およい およい 特別 はまい サースト ・ アキスト ・ アキスト ・ ア・スト ・ ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・ボーム・					内容	 使用教材	
(講義) 授業予定 1. ガイダンス 2. 患者になるということについて、身体的側面・心理的側面・社会的側面から設明する。 アキスト 第 2 回 (講義) 授業内容 出、患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。 2. 看護理論からみた患者一看護師関係について説明する。 ベブロウ・トラベルビー アキスト 第 3 回 (講義) 授業予定 1. 患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。 2. 看護理論をとおして患者一看護師関係について考える。 ベブロウ・トラベルビー アキスト 第 4 回 (講義) 授業予定 1. リアレクションの目的と方法を説明する。 2. ブロセスレコードの目的と方法を説明する。 2. ブロセスレコードの目的と方法を説明する。 2. ブロセスレコードの目的と方法を説明する。 4. リアレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 ※演習 アキスト 第 5 回 (講義) 授業予定 1. リアレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 機者一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 地域日標 地域日標的相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 地域日標 地域日標的相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 地域日標 地域日標的相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 8 回 列達目標 地域日標 地域日標 を持一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 地域日標 地域日標 を持一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト 第 7 回 (講義) 地域日標 とおして利力を対して用を評価するための方法を理解する。 ※演習 アキスト				l de ta s s s			準備学習
第 2 回							
第 2 回	し 講 莪	۱ ا	授美才正			PWP	
第 2 回 (講義) 到達目標 患者と医療者の関係のあり方について理解する。 テキスト PWP 投業内容 1. 患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。・ベブロウ・トラベルビー テキスト PWP 第 3 回 (講義) 授業予定 1. 患者一看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。・ベブロウ・トラベルビー アキスト PWP 第 4 回 (講義) 授業予定 1. リフレクションの目的と方法を説明する。・ベブロウ・トラベルビー アキスト PWP 第 4 回 (講義) 授業予定 1. リフレクションの目的と方法を説明する。・ベブロウ・トで目的と方法を説明する。・ベブロウ・トで目的と方法を説明する。・ベブロウ・ドでは、おい場面をノートに書き留めてくること。3つ以上の場面をデげておくこと。場面は、よい場面はあるとりでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、例でもよい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
(講義) 授業内容 1.患者-看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について説明する。 2.看護理論からみた患者-看護師関係について説明する。 ・ペブロウ・トラベルビー	第 2	同	到達日樗			テキスト	
第3回 到達目標 患者と医療者の関係のあり方について理解する。 ・ペブロウ・トラベルビー	×11. –	· ·					
第3回 (講義) 到達目標 患者と医療者の関係のあり方について理解する。	(m, 44		12.20.11				
第 3 回 (講義) 到達目標 規義子定 / 授業予定 / 投業予定 / 上 リフレクションの目的と方法を説明する。 / スプロウ・トラベルビー / 投業予定 / リッレクションの目的と方法を説明する。 / スプロセスレコードの目的と方法を説明する。 / アキスト / 大に書き留めてくる / こと。3つ以上の場面を挙げておくこと。場面は、よい場面、力をい場面、とりでもない場面、何でもよい / 上 表面は、よい場面、力をい場面、 / 上 表面は、よい場面、 / 上 の / 上 の / 上 表面は、よい場面、 / 上 表面は、よい場面、 / 上 表面は、よい場面、 / 上 の / 上 の / 上 表面は、よい場面、 / 上 表面は、 / 上 表面は、 / 上 表面は、 / 上 表面は / 上 本面は / 上 本							
(講義) 授業予定 1. 患者-看護師の関係と、関係から生まれる相互作用について考える。これでは関する。 2. 看護理論をとおして患者-看護師関係について考える。これでロウ・トラベルビー 第4 回				・ペプロウ	・トラベルビー		
第 4 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 ・ペプロウ・トラベルビー	第 3	回	到達目標	患者と医療者の	D関係のあり方について理解する。	テキスト	
第 4 回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト 次回講義までに、身近にあった印象に残っている場面をノートに書き留めてくること。3つ以上の場面を挙げておくこと。場面は、よい場面、わるい場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、とちらでもない場面、とまる。 第 5 回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 アキスト PWP 第 6 回 (講義) 型達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 アキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 アキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 アキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 アキスト PWP	〔講義)	授業予定	1. 患者-看語	隻師の関係と、関係から生まれる相互作用につ	PWP	
第 4 回 到達目標 (講義) 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト (講義) 次回講義までに、身近にあった印象に残っている場面をソートに書き留めてくること。3つ以上の場面を挙げておくこと。場面は、よい場面、どちらでもない場面、とまででもよいでもよいでもよいでもよいでもよいでもよいでもよいでは、はいまでは、				いて説明する	5 .		
第 4 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト 次回講義までに、身近にあった印象に残っている場面をソートに書き留めてくること。3つ以上の場面を挙げておくこと。場面は、よい場面、からい場面、からい場面、例でもよい 第 5 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 第 6 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 型達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * テキスト PWP 第 8 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 とおして自己の課題に気づく。 テキスト PWP				2. 看護理論	ととおして患者-看護師関係について考える。		
(講義) 授業予定 1. リフレクションの目的と方法を説明する。 PWP 近にあった印象に残っている場面をノートに書き留めてくること。3つ以上の場面を挙げておくこと。場面は、よい場面、わるい場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どちらでもない場面、どれまた。 (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を評価するための方法を理解する。※演習 デキスト PWP (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。※演習 デキスト PWP (講義) 投業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。※演習 デキスト PWP (講義) 担当目標 患者一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 デキスト PWP (講義) 現達目標 患者一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 デキスト PWP (講義) 現達目標 患者一看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 デキスト PWP							
第 5 回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 別達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 別達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 別達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 8 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP							
第 5 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。	し講 義	۱	授業予定			PWP	
第 5 回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。				2. /ut/l	ンコートの目的と方法を説明する。		
第 5 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 6 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 * 演習 テキスト PWP (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP (講義) 担議日標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * デキスト PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 * デキスト PWP							
第 5 回 (講義) 到達目標 授業予定 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP PWP 第 6 回 (講義) 到達目標 を表 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 到達目標 を表 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 第 7 回 (講義) 到達目標 を表 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 * 演習 テキスト PWP 授業予定 1. ブロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 テキスト PWP							
第 5 回 (講義) 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。							と。場面は、よい場
第5回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 テキスト 第6回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 テキスト PWP 第7回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 とある。 テキスト PWP 授業予定 1. ブロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 PWP 第8回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト							面、わるい場面、ど
第 5 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト (講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 デキスト 第 6 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 デキスト (講義) 投業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 デキスト 第 7 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 デキスト 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第 8 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解すまままままままままままままままままままままままままままままままままままま							ちらでもない場面、
(講義) 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 PWP 第6回 (講義) 到達目標 息者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 *演習 テキスト PWP 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 テキスト PWP 第7回 (講義) 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 授業予定 テキスト PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第8回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト							何でもよい
第6回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト PWP 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 第7回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト PWP 「講義」 る。 PWP 授業予定 1. ブロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 テキスト 第8回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解すると述述を理解すると述述を理解するための表述を理解すると述述を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析を理解析			到達目標			, , ,	
第 6 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 第 7 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキスト (講義) る。 PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 テキスト 第 8 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解することの表表を表表を表示される。	〔講義)	授業予定		/ョンをとおして相手と自分の相互作用を分析	PWP	
第 6 回 【講義】 到達目標 る。 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す する。 *演習 テキスト PWP 第 7 回 【講義】 到達目標 る。 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す る。 テキスト PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 PWP 第 8 回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す 思者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト							
(講義) る。 PWP 授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 *演習 第7回 到達目標患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 授業予定 テキストのWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第8回 到達目標患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解すます。 テキスト	MAS C	ᇤ	如李口種		エの担互作用も部位よりと よの七汁も理師よ	ニナット	
授業予定 1. リフレクションをとおして相手と自分の相互作用を分析する。 *演習 第 7 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキストの PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第 8 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト			到连日悰		即の相互作用を評価するための方法を理解す		
第 7 回 到達目標 製達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキストの (講義) る。 PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 サキストの方法を理解するための方法を理解する。	(NA) 452	1	授業予定		ノョンをとおして相手と自分の相互作用を分析	1 441	
第 7 回 到達目標 患者 - 看護師の相互作用を評価するための方法を理解する。 テキストの場所 (講義) 2			汉术;元				
(講義) る。 PWP 授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第8回 到達目標 患者-看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト				*演習			
授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。 第 8 回 到達目標 患者 – 看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト	第 7	回	到達目標	患者-看護師	市の相互作用を評価するための方法を理解す	テキスト	
第 8 回 到達目標 患者 – 看護師の相互作用を評価するための方法を理解す テキスト	〔講義)		る。		PWP	
			授業予定	1. プロセスし	vコードをとおして自己の課題に気づく。		
〔講義〕 PWP	第 8	回	到達目標	患者-看護師	市の相互作用を評価するための方法を理解す	テキスト	
	〔講義)				PWP	
授業予定 1. プロセスレコードをとおして自己の課題に気づく。			授業予定	1. プロセスし	ンコードをとおして自己の課題に気づく。		

				1
第 9 回	到達目標	さまざまな状況にある患者と患者を支える看護師のかかわり	テキスト	
〔講義〕		方について理解する。		
	授業予定	1. クリティカルな状況にある患者を支える人間関係につい		
		て説明する。		
第 10 回	到達目標	さまざまな状況にある患者を支える看護師のかかわり方につ	テキスト	
〔講義〕		いて理解する。		
	授業予定	1. 慢性疾患を抱えて生きる患者を支える人間関係について		
		説明する。		
第 11 回	到達目標	さまざまな状況にある患者を支える看護師のかかわり方につ	テキスト	
〔講義〕		いて理解する。		
	授業予定	1. 死に向かう患者を支える人間関係について説明する。		
第 12 回	到達目標	さまざまな状況にある患者を支える看護師のかかわり方につ	テキスト	
〔講義〕		いて理解する。		
	授業予定	1. 人間関係構築が難しい患者との関係構築について説明す		
		る。		
		*疾患をかかえる子供との人間関係		
		*精神疾患を抱える患者との人間関係		
第 13 回	到達目標	さまざまな場面における家族への看護について理解する。	テキスト	2 年次前期履修「家
〔講義〕	授業予定	1. さまざまな事例をとおして、家族と看護師のかかわりに		族看護」における理
		ついて説明する。		論を、復習しておき
				ましょう。
第 1 4 回	到達目標	医療チームと人間関係について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. チームにおける看護師の役割を説明する。		
		2. チームワークを阻害する要因と防止する方法について説		
		明する。		
		3. チームにおけるコミュニケーションエラーとその予防方		
		法を説明する。		
第 15 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
最終認備の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
八根計画の	, 塞华 C 万 仏	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
	テキスト	系統看護学講座 基礎分野人間関係論 第2部:医学書院 e テ	キスト	
使用教材	参考図書			
	その他	配布資料 パワーポイント		
協 柴 IV M	の学習方法	講義当日予定の学習内容については、事前にテキストを読ん	ンでおくこと。 :	また、他者との関係で
以未以介		自分が困難に感じた場面を想起しておくこと。		
		看護職にとって、人間関係を築くことは職務の前提であり、	看護活動におい	ハてはその中心となる
		ものです。コミュニケーションやカウンセリングのスキルは請	構義をとおして!	身につけるものではな
		く、実践をとおして身につけていくものです。本科目で学んだ	ご理論とスキル	を、日ごろの人間関係
履修上	の留意点	の中でも実践しながらスキルとして身につけていきましょう。		
		本科目における "リフレクション、には、日ごろから意識的	りにも無意識的に	にも感じている些細な
		違和感がとても大切になります。そして、リフレクションは、	看護師として原	成長するために生涯に
		わたって必要な振り返りのプロセスです。		

科目	区	分	専門基礎分野	科目名	関係法規	単 位	1 単位
対象	き学	年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当	乡	員	①甲斐 慶子 ②清岡 佳子	実務経験 関連資格	①保健師 (元)別府市健康推進課保健師 ②助産師 *医療事故管理者養成研修2を受講(日本看 *医療事故対応及び支援(産婦の医療事故、		D医療事故)
目		的	我が国の保健医 に関する基本的		度の概要を理解し、人々の健康を守るためのサー 学ぶ。	- ビス提供機関と	: 従事者の役割と機能
							DP への対応
目		標	2. 人々の健康	を守る医療従事	する法規を理解する。 者や機関に関する法規について理解する。 務に関する法規を理解する。		DP3,4
授業	き回え法				内容	使用教材	授業に関する 準備学習
第〔講	1 義	回〕	到達目標	ガイダンスする。	1. 社会・生活基盤と健康に関する法規を理解	テキスト①	① 医療を利用する 者の視点で社会保障
(#	步)	授業予定	2. 衛生法	①法の概念と分類 の仕組みについて解説する。		の施策について保障 制度の活用が理解で きるように学ぶ。
〔 講	2 講義 事 斐		到達目標 授業内容	医事法:①医	活基盤と健康に関する法規を理解する。 師法・医療法 ②医療関係資格法 ③保健医療 ④医療を支える法 ⑤人の死に関する法 ⑥緊	テキスト①	②看護職について は、看護制度の発展
			如本口標	急時の看護・	医療に関する法について解説する。	= + = 1 (1)	のために保助看法の 改正が行われている
〔 講	3 毒義 事斐		到達目標 授業予定		活基盤と健康に関する法規を理解する。 ①共通保健法 ②分野別保健法 ③感染症に関品に関する法 について解説する。	テキスト①	ので、諸改正に注意し、業務を理解でき
	4 養 斐		到達目標 授業予定	薬務法:①薬	活基盤と健康に関する法規を理解する。 事一般に関する法律 ②人などの組織を用いた ③薬害被害者の救済等 ④麻薬・毒物等	テキスト①	るように学ぶ 看護 職の業務に基づいたま 的根拠に基づいたまるように学習してください。欠格事由と障さい。 で名養職になって考えてみる。
	5 毒義 事變		到達目標授業予定	て理解する。環境衛生法:	康を守る医療従事者や機関に関する法規につい ①営業 ②環境整備 ①雇用保障 ②年金 ③手当	テキスト①	
	6 講義 事 斐		到達目標授業予定	2. 人々の健 て理解する。 社会保険法:	康を守る医療従事者や機関に関する法規につい ①費用保障 ②年金 手当 祉の基盤、②児童分野 ③高齢分野 ④障害分	テキスト①	
〔 講	7 講義 ■ 斐		到達目標授業予定	て理解する。 労働と社会基	康を守る医療従事者や機関に関する法規につい 盤:①労働法 ②社会基盤整備 境保全基本法 ②公害防止法 ③自然保護法	テキスト①	
	8 義		到達目標 授業予定	きる②。保助 助看法改正の	①保助看法、人格法を学ぶ目的について説明で看法、人格法の変遷について説明できる。③保経緯について理解できる。 いて法的根拠に基づいて説明	テキスト① 看護六法、 保助看法の 60 年を振り	

		看護業務の法的思考力を身につける学び方について解説する	返る(日本 看護協会) 看護六法第 三篇	
第 9 回 〔講義〕 (清岡)	到達目標	①看護師の法的な業務範囲及び保助看法の違反行為につて説明できる。②看護師の医師と看護師の役割分担の国際比較: フランス	看護六法 資料	保助看法総則から雑 則まで通読してお き、科目目標に関す
	授業予定	看護職に必要な試験と資格制度、看護職の免許取得と業務等 について、保助看法で解説する		るところは、付箋を しておく
第 10 回 〔講義〕	到達目標	①看護師の注意義務と責任について保助看法から説明できる。②看護業務と守秘義務について説明できる。	保助看法第 10 条、第	療養上の世話と診療 の補助について日常
(清岡)	授業予定	専門職業人として、法を守る意味について考えることの必要 性について解説する。	42·43条、 31条	の看護業務を関連付 けてみる。
第 1 1 回 〔講義〕 (清岡)	到達目標	看護事故の法的責任について説明できる。①医療事故とは、 ②看護事故の法的責任とは、③民事上の責任、④刑事上の責任 任 ⑤行政上の責任、	医療法施行 規則第一章 医療の安全	看護学生として実践 できるリスクマネジ メントについて考え
	授業予定	①医療安全の確保と医療事故との関連について説明 ②看 護事故の法的責任と医療事故後の看護師免許等について保助 看法で解説する。	確保、保助 看法	3.
第 1 2 回 〔講義〕	到達目標	医療法、医師法、臓器の移植、未受精卵凍結等に関する法律 について説明できる。	看護六法、 医療法、他	医療法で定義されて いる用語を、整理し
(清岡)	授業予定	病院等の定義、医師の業務、法律からみた臓器移植などについて解説する。	資料	ておこう。
第 1 3 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標 授業予定	特定行為と法的看護業務との関係について説明できる。	看護六法	特定医行為の法的背 景を学習し、今後ど のように発展してい
(113 114)		特定医行為について解説する。		くのか創造しておく。
第 14 回 〔講義〕 (清岡)	到達目標	看護師等の人材確保の促進に関する法律の目的、基本方針看護師等、ナースセンターについて説明できる。 看護職の働き方と看護師の支援対策、ナースセンターの活用について解説する。	看護六法	看護関係労働支援に ついて考えてみる。
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)	講義で使用 したテキス ト・配布資 料	国家試験問題は完全 制覇しておく。特に 解説を理解しておく こと。その他、看護 業務に直接関連する 法規は重点学習して おく。
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト 参考図書 その他	①看護六法 令和 4 年版:新日本法規 ②系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔4〕看護関係法令 ②看護師の注意義務と責任:編著:加藤済仁 医療事故関連の事例		
授業以外	の学習方法	①日本国憲法と国民の義務や権利について学習。履修にあたっく、なぜこのような内容になっているのか、看護とどういう問んだことや、看護実習での経験、さらに書籍、インターネットする	関係にあるのか、	看護の専門領域で学
履修上	の留意点	本授業は、看護職として重要な知識です。看護職として業務に 実習では、看護業務について法的根拠に基づいて説明できる。		

専門分野

授業計画

専門分野は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、看護学領域別の臨地実習を基本の領域とし、それぞれに科目を設定しています。また、各領域と密接な関係をもつ7つの領域横断科目を設定しています。総計53科目(66単位)で構成しています。

基礎看護学は、総計9科目(11単位)で構成し、看護の基礎的理論や安全で安楽な看護を提供するための基本的看護技術、看護の展開方法を学びます。また、専門基礎分野の知識を活用して科学的根拠に基づいた看護実践を導くために、患者を想定したシミュレーション演習を多く取り入れながら、気づきを看護専門職の臨床判断につなげるための授業を展開していきます。

地域・在宅看護論は、総計 5 科目 (5 単位)で構成し、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場で多職種と連携・協働しながら看護を実践するための能力を養うための基礎を学び、実習は地域に暮らす人々の様々な活動の場、生活の場で展開します。少子・高齢社会の進展とともに需給が増している看護師の役割が期待される分野です。

成人看護学5科目(5単位)、老年看護学3科目(3単位)、小児看護学3科目(3単位)は、発達段階別の看護に加え治療が必要な人々に対する看護を健康段階別に学ぶ領域です。講義をとおして成長発達を理解し、様々な発達段階・健康状態にある人々に対する看護の方法を学び、実習をとおして看護実践能力につなぎます。さらに、実習をとおしては、安心・安全を保障する援助の実践を積み重ねます。

母性看護学 3 科目 (3 単位) では、女性のライフサイクルの健康に対応する能力を養います。また、実習ではマタニティサイクル期にある母子とその家族を総合的に理解し人間の生命の誕生と尊厳について考え、人間をかけがえのない存在として理解していくための過程をたどります。

精神看護学 3 科目(3 単位)では、精神機能に対応する能力を養うための知識を深めます。実習をとおしては、対象との関係を丁寧に振り返り、自分自身の行動が対象に与える影響について深く考え自分の傾向を見つめていきます。これらの過程をとおして援助的人間関係や治療的コミュニケーションについて学びを深めていきます。

看護の統合と実践は3科目(3単位)で構成し、医療安全をはじめチーム医療における看護マネジメントや多職種と連携・協働するための基礎的知識と実践力を身につけます。いよいよ看護師として活躍する直前の重要な科目です。また、各看護学において共通する7科目(7単位)の領域横断科目を設定し、包括的、継続的な看護を展開するための知識を身につけます。領域横断科目は、看護師独自の専門性をもつ判断力や多職種と連携・協働する力を身につけるために欠かせない科目となります。

各看護学領域の臨地実習は総計 12 科目 (23 単位) で構成し、講義で学んだ知識・技術・態度を実践の場で活かし 理論と実践を結びつけます。看護の対象を前に展開する実習は看護師としても、人としても成長できる貴重なものと なります。

実習をとおして理論と実践を統合した後に履修する地域・在宅看護論IVでは、事例をとおして人々が住み慣れた地域で暮らすための多職種と連携・協働にある支援についてまとめます。同じく、看護実践演習では複雑な状況下での看護場面を想定した演習をとおして看護実践力に導き、3年間の学びをまとめ看護師国家試験に臨みます。

専門分野を構成する領域

基礎看護学
領域横断
地域・在宅看護論
成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学
看護の統合と実践
臨地実習

基礎看護学

基礎看護技術 一覧

(考え方)
1.基礎看護技術として、看護学校で押さえる必要のある技術を構選
2.指導ガイドライン別表は3-2に基づいて卒業特別達レベルを記載
3.技術をと、必確減で扱わか研究。
4.教育技法について、どの教養が担当しても一貫性のある指導方法で、卒業特別達レベルが連成できるようにする。
3.教育技法について、どの教養が担当しても一貫性のある指導方法で、卒業特別達レベルが連成できるようにする。
3.教育技法として、教修、演習(シーケ・美技、美技養師はデモンスト・モデルを使用した演習か、学生同士の演習か、
グループでンユミレーシュン関係なのかを執
する。
6.発信は、チェックなのか、テストを実施するのか続一
7.技術デスト、技術チェックの特別は、講義時間外学生一人当たりの時間は、数十分)

【辛業時の預達レベル】
(演習)
1・デアル人形もしくは学生間で単独で実施できる。
1・デアル人形もしくは学生間で指導の下で実施できる。
(実習)
1・単独で実施できる。
1・単独で実施できる。
1・崇敬の下で実施できる。
1・崇敬の下で実施できる。

202	3 #	碰	看護	技術	i — Ni									l					I												
		Π	Π	<u>*</u>				基	専			基礎和	*語学		請求	領	地	成	老	小	₩	結	80	映像 D	演習	面子	実技 の演	演習	رة	技	
項目	番号	看護師教育の技術種類	1	業時の到達度	技術の種類	技術体	審	礎科目	門基礎科目	看護学概論	基本看護技術工	基本看護技術Ⅱ	日常生活援助技術Ⅰ	日常生活援助技術Ⅱ	診療時援助技術	坂横断	心域・在宅看護論	人看護学	年看護学	- 児看護学	母性看護学	精神看護学	統合と実践	V D 等	2	国含む) 一百合む)	演習	の演	シミュレーション	(術チェック	技術テスト
	1	1	I	I	快適な療養環境の整備								0													基礎		基礎		基礎	Н
1	2				ベッドメーキング								0													基礎		全員 基礎			П
環境調	3	2	1	п	臥床患者のリネン交換								0													基礎		全員 基礎 全員			基礎
整技術	4				術後ベッドの作成											0										領域周術	領域 周術	主共			
術	5	Т	T	Г	保育器の準備																0					母性	母性				
	6	3	I	I	食事介助 (嚥下障害のある患者を除く)									0												基礎		基礎 全員		基礎	
	7				吸飲み・はし・スプーンでの介 助法									0												基礎		基礎全員			
2	8				自助具の工夫									0												基礎		基礎 全員			
食	9				摂食嚥下訓練									0												基礎		基礎 全員			
事の提	10	4	п	п	食事指導											0									領域 保健				領域 保健		
助技	11	5	I	п		経管栄養法による流 動食の注入								0												基礎	基礎 全員			基礎	
術	12	6	I	ш	経腸栄養法	経鼻胃チューブの揉 入								0												基礎	基礎 全員			基礎	
	13					胃ろうの管理	Date for the William							0												基礎	基礎			<u> </u>	Ш
	14	_			中心静脈栄養法 (合併症の早期発見)	※中心静脈留置の介 学習する	明は、「8.与業」で							0										基礎				20 784		<u> </u>	Щ
	15					トイレでの排泄援助ポータブルトイレでの								0												基礎	Ш	基礎 全員 基礎		<u> </u>	
	16					排泄援助	床上での排泄援助							0												基礎		坐便 全員 基礎	Ш	_	Ш
	17	-			自然排泄の介助		(女性用尿器) (女性用尿器) 床上での排泄援助							0												基礎	基礎	全員基礎		基礎	
	18	7	I	п		床上排泄	保上での排泄機制 (男性用尿器) 床上での排泄機							0												基礎	基礎	全員基礎			
	19					おむつによる排泄接	助(便器)							0												基礎	\vdash	全員	Н	基礎	Н
3 排	20					助								0												基礎	基礎	全員		基礎	\mathbf{H}
泄援	21	9	п	ш	一時的導尿	挿入								0						_						基礎基礎	全員 基礎	H	\vdash	基礎	Н
助技術	23	8	I	ш	膀胱留置カテーテル	管理								0												基礎	全員 基礎		基礎	 	\blacksquare
149	24		+	ш	浣腸	5/4								0												基礎	全員 基礎		20142	基礎	
	25	11	I	ш	摘便									0												基礎	全員 基礎			基礎	\Box
	26	12	п	ш		パウチ管理												0								成人	全員 成人 全員				
	27				イレウス管の管理													0						成人			主員				П
	28				尿失禁・便失禁の種類と援助									0										基礎	基礎						П
	29				睡眠を促す援助								0												基礎						П
	30				良眠を意識した日々の援助活	レクリエーション							0												基礎						
	31	Ĺ			安静保持の援助								0												基礎						
	32					自力での移動	参行介助(見守り)						0													基礎	\square	基礎 全員	Ш		
4	33	14	I	1	歩行・移動介助	杖歩行							0													基礎		基礎 全員		<u></u>	
· 活動	34					步行器							0													基礎		基礎 全員	Ш		Ш
	35	\vdash	I	-	体位変換·保持								0													基礎		基礎全員	\vdash	基礎	Ш
息援	36		I	-	移棄介助								0													基礎		基礎 全員 甘琳	\vdash	基礎	Ш
休息援助技術	37	-	-	I	移送	車椅子							0													基礎		基礎 全員 基礎	\vdash	基礎	Ш
143	38		I	II		ストレッチャー							0											****		基礎	$\vdash \vdash$	全員	\vdash	基礎	\vdash
	39					良肢位の保持		-					0											基礎		** ***	$\vdash \vdash$		基礎	<u> </u>	Н
	40	17	I	II	原用点段器の支持のおとなっ	自動他動運動							0											52 714		基礎	H	基礎 全員	\vdash		\vdash
	41	+			廃用症候群の予防のための 援助	防力增強訓練 関節可動域訓練		_	_	\vdash			0						\vdash			\vdash		基礎基礎		_	Н	\vdash	\vdash		Н
油	43					型型 可 型型 型型			<u> </u>					0					\vdash					金保		基礎	Н	基礎全員	H		H
清潔・	44	+				洗面								0												基礎		基礎	\vdash		H
衣生活援助	45	20	I	1	整容	眼・耳・鼻の清潔								0												基礎	\vdash	全員	\forall		H
援助	46					耳垢の除去(綿棒)								0												基礎	\vdash		Н		H
**							L		L			L				L		_							L		ш	ш	ш	ш_	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

\neg	T	П									_		_		講義									映像	演習		実技	演習		評	価
		看護	本 第 6	卒 業				基礎科	専門基礎科	看	基		看護学 日		診	領域横	地域・	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	統合と	D V D	ワーク	画含む)	の演習モデル 5	学生同士の	シミュレー	技術チェッ	技術テスト
	_	看護師教育の	# 0 E	守 D Eil				8	礎科	看護学概論	基本看護技術Ⅰ	基本看護:	常生	常生	診療時援助	断	在宅看	護学	護学	護学	護学	護学	実践	等		シスト	ロデル	± o	レー	エッ	スト
項目	番号	育の技	至过	主	技術の種類	技術内	1容		目	概論	技術	護技術	接助	援助	援助技		看 護 論									l	機	演習	ショ	ク	
		技術種類									I	I	常生活援助技術	日常生活援助技術Ⅱ	術		論									ション	器を用		ン		
		類	演習	実習									I	I												動	いて				
٦,	17					爪切り								0												基礎					
7	48					ひげそり								0												基礎					
	19	21	I	I	点滴・ドレーン等を留置していない 患者の寝衣交換	臥床患者								0												基礎					
ļ.	50	27	I	п	点滴・ドレーン等を留置している患 者の寝衣交換	カテーテル類が入っ ている患者)							_	0												基礎					
	51					自宅での入浴											0							地·在		地·在			地·在		
-	52	22	I	п	入浴・シャワー浴の介助	施設での入浴								0													Ш				
- 1	53					シャワー浴					<u> </u>	Ш	\vdash	0										基礎		基礎	$\vdash \vdash$	<u> </u>		<u> </u>	
H	54		_		機械浴での介助						_		_	0										基礎			$\mid = \mid$	基礎		<u> </u>	
⊢		24	I	п	陰部の保清	全身清拭·熱布清拭				H	-	H		0												基礎基礎		基礎 全員 基礎			基礎
潔一	57	23	_	_		ケリーパッド						Н		0												基礎		全員 基礎			
衣生活	58					洗髪車				\vdash		\forall		0												基礎		全員 基礎 全員			
接	59	25	I	I	洗髮	洗髮台				H		Н		0												基礎		全員 基礎 全員			
技術(60					ドライシャンプー								0												基礎		基礎全員			
1	61	10	,		±%.₽%	手浴			L					0												基礎		基礎全員			
(62	19	I	Ι	手浴•足浴	足浴とフットケア								0												基礎		基礎 全員			
f	63					含嗽								0												基礎		基礎 全員			
ŀ	64	26	I	п	口腔ケア	舌のケア(ガーゼ・スポン ジブラシ)					_			0												基礎		基礎全員			
Į.	65					歯ブラシ(ブラッシング)								0												基礎		基礎全員			
H	66					吸引付き歯ブラシ					_			0												基礎		基礎 全員 基礎			
-	37		_		義歯洗浄						_			0												基礎		全員			
-		28	I	Ш	新生児の沐浴・清拭		20 At at a 177 BL				_	Н									0				** ***	母性	母性 全員	H		母性	
F	70					体温調節に支障をき	発熱時の援助 うつ熱時の援助(熱			Н	\vdash	Н		\vdash	0										基礎基礎		\vdash				
-		29	I	I	体温調節の援助	たした人への援助	中症の場合) 低体温時の援助								0										基礎		\vdash				
F	72					ICUIにおける低体温療法									-	0								領域周術			H				
-	73					腹式呼吸									0									/DJ 1913		基礎					
-	74				呼吸法	ロすぼめ呼吸									0											基礎					
-	75					ラマーズ法															0					母性	П				
_	76	34	I	ш	体位ドレナージ										0											基礎		基礎 全員			
L	77				徒手的咳嗽介助法										0											基礎					
ļ.	78				ハフィング										0											基礎	Ш				
6	79				スクイージング					\vdash	\vdash	$\vdash \vdash$	\vdash	\vdash	0								_	基礎		44	基礎				
吸		32	п	ш	nt 21	口腔内 島際内				\vdash	\vdash	$\vdash\vdash$		\vdash	0											基礎基礎	全員 基礎				
循	31	33	п	ш	吸引	鼻腔内 気管内				\vdash	 	\vdash	\vdash	\vdash	0											基礎基礎	全員 基礎		\vdash		
を整	33	,,			持続的吸引(胸腔ドレナージ)	低圧持続吸引器の取り 扱い				\vdash		\vdash		\vdash	0									基礎		基礎	全員 基礎				
える技	34					中央配管方式				\vdash		\vdash	H	\vdash	0									_		基礎	基礎全員				
術,	35					酸素流量計の取り扱い									0											基礎	基礎全員				
1	36	30	I	I	Zástrati j akul – akuli	鼻腔カニューレ							Г	П	0											基礎	基礎全員				
1	37				酸素吸入療法の実施	酸素マスク									0											基礎	基礎 全員				
f	38					リザーバー酸素マスク				Ш				Ш	0											基礎	基礎全員				
-	-	68	Π	Ш		酸素ポンベの取り扱い				Ш	<u> </u>	Ш		\sqcup	0											基礎	基礎全員				
H		31	I	п	ネブライザーを用いた気道内加湿	超音波ネブライザー				\vdash	<u> </u>	Ш		\square	0											基礎	基礎 全員 基礎		\sqcup		
٤	91					ジェットネプライザー 弾性ストッキングの装着					<u> </u>	Ш		$\vdash \vdash$	0											基礎領域	基礎 全員	領手	\square		
1		- 1			末梢循環促進ケア	方法					-			\vdash		0										周術	$\vdash\vdash$	全員			
-	92					下腿マッサージ	I	I		\sqcup	—	\sqcup	\vdash	ldot		0									<u> </u>	領域周術	ш	<u> </u>	\sqcup	\vdash	
9	93				AN ITS DE SAN DE ZE 7 7	用手的リンパドレナード				1 1		l i				0										領域	1	l i			1
9	93	68	п	ш	人工呼吸器の取り扱い	用手的リンパドレナージ						\vdash				0	0									領攻 周術 地·在	地·在				
9	93	68	п	ш		用手的リンパドレナージ										0	0									周術	地·在				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	93	68	п	ш	人工呼吸器の取り扱い												0	0								地·在	地·在 成人 消化				

Part			_	Ι,	÷			-	基	専			基礎看	報学		講義		地	成	老	小	Ð.	精	統	映像 D	演習	画デ	実技の演		シ	接	
March Marc			有護師	Ė	- 製				礎 科	基基	看護	基本			日常	診療	域横	域・	人看	年看	児看	性看	神看	合とま	V D	り	含モむン	演習モデ	自	ii .	術チ	析テフ
March Marc	項	番	教育	3	り 到	技術の種類	技術内 密		B	料	学概	看護	看護	生活	生活	時援	断	住宅看	学	学	学	学	学	践	₹) X P	ルや	ゴの油	レーシ	ッ	۴
Table Tabl	目	号	の技術	i	隻	技術の極利	XWNE				論	技術	技術	援助	援助	技		護論									- 1	饭器	習	3		
No. No.			種類	演	実							1	ш	技 術 I	術Ⅱ	107											ン	を 用			,	
Marie			~	習	習									_													動	て			ш	
1		99				褥瘡予防ケア	体圧分散マットレス・クッ ション							0													基礎	基礎				
Part		100					体位変換(臥位·座位)																				基礎	基礎			\square	
		101																													$\vdash \vdash$	
1 日		\vdash	-											0														\vdash	\blacksquare		$\vdash\vdash$	
March		-																													\vdash	
March	傷管																												\dashv		$\vdash\vdash$	
March	理技術	_																										1	\dashv		\Box	
	1417		36	п	п	創傷処置																										
변호 2 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1		\vdash						类抽类																					\dashv		\vdash	
Manual Para							包帯法																						-		\vdash	
11 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15		-	37	п	ш	ドレーン類の挿入部の処置		_,,,,																					=			
No. 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1					 		内服薬																						\exists		\neg	\sqcap
변경 등 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		_																\vdash													-	
14 14 15 15 15 15 15 15		-				経口薬の投与																								\Box		
10 1 10 1 10 10 10 10		\vdash		T			乳首・スポイドによる経口														0							П	\exists			
13 13 14 15 15 15 15 15 15 15		115				吸入										0											基礎					
15 10 2 2 2 2 3 2 2 2 2 3 3		116				点眼										0											基礎					
15 15 15 15 15 15 15 15		117				点鼻										0									基礎							
20 20 20 20 20 20 20 20		118				点耳										0									基礎							
1		119	39	I	п	奴巾 以田参の北上	軟膏塗布									0											基礎	基礎				
122 123 124 125 12		120				在反・外州楽の技子	経皮吸収型製剤貼付									0											基礎	基礎				
123		121	40	п	П	坐薬の投与	坐薬									0											基礎	基礎				
125 126 126 127 128		122														0											基礎	基礎				
No. No.		123				注射の準備	ル)									0											基礎	基礎				
12 4 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2		124					ル)									0											基礎	基礎				
10 10 10 10 10 10 10 10	8	125					高カロリー輸液・抗がん 剤の準備									0											基礎	基礎			لــــا	
129		\vdash	41	Π	Ш	皮下注射																					基礎	基礎	\square		$\vdash \vdash$	
129	薬の	\vdash																							基礎				\square		$\vdash \vdash$	
130	術	\vdash	42	п	Ш	筋肉内注射																							\square		$\vdash \vdash$	
131 132 133 134 135 13		-	-																										=		\vdash	
132 43 13 13 14 15 15 15 15 15 15 15		\vdash	-																									1	\dashv		\vdash	
133 134 135 13		131	40			静脈路確保·点滴静脈內注																									\vdash	
134 135 136 137 138 139 13			1	п	ш	射												\vdash	-				\dashv						\dashv		\vdash	\vdash
135		\vdash																\vdash					\dashv						\dashv		\vdash	
136 44 I I I 直流静脈内注射の管理							+																						-		-	
137 138 1		\vdash		п	I	点滴静脈内注射の管理	-/3/mm.4X3XVV:								\vdash												_				\dashv	
138 88 1		_																														
138				II	Ш																								\dashv		-	
140 141 140 140 141 140 140 141 140 141 140 141 140 141 140 141 140 141 140 141 140 141 14		\vdash					※「2食事の援助技術の中心	心静脈栄養法	(合併症	の早期発	・見)」で	実施					0								領域					\Box		\Box
141 142 一		\vdash														0									7-10]		基礎	基礎				
142 硬膜外投与法 □ 面 無利等の管理毒素、前素、麻素、血液製料、抗悪性腫瘍 □ □		\vdash	46	I	Ш	輸血の管理																										
143 45 II II		_				硬膜外投与法											0								領域							
144 急変時の初期対応		143	45	II	ш	薬剤等の管理(毒薬、劇薬、麻薬、 薬を含む)	血液製剤、抗悪性腫瘍									0																
数		144		Г																				0			統合	統合	\Box			\square
(145	9	145	47	I	I	緊急時の応援要請																		0			統合	統合			統合	
新		146				トリアージ																		0			統合	統合				
新	教急	147					気道確保																	0			統合	統合			統合	
新	処置	148	40		,	_ 味動会師要/D	胸部圧迫																	0			統合	統合			統合	
150 AEDによる除細動 ○ 統合 統合 統合	術	149	48	1	1	Tury 秋即処画 (Basic Life S	人工呼吸																	0			統合	統合			統合	
		150					AEDによる除細動																	0			統合	統合			統合	

No			_	4	×				基	専			基礎看	護学		講義	領	地	成	老	小	母	精	統	D	演習	画デ	実技 の演	演習	シ	評 技	
Total Control Contro			有護師	# B	新				礎科	基本	看滅	基本			日常	診療	域横	域・	人看	年 看	児看	性看	神看	中と日	V D	ク	含モむン	演習習も	生同	ш л.	術 チ	術テ
Total Control Contro	ij	香	教育	至	1	++佐の延季	## ## rh r	÷	Ħ	料日	概	看護	看護	生活	生活	時援	倒	在宅	学	学	学	学	護	践	7		トト	ナルわ	士の油	1	ック	۲
Total Continue	E	号	の技	A F	ŧ	技術の種類	技制内在	*		п	論	技術	技術	援助	援助	技		護論										機器	習	ョーン	,	il
No. No.			種	*	#							I	п	技術	技術	術											3	を 用				il
Marie			親	習	習									1	ш												_	いて				il
10		151				小児・乳児の心肺蘇生法															0						小児	小児				
10 10 10 10 10 10 10 10		152				二次救命処置	気管挿管の介助									0											基礎					
March Marc		153	49	I	ш	止血法の実施																		0			統合	統合				
10 10 10 10 10 10 10 10		154				洗浄	Ħ									0											基礎					
197 197		155				院内急変時の対応	救急カート																	0	統合							
151 15		156					意識レベルの把握	意識レベルの判定	È			0															基礎		基礎 全員			
14 14 15 15 15 15 15 15		157					į	意識状態の評価				0															基礎		全員			
10 1		158					体温測定	被窩検温				0															基礎		全員			基礎
No. 1		159						口腔内検温				0										0					母性					Ш
10		160					ī	直腸検温				0									0						小児	小児 全員	-AL-100			
No. No.		161	50	I	I	バイタルサインの測定	脈拍測定	脈拍蝕知				0															基礎					基礎
He Mark		162					,	心拍測定				0															基礎		全員			
10		163					呼吸測定					0															基礎		全員	$ \bot $		基礎
1		164					血圧測定	水銀レス血圧計				0															基礎		全員			基礎
1		165							ā†																				全員	-		Ш
변경 등		-						電子血圧計				_																	全員			\square
15 15 15 15 15 15 15 15		167					身長					0										0					基礎母	母性			母性	Ш
170 171 17		168	-				膝高計測器					0															基礎			-	基礎	\vdash
12		169					体重					0										0					基礎母	母性	全員		母性	Ш
12		170					腹囲															0					母性				母性	
72		\vdash	51	I	I	身体計測						0															基礎		基礎 全員	-	基礎	\vdash
12		172					頭囲																				母性	母性	\square			
10		\vdash	+ 1																													Н
170 17		\vdash	+																			0						母性	$\vdash \vdash$	\rightarrow		\vdash
10		\vdash	+																										\vdash			Н
Band		· -																											其础			
10	痘	<u> </u>	+																										全員			\vdash
Real Column	-	1111	+					舌気・機嫌																					全員			\vdash
13 14 15 15 15 16 17 17 17 17 17 17 17	体榜	179	+ 1									-																	全員			\vdash
13 14 15 15 16 17 17 17 17 17 17 18 18	能質	180	+ 1																						44 788				全員	\rightarrow		Н
183 184	技術		-																						基锭				基礎			\vdash
Table Ta			+ 1																						14° TAX			-	全員			\vdash
185 186 187 18		-	+ 1																						基锭			-	基礎	\dashv		\vdash
186 187 52 1 1 2 2 1 1 2 2 2		-	-																										基礎			\vdash
187 SZ I I I I I I I I I		\vdash	+																										基礎	_		\vdash
188		-	-	I	п	フィジカルアセスメント						-																	基礎		基礎	\vdash
189		\vdash																											基礎		~	\vdash
190		\vdash	-				応 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・																						基礎	\dashv	_	\vdash
191 192 接筋の機診		\vdash	+				心音と心雑音の聴診																						基礎		基礎	\Box
192		\vdash																											基礎			П
193		192					腹部の聴診					0															基礎		基礎		基礎	П
194 195 2		193					腹部の触診					0															基礎		基礎		基礎	П
195 上技・下技の視診・触診 O 基礎 全員 基礎 58 反射の観察 O O 基礎 全員 197 イングビューの技術 O 基礎 全員 198 53 I I 検体の取り扱い I 基礎 A 200 201 使 O A 基礎 I 201 表礎 O A 基礎 I		194					腹部の打診					0															基礎		基礎		基礎	
196 日		195					上肢・下肢の視診・触診					0															基礎		基礎	_	基礎	П
197		-	-				反射の観察														0						基礎		基礎	\dashv		П
198 53 I I 技体の取り扱い 原 検尿コップ O		197					インタビューの技術					0																	基礎	\neg		
199		198				検体の取り扱い	尿	検尿コップ								0											基礎	\exists		寸		П
201		199		1	п		i	採尿パック													0						小児	小児	П	\Box		П
		200					便									0											基礎			一		
202		201					痰									0											基礎					
		202					胸水(胸腔穿刺)									0									基礎			\exists	П	一		

		看	4	<u>.</u>			-	基	専	 	-	基礎和	計護学		講義	領	地	成	老	小	母	精	統	D	演習	画デ	実技の演	学	ショ	技	技
項目	番号	護師教育の技術種	業時の至道度	1	技術の種類	技術内	容	礎科目	門基礎科目	看護学概論	基本看護技術Ⅰ	基本看護技術Ⅱ	日常生活援助技術Ⅰ	日常生活援助技術Ⅱ	診療時援助技術	域横断	域・在宅看護論	人看護学	年看護学	, 児看護学	性看護学	神看護学	合と実践	V D 等	1 0	含む)	演習モデルや機器を用いて	生同士の演習	ミュレーション	術チェック	技術テスト
	203				検体の取り扱い	腹水(腹腔穿刺)									0									基礎		~	Ì				П
	204					髄液(腰椎穿刺)									0									基礎			П				
	205					骨髄(骨髄穿刺)									0									基礎							
	206	54	Π	II	簡易血糖測定										0											基礎	基礎				
	207	55	I	ш	静脈血採血	真空管採血									0											基礎	基礎			<u> </u>	基礎
	208					注射器による採血									0											基礎	基礎			<u> </u>	Ш
	209				動脈血採血の介助										0									基礎			Ш			<u> </u>	
	210	68	Π	II		心電図モニター									0											基礎	基礎			<u> </u>	
	211				生体情報のモニタリング	12誘導心電図									0											基礎	基礎			 	\blacksquare
	212					Spo 2モニター 血管留置カテーテルモニ									0									基礎		基礎	基礎			 	Н
	214	1			診察の介助	9-									0									AL NE		基礎	H				Н
	215					肺機能検査									0												基礎				\forall
	216					胃内視鏡検査									0									基礎	基礎		Ħ				Н
	217					大腸内視鏡検査									0									基礎	基礎						П
	218					X線検査									0									基礎	基礎						
	219	56	Ι	ш	検査の介助	CT検査									0									基礎	基礎						
	220					MRI検査									0									基礎	基礎						
	221					超音波検査									0									基礎	基礎		Ш			<u> </u>	
	222					核医学検査									0									基礎	基礎					<u></u>	
	223				診察の技術	レオポルド触診法															0					母性	Ш				Щ
	224						日常的手洗い					0														基礎		基礎 全員 基礎		基礎	Ш
		57	I	I		スタンダードプリコーション(標準予防策)に基づく	衛生学的手洗い					0														基礎		全員領域		導尿	Н
	226					手洗い	手術時手洗い					0														基礎		全員基礎		基礎	
	227	-			スタンダードプリコーション		手指消毒					0														基礎		全員		導尿	Н
	228	58	I	I		必要な防護用具(手 袋、ゴーグル、ガウン	マスクの着用					0														基礎基礎		全員 基礎		基礎基礎	Н
	230	36	1	1		等)の選択・着脱	ガウンテクニック					0														基礎	H	全員 基礎		基礎	\vdash
	231	1				滅菌物の取り扱い						0														基礎	H	全員 基礎		基礎	Н
	232					鑷子・鉗子の取り扱い						0														基礎	П	全員 基礎 全員		基礎	П
	233	61	Ι	Π	無菌操作	滅菌手袋装着						0														基礎		基礎全員		基礎導尿	П
1	234					滅菌ガウンの装着						0														基礎		基礎全員		基礎	
感	235					洗浄						0														基礎		基礎全員			
染予防技	236	59	I	I	使用した器具の感染防止の	消毒	消毒液の作り方					0														基礎		基礎 全員			
技術	237	33	•	-	取り扱い		薬液による器械・器 具の消毒					0														基礎	Ш	基礎 全員		<u></u>	
	238					滅菌						0												基礎			Ш		\vdash	<u></u>	Щ
	239					接触予防策						0															$\vdash \vdash$			<u> </u>	Ш
	240				予防策	飛沫予防策						0															$\vdash\vdash$			<u> </u>	
	241	60	7	T	成込性医療傷の取出也に	空気予防策						0														# z**	基礎		-		\vdash
	242	30	I		感染性廃棄物の取り扱い カテーテル関連血流感染対策							J				0								領域		圣诞	圣犍			<u> </u>	\vdash
		62	I	п	針刺し事故の防止・事故後の対										0									手術			Н				\forall
	_	63	I		応 インシデント・アクシデント発生時 の速やかな報告																		0	統合	統合		Н				\forall
	246				誤薬防止										0											基礎	П				П
	247	1			チューブ類の予定外抜去防止										0										基礎		П				П
1 2	248	64	I	I	患者の誤認防止策の実施										0											基礎		基礎全員			П
安全	249	65	I	I	安全な療養環境の整備(転倒・転 落・外傷予防)								0												基礎	基礎	Ш		基礎		
管理の	250	66	I	I	放射線の被ばく防止策の実施										0									基礎		基礎	\square			_	Ш
技術	251	67	I	II	人体へのリスクの大きい薬剤のば く露予防策の実施										0											基礎	Ш			<u> </u>	Ш
	252	4			誤嚥予防									0												基礎	Ш			<u> </u>	Ш
	253	4			自殺・自殺企図・自傷行為への対 応																	0		精神	精神		$\vdash \vdash$		\vdash	<u> </u>	Ш
	254				攻撃的行動・暴力への対応		<u> </u>				<u> </u>		l									0		精神	精神		ш			ш	Ш

			Ι.				-	#	. ats			基礎看	- 福州		講義		iiin	ct	*	ds	п	28		映像 D	演習	雨兰	実技の演	演習	3.		価
		看護師教育の技術種類	3	卒業時				基礎科目	専門基礎科	看罐	基本	基本看		日帝	診療	領域横	地域・	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	統合と実践	V D	10	画含む)	演習モデ	学生同士の演	シミュレー	技術チ	技術テスト
項	番号	教育	3	の 到 達	技術の種類	技術内		目	礎 科 目	看護学概論	基本看護技術Ⅰ	本看 護技	日常生活援	日常生活援助技術Ⅱ	診療時援助	断	在宅看護:	護学	護学	護学	護学	護学	践	等		ンストレ	デルや	士の油	レーシ	ェック	スト
目	号	の技術		差	技術の便規	技術的	*			論	技術・	技 術 I	援助技術	援助共	助技術		護論									ショ	機器	習	ョン		
		種類	演習	実習							1	ш	術工	術Ⅱ	1913											ン	を 用 い			İ	
			省	省	安全確保のための抑制・拘束・行							_										_				Diam'r.	7		\vdash	<u> </u>	
	255				動制限							0										0		12 Aut	est to	精神				-	
	256 257				阿離 リスクマネジメント	医療事故予防·事故分																0	0	精神	精神統合				\vdash		
\vdash	258		-		ボディメカニクス	析							0										U		利口	基礎		基礎	H		
	259	69	I	п	安楽な体位の調整	ポジショニング							0													基礎		全員 基礎			
	260					温湿布							0													基礎		全員 基礎	Н		
	261					湯たんぽ							0													基礎		全員 基礎 全員			
1 3	262				D* 0 // * ## 0 // 10 0	氷枕							0													基礎		基礎			
安楽	263	70	I	Π	安楽の促進・苦痛の緩和の ためのケア	氷嚢・氷頭							0													基礎		基礎			
確保	264					腹部マッサージ							0													基礎		全員 基礎 全員			
安楽確保の技術	265					重曹清拭												0						成人消化				工具			
mi	266				1		呼吸法						0											411b		基礎		基礎全員			
	267				精神的安寧をたもつためのケ	リラクゼーション	マッサージ						0													基礎		基礎全員	П		
	268	71	I	П	ア		アロマ・指圧						0													基礎		基礎全員			
	269					入眠を促す方法							0													基礎		基礎全員	П		
	270					インフォームドコンセント					0																				
	271				倫理に関する技術	プライバシーの保護					0																				
	272					情報管理(個人情報の 保護)					0																				
	273					言語的					0																				
	274					非言語的					0																				
	275					プロセスレコード			0																臨床 心理						
	276					ロールプレイング			0																臨床 心理						
	277				コミュニケーション	アサーション		0																	人間 関係						
	278				321-7-737	カウンセリング			0																臨床 心理						
	279					グループワーク		0																	人間 関係						
	280					カンファレンス			0																						
	281					面接技術			0																臨床 心理						
	282					コミュニケーションに障害 がある人への対応					0														基礎					<u></u>	
	283						面接による問診					0													基礎						
基	284					情報収集の技術	観察					0													基礎				Ш	<u>L</u>	
本技術	285					A0 10 40 -	ヘルスアセスメント					0													基礎				Ш	<u> </u>	
ng	286					一般状態のアセスメント 技術						0													基礎				Ш	<u> </u>	L
	287				看護過程展開技術	看護上の問題の特定 (看護診断)						0													基礎		_		Ш	<u> </u>	_
	288				1	計画立案	st 面に 甘っ√ / / 27 87					0													基礎		_		Ш	<u> </u>	_
	289					実施	計画に基づく援助 の実際 対象者の反応の確					0													基礎				Ш	<u> </u>	
	290						ハボロい及んの性 認					0													基礎	_	<u> </u>		Ш	<u> </u>	
	291		-			評価						0													基礎				Ш	<u> </u>	_
	292				1	指導計画の立案 対象者にあわせた媒体										0									領域 保健 領域				$\vdash\vdash$	<u> </u>	
	293					の工夫										0									保健領域	\vdash			Н	<u> </u>	\vdash
	294				教育•指導技術	説明の技術	個人									0									保健領域	-	_		Н	<u> </u>	
	295					入院時の援助(入院時才	集団									0									保健				$\vdash\vdash$	 	
	296				1	リエンテーション) 退院時の援助(退院指										0									領域 保健 領域		-		$\vdash\vdash$	 	
	297		\vdash	-		導)	9809*				_					0									保健				H	\vdash	
	298					記録	記録の記載				0														基礎				H	\vdash	
	299				記録·報告	報告	記録物の管理 報告の方法				0 0														基礎				Н	\vdash	\vdash
H	300		\vdash		1	採苗	取古の万法				0					0									基礎	領域			H	\vdash	<u> </u>
	301				看取りのケア											0										終末				<u> </u>	

基礎看護技術 評価計画

			単	時	講義		評価		
科目	単元	講師名	草 位	間	時間	評価点数	評価方法	評価時間	科目点数 の考え方
	技術とは				2				総点を科目 点数とする。
	コミュニケーション				2	10	## == = b#A		M X C 7 0 0
₩ + 	観察·記録·報告	→ 木畑孝子	1	30	2	20	筆記試験	1	
基本看護技術 I	フィジカルアセスメント				24	40	技術試験		
						30	(バイタルサイン測定)	1	·
			,		,	,	総時間数	32	
	看護過程	│ │ 川野明子	1	30	20	50	·筆記試験	1	総点を科目 点数とする。
基本看護技術Ⅱ	感染予防と安全管理	711311	·		10	50		Ė	
							総時間数	31	
	活動と休息	12 40				総点を科目 点数とする。			
	安楽確保	→ 服平敏枝		20	4	10	筆記試験	1	
日常生活援助技術 I	T 四 上立 三口 末在	E21 411/0 44	1	30		20			
	環境調整	岡部裕美			14	30	技術試験(リネン交換)	1	
			•	•			総時間数	32	
	食事				12	40			合計点を 100点に換
	排泄	→ 服平 敏枝		00	20	60	筆記試験	1	算する。
日常生活援助技術Ⅱ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	E21 411/4 44	2	60	20	70			
	清潔と衣生活	岡部裕美			28	30	技術試験 (全身清拭)	1	
							総時間数	62	
	与薬	貞清瑞枝			26	90			合計点を 100点に換
	創傷管理				4	10			算する。
	検査		,	60	12	30	筆記試験	1	
診療時補助技術	呼吸・循環を整える技術	小林恭子	2	60	12	30			
	1m 4					10			
	採血				6	30	技術試験 (真空採血管採血)	1	
							総時間数	62	

科目区分	専門分野	科 目 名	看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	図★ まつ	実 務 経 験	病院における看護師経験		
担ヨ教貝	岡本 英子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 副学校長		
目 的	看護の本質、看	護の対象となる。	人間の理解を深め、看護師としてのものの見かた	さ考え方について	学ぶ。
					DP への対応
	1. 看護の歴史	や看護活動の実際	祭を通して、看護の機能や役割が理解できる。		DP4
目標			健康、環境、看護のとらえ方を理解する。		DP1,2
			り看護に対する関心や意欲を高めることができる		DP6
150 NBA 150 NB4	4. 看護を実践	する上で、気づる	きが重要となることを理解できる。		DP1, 2, 3
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学 習
第 1 回	到達目標	手灌学概論で 値	可を学ぶのかを理解する。	テキスト	どんな看護師になり
一定講義〕	授業予定	ガイダンス	りでするシングでを生併する。	p10~38、配	たいかまとめる。
(847 45%)	1人来 1 元		隻を行うために必要なこと	布資料	724.20 20.00
第 2 回	到達目標		後能について説明できる。	テキスト	テキストを読んでお
[二 講義]	授業予定	-	アアとは、ケアの本質	p39~74、配	く。 く。
, H1 4/4 /	12/1/1/	IV II 1 O IXIIII /	· - WO / / · DA	布資料	
第 3 回	到達目標	看護の対象であ	ある人間について考えることができる。	テキスト	テキストの看護の対
〔講義〕	授業予定	-	竟とは、成長と発達、ライフサイクルと発達課	p78~109、	象をよんでおく。
		題、心理と欲え	求、社会の中の生活者、統合体としての人間に	配布資料	
		ついて説明する	3.		
第 4 回	到達目標	健康とは何かる	を説明できる。	テキスト	テキストに目をとお
〔講義〕		保健統計から	国民の健康について説明することができる。	p108∼	す。
	授業予定	健康とは何か、	障害とは、健康の推進、健康と生活の関連	133、66	
			〈社会状況、健康状態と受療状況、国民のライ	配布資料	
		フサイクル			
第 5 回	到達目標	看護の発展につ	ついて思考できる。	テキスト	テキストに目をとお
〔講義〕	授業予定		宗教的看護、看護の暗黒時代、ナイチンゲール	p138~	す。
		の功績、日本の	の看護をとおして説明する。	149、配布資	
				料	
第 6 回	到達目標	ナイチンゲーバ	レ「看護覚書」を理解する。	テキスト	看護覚書」ナイチン
第 7 回		ヘンダーソン	「看護の基本となるもの」を理解する。	p25~26、	ゲールを読む。
第 8 回	授業予定	・GWでナイデ	チンゲール「看護覚書」を熟読し、環境を整え	p31~45、配	「看護の基本となる
〔講義演習〕		ることがどうし	して自然治癒力を引き出すことになるのか、看	布資料	もの」ヘンダーソン
			命力の消耗を最小にするように整えること、と	GWでまと	を読む。
		はどういう意味		めた資料	
			ダーソン「看護の基本となるもの」を熟読し、		
		看護師の独目の	の機能および基本的欲求と看護をまとめる。		
第 9 回	到達目標	看護理論を調べ	、理論家の考える看護を理解する。	テキスト	担当になった理論に
第 1 0 回				p31~45、配	ついて熟読する。
第 11 回	授業予定		「オレム看護論」、ペプロウ「人間関係の看護」	布資料	-
〔講義演習〕			ビー「人間対人間の看護」、ワトソン「ワトソング「キング看護理論」、ベナー「ベナー看護	GWでまと	
		ショ酸細」、キ		めた資料	
Mr. 1 0 -	저나는 🗆 🖼			吃出去类似	- 1 - 1 - 2 = ± 1
第 1 2 回	到達目標		過と経過別看護の考え方を理解する。	臨床看護総	テキストを読んでお
第13回	授業予定		明、慢性期、リハビリテーション期、終末期に	論 p58、	< ∘
〔講義〕		おける健康状態	宏で理解する。 -	配布資料	

第	1	4 回	到達目標	看護職者の継続教育とキャリア開発について理解する。	テキスト	テキストに目をとお
(講	義〕	授業予定	専門職とは、看護職の養成制度、看護における継続教育、キ	p162~178、	す。
				ヤリア開発	配布資料	
第	1	5 回		まとめ		
				終講試験(50分)		
成	績	評価	の基準と方法	筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使	用	教材	テキスト参考図書	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 医学書院 ナイチンゲール「看護覚書」現代社 ヘンダーソン「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会 黒田裕子「優しく学ぶ看護理論」日総研 国民衛生の動向 厚生統計協会		
授	受業以外の学習方法 「看護とは」「看護師とは」を折に触れ考えるようにしましょう。					
履	履修上の留意点 授業に必要な事前学習にしっかり取り組むこと、また、グループワークでは自分の考えを述べ 述できるようにしましょう。					分の考えを述べ、記

科	目 区	分	専門分野	科目名	看護倫理	単 位	1 単位
	象 学		1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
				実務経験	病院における看護師経験		7. 7
担	当 教	〔員	岡本 英子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 副学校長		
目		的	「徳の倫理 「原				
				- · · · · · ·			DP への対応
_			1. 看護実践に	おける倫理の重要	要性を理解する。		DP5
目		標	2. 倫理に関す	る理論や倫理原則	則を理解する。		DP5
			3. 倫理的意思	決定のための思え	考方法を理解する。	DP5	
授	業 回	数			中郊	焦田粉 廿	授業に関する
(方 法	;)			内容	使用教材	準 備 学 習
第	1	回	到達目標	看護実践におり	する倫理の重要性を理解する。	テキスト①	道徳と倫理の言葉の
(講義)	授業予定	ガイダンス		配布資料	意味を調べる。
				看護倫理とは作	可か、看護倫理の必要性、看護師の最も重要な		
				倫理的責任、	昏護が大切にしている価値について説明する。		
第	2	回	到達目標	看護倫理の歴史	史的推移を理解する。	テキスト①	看護倫理に関する重
(講義)	授業内容	「徳の倫理」フ	から「原則の倫理」に移行していった過程を理	配布資料	要な言葉「和」
				解し、看護には	は「徳」と「原則」の両方の倫理が大切である		「礼」「家」「面子」
				ことを説明する	5 .		「コンパッション:
							思いやりの心」「専
							門職」「患者中心の
							看護」「アドボカシ
							ー」「協力」「パター
							ナリズム」「個人の
							権利」「インフォー
							ムド・コンセント」
							「看護情報と守秘義
							務」の言葉の意味を
Art			初生日無	「什么人理」	b. 1. 4 g 「居田」 o /A f田」 シ f田 kガ. 1. マ	1 @	調べる。
第	3	回	到達目標		および「原則の倫理」を理解する。	テキスト① 配布資料	「徳の倫理」「原則
Ĺ	講義	,)	授業予定		して、ある一定の状況において何をなすべき しての善悪ではなく、ナースとしてその場でど	即仰其科	の倫理」を学習す
					しての音悪ではなく、テースとしてその場でと 良いことなのか判断できるよう説明する。		る。
第	4	回	到達目標	+	定を導くための「4 ステップモデル」を理解す	テキスト①	「意思決定」につい
	講義		判廷目标	温生的思念次	とを与くための「4ハノッノモノル」を理解す	配布資料	て調べる。
Ĺ	神 秋	ر :	授業予定		デルを使用して、事例を検討できるよう説明す	即即具件	こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ 一 こ ー こ ー
			1人来 1 元	3.	/ ルを反用して、事例を扱いてきるより肌切り		
第	5	田	到達目標	-	る倫理的課題に気づき、その課題に対して看護	テキスト①	生活の中にある倫理
	講義		四左口你		忍識を持って適切な態度・行動について理解す	配布資料	的課題を考える。
	ML1 474	, ,		3.		此事與作	1711X/2 E 17 /C 0 0
			授業予定	-	 倹討できるよう説明する。		
第	6	回	到達目標	+	条文の意味を実践現場における具体的な場面と	テキスト①	日本看護協会「倫理
	講義		- ,, <u>- </u>	関連させて理解		配布資料	綱領」およびICN
•			授業予定	事例を使って棒	倹討できるように説明する。		「看護師の倫理綱
							領」を調べる。
第	7	回	到達目標	「倫理」は看記	隻の心であることを理解する。	テキスト①	看護職に「倫理」が
(講義)	授業予定		て考えがまとまるように説明する。	配布資料	重要となる理由をま
							とめる。
第	8	回		まとめ			
				終講試験(50分	})		
成;	績 評	価の	基準と方法	基準 : 履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。	•	

				方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。
	ب ـ	7	,	①看護学テキスト 看護倫理 小西恵美子:南江堂
	デキスト ②系統看護学講座 別巻 看護倫理: 医学書院 e テキスト 参考図書	②系統看護学講座 別巻 看護倫理:医学書院 e テキスト		
使用教物				
	そ	の	他	
授業以外	の学う	對方	法	「看護とは」「良い看護師とは」を折に触れ考えるようにしましょう。
履修上	~ \$11	#	JE .	看護の知識や技術だけでなく、看護を学ぶことで人間としても成長していきます。看護学を学ぶ中
履修上	の留	意	从	での「気づき」を大切に育てていきましょう。

科目区分	専門分野	科目名	基本看護技術Ⅰ	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時間	30 時間
		実務経験	病院における看護師経験	1	
担当教員	木畑 孝子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
	基本看護技術で	は、看護師が患る	L 者との良好な人間関係を構築するためのコミュニ	ニケーション、仮	建康状態を把握するた
目 的	めの観察とフィ	ジカルアセスメン	ント、看護の思考や行為を示すための記録といっ	った、患者へ適り	刀な看護を提供するた
	めの基盤となる	看護技術を習得る	する。		
			DP への対応		
目標	基本看護技術(コミュニケーショ	ョン、観察、記録、報告、フィジカルアセスメン	/ト) について	DP1,2,3
	理解する。				
授業回数			中效	康田数 以	授業に関する
〔方法〕			内容	使 用 教 材	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	看護を実践さ	するために、看護技術を学ぶことの必要性を理	テキスト	・看護師が行う技術
〔講義〕		解する。		配布資料	についてイメージし
	授業予定	・技術とは何友	<i>j</i> >		ておきましょう。
		・看護技術の特	寺徴		
		・看護技術の筆	範囲		
		・看護技術を通	適切に実践するための要素		
			発展と修得のために		
第 2 回	到達目標		ーションの特徴と、医療におけるコミュニケー	テキスト	
〔講義〕		ションの重要性を理解する。 配布資料			
[演習〕			ーションの構成要素と成立過程を理解する。		
		.	ーションの基本的な方法について理解する。		
	授業内容		ーションの意義と目的		
			ーションの構成要素と成立過程		
			ためのコミュニケーションの基本		
			ミュニケーションの実際		
Mr o E	初生日無	.	ーション障害への対応	- 1 - 1	
第 3 回 〔講義〕	到達目標		で始まり観察で終わる」の所以、看護における	テキスト	
〔膊我〕	授業予定		よび報告の重要性について理解する。 ・ ・る観察と記録、報告	配布資料	
	12条了足		る既宗と記述、報口 目的と留意点、その構成		
第 4 回	到達目標		スメントの意義と目的について理解する。	テキスト	
「講義〕	刊 注 日 伝		スメントの概要を理解する。	配布資料	
(1843 45%)		1. ヘルスアセ	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
		-•	ルフケア能力のアセスメント		
		3. 全体の概観			
			- アセスメントに必要な技術		
		1	全体印象の把握		
			インの観察とアセスメント		
		・計測			
第 5 回	到達目標	バイタルサイン	ンの観察とアセスメントについて理解する。	テキスト	・事前に提示する課
〔講義〕	授業予定	1. 体温の基礎	知識と測定の実際	配布資料	題に取り組んでおく
		2. 脈拍の基礎	知識と測定の実際		こと。
		3. 呼吸の基礎	知識と測定の実際		・解剖生理学で学ん
		4. 血圧の基礎	知識と測定の実際		だ知識と関連付けて
		5. 意識に関す	る基礎知識と観察の実際		学習すること。
第 6 回	到達目標	1. 身体計測の	実際について学ぶ。	テキスト①	・事前に提示する課
〔講義〕		2. バイタルサ	イン測定の実際について学ぶ。		題に取り組んでおく
	授業予定	演習:			こと。演習は、事前
	<u> </u>	i .		l	l

		1. 身体計測		提示の動画学習を基
After E. I.I.	加卡口標	2. 体温、脈拍、呼吸、血圧測定	1 @	本としてすすめる。
第7回	到達目標	バイタルサイン測定の実際について学ぶ。	テキスト①	患者さんを想定した
〔講義〕	授業予定	演習:		援助を行います。動
		1. バイタルサイン測定		画学習によるイメー ジトレーニングをし
## 0 ⊟	刘泽口栅	ジ / カュル / 八川 中の 中断 ア ヘレ イ 一 ゲ	テキスト(1)	ておきましょう。
第8回	到達目標	バイタルサイン測定の実際について学ぶ。	ラキスト(I)	患者さんを想定した
〔講義〕 〔演習〕	授業予定	演習:		援助を行います。動 画学習によるイメー
(供育)		1. バイタルサイン測定		ジトレーニングをし
				ておきましょう。
第 9 回		呼吸器系のフィジカルイグザミネーションの実際とアセスメ	テキスト①	*事前課題あり。
(演習)	为建口你	ントについて理解する。	74711	*呼吸器系の解剖生
(Well)		1. 呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際について説明	-	理の復習をしてお
	1人米 1 元	し、演習を行う。		く。
		2. 呼吸音の聴診とアセスメントの実際について説明し演習		
		を行う。		
第 1 0 回	到達目標	呼吸器系のフィジカルイグザミネーションの実際とアセスメ	テキスト①	*事前課題あり。
〔演習〕	2. CIM	ントについて理解する。		*呼吸器系の解剖生
	授業予定	1. 呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際について説明	-	理の復習をしてお
		し、演習を行う。		< ∘
		2. 呼吸音の聴診とアセスメントの実際について説明し演習		
		を行う。		
第 1 1 回	到達目標	循環器系のフィジカルイグザミネーションとアセスメントに	テキスト①	*事前課題あり。
〔演習〕		ついて理解する。		*循環器系の解剖生
	授業予定	1. 循環器系のフィジカルアセスメントの実際について説明		理の復習をしてお
		し、演習を行う。		< ∘
		2. 心音の聴診とアセスメントの実際について説明し、演習		
		を行う。		
第 12 回	到達目標	循環器系のフィジカルイグザミネーションとアセスメントに	テキスト①	*事前課題あり。
〔演習〕		ついて理解する。		*循環器系の解剖生
	授業予定	1. 循環器系のフィジカルアセスメントの実際について説明		理の復習をしてお
		し、演習を行う。		< ∘
		2. 心音の聴診とアセスメントの実際について説明し、演習		
		を行う。		
第 1 3 回	到達目標	腹部のフィジカルイグザミネーションについて理解、実施	テキスト①	*事前課題あり。
〔講義〕		しアセスメントできる。		*腹部の解剖生理に
	授業予定	1. 腹部の聴診・触診とアセスメントの実際を説明し演習を		ついて復習してお
		行う。		く。
第 1 4 回	到達目標	運動器系のフィジカルイグザミネーションについて理解す		*事前課題あり。
〔講義〕		る。		*筋骨格器系の解剖
	授業予定	1. 筋骨格系のフィジカルアセスメントの実際を説明する。		生理について復習し
*** 4	711+ P P	DV-LIVET CO		ておく。
第15回	到達目標	脳神経系のフィジカルイグザミネーションについて理解す		*事前課題あり。
〔講義〕	T착 Mr 그 그	3。 1 IN分類であるコンドンファートントの付照を当日上マ	-	*脳神経系の解剖生
	授業予定	1. 脳神経系のフィジカルアセスメントの実際を説明する。		理について復習して おく。
第 1 6 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。	•	•

	方法 :		
	・終講試験は、100%の試験とし 60%未満は再試験とする。		
	・終講試験(100 点満点)は、筆記試験 70 点、技術試験 30 点で実施する。内訳は以下の通り。		
	(筆記試験:70点)		
	*コミュニケーションとは(10 点)		
	*観察・記録・報告(20 点)		
	*フィジカルアセスメント(40 点)		
	(技術試験:30点)		
	*バイタルサイン測定(30 点)		
	・筆記試験・技術試験は、別日程の実施とする。		
	①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I :医学書院 e テキスト		
	②系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学:医学書院 e テキスト		
使用教材	*看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント:メディックメディア		
参考図書	*eナーストレーナー フィジカルアセスメント (ブックライブラリー・ビデオライブラリー)		
	*ビジュランクラウド		
その他			
	・呼吸や脈拍の測定、血圧測定、呼吸音の聴診などは患者を想定した練習が欠かせません。家族や		
授業以外の学習方法	友人、学生同士など協力してもらい、練習を重ねましょう。		
	・演習時間内で不十分だった技術については放課後など時間を使って十分に練習すること。		
履修上の留意点	・患者さんに安全・安心を提供する看護技術は、練習を積み重ねることで修得できるものです。		

科目区分	専門分野	科目名	基本看護技術Ⅱ	単 位	1 単位	
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間	
10 V +/L 0	111 111 111 ->	実 務 経 験	病院における看護師経験	•	1	
担当教員	川野 明子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員			
目的	発生を予防する 看護師がケア る。この科目で	ための対策につい を必要とする対象	R者に対して的確に応えるには、看護的な視点で 持つ対象者(患者)への看護の必要性とケアを提	で課題を見出して	援助する必要があ	
					DP への対応 DP3,5	
目 標	1. 看護における安全の意義を理解し、安全を守るための技術を習得する。 2. 看護過程の概念と意義を理解する。 3. 看護過程の展開方法(アセスメント,診断,計画,実施,評価)を理解する。 4. 看護計画立案(看護診断,期待される成果,看護介入)の方法を理解する。 5. 科学的根拠に基づいた問題解決方法を理解する。					
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する	
第 1 回	到達目標	感染予防の原則	リとスタンダードプリコーションについて理解	テキスト	衛生的手洗いの手技	
〔講義〕		する。		P64~67	を予習する。実習オ	
	授業予定		Š染予防の原則、スタンダードプリコーション	配布資料	リエンテーションで	
*** o 🖂		について説明す		- 1 1	演習する。	
第 2 回	到達目標		質と方法について理解する。	テキスト		
〔講義〕	授業内容	感染経路別予り の種類について	方策、消毒薬と滅菌法、消毒薬の種類、滅菌法 ご説明する。	P67~82、 P82~93 配布資料		
第 3 回	到達目標	個人防護用具(PPE)の着脱について理解する。	テキスト	個人防護用具の着脱	
〔講義〕	授業予定		手袋、マスク、ガウン、ゴーグル、フェイス	P93~96	の動画 (P74~76) を	
		シールド)の着 る。	脱、感染性廃棄物の取り扱いについて説明す	配布資料	見て手順を把握する。	
第 4 回	到達目標	無菌操作及び源	成菌手袋、滅菌ガウンの装着方法を理解する。	テキスト	無菌操作、滅菌手袋、	
〔演習〕	授業予定	無菌操作および	バ滅菌手袋、滅菌ガウンの着脱について理解	P87~93	滅菌ガウンの着脱に	
		菌放送の開き方	ととおして、無菌操作(滅菌バックの開封、滅 方、清潔区域の作成、滅菌物の取り出し方、鉗 り扱い)の技術および滅菌手袋、滅菌ガウンの 説明する。	配布資料	ついて、動画を見て 手順や注意点を確認 する。	
第 5 回 〔演習〕	到達目標	医療における危る。	た 険要因や療養生活に潜む事故について理解す	テキスト P96~102、	療養生活に潜む事故 とその対策について	
	授業予定	(医療粗供養員	所として、安全の意義、医療における危険要因、患者粗供養員、状況要因)、療養生活の安全む事故:転倒・転落、誤嚥など)、安全対策につ	P106~125 配布資料	考える。	
第 6 回	到達目標		である5段階を理解する。	基礎看護学②		
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンフ		P282~296,		
			の概要として、看護過程とはなにか、看護理論) (看護の視点)を説明する。	302~316, 338~339		
第 7 回		アセスメントの)意義と方法を理解する。	臨床看護学		
〔演習〕)枠組み、問題を明らかにするための意図的・ 以集、情報の整理と分析について説明する。	総論 P288~ 290		
第 8 回	到達目標	アセスメントの)意義と方法を理解する。	看護がみえ		
〔演習〕	授業予定		の枠組み、問題を明らかにするための意図的・ 双集、情報の整理と分析について説明する。			

第 9 回 到達目標 アセスメントの方法(情報解釈と分析)を理解する。 看護がみえ	
【演習】 授業予定 ゴードンの11の機能的健康パターンを用いたアセスメント る	
(情報の解釈、分析、判断)の記述方法を説明する。	
第 1 0 回 到達目標 統合的なアセスメント (関連図の書き方) を理解する。 臨床看護学	
【 演 習 】 授業予定 患者の健康状態や生活が変化した経緯(問題が生じた原因や 総論 P287~	
誘因、成り行き)の記述について説明する。	
第 1 1 回 到達目標 健康問題を明確化する方法(看護診断名)を理解する。 看護診断ハ	
「演 習 」 授業予定 アセスメントにより導き出された看護上の問題を表現する方 ンドブック	
法(看護診断)と優先順位について説明する。	
第 1 2 回 到達目標 期待される成果(アウトカム)の記述方法を理解する。 基礎看護学	
〔演習〕 授業予定 看護上の問題(看護診断)に対応した期待される成果(アウ ②P326~	
トカム)の表現方法について説明する。 332	
第 1 3 回 到達目標 看護計画の立案について理解する。 看護がみえ	
〔演習〕 授業予定 看護上の問題(看護診断)を解決するためのゴール設定と看 る	
護介入の方法を成分化する方法を説明する。	
第 1 4 回 到達目標 看護計画の立案について理解する。 基礎看護学	
〔演習〕 授業予定 看護上の問題(看護診断)を解決するための目標と看護介入 ②P332~	
の方法を成分化する方法を説明する。 334	
第 15 回 到達目標 看護介入の記述と目標達成度の判定方法、看護計画の追加・ 看護がみえ	
〔演習〕 修正について理解する。	
授業予定 評価の視点を用いて看護過程の各サイクルを見直すことや、	
記載内容の追加・修正の方法、看護目標の到達度判定につい	
て説明する。	
第 1 6 回	
終講試験(50分)	
	/ had 1
・授業態度、演習態度、課題レポート(演習中の記録)の内容、授業に取り組む姿勢	(個人ワーク
やグループ討議での様子)を含め、総合的に評価する。 ・筆記試験は、①感染予防と安全管理(10 時間) ②看護過程(20 時間)を合わせて 1 単	
・ 事記訊験は、①窓架予防と安全管理(10 時间) ②有護過程(20 時间)を行わる C 1 事 100 点/50 分の試験を行う。そのうち①感染予防と安全管理は 50% ②看護過程は	
成績評価の基準と方法 する。②看護過程は成績評価 50%のうち、看護過程演習課題 30%、筆記試験 2 0 9	
・看護技術(無菌操作)については、日常生活援助技術II の排泄の単元で導尿の技術試	
なかで確認する。	
・評価が 60%未満は再試験とする。	
系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学② 医学書院	
系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院	
テ キ ス ト	
使用教材 看護診断ハンドブック 第11版 リンダJ.カルペニート著 医学書院	
参考図書 看護がみえる vol 4 看護過程の展開	
また。 44 看護過程演習では、授業で自然気胸患者の看護過程の展開を学び、終講時に糖尿病患	者の看護過程
その他に関する課題レポートを提出する。	
授業以外の学習方法 授業で学んだことを活用し、日常においても安全な生活を送るために感染防止の技術	を練習する。
履修上の留意点	

科	目	区	分	専門分野	科目名	日常生活援助技術 I	単 位	1 単位
対	象	学	年	1 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
L	vi.	. بىد		①岡部 裕美	実務経験	①病院における看護師経験・別府市医師会立別	」 別府青山看護学校	で 専任教員
担	当	教	貝	②服平 敏枝	関連資格	②病院における看護師経験・別府市医師会立別	別府青山看護学校	で 専任教員
				暮らしの場の多	様化により看護的	mは様々な場で療養する人々に対して、日常生活	舌を整えるための	援助を、健康状態や
			故	ニーズに応じて	実施する必要がる	ある。この科目では、療養環境を快適に保つたぬ	めの「環境調整」、	、生活の基本である
H	目 的		מם	「活動と休息」、	多様性に応じた援助			
				を行う力をつけ				
					DP への対応			
				1. 快適な療養	環境について理解	躍できる。		DP3
				,,		と快適な環境調整の方法を学ぶ。		DP3
					キングの方法を理			DP3
目			標		リネン交換の方法			D P 3
						りに必要な活動と休息のメカニズムを理解する。 ログリー 東、カカコト、 ス・・・・ バの投手でも		DP3
					として体位変換の	の援助、車いすやストレッチャーなどの移乗や科	多达の美際の力	DP3
				法を学ぶ。	て具え傷わた休日	息の方法である睡眠の援助について学ぶ。		DP3
					技術について理解			DP3
授	坐	□	₩/	0. 安木の放助	大門に フィーで生活	H 2 00		授業に関する
		法				内容	使用教材	準 備 学 習
			回	到達目標	療養生活におり	ける環境とは何か理解する。	テキスト①	テキストを読んでお
(講	義)	授業予定	1. ガイダン			くこと。
(岡	部)		2. 病室内にあ	あるベッドなどの物品について理解できる。		
					3.療養環境に	こついてアセスメントする。		
第	2	2	回	到達目標	基本的なベッ	ドメーキングが実施できる。	テキスト①	テキストを読んでお
(講	義)		療養環境を整え	えることができる。		くこと。教員作成動
(岡	部)	授業内容	基本的なベッ	ドメーキングを実施する		画を視聴しておく。
第	3	3	回	到達目標	第2回に同じ		"	"
		義		授業予定	第2回に同じ			
1		習						
		部		71117	# 0 D - D 1			
	- 4		回	到達目標	第2回に同じ		"	"
		義習		授業予定	第2回に同じ			
		部	-					
第			回	到達目標	患者が安全・気		<i>n</i>	"
-,-		義		授業予定		安楽な療養環境を整えるための環境整備を実施	-	
		習			する。			
(岡	部)					
第	(6	回	到達目標	臥床患者のリス	ネン交換が実施できる。	テキスト①	テキストを読んでお
(講	義)	授業予定	基本的な臥床原	患者のリネン交換を実施し、患者の安全・安楽		くこと。教員作成動
		習			について考える	3.		画を視聴しておく。
		部	-					
		7	· ·	到達目標	第6回に同じ		"	
		義		授業予定	第6回に同じ			
		習						
_		部		对比中压	サールバギー	ナ7秋 kg = 株 シ 7四 b カ . ト ッ	- 1 - 1 @	
	{ ≃#±			到達目標		基礎知識を理解する。	テキスト①	
		義亚		授業予定	1. ガイダンン 2. ウェ次効			
<u> </u>		平		刘法口栅		・ボディメカニクスについて説明する。	ニナフェの	ニナット動画・1
第	9	9	旦	到達目標	14世と14世変数	奥の技術を学ぶ。	テキスト①	テキスト動画、e ナ

〔講義〕	授業予定	1. 体位の実際(立位、座位、臥位、膝胸位、骨盤高位、		ーストレーナー	
〔演習〕	[X来] 元	砕石位)を説明する。		No4-1 まで視聴す	
(服平)		2. 体位変換の実際を説明し演習を行う。 (ボディメカニ		3	
		2. 呼应を挟め天际を説明し旗首を行う。 (ホティアカー クスを使って)		হ	
		仰臥位→側臥位 側臥位→仰臥位 仰臥位→長座位			
		長座位⇒端座位 端座位⇒仰臥位 端座位⇒立位			
		仰臥位⇒ファウラー位 上方移動 水平移動			
第 1 0 回	到達目標	第9回に同じ	"		
〔講義〕	授業予定	第9回に同じ			
〔演習〕					
(服平)					
第 11 回	到達目標	移動、移乗、移送の技術を学ぶ。	テキスト①	eナーストレーナー	
〔講義〕	授業予定	1. 杖、歩行器を用いた歩行の援助方法を説明する。		No4-2,3,4 視聴する	
(服平)		2. 車いす、ストレッチャーへの安全な移乗と移送の方法			
		を説明する。			
第 1 2 回	到達目標	1. 廃用症候群とそれを予防する「活動」の方法について	テキスト①	e ナーストレーナー	
〔講義〕		理解する。		No5-2、No4-5 視聴	
(服平)		2. 褥瘡好発部位とその予防の方法を理解する。		する	
	授業予定	1. 廃用症候群について説明する。			
		2. 関節可動域訓練、筋力強化訓練について説明する。			
		3. 褥瘡好発部位とその予防の方法を説明する。			
第 1 3 回	到達目標	睡眠と休息の援助について理解する。	テキスト①		
〔講義〕	授業予定	1. 睡眠の種類・メカニズム・アセスメントの方法について			
(服平)		説明する。			
		2. 睡眠・休息の援助について説明する。			
第 1 4 回	到達目標	安楽とは何か理解する。	テキスト①	eナーストレーナー	
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	7 (7.1 @	No5-1 視聴する	
〔演習〕	12.24.17.2	2. 安楽の援助の種類と技術について説明する。(ポジショ		2100 2 100,400 3	
(服平)		ニング・リラクゼーション・タッチング・マッサージのデ			
(ALC 1)		モンストレーション)			
第 1 5 回		温罨法・冷罨法の技術を学ぶ。	テキスト①	eナーストレーナー	
〔講義〕		1. 温罨法の実際を説明し演習を行う。	, , , ,	No5-3,4 視聴する	
〔演習〕		2. 冷罨法の実際を説明し演習を行う。		2,000 0,1 //2,700 0	
(服平)		I. WELLS AMERICA CHIS			
第16回		まとめ			
70 10 11		終講試験(50分)			
		基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。			
		方法:			
		・終講試験は、100%の試験とし 60%未満は再試験とする。			
		・ 終講試験は、100%の試験とし 60%未満は再試験とする。 ・ 終講試験(100 点満点)内訳は以下の通り			
成績評価の	基準と方法	第 1 回~7 回 環境調整(50 点)→内訳、筆記試験 20 点、技術	版試験(1) えンガ	5換)30 占レオス	
		第8回~13回 活動と休息(筆記試験 40点)	門は場合の	、(英/30 点とする。	
		第 14 回、15 回 安楽確保(筆記試験 10 点)			
	구 Ł ¬ 1	・筆記試験・技術試験は、別日程の実施とする。 ①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ:医	学 書院		
	テキスト		丁官阢		
使用教材	参考図書	看護覚え書き			
	Z 0 M	看護技術がみえる:メディックメディア			
14 1/1 4HE 50H	その他	切はずの毛滋什体の羽伊は、吐田さといと体型が毛帯でなっ	夕台は羽ょ往、	7. 丢ねップト	
反亲以外	の学習方法	初めての看護技術の習得は、時間をかけた練習が重要である。			
履修上	の 留 意 点	実習室でのみだしなみや演習態度、課題に取り組む姿勢などに 減点する。	は計価に含まれ、	於碑	

終講試験で合格していた学生であっても、技術試験の結果が不十分と思われる学生は、再チェックを行う。

科目区分	専門分野	科目名	日常生活援助技術Ⅱ	単 位	2 単位				
対象学年	1 学年	学 期	前期・後期	時 間	60 時間				
10 V 46 0	①岡部 裕美	実 務 経 験	①病院における看護師経験・別府市医師会立別	刊府青山看護学校	を 専任教員				
担当教員	②服平 敏枝	関連資格	②病院における看護師経験・別府市医師会立別	刊府青山看護学校	吏 専任教員				
	暮らしの場の多	様化により、看記	護師は様々な場で療養する人々に対して、日常生	三活を整えるため	の援助を健康状態や				
- #	ニーズに応じて	ニーズに応じて実施する必要がある。この科目では、生命を維持し健康状態を良好に保つための							
目 的	皮膚の生理機能	を整え心地よさな	を感じるための「清潔と衣生活」について理解を	と深め、対象の多	, 様性に応じた援助を				
	行う力をつける	行う力をつける。							
	1. 清潔援助の	効果と全身への影	影響を理解する。		DP3				
	2. 対象にあっ	た清潔援助方法は	こついて理解する。		DP2、3				
	3. 清潔援助に	関する基礎技術を	と理解する。		DP3				
	4. 衣生活援助	に関する基礎技術	桁を理解する。		DP3				
目 標	5. 食事の意義	と食事のアセスク	メントの視点を理解する。		DP3				
H W	6. 食事摂取へ	の影響要因を理解	昇し、対象に応じた援助をかんがえることができ	きる。	DP3				
	7. 非経口的栄	養摂取の目的、プ	方法を理解する。		DP3				
	8. 排泄の意義	、メカニズム、フ	アセスメントの視点について理解する。		DP3				
			はび器具について理解する。		DP3				
			易、導尿の援助方法を理解する。		DP3				
		る思者の心理に気	気づき、気づきを活用した配慮や姿勢について野	里解する。 	DP2, 5				
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学 習				
第 1 回		1 清潔揺助は	こ必要な基礎知識を理解する。	テキスト	・ワークシートに基				
〔講義〕	为之口协		マ接助の方法について理解する。 マ接助の方法について理解する。	P170~177、	づき、皮膚の構造と				
(岡部)	授業予定		意義、皮膚の構造と機能、洗浄剤の作用、清潔	P178~232、	機能を復習する。				
(, , , , , ,	12216 172		メントについて説明する。	ワークシー	・テキストを読んで				
		1	養、衣服調整のアセスメント、清潔援助の方法	ŀ	おく。				
		(全身:入浴、シ	ャワー浴、清拭、洗髪、整容、結髪、髭剃						
		り、洗面、眼・	・耳・鼻)について理解する。						
第 2 回	到達目標	1. 寝衣交換(和式寝衣、点滴をしている患者の和式寝衣、丸	テキスト	·動画2種類①和式				
〔講義〕		首パジャマ) を	と安全安楽に実施できる。	P224~232、	寝衣交換②点滴をし				
(岡部)	授業内容	①教員作成動画	画を視聴し、実施する	ワークシー	ている患者の和式交				
			ウシートに基づき実施し、振り返り、自己の課	ŀ	換)を視聴し予習す				
		題を明確にする	る。寝衣の特徴やたたみ方等について学ぶ。		る。 				
					・テキストを読んで				
第 3・4 回	如法口無	1 人自注社 / #	 大连性 上頃大六梅ぶ 東老の伊力の巡転さ	テキスト	おく				
男 3・4 四 〔講義〕	到達目標		株布清拭)と寝衣交換が、患者の体力の消耗を ながら、安全安楽に実施できる。	アキスト P184~189、	・動画(数種類あ り)を視聴し予習す				
(岡部)			国を視聴し、実施する。	P227~232,	う <i>が</i> 21元4201日 3 - る。				
(I-0 HF /	10米1元		↑演習と全体演習を行う。原理原則を踏まえて	ワークシー	・テキストを読んで				
			こ基づき実施する。使用物品を適切に取り扱	ŀ	おく。				
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	± - C)((1) 00 (2) (1) (1)						
第 5・6 回	到達目標		夏衣交換の一連の動作が、患者の体力の消耗を	テキスト	・授業までに前回の				
〔演習〕		最小限にしながら安全安楽に実施できる。							
(岡部)	授業予定								
		②演習は、チュ	ェックリストを基に実施し、振り返りを自己の	チェックリ	し、対策を考えてお				
		課題を明確にす	ける。	スト	< ∘				
		※この授業の一	-連の流れが技術試験の内容になります。		・動画を視聴して予				
					習しておく。				
第 7・8 回	到達目標	1. 洗髪(ケリー	-パッド・洗髪車)が、患者の体力の消耗を最	テキスト	・動画「洗髪」を視				
〔演習〕		小限にしながら安全安楽に実施できる。 P190~198							

(1521 -1617)	極紫之中	①教員作成動画を視聴し、実施する。	ワークシー	
(岡部)	授業予定			く。
		②演習は、ワークシートを基に実施し、振り返りを自己の課	 	テキストを読んでお
		題を明確にする。原理原則を踏まえること。		<
第 9・10 回	到達目標	1. 手浴・足浴とフットケア(保湿剤塗布)を安全安楽に実	テキストP	・動画「手浴・足浴
〔演習〕		施し、かつ温熱効果やリラクゼーション効果を与えることが	199~204	とフットケア」を視
(岡部)		できる。	ワークシー	聴しておく。
	授業予定	①教員作成動画を視聴し、実施する	ŀ	・テキストを読んで
		②演習は、ワークシートを基に実施し、振り返り自己の課題		おく。
		を明確にする。原理原則を踏まえること。		
第 11・12 回	到達目標	1. 口腔ケアと義歯洗浄を安全安楽に実施することで、爽快	テキスト	・動画「整容、口腔
〔演習〕		感を得ることができる。	P 207~223	ケア、義歯洗浄他」
(岡部)		2. 整容と洗面(目耳鼻、爪切り、髭剃り、ドライシャンプ	ワークシー	を視聴しておく
		ー)を安全安楽に実施することで、爽快感を得ることがで	ŀ	・テキストを読んで
		きる。		おく。
	授業予定	①教員作成動画を視聴し、実施する。		
		②演習は、ワークシートを基に実施し、振り返り自己の課題		
		を明確にする。原理原則を踏まえること。		
第 13. 14 回	到達目標	1. 陰部洗浄を安全安楽に実施できる。	テキスト	・動画「陰部洗浄」
第13.14回 _		(1)教員作成動画を視聴し、実施する。	P 204~207	を視聴しておく
(岡部)	1又未了足	②演習は、ワークシートを基に実施し、振り返り自己の課題	ワークシー	・テキストを読んで
		を明確にする。原理原則を踏まえること。	ŀ	おく。
第 1 5 回	到達目標	1. 食事の意義を理解し、対象の食行動についてのアセスメ	テキスト①	
〔講義〕		ントについて学ぶ。	テキスト②	
(服平)		2. 食事の種類について理解する。	テキスト③	
	授業予定	1. ガイダンス	, , , ,	
	1大木 1 元	2. 栄養状態及び摂取能力、食欲や食に対する認識のアセス		
		メントについて説明する。		
		3. 病院で提供される食事の種類と形態について、説明す		
		る。		
第 1 6 回	到達目標	食事援助の方法を理解する。	テキスト①	
第 1 0 凹 <u> </u> 〔講義〕		1. 食事援助の方法について説明する。	テキスト3	
〔演習〕	仅未了化	2. 食事援助の実際について演習を行う。	74219	
(服平)		2. 良事仮切の天际について偶百を行う。		
,	如本口種	位 17 日 P 日 P		
第17回	到達目標	第16回に同じ	"	
〔講義〕	授業予定	第 16 回に同じ		
〔演習〕				
(服平)	双小土 口 無	每人世工训练上。————————————————————————————————————	1 @	
第 1 8 回	到達目標	摂食嚥下訓練について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	食欲、摂食能力(食行動、嚥下)、嚥下障害、摂食嚥下訓練		
(服平)		について説明する。		
第 1 9 回	到達目標	非経口的栄養摂取の方法(経管栄養法・中心静脈栄養法・胃	テキスト①	
〔講義〕		ろう)について理解する。		
(服平)	授業予定	非経口的栄養法の種類と管理の方法について説明する。		
		(経管栄養法・中心静脈栄養法・瘻管法)		
第 20 回	到達目標	経管栄養法における安全安楽な栄養物の注入について理解す	テキスト①	
〔講義〕		る。		
(服平)	授業予定	1. 安全安楽な経鼻胃チューブの挿入について説明する。		
		2. 経管栄養法における栄養物の注入の実際(患者の準備)		
		3. 栄養物の準備 栄養物の注入 胃管の管理と患者の観		
		察)		
第 2 1 回	到達目標	1. 排泄の意義、メカニズム、観察、アセスメントを理解す	テキスト	・人間の飲食がどの
第 21 回し	到建日標	1. 排泄の息義、メカニスム、観祭、アセスメントを埋解す	アキスト	・人间の飲食がどの

ſ	讃	義	1		S.	配布資料	ように人体を通過
		習			2. 床上排泄に使用する用具と使用方法について理解する。	10.11.24.11	し、排泄に至るのか
		!平		授業予定	排泄の意義、メカニズム、観察、アセスメントを理解し、自		を、既習した人体の
`	,,,,,	•		汉从了之	身の気づきを活用する。		構造と機能とに関連
					メカニズムについては、既習を活用する。		づけ復習する。
第	2	2 2	田	到達目標	排泄のニーズと援助を受ける対象者の心理に気づき、その気	必要と考え	・自身の排泄(尿・
1		義		21/2.11/1/	づきを活用した配慮や姿勢について理解する。	る文献、ネ	便)について、頻度や
		習		授業予定	1. 事例検討会	ット検索可	性状を記録すること
		!平		汉从了之	グループワークにて、排泄に関する内容のテーマを決定し、	(信憑性の高	で排泄状態を知り、
`	,,,,,	•			「文献学習」「調査」「実験」などの手法を用いて調べる。	い出典元)参	健康のバロメーター
					2. 事前学習でのおむつ着用体験で感じたことをグループワ	考・引用し	と言われるゆえんを
					ークに活用し、対象者の心理を理解する。	た場合、記	考える。
						録するこ	・おむつ着用体験を
						と。	行う
第		2 3	田	到達目標	■ ■ 事例検討会の発表を行い、「気づき」をもとに排泄の援助を	発表のため	・日ごろ、排泄に関
		義			するための看護者の視点を理解する。	の資料(パワ	することで気になっ
		平		授業予定	グループワークしたことを発表する。発表に用いる資料は各	ーポイント	ていることや排泄の
				225,647,0	グループで選択し、わかりやすい発表をする。	使用可)	イメージなどを考え
							る。
第	2	2 4	回	到達目標	自然な排泄を促す援助を、対象者の安全・安楽・自立・個別	テキスト	排泄の援助方法につ
(講	義)		性を考慮し、援助を考えることができる。	配布資料	いてテキストを熟読
(服	平)	授業予定	①自然排泄(トイレ排泄、ポータブルトイレ排泄、床上排泄:		する。
					便器尿器使用、おむつ使用)の方法を理解し、安全・安楽・		
					自立・個別性について考える。		
					②演習する看護技術の援助計画を立案する。		
第	2	2 5	回	到達目標	床上排泄(尿器・便器・おむつ)の援助が実施できる。	テキスト	・授業までに①予習
(演	督)	授業予定	1. 床上排泄での援助技術	配布資料	として、 床上排泄・
(服	平)		①予習は右参照		浣腸と摘便の援助計
					②演習は、立案した援助計画を基に部分演習と全体演習を原		画をグループでそれ
					理原則を踏まえて実施する。タブレットで一連の流れの動画		ぞれ1つ作成し期限
					を撮影し、各自リフレクションする。全員経験すること。		までに提出し、指導
					実施後、「気づき」をまとめる。		後修正しておく。
					使用した学校の患者用パジャマは、洗濯をすること。		※ e ナーストレーナ
							ー自然排尿および自
							然排便の介助を視聴
							する。
第	2	6	回	到達目標	第 25 回に同じ	"	"
		習		授業予定	第 25 回に同じ		
		平					
		2 7		到達目標	自然な排尿が困難な対象者への援助が実施できる	テキスト	・授業までに予習と
		图		授業予定	1. 器具の種類と特徴	配布資料	して、導尿の援助計
(服	平)		2. 器具を用いた排尿の援助技術		画をグループで作成
					1) 導尿		しておく。
					2)膀胱留置カテーテル		※eナーストレーナ
					①予習は右参照		一一時的導尿、持続
					②演習は、立案した援助計画を基に原理原則を踏まえて実施		的導尿を視聴する。
				7111	する。		
		8	· · ·	到達目標	第27回に同じ 	"	"
		義		授業予定	第27回に同じ		
		图					
		平			ALAN HUT VETARIN LIA LA	<u> </u>	Les Alla S
一一一	2	9	回	到達目標	自然な排便が困難な対象者への援助ができる	テキスト	・授業までに浣腸、

〔講義〕	授業予定	1. 器具の種類と特徴	配布資料	摘便の予習と、援助		
〔演習〕	1/// 1 //	1. 器具の種類と特徴 配布資料 調使の予省と、援助 2. 器具を用いた排便の援助技術 計画をグループで作				
(服平)		1) 浣腸 成しておく。				
(AL I)		1) (元版)				
		①予習は右参照		一浣腸、摘便を視聴		
		②演習は、立案した援助計画に沿って、原理原則をふまえ実		する。		
		施する		y 50°		
第 3 0 回	到達目標	排泄障害のある患者の看護を実施する	技術チェッ	一時的導尿の援助技		
〔演習〕	授業予定	第27回の学習を活用し、第22、23回の事例の状況に応	ク表	術を確認する。		
(服平)		じた導尿の実施を行う。				
第 3 1 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
		方法 :				
		・日常生活援助技術 II は 2 単位(60 時間)であり、①清潔、	衣生活(28 時間	引) ②食事(12時		
		間) ②排泄援助技術(20 時間)で構成される。				
		・終講試験は、筆記試験 85%、技術試験 15%の配分で実施する。				
	甘) 	・筆記試験の配点は ①清潔・衣生活(50%) ②食事(20%) ③排泄(30%)とし、100点				
成績評価の	基準と月法	/50 分の試験を行う。				
		・①清潔・衣生活(50%)の内訳は、筆記試験 35%、技術試験(全身清拭)15%とする。				
		・②③は、筆記試験のみとする				
		・筆記試験・技術試験は、別日程の実施とする。				
		・排泄は、別日程で技術チェックを行い、成績評価は行わない。ただし、上記にある演習態度での				
		評価は行う。				
		①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護技術 II	:医学書院 e テ	キスト		
	テキスト	②系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学:医学書院 e テキスト				
使用教材		③看護形態機能学第4版:日本看護協会出版会				
	参考図書					
	その他					
		皮膚の構造及び機能について知識を定着し、皮膚の清潔保持な	ができな <mark>いと、と</mark>	どんな問題が起こるの		
		か学習する。演習で撮影した技術動画を参照し、課題を明確にし、技術試験当日に向けて自己練習				
授業以外の	D 学習方法	に励む。				
		排泄援助技術に関しては、開講にあたり既習した腎泌尿器や液	肖化器の構造と様	幾能について知識を定		
		着させ、排泄のしくみを理解しておく。また自身の排泄に関す	する観察や体験を	を事前学習しておく。		
		日本人にとっての清潔行為の意味を考慮し、満足感が得られる	る技術について表	考える。		
		実習室でのみだしなみや演習態度、課題に取り組む姿勢などは評価に含まれ、終講試験の結果から				
		減点する。				
履修上の留意点						
		どんな状態になるのか、援助の必要性を考慮して実施してください。				
		終講試験で合格していた学生であっても、技術試験の結果が不十分と思われる学生は、再チェック				
		を行う。				

科	目	区	分	専門分野	2 単位							
対	象	学	年	2 学年	学		期	前期	時 間	60 時間		
	NI.	-WL		①小林 恭子	実	務	経験	①病院における看護師経験・別府市医師会立別	川府青山看護学校	で 専任教員		
担	当	教	貝	②貞清 瑞枝	関	連	資 格	②病院における看護師経験・別府市医師会立別	JI府青山看護学校	交 専任教員		
				診療の場面では、	診療の場面では、医療の高度化・専門化により多様な検査が行われるようになり、なかには生体侵襲による苦痛や羞							
			的	恥心を伴うもの:	豚に伴う援助として、							
目			пŋ	呼吸・循環を整	、採血 (3回)	についての基礎的な						
				看護技術を演習を通して習得する。(全 30 回)								
										DP への対応		
				診察・検査にお	ける看	旨護	の実際	と看護師の役割について理解する。				
				<呼吸・循環を	整える	る技	(術>			DP2		
								必要な基礎知識を理解する。				
								を整えるために必要な援助技術を理解する。		DP3		
					に伴う	う舌	'桶など	こ配慮した援助方法を理解する。		DD4		
				<創傷管理>) - 27 T	π≯	++ 7** /	⇔ тш жл → ¬		DP4		
				1. 創傷の治癒 2. 創傷処置と						DP5		
								で在所する。 内な固定を理解する。		D1 3		
				< 与薬 >	X-1 1 ~ X	(1)	/C坐件	JAEL CAMP So				
目			標	1. 薬物療法に	おける	る看	護師の行	 ひ割を理解する。				
				2. 指示された	薬物を	を安	全に与	葉する方法を理解する。				
				3. 経口与薬、	直腸内	勺与	薬の援	助方法を理解する。				
				4. 安全かつ正	確に注	主射	を実施	する方法を理解する。				
				<検査>								
				1. 診察・検査	・処置	置に	おける	看護師の役割について理解する。				
				2. 各種検査の								
					処置を	を介	·助する[祭の注意点と患者の苦痛に対する配慮を理解する	0 0			
				<採血>	~ / - - >	L 1	\	3. J. 1111 KII. 1. 7				
				1. 静脈血採血	,			貝を理解する。 るために必要な技術を理解する。				
								っために必安な技術を理解する。 むじた援助方法について理解する。				
授	丵	□	粉	3. 採血と必要	_ , ·	o √.1	30'H (C)	いした成功方法について注册する。		授業に関する		
		法						内容	使用教材	準 備 学 習		
第			回	到達目標	創作	易の	治癒過程	呈をふまえた創傷管理の実際について理解す	テキスト			
(講	義)		る。							
	(小	林)		授業予定	1.	ガ	イダン:	Z				
					2.	創	傷管理	の基礎知識、創傷処置・ドレーン挿入部の処置				
					の負	実際	を説明	する。				
第	2	2	囯	到達目標	褥掘	育子	防の援	めの実際について理解する	テキスト			
(習)		包有	帯を	用いた	爰助を理解する。				
	(小	林)		授業予定				の基礎知識と援助の実際を説明する。				
								巻軸帯・三角巾での固定、包帯の巻き方)の実				
***			1				明する。		テキスト			
1 -			回回	到達目標								
		習林		授業予定								
`	\1\r	'' ቦ	,									
第		4	回	到達目標								
		* 習		授業内容				する援助方法について理解する。 	テキスト			
`		林)	1	八木口廿				ッフィング、スクィージング、ネブライザー、				
	. •	,						ハて説明する。				
第	!	5	回	到達目標			.,	要とする患者への看護を理解する。	テキスト			
					1			*****		I .		

〔演習〕	授業予定	酸素供給システム(中央配管)や酸素ボンベの取り扱いの実	
(小林)	1226172	際を説明する。	
第 6 回	到達目標	安全な手技で口腔・鼻腔内・気管内の喀痰を吸引する方法を	テキスト
〔演習〕	7 11 2 1 12 1	理解する。	
(小林)	授業予定	吸引の種類と方法、吸引の適応、用途に合わせたカテーテル	
	225/1472	の選択、実施上の注意点について説明する。	
第 7 回	到達目標	気管内挿管と吸引を必要とする患者への看護を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	気管内挿管介助技術、持続的吸引(胸腔ドレナージ)の実際	
(小林)	225/1472	を説明する。	
第 8 回	到達目標	排痰を促す必要性と援助の方法を理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	体位ドレナージ、ネブライザー吸入療法の実際を説明する。	
(小林)	3,25,10,7,2		
第 9 回	到達目標	診察・検査・処置における看護師の役割について理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	1. ガイダンス	
(小林)		2. 診察の介助の実際を説明する。	
第 10 回	到達目標	検査における看護師の役割について理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	検査の種類と看護師の役割、放射線被ばく防止策について説	
(小林)		明する。	
第 11 回	到達目標	検査の目的と方法、注意点、患者の苦痛に対する配慮につい	テキスト
〔演習〕		て理解する。	
(小林)	授業予定	生体検査、検体検査について説明する。	
第 1 2 回	到達目標	検査を介助する際の注意点を理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	胸腔穿刺、腹腔穿刺の事前準備、実施前・実施中・実施後の	
(小林)		看護について説明する。	
第 1 3 回	到達目標	検査を介助する際の注意点を理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	腰椎穿刺、骨髄穿刺の事前準備、実施前・実施中・実施後の	
(小林)		看護と、胃洗浄について説明する。	
第 1 4 回	到達目標	検査を必要とする患者の苦痛や羞恥心を最小にする配慮を理	テキスト
〔演習〕		解する。	
(小林)	授業予定	血糖測定、中間採尿、尿比重測定、心電図検査の手技や、患	
		者の苦痛や羞恥心に対する配慮について説明する。	
第 1 5 回	到達目標	静脈血採血の目的と方法を理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	採血法の種類、器具の種類と選択、血管の選択方法、採血実	
(小林)		施時の注意事項を説明する。	
第 16 回	到達目標	静脈血採血をモデル人形に対して安全に実施できる。	テキスト
〔演習〕	授業予定	真空採血管を用いた採血方法、翼状針とシリンジを用いた採	
(小林)		血方法、対象に応じた工夫(小児・高齢者)を説明す	
		ప .	
第 17 回	到達目標	静脈血採血が必要な患者への看護を理解する。	テキスト
〔演習〕	授業予定	第2回同様、採血の実際についてデモンストレーションを通	
(小林)		して説明する。	
第 18 回	到達目標	与薬を必要とする患者への看護を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	
(貞清)		2. 与薬の目的と看護師の役割、誤薬防止、患者誤認防止、	
		薬剤暴露予防について説明する。	
第 19 回	到達目標	薬物管理の方法と管理の重要性を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	与薬の種類、薬物動態、薬剤の管理(毒薬・劇薬・麻薬・抗	
(貞清)		悪性腫瘍剤・血液製剤)を説明する。	
第 20 回	到達目標	内服薬、口腔内薬、外用薬を用いた安全な与薬の方法を理解	テキスト
〔演習〕		する。	
(貞清)	授業予定	経口与薬、直腸内与薬、経皮・外用薬の与薬を必要とする患	

第 2				者への援助の実際を説明する。			
	n 1		如本口種				
			到達目標	注射の方法と留意事項を理解する。	テキスト		
し 復 (貞			授業予定	注射の種類と特徴、注射器・注射針の取り扱い、アンプル・ バイアルの取り扱いについて説明する。			
			到達目標	注射を必要とする対象に応じた援助方法を理解できる。	テキスト		
	第 2 2 回 到達目標 〔演習〕 授業予定			注射の準備から実施(無菌操作)、片付けまでの一連の過程	7 1 7 1		
(貞			1人来 1 元	のデモンストレーションを通して、対象にあった援助方法を			
\ >	4 113	,		説明する。			
第二	第 2 3 回 到達目		到達目標	皮下注射の実際を理解する。	テキスト		
〔道	图)	授業予定	皮下注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施方法を			
(貞	[清	•)		説明する。			
第二	2 4	回	到達目標	皮下注射の実際を理解する。	テキスト		
〔道	督)	授業予定	皮下注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施方法を			
(貞	1 清	•)		説明する。			
第 :	2 5	回	到達目標	筋肉内注射の実際を理解する。	テキスト		
〔道	图)	授業予定	筋肉内注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施方法]		
(貞	[清)		を説明する。			
第 2	2 6	口	到達目標	筋肉内注射の実際を理解する。	テキスト		
〔涉	督)	授業予定	筋肉内注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施方法			
(貞	1 清	')		を説明する。			
第二	2 7	口	到達目標	静脈内注射の実際を理解する。	テキスト		
〔道	督)	授業予定	静脈内注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施方法			
(貞	1 清)		を説明する。			
第二	2 8	回	到達目標	点滴静脈内注射の実際を理解する。	テキスト		
〔漫	督)	授業予定	点滴静脈内注射の目的、方法、注射部位の選択の仕方、実施			
(貞	1 清	•)		方法を説明する。			
第 :	29	口	到達目標	輸液速度の調整方法を理解する。	テキスト		
〔道	督)	授業予定	クレンメを用いた自然滴下、輸液ポンプ、シリンジポンプの			
(貞	1 清	')		操作方法と安全な管理について説明する。			
第:			到達目標	輸血実施の手順と副作用について理解する。	テキスト		
〔離		-	授業予定	輸血療法の目的、輸血用血液製剤の取り扱い、輸血の手順、			
(貞	1 清	`)		副作用の原因と対策について説明する。			
第:	3 1	回		まとめ			
				終講試験(50分)			
				基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
				方法 :			
				・「診療時援助技術」は2単位(60 時間)あり、5項目(①呵	望吸・循環を整っ	える技術、②創傷管	
				理、③与薬、④検査、⑤採血)で構成される。			
成 績	評	価の	基準と方法	・終講試験は、100%の試験とし 60%未満は再試験とする。			
				・終講試験(100 点満点)内訳は以下の通り			
				呼吸循環を整える技術(筆記試験 15 点) 創傷管理(筆記試験 5 点) 与薬(筆記試験 45 点)			
				検査(筆記試験 15 点) 採血(20 点 内訳:筆記試験 5 点、	技術試験(真空	[管採血]15 点とする。	
				・筆記試験・技術試験は、別日程の実施とする。			
			テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護学技術 II	: 医学書院 e テ	キスト	
使用	月教	材	参考図書				
			その他	配布資料、パワーポイント			
授業	纟以	外	の学習方法				
履	修	上	の 留 意 点	e ナーストレーナーを予習復習に活用しましょう			

科目区分	専門分野	科目名	臨床判断	単 位	1 単位			
対象学年		学期	前期・後期	時間	30 時間			
<u> </u>	7 7 7 7	実務経験	病院における看護師経験	PT IFI	20 4/101			
担当教員	岡部 裕美	関連資格						
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	患者のニーズ、	気がかり、健康問題について解釈し結論するこ。	_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
目 的	1		変更するかの判断、患者の反応から適切とそのり こ、看護者の気づきが重要となる。この科目では					
	科学的根拠に基	づき看護者とし	てとるべき行動を導く思考過程を学ぶ。					
	1. 対象に生じ	ている状況から	気づいたことを述べる。(気づき)		DP1, 2, 3			
		, =	習の知識を活用し、その意味を理解する。		DP1, 2, 3			
目 標	3. 対象に生じ む) を理解す		確にするための情報収集(フィジカルイグザミン	ネーション含	DP1, 3			
	4. 対象に生じ	ている状況をフ	ィジカルアセスメントから理解する。(分析・解	(釈)	DP 3			
	5. 対象に生じ	ている状況から、	、必要な看護行為を理解する。(行為)		DP1, 3			
	6. 気づきから	始まる一連の看	護行為を省察することができる(省察)		DP1, 2, 3, 6			
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する			
第 1 回	到達目標	臨床判断能力	の必要性について理解する。	資料				
〔講義〕	授業予定	1. ガイダン	ス					
		2. 臨床判断	とは何か、タナーの臨床判断モデルを活用し					
		て説明する。						
第 2 回	到達目標	対象の日常生活	舌行動を観察し、意味ある情報を理解する。	DVD 視聴と	基本看護技術Iフ			
〔講義〕	授業内容	1.〔事例 1〕	DVD「清潔(または食事)の援助場面」を視	資料(事例1)	ィジカルアセスメ			
		聴し、観察	点を言語化、分類し、さらに知りたい情報に		ント			
		ついて説明、	• • •					
			をフィジカルアセスメント(解剖生理学、病					
			看護学)の知識を活用し、その意味を考え、					
***		説明する。		Marie I				
第 3 回		1	舌行動を観察し、意味ある情報を理解する。	資料	基本看護技術Ⅰフ			
〔講義〕	授業予定		ワークを通して、新たな視点で気づいたこと		ィジカルアセスメ			
		を説明する。	・ 必要な援助についてグループで考えたことを		ント			
		2. 状况から? 説明する。	必要な援助についてケルークで考えたことを					
第 4 回	到達目標		舌行動から、意味ある情報を理解する。	DVD 視聴と	基本看護技術Ⅰフ			
〔講義〕	授業予定	7 737	DVD「排泄の援助場面」を視聴し、観察点を	資料(事例2)	4ジカルアセスメ			
(111 421)	1000 1000		質し、さらに知りたい情報について説明す	3411 (1771-)	ント			
		る。						
		2. 得た情報	をフィジカルアセスメント(解剖生理学、病					
			看護学)の知識を活用し、その意味を考え、					
AA	次(1) 土 口 Lan	説明する。	イ/(名)。) - 立山 とっ 柱 HJ と m / n しっ	次小	甘土毛类异/四十二			
第 5 回			舌行動から、意味ある情報を理解する。	資料	基本看護技術Iフィジカルアセスメ			
〔講義〕	授業才疋	授業予定 1. グループワークを通して、新たな視点で気づいたことを						
		説明する。						
		2. 状況から必要な援助についてグループで考えたことを説 明する。						
第 6 回	 到達目標		フィジカルアセスメントを理解する。	資料(事例3)	基本看護技術Ⅰフ			
(講義)	授業予定			- 具在 (サバリ)	本年 日 段 汉 州			
/ WIJ #74 /	1277.77		を説明できる。		ント			
			えられる援助について説明する。					
第 7 回			フィジカルアセスメントをもとに、必要な援	シュミレーシ	基本看護技術Ⅰフ			
,, , <u> </u>	- TO HIM	7.7.7.7. 2.3.7.6						

〔講義)		助行為が理解できる。	ョン資料	ィジカルアセスメ
		授業予定	1. 事例 3 「発熱と呼吸困難感がある患者」のシュミレーシ		ント
			ョン演習の中でフィジカルアセスメントや援助した内容		
			について説明する。		
第 8	回	到達目標	対象に生じている状況から、最適な臨床判断を理解する。	資料	基本看護技術Ⅰフ
〔講義)	授業予定	1. 事例 3 に対して実施したフィジカルアセスメントと援		ィジカルアセスメ
			助を省察し、不足していた情報の抽出やアセスメント、		ント
			援助について説明する。		
第 9	回	到達目標	対象に必要なフィジカルアセスメントを理解する。	資料(事例4)	基本看護技術Iフ
〔講義)	授業予定	1. 事例 4 「CO2ナルコーシスや低血糖など(例)」の		ィジカルアセスメ
			フィジカルアセスメントを説明できる。		ント
			2. 必要と考えられる援助について説明する。		
第 10	回	到達目標	対象に生じている状況から、必要な行為を理解する。	シュミレーシ	基本看護技術Ⅰフ
〔講義)	授業予定	1.事例 4「CO2 ナルコーシスや低血糖(例)患者」の趣	ョン資料	ィジカルアセスメ
			味レーション演習の中で、フィジカルアセスメントや援		ント
			助した内容について説明する。		
第 11		到達目標	実施した臨床判断と行為について省察し、課題を理解す	資料	基本看護技術Ⅰフ
〔講義)		ర .		ィジカルアセスメ
		授業予定	1. 事例4に対して実施したフィジカルアセスメントと援		ント
			助を省察し、不足していた情報の抽出やアセスメント、		
			援助について説明する。		
第 1 2		到達目標	対象に必要なフィジカルアセスメントを理解する。	資料(事例5)	基本看護技術Iフ
〔講義)	授業予定	1. 事例 5 「肝性脳症の発症を疑う患者(例)」のフィジカ		ィジカルアセスメ
			ルアセスメントを説明する。		ント
***	_		2. 必要と考えられる援助について説明する。		
第 1 3		到達目標	対象に生じている状況から、必要な行為を理解する。	シュミレーシ	基本看護技術Ⅰフ
〔講義	J	授業予定	事例 5 「肝性脳症の発症を疑う患者(例)」のシュミレーシ	ョン資料 	ィジカルアセスメ
			ョン演習の中で、フィジカルアセスメントや援助した内容		ント
***		70.4 P FF	について説明する。	New Med	++ 1 -< >++ 1.75
第 1 4		到達目標	実施した臨床判断と行為について省察し、課題を理解す	資料	基本看護技術Ⅰフ
〔講義	J	ᅜᅭ			ィジカルアセスメ
		授業予定	1. 事例5に対して実施したフィジカルアセスメントと援		ント
			助を省察し、不足していた情報の抽出やアセスメント、		
A2A5 1 ₽			援助について説明する。		
第 15	Ш		まとめ 終講試験(50分)		
			基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
成績評	価の	基準と方法		土港は再試験が	무속
		テキスト	方法 : 終講試験 40 点・レポート 40 点・態度 20 点、60 点 なし	小何は円武駛を1	1) 。
	++	参考図書	なし		
使用教	12]				
極禁い	Ы	そ の 他 の学習方法			
復1修	上	の留意点			

科	目	区	分	専門分野	科目名	看護研究	単 位	1 単位
対	象	学	年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
			_		実務経験	病院における看護師経験		
担	当	教	貝	川野 明子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
				自分の看護実践	を振り返りながら	っ看護研究(ケーススタディ)に取り組むこと	で、方法論の探す	水や看護に対する深い
目			的	理解を得る。ま	た、ケーススタラ	ディを論文としてまとめることで、文献検索のプ	方法、実践した看	f護の評価、批判的思
				考力について学	<i>ن</i> چ.			
								DP への対応
				1. 研究の意義	と必要性を理解す	たる。		DP4、DP6
目			標	2. 研究の種類	研究方法を理解	ない ない ない ない ない はい		DP3
				3. 文献の活用	方法を理解する。			DP3
				4. 研究的な視	点で実践した看護	隻を振り返る方法を理解する。		DP1、DP3、DP6
		口				内容	使用教材	授業に関する
_		法	_					準 備 学 習
٠,٠		1		到達目標	看護研究の特徴	数、研究の意義を理解する。	テキス	
(講	義)	授業予定	1. ガイダンフ			
)概要を説明する。		
第			回	到達目標		スチョン(RQ)を理解する。	テキスト	
ĺ	講	義	J	授業内容		の概要として、研究の種類と特徴や倫理的配慮		
***					について説明す			
第			回	到達目標	文献の検索方法		テキスト	
Į	講	義	J	授業予定		e b 検索)の方法、文献の読み方、整理の仕方		
ArA:		4	ī	如本口種	を説明する。	。11 二、	= + - 1	
第			回	到達目標		フリティーク)的に読む方法を理解する。	テキスト	
Ĺ	袡	義	J	授業予定	7 1111	「ティーク)の実践を通して、批判的思考とは 今味の視点(妥当性・信頼性・適用性)を説明		
					する。	7味の悦点(女ヨ住・信頼住・旭用住)を説明		
第		5	田	到達目標		書き方を理解する。	テキス	
.,		義		授業予定		ないと研究計画書の構成、研究を行う際の倫理	1	
`	ML1	***	,	汉朱 1 元	的配慮を説明す			
第		6	回	到達目標		- ^ - ペート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	テキスト	
(講	義		授業予定	実践を通して論	命文 (ケーススタディ) の書き方と発表の仕方		
					を説明する。			
第		7	回	到達目標	自分の看護実践	美を振り返り、探究的な学習姿勢を理解する。	テキスト	
(講	義)	授業予定	研究活動と成界	その発表を通して、看護の本質(看護で大切な	1	
					こと)を考える	こことの意義を説明する。		
第		8	回	到達目標	論文(ケースス	(タディ) をまとめる。		
(講	義)	授業予定	ケーススタディ	に取り組む		
(演	習)					
第			回	到達目標	論文(ケースス	(タディ) をまとめる。	_	
		義		授業予定	ケーススタディ	に取り組む		
		習						
		0		到達目標		スタディ)をまとめる。	4	
		義		授業予定	ケーススタディ	に取り組む		
		習 1		刘泽口锤	会士 (2	, カニ, \ と + し ぬ フ		
		1 義		到達目標		スタディ)をまとめる。	-	
		我 習		授業予定	ケーススタディ	v = 4X ソ 和土 む		
		2		 到達目標	論文 (ケーフラ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		義		授業予定	一一大人	,	1	
		野		1X未√化	7 - 7 - 7 - 7 - 7	r C 4人 ソ /吐 U		
Ļ	炽	Ħ	,		1			<u> </u>

第 1	13回	到達目標	論文(ケーススタディ)をまとめる。		
〔講	義 〕	授業予定	ケーススタディに取り組む		
〔演	【智〕				
第 1	14回	到達目標	論文(ケーススタディ)をまとめる。		
〔講	轉義 〕	授業予定	ケーススタディに取り組む		
〔演	[智]				
第 1	15回		まとめ		
			終講試験(50分)		
市繕	· 戴 佈 a) 基準と方法	研究計画書と研究論文(ケーススタディ)の内容 70%、文献	検索 10%、授業	に取り組む姿勢
从順		/ 巫 平 こ 刀 仏	(個人ワーク、グループワーク)10%、発表中の態度 10%、	合計 60%未満は	再試験を行う。
		テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究:医学書院 e テキスト		
使 用	割教 材	参考図書	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方(大日本印	[[刷株式会社]	
		その他	配布資料		
授業	美以 外	の学習方法			
履(修上	の 留 意 点			

領域横断

科目区分	専門分野	科目名	家族看護	単位	1 単位		
対象学年	2 学年	学期	前期	時間	15 時間		
7.1 at 1 1	2 1 1	実務経験	病院における看護師経験		10 11/141		
担当教員	甲斐 有美子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員	1			
	家族全体を看護	1	家族の力を最大限に引き出し、家族全体の健康	·)危機に備える力をつ		
目 的	ける支援につい				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
					DP への対応		
	1.家族看護の特徴	徴や理念、対象/	こついて理解する。		DP1		
目標	2.家族看護につい				DP2		
	3.家族看護を支え	える理論と介入フ	方法を理解する。		DP3		
	4.家族看護の展開	開を理解する。			DP4、5		
授業回数		-	J., 164	# m # #	授業に関する		
〔方法〕			内容	使 用 教 材	準 備 学 習		
第 1 回	到達目標	家族看護の特征	数について理解する。	テキスト①			
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		配布資料			
		家族看護につい	って説明する。	パワーポイント			
		家族看護の特征	徴と理念 家族看護の発展と変遷 家族看護				
		の目指すとこ	ろ 家族員が疾患や障害を持つ家族 ライフ				
		サイクルと家族	疾 コミュニティと家族				
第 2 回	到達目標	家族看護の目的	りや対象について理解する。	テキスト①			
〔講義〕	授業内容	家族看護の対象	象について説明する。	配布資料			
		家族とは	家族構造 家族機能 現代家族とその課題	パワーポイント			
第 3 回	到達目標	家族看護を支え	える理論と介入方法について理解する。	テキスト①			
〔講義〕	授業予定	家族看護を支え	える理論と介入方法を説明する	配布資料			
		家族を理解する	るための理論	パワーポイント			
		家族の変化を理	里解するための理論				
		家族に変化を	もたらすもの				
第 4 回	到達目標	家族看護の展	開方法を理解する	テキスト①			
〔講義〕	授業予定	家族看護展開の	の方法を説明する	配布資料			
		家族看護過程。	とは 家族看護の実践	パワーポイント			
第 5 回	到達目標	様々なアセス	メントモデルについて理解する	テキスト①			
[〔講 義〕	授業予定		ントモデルを説明する	配布資料			
			疾アセスメントモデル 	パワーポイント			
第 6 回	到達目標		看護過程の展開、看護計画立案看護介入につ である。	配布資料			
〔講義〕	14 Mr = 11	いて理解する		パワーポイント			
	授業予定		家族看護の展開 看護計画 看護の介入と評				
## 7 E	제추 ㅁ ##	価について説明		副			
第7回	到達目標		昏護過程の展開、看護計画立案看護介入につ	配布資料			
[講義]	極業文章	いて理解する	2 佐毛猫の屋間 毛猫乳両 毛猫の人 1 1 5 7	パワーポイント 			
	授業予定	事例に基づく。 価について説	家族看護の展開 看護計画 看護の介入と評				
第 8 回		まとめ 終講語					
第 8 回							
│ │成績評価 ∅) 基準と方法		規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。				
	T		筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
<u></u>	テキスト	①系統看護学詩	構座 別巻 家族看護学:医学書院 e テキスト				
使 用 教 材	参考図書	ment I a Manuful					
lest alle s	そ の 他 配布資料、パワーポイント						
	の学習方法		て、グループワークや発表会を行なう				
履修上	の留意点	事前課題や、	予習・復習を行なう				

科目区分	専門分野	科目名	保健指導論	単 位	1 単位					
対象学年	2 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間					
	田非 ナギフ	実 務 経 験	病院における看護師経験		1					
担当教員	甲斐 有美子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員							
目 的	地域の健康課題	や保健指導に必要	要な基礎理論を理解し、人々の健康増進を目指す	アプローチの基本的]な考え方を学び、看					
H H 7	護師の役割を考	える。								
					DP への対応					
	1. 統計データ	を読み取り、地	或の実情を学ぶ		DP3. 5. 6					
		を読み取り、発送	- る	DP2. 3. 5. 6						
目 標		対する現行の法律	DP3. 6							
			と、保健指導の方法について学ぶ		DP1. 2. 3. 5. 6 DP2. 3. 4. 5. 6					
		. 保健指導の意義を理解する . 健康問題に関わる看護師の役割を理解する								
100 Alle 111 Alle	6. 健康問題に	関わる看護師の行			DP2. 3. 4. 5. 6					
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習					
第 1 回	到達目標	社会の変化と	呆健にかかわる意義について理解する	テキスト①						
〔講義〕	授業内容	1. ガイダン	z							
		2. 社会の変化	化(出生率・死亡率・有訴者率・有病率・健診							
		受信率・医療	療費の推移など)を説明する							
		3. 健康と病	気のとらえ方、ヘルスプロモーションの概念を							
		説明する								
		4. 看護の役割	朝を説明する							
第 2 回	到達目標		ジ各期の健康課題と、健康を守る法律・施策に	テキスト①						
〔講義〕		ついて理解す		テキスト②						
	授業内容		テージ各期の健康課題を説明する							
			る法律・施策、ヘルスプロモーションの概念を							
	70.4 P F	説明する	her a harmful has							
第 3 回	到達目標		ま何かを理解する	テキスト⑦						
〔講義〕	授業予定		算とは何かを説明する のアプラース された 説明より							
			のアプローチ方法を説明する 団に対するアプローチ方法を説明する							
第 4 回	到達目標		歴理論と方法について理解する	テキスト①	臨床心理 I 第 6 回					
第 4 四	授業予定		ア理論を説明する) + ^ r (1)	臨床心理1 第0回					
(117 42.)	1人来 1 元		理論を説明する							
		3. コーチン:								
第 5 回	到達目標		ステージ各期の健康課題について理解する	テキスト③						
〔講義〕	授業予定	+	生における健康問題を説明する	_						
		2. 思春期の	ヘルスプロモーションを説明する							
		3. 成熟期の	ヘルスプロモーションを説明する							
		4. 更年期の・	ヘルスプロモーションを説明する							
		5. 老年期女性	生のヘルスプロモーションを説明する							
第 6 回	到達目標	乳幼児の発達	 課題と健康課題、母子保健施策について理解す	テキスト⑤	公衆衛生 第10回					
〔講義〕		る								
	授業予定	1. 成長発達	こおける環境の重要性を説明する							
		2. 家族機能								
			施策を説明する							
第 7 回	到達目標		課題と管理(学校保健)について理解する	テキスト⑤	小児看護方法論 I					
〔講義〕	授業予定		セルフケアを説明する	テキスト⑧	第13回					
			舌習慣と肥満を説明する		公衆衛生 第13回					
			こおけるヘルスプロモーション(予防接種、							
		歯・口腔の健児	康、栄養・運動・休息、事故予防)を説明する							

A** 0		지수 다 任	ピーサッツ 法細語)。 (歴史 細語) 、 (大田 知 よっ) ・ (大田 知 よっ)	= + = 1 (1)	计工艺进出机会
71.	回	到達目標	成人期の発達課題と健康課題について理解する	テキスト①	成人看護学概論 第
〔講義	J	授業予定	1. 成人前期の健康課題を説明する	テキスト⑦	3回
			2. 成人中期の健康課題を説明する		公衆衛生 第11回
			3. 向老期の健康課題を説明する		
			4. 健康課題とヘルスプロモーション(生活習慣病、悪性新		
			生物、ストレス)を説明する		
	回	到達目標	働く人の健康課題と管理(産業保健)について理解する	テキスト①	公衆衛生 第14回
〔講義)	授業予定	1.職業に関連する健康問題(職業性疾病、過労死、VDT 障	テキスト⑦	
			害)を説明する		
			2. ワークライフバランスを説明する		
第 10		到達目標	高齢者の発達課題と健康課題について理解する	テキスト⑥	老年看護方法論 I
〔講義)	授業予定	1. 健康課題とヘルスプロモーション(介護予防、生活習慣		第12・13回
			病、服薬管理、エンドオブライフケア)を説明する		公衆衛生 第11回
			2. 高齢者の健康と生活を守る施策を説明する		社会福祉 第13回
			3. 介護者支援のあり方を説明する		
第 11		到達目標	感染予防と施策について理解する	テキスト⑦	公衆衛生 第8回
〔講義)	授業予定	1. 感染症予防の基本を説明する		
			2. 感染症法を説明する		
			3. 院内感染とその予防方法を説明する		
			4.結核、HIV、AIDS、新型インフルエンザの対策を説明		
			する		
第 12		到達目標	障碍者・難病保険と施策について理解する	テキスト⑦	小児看護方法論 I
〔講義)	授業予定	1. 障碍者(児)に関わる法と施策を説明する		第 14 回講義
			2. 障碍者基本計画と障碍者プランを説明する		公衆衛生 第12回
			3. 難病対策のあり方を説明する		社会福祉 第14回
			4. アドボガシーの意味と看護者の役割を説明する		
第 13		到達目標	別府市が抱える健康課題について理解する	配布資料	地域・在宅看護の方
〔講義)	授業予定	1. 別府市の地域福祉政策と健康課題を説明する		法 I 第11・1
			2. 別府市の保健福祉計画(市民の意識・行動変容に向けた		2・13回
			取り組み)を説明する		保健医療論 第6・
					7 回
第 1 4		到達目標	生活習慣病重症化予防保健指導の実際を理解する	配布資料	疾病論 I 第13回
〔講義		授業予定	1. CKD 予防に関する保健指導の実際を説明する		
第 15	回		まとめ		
			終講試験(50分)		
成績評値	囲の	基準と方法	基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
			方法 : 終講時筆記試験 60%、レポート 40%、60%未満に		
			①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔1〕成人看護学概		
			②系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔4〕臨床看護総論		
			③系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔1〕母性看護学概		
		テキスト	④系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術		
使用教	材		⑤系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概	tiii 小児臨床看記	隻総論:医字書院 e テ
			キスト	- 1	
			⑥系統看護学講座 専門分野 II 老年看護学:医学書院 e テキン		労事院 ニキー1
		* * * * *	⑦系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔2	.」公來	子書阮 e アキスト
		参考図書	国民衛生の動向 2023/2024		
क्यां आहे	L.I	その他	20 . 。 。 		
# T . T .		の学習方法	グループワークや発表会に向け、資料準備を行う		
履修.	ᆫ	の留意点	指定されたテキストや既習学習内容を確認して臨む		

科	E	区	分	専門分野	科目名	周術期と看護	単 位	1 単位
対	象	9 学	年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
+10	м	4 教	д	服平 敏枝	実 務 経 験	病院における看護師経験		
111	_	3 教	貝	月以 <i>一</i> 一 <i>再</i> 又1/又	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目			的	周術期にある対	象を理解し、対象	象の状況のアセスメント・合併症予防・回復過程	呈における援助・	家族の反応に対する
			нэ	援助を実践でき	るための、基礎的	的知識を理解する		
								DP への対応
目			標	1. 周術期にお	ける、本人・家族	族のニーズを理解する		DP1 · 2
н			M	2. 周術期にお	いては、迅速な	観察と適切な判断・対応が重要であることを理解	翠する	DP3 · 4 · 5
				3. 迅速な観察	と適切な判断・対	対応のための、基礎的な知識・技術を理解する	1	DP3 · 4 · 6
		き 回				内容	使用教材	授業に関する 準備 学習
第		1	回	到達目標	周術期の看護の	の概要と看護師の役割について理解する	テキスト①	成人看護方法論 I
(誧	載)	授業予定	1. ガイダン	Z	テキスト②	第3・8回
					2. 急性期看記	護の特徴を説明する		成人看護方法論Ⅱ
					3. 周術期看記	護の理念と専門性を説明する		第3回
					4. 周術期にる	ある患者と家族のニードを説明する		
第		2	回	到達目標	麻酔の種類と、	術前・術中・術後の管理について理解する	テキスト④	治療論 第2・3回
(誧	葬 義)	授業内容	1. 麻酔方法に	による影響とその援助を説明する		
					2. 手術体位。	とその影響を説明する		
					3. 全身麻酔。	と局所麻酔の合併症を説明する		
第		3	回	到達目標	手術侵襲と生作	本反応について理解する	テキスト①	治療論 第1回
(誧	葬 義)	授業予定		による影響とその援助を説明する	テキスト⑧	
					2. 術後合併組	定のリスクアセスメントを説明する		
						定の予防を説明する	_	
第		4	回	到達目標		家族への看護について理解する	テキスト①	
Ļ	誦	事義	J	授業予定		思決定への援助方法を説明する	テキスト④	
						の方法を説明する		
						セスメントとその援助方法を説明する 理とニーズを説明する		
第		5	回	到達目標	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	垂とーー人を説明する 看護について理解する	テキスト①	
	離	っ 専義		授業予定		自暖について理解する の方法を説明する	テキスト④	
Ĺ	DP	* * *	,	仅未了化		の力伝を説明する の援助方法を説明する		
						の固定方法を説明する		
						看護師の役割を説明する 「意味」の		
						時の援助方法を説明する		
第		6	回	到達目標	術後の患者の	看護について理解する	テキスト①	
(請	事義)	授業予定	1. 術直後の	モニタリング方法を説明する	テキスト④	
					2. 術後の疼疹	痛管理方法を説明する		
					3. 術後の機能	能障害や生活制限への看護を説明する		
					4. ボディイ	メージ変容への援助方法を説明する		
					5. 早期回復任	足進への援助方法を説明する		
第		7	回	到達目標	低侵襲手術を	受ける患者の看護について理解する	テキスト①	
(誧	葬 義)	授業予定	1. 腹腔鏡下	手術を受ける患者の看護を説明する		
					2. 内視鏡下	手術を受ける患者の看護を説明する		
第	-	8	口	到達目標	重症集中治療	を受ける患者の看護について理解する	テキスト②	
(輔	葬 義)	授業予定	1. クリティ	カルケア看護におけるチーム医療の特徴と看護		
					の役割を説明で			
						主な医療チームと、多職種との連携を説明する		
						を受けた患者の生体反応を説明する		
					クリティカル?	ケア看護に必要な看護技術		

第 9	回	到達目標	周術期にある高齢者の看護について理解する	テキスト⑨				
(講義)			1. 周術期にある高齢者の特徴を説明する	74219				
、 神 教 ,	ا	仅未了化	14171 - 14171 -					
			2. 周術期にある高齢者のニードを説明する					
AMT 1 0 1		动士口座	3. 手術療法時の高齢者に対する看護を説明する	~ h 1 @	110=2=#-1-1-2-1			
第 10		到達目標	周術期にある子供とその家族の看護について理解する	テキスト⑦	小児看護方法論 I			
〔講義〕	ا	授業予定	1. 小児の手術の特徴を説明する		第11回講義			
			2. 手術を受ける子供と家族の反応を説明する					
			3. 手術を要する健康障害と手術の時期を説明する					
			4. 術前準備、プレパレーションを説明する					
			5. 小児の安全・安楽への看護と家族への援助を説明する					
			6. 手術後の身体状態のアセスメントと看護を説明する					
			7. 退院に向けての看護を説明する					
第 11		到達目標	帝王切開を受ける産婦の看護について理解する	テキスト®				
〔講義〕	ا ر ا	授業予定	1. 術前オリエンテーションと心身の準備を説明する					
			2. 術後合併症予防の準備を説明する					
			3. 術中の看護を説明する					
			4. 術後の身体的回復への援助を説明する					
			4. 母子接触を説明する					
tuta			5. 出産体験の振り返りを説明する		the state of the s			
第 12		到達目標	周術期に必要な技術を習得できる	テキスト③	基礎看護技術Ⅱ(感			
〔講義〕)	授業予定	1. 術前訓練の方法を説明する		染予防と安全管理)			
			2. 外科的手洗いとガウンテクニック・グローブテクニック		第4・5回講義・演			
			の方法を説明する		習			
			3. 術後ベッド作成の方法を説明する		診療時援助技術(創			
			4. ドレーン管理の方法を説明する		傷管理)第1回講義			
			5. 術後合併症の予防技術(スクイージング、体位ドレナー		診療時援助技術(呼			
			ジ)の方法を説明する		吸・循環を整える技			
					術) 第1・2・6回			
第 1 3	lei	到法日趰	看護過程の展開を理解する①	テキスト②	講義・演習			
第 1 3 〔講義〕	_	到達目標 授業予定	周術期看護の、看護過程の方法を説明する	テキスト④				
第 1 4			周州朔有渡の、有渡過程の月伝を説明する 看護過程の展開を理解する①					
第 1 4) 〔講義〕				テキスト② テキスト④				
		授業予定	周術期看護の、看護過程の方法を説明する	ラキスト(4)				
第15	凹		まとめ					
			終講試験(50分) 基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。					
成績評価	町の	基準と方法	本年 : 腹形成ル第 29 余に成止する計画基準に毕する。 方法 : 終講時筆記試験 60%、レポート 40%、計 60%未済	#14百計験 1・十	7			
			①系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学〔1〕成人看護学概 ②系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔4〕臨床看護総論					
			③系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術					
			④ 周手術期看護 1. 外来/病棟における術前看護: 医歯薬出版		7 + 7 1			
			⑤周手術期看護 2. 術中/術後の生体反応と急性期看護: 医菌		4			
		テキスト	⑥系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学: 医学書院		<u>.</u>			
使用教	材		①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概		進総論・: 医学書院 a テ			
			キスト	THUM 11.7.1日間NLV.日日	CARTHUR. ET 1 ELLIC (
			キスト 8系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論:医学書院 e テキスト					
			⑨系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	Wim 下1日から	2 12-1			
		参考図書	○////○/日以1月/1 月1月/月 日 日 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ □					
		その他						
授業以	从	の学習方法	グループワークや発表会に向け、事例展開を行う					
*******	-	の留意点	指定されたテキストや既習学習内容を確認して臨む					
/皮 1岁	L .		」日心で40/にノコハエトM目丁目門台で唯配して幅と					

科目	区	分	専門分野	科目	名	薬物療法と看護	単 位	1 単位		
対象	良 学	年	2 学年	学	期	前期・後期	時 間	30 時間		
71 VI	, M .	_	111 111 111 7	実 務 ;	経験	病院における看護師経験	l .	1		
担	主教	貝	川野 明子	関連	資 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員				
目		的	薬物療法を必要	とする対象	象を理解	解し、必要な援助を実践できるための基礎的知詞	徴を修得する			
								DP への対応		
			1. 薬物療法に	おける看詞	護師の征	役割を理解する		DP3,4,6		
目		標	2. 発達段階に	応じた薬物	物療法の	の実際を理解する		DP1,2,3,5,6		
						の実際と、その看護について理解する		DP3,4,5		
			4. 薬物療法を	適切に行・	ってい	くためには、多職種連携が必要であることを理解	¥する ■	DP1,4,5,6		
授第	ぎ 回 5 法					内容	使用教材	授業に関する 準備 学習		
第	1	回	到達目標	薬物療法	去におり	ける看護師の役割について理解する	臨床薬理学	基礎看護技術Ⅱの		
〔〕	黄 義)	授業予定	1. ガ	イダン	z	配布資料	与薬(特に P310~ 314)		
				2. 医薬品の特徴と体内動態を説明する						
						互作用とハイリスク患者を説明する				
						イアンスとアドヒアランスを説明する				
***						こおける看護師の役割を説明する				
第	2	回	到達目標			特徴と看護について理解する ************************************	臨床薬理学			
し翻 	黄 義	J	授業内容			薬・鎮静薬の特徴と看護について説明する	配布資料			
						特徴と看護について説明する				
						南治療薬の特徴と看護について説明する 変薬の特徴と看護について説明する				
						映楽の行政と有談に ラいて説明する 特徴と看護について説明する				
第	3	101	到達目標			勿療法と看護について理解する	臨床薬理学			
· · ·	第 3 回 [授業予定			患の薬物療法と看護の実際を説明する	配布資料				
`"			12,7,7,7			患の薬物療法と看護の実際を説明する	10.1.7			
				3. 消化	化器・Γ	- 内分泌疾患の薬物療法と看護の実際を説明する				
				4. 泌尿	示器疾 息	患の薬物療法と看護の実際を説明する				
				5. 脳神	神経疾 原	患の薬物療法と看護の実際を説明する				
				6. 運	動器疾患	患と看護の実際を説明する				
第	4	回	到達目標	輸液療法	去・輸口	血療法の課題と看護について理解する	臨床外科看			
〔 請	葬 義)	授業予定	1. 治病	寮の特征	澂について説明する	護総論			
				2. 実施	施の流れ	れと事故防止(留意点)を説明する	医療安全			
						施と観察について説明する	配布資料			
						作用と対応について説明する				
第	5	回	到達目標			薬物療法の課題と看護について理解する				
し 講 	構 義	J	授業予定			の把握方法を説明する				
						ネジメント力を高める支援の方法を説明する				
						薬剤師との連携方法を説明する ロの左掌療業者に対するケア(座薬が与し) 東ル				
				学療法)		中の在宅療養者に対するケア(麻薬投与・外来化				
第	6	回	到達目標	* //**** */		ッ。 徴と看護師の役割について理解する?	臨床看護学			
	事義		授業予定			の与薬と症状マネジメントを説明する	総論			
`"			12/4 1 /2		, , ,	扇出時の対応について説明する	がん看護			
						と生活の両立のための支援を説明する				
第	7	回	到達目標	-		看護師の役割について理解する?	臨床看護学			
	葬 義		授業予定			去の有害事象と患者の苦痛を説明する	総論			
				2. 放身	射線治療	寮開始前、治療中、終了後のケアを説明する	がん看護			
				3. 患者	者の状態	態に合わせた支援について説明する				

			-			T	
第			回	到達目標	妊産婦の薬物療法の課題と看護について理解する	_	
(講	義)	授業予定	1. 妊婦の薬物動態の特徴を説明する		
					2. 薬物が胎児に与える影響を説明する		
					3. 妊婦への与薬で注意すべき薬物と禁忌薬物を説明する		
					4. 母乳を介した乳児への薬剤の影響を説明する		
					5. 授乳中に注意が必要な薬剤を説明する		
第	9	9	囯	到達目標	高齢者の薬物療法の課題と看護について理解する		
(講	義)	授業予定	1. 加齢に伴う薬物動態の変化を説明する		
					2. 薬剤起因性老年症候群を説明する		
					3. ポリファーマシーと薬物有害事象を説明する		
					4. 精神科薬物療法における看護師の役割を説明する		
					5.薬物療法をうける高齢者の看護を説明する		
第	1	0	回	到達目標	小児の薬物療法と看護の実際について理解する?		
(講	義)	授業予定	1. 薬物療法を必要とする子供の特徴を説明する	1	
					2. 薬物療法が子供に与える影響を説明する		
					3. 年齢に見合ったセルフケア能力の育成方法を説明する		
					4. 心理・社会的健康の維持方法を説明する		
第	1	1	回	到達目標	対象の発達・健康状態に応じた薬物療法について理解する	配布資料	※第 11~13 回は事
(講	義)	授業予定	1. 事例演習のガイダンス(小児・高齢者・在宅)	1	例演習及び発表
					2. 対象の特性と必要な薬物療法について集約できる		
					3. 対象への与薬と看護の方向性について議論できる		
					4. 服薬指導の具体的な方法を説明できる		
第	1	2	回	到達目標	対象の発達・健康状態に応じた薬物療法について理解する		
(講	義)	授業予定	1. 対象の特性と必要な薬物療法について集約できる	1	
					2. 対象への与薬と看護の方向性について議論できる		
					3. 服薬指導の具体的な方法を説明できる		
第	1	3	回	到達目標	対象の発達・健康状態に応じた薬物療法について理解する		
(講	義)	授業予定	1. 対象の特性と必要な薬物療法について集約できる	1	
					2. 対象への与薬と看護の方向性について議論できる		
					3. 服薬指導の具体的な方法を説明できる		
第	1	4	回	到達目標	薬物治療と生活の支援についての考えをまとめる	医療安全	
(講	義)	授業予定	1. 薬物治療における安全管理を説明する	配布資料	
					(ハイリスク薬、インシデント、薬剤管理)		
					2. 服薬指導とアドヒアランスを高める工夫をまとめる		
第	1	5	回		まとめ		
					終講試験(50分)		
成	績	評(囲の	基準と方法	終講時筆記試験 60%、演習(グループワーク・レポート)40		は再試験となる
					①系統看護学講座 別巻 臨床薬理学(医学書院)		
					②系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論([医学書院)	
					③系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院)		
					④系統看護学講座 別巻 がん看護学 (医学書院)		
				テキスト	⑤系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践2 医療安全	全(医学書院)	
	_				⑥系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看詞	護総論 (医学書)	荒)
便	用	教	材		⑦系統看護学講座 専門分野 老年看護学概論(医学書院)		
					⑧系統看護学講座 専門分野 精神看護論1 精神看護の基础	儊 (医学書院)	
					⑨系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論2 地域・宿	在宅看護の実践	(医学書院)
				<u>ـــ ساســـ حــ</u>	①系統看護学豪座 専門基礎分野 薬理学		
				参考図書	②系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II (医学書院))	
				その他			
. -	,			·-	第 11~13 回の授業では、①小児②高齢者③在宅の事例のどれ	 ιかを担当し、テ	・ーマに関してグルー
授	業	以	外	の学習方法	プワークを行う予定である。グループワークでは事例患者の		
						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

71-71-71-71-71-71-71-71-71-71-71-71-71-7	向性に関してグループで話し合い、学習内容の要約を発表する資料作成が含まれる。
--	--

履修上の留意点 指定されたテキストや既習学習内容を確認して臨む

科目区分	専門分野	科目名	終末期と看護	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
be strakt. E	①佐藤 隼人	実 務 経 験	①九州大学病院別府病院 看護師・緩和ケア語	認定看護師	•
担当教員	②甲斐 有美子	関連資格	②病院における看護師経験・別府市医師会立り	別府青山看護学校	交 専任教員
目 的	終末期にある対	象とその家族を理	里解し、必要な援助を実践できるための基礎的 第	和識を理解する	
					DP への対応
	1. 終末期にあ	る対象を理解する	3		DP1 · 2
目 標	2. 緩和ケアの	実際を理解する			DP3 · 4 · 5
口 伝	3. 死の受容に	ついて理解する			DP1 · 2 · 3 · 4
	4. 看取りにつ	いて理解する			DP4 · 5
	5. 死亡時の看	護で大切なことに	こついて理解する		DP2 · 4 · 6
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学 習
第 1 回	到達目標	「經和ケアレ」	は」概要を理解する。	テキスト	準 備 学 習 成人看護方法論IV
元 講義〕	授業予定	1. ガイダンス		」 アイスト - 配付資料	第5・6・7回
(佐藤)	1又来了た		るホスピス・緩和ケアの歴史	即則貝付	第3·0·7回
(PL ARK)		3. 健和ケアに			
			提供する看護師に求められる基本的態度		
第 2 回	到達目標		する倫理について理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業内容	1. 倫理的問題		配付資料	
(佐藤)	1人木17日		直面する倫理的問題	10177711	
· — /			・ケア・プランニング		
第 3 回	到達目標		けるコミュニケーションについて理解する。	テキスト	
〔講義〕				配付資料	
(佐藤)	授業予定	1. 緩和ケアに	おけるコミュニケーション	1	
		2. 緩和ケアで	活用できるコミュニケーション・スキル		
		3. 緩和ケアに	おける意思決定とケア		
第 4 回	到達目標	痛みについて	里解する。	テキスト	
〔講義〕		症状マネジメン	ノトについて理解する。	配付資料	
(佐藤)	授業予定	1. 痛みとは			
		2. 痛みのアセ	スメント		
		3. 痛みに対す	る薬物療法		
		4. スピリチュ	アルペイン		
第 5 回	到達目標	終末期にある対		テキスト	
〔講義〕		7. 47 47.4	ける終末期の特徴を理解する	配付資料	
(甲斐)	14 Mr = 11.		3死のとらえ方について理解する	1	
	授業予定		E義を説明する		
			5る対象の特徴と生活の変化を説明する		
			身体機能低下によって生じるニーズを説明する D援助方法を説明する		
			ラ仮助力伝を説明する おける終末期の特徴を説明する(事例検討)		
第 6 回	到達目標	終末期にある対		テキスト	
〔講義〕	判廷日保		する終末期の特徴を理解する	配付資料	
(甲斐)	授業予定	- 1777	とらえ方を説明する	4011月17	
` ' ~ /	1/2/K 1 //L		- シんガ E 配例する ごングウィル、人生会議を説明する		
			口と家族支援を説明する		
			隻の実践方法を説明する		
第 7 回	到達目標	高齢者の死のる	らえ方について理解する	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 老年期にお	おける終末期の特徴を説明する(事例検討)	配付資料	
(甲斐)					
第 8 回	到達目標	終末期にある対	対象の理解	テキスト	

/ su su \	1	I III > 2	TT / I Vr. Vol
〔講義〕		小児における終末期の特徴を理解する	配付資料
(甲斐)		子供と家族の死のとらえ方について理解する	
	授業予定	1.小児の死の概念を説明する	
		2. 死に対する小児の反応と援助方法を説明する	
		3. 終末期にある小児の心身の状態と緩和ケアの方法を説明	
		する	
		4.小児の死を看取る家族の反応と援助方法を説明する	
		1. 小児における終末期の特徴を説明する(事例検討)	
第 9 回	到達目標	死亡時の看護について理解する	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. 死の兆候とケアを説明する	配付資料
(甲斐)		2. 死亡後のケアを説明する	
		3. 家族の心理を説明する	
		4. 臨死期の対応を説明する	
		5. 遺族への関わり(グリーフケア)を説明する	
第10回	到達目標	成人の看取りと臨終時のケアについて理解する	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. 身体徴候のアセスメントと看護を説明する	配付資料
(甲斐)	10/4/1/	2. 苦痛の緩和と安楽への看護を説明する	
		3. 精神的苦痛や混乱に対する看護を説明する	
		4. 臨死期の評価と看護を説明する	
		5. 家族への援助方法を説明する	
第 11 回	到達目標	在宅における看取りの援助について理解する	テキスト
一、講義〕	授業予定	1. 症状マネジメントの方法を説明する	アイスト
(甲斐)	仅未了化	2. 終末期緩和ケアの実際を説明する	
(T 😎)			
		3. 看取りの看護、家族へのグリーフケアを説明する	
M* 1 0 1	70 + P F	4. 自宅で死を迎えることの意味を説明する	-, ,
第 1 2 回	到達目標	看護過程の展開方法を理解する①	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. 終末期看護の看護過程展開方法を説明する(事例展開)	配付資料
(甲斐)		A SHADOW TO THE LAND AND FOR A LOCAL	
第 1 3 回	到達目標	看護過程の展開方法を理解する②	テキスト
[講義]	授業予定	1.終末期看護の看護過程展開方法を説明する(事例展開)	配付資料
(甲斐)		2. 苦痛緩和の技術を説明する	
第 1 4 回	到達目標	看護過程の展開方法を理解する③	テキスト
〔講義〕	授業予定	1. 終末期看護の看護過程展開方法を説明する(事例展開)	配付資料
(甲斐)		2. 倫理的配慮を説明する	
		3. ACP の在り方について説明する	
第 1 5 回		まとめ	
		終講試験(50分)	
成績誕価の	ン基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。	
从根甙叫《	7 塞 平 C 刀 仏	方法 : 終講時筆記試験 60%、レポート40%、計60%未満	満は再試験とする。
		①系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学概論(医学書院)	
		②系統看護学講座 専門分野 I 臨床看護総論(医学書院)	
		③系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II (医学書院)	
	テキスト	④系統看護学講座 別巻 緩和ケア (医学書院)	
使用教材		⑤系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (医学書院)	
		⑥系統看護学講座 専門分野 II 小児看護学概論 小児臨床程	f護総論(医学書院)
		⑦系統看護学講座 専門分野II 老年看護学概論(医学書院)	
	参考図書		
	その他		
授業以外	の学習方法	グループワークや発表会に向け、事例展開を行う	
履修上		指定されたテキストや既習学習内容を確認して臨む	
/PK 119	- H W M	1月/00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

科目区分	専門分野	科目名	専門職連携	単 位	1 単位
対象学年	3 学年	学期	前期	時間	30 時間
	9,1	実務経験	病院における看護師経験・企業における看護師	1 , , , ,	55 14114
担当教員	江藤 たつみ	関連資格		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	地域包括ケア・	l	L 実現のために、多様な場で暮らす様々なライフン	ステージ・健康レ	ベルにある対象の健
目 的	康や生活を守る	保健・医療・福祉	itにおける多職種連携・協働の観点から、保健E	医療専門職業人と	:して知識および考え
	方・態度を習得	することを目的。	とする。		
					DP への対応
	1. 多職種連携搭	受業を通して、各	専門職種の考え方や視点の違いを理解する。		DP 5
	2. 多職種連携	授業の協働作業を	を通して、連携の必要性を理解する。		DP 5
目 標	3. 各専門職の	枠を超え、保健日	医療専門職業人として共通かつ必要な基本的知言	哉・技術・態度	DP 5
	を理解する。				DP 5
		事例について、			
14 MA 14 MA	きる。			T	
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕	刘泽口捶	中性句代とる	こおける多職種連携・協働の必要性、役割、機		準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕	到達目標		こがり る 多		
(117)		1 ガイダン		-	
	10.70 J /L		へ 協働の意義について説明する。		
			連携の必要性、多職種の各専門的役割について		
		説明する。			
		4. 地域包括公	ケアについて説明する。		
第 2 回	到達目標	保健師の活動の	の実際と看護の役割について理解する。		
〔講義〕	授業内容	1. 保健師の	舌動の実際について説明する。(1)		
第 3 回	到達目標	保健師の活動の	の実際と看護の役割について理解する。		
〔講義〕	授業予定	1. 保健師の治	舌動の実際について説明する。(2)		
第 4 回	到達目標	消防署・警察署	署の活動の実際と看護の役割について理解す		
〔講義〕		る。			
	授業予定		警察署の活動の実際と看護の役割について説明		
.		する。(1)			
第 5 回	到達目標		署の活動の実際と看護の役割について理解す		
〔講義〕	極業文章	る。	 		
	授業予定	1. 相防者・ する。(2)	警察署の活動の実際と看護の役割について説明		
第 6 回	到達目標	· · · · · · ·	舌動および協働の実際を理解する。		
〔講義〕	授業予定		室の活動および協働の実際を説明する。		
第 7 回	到達目標		作業療法士の活動および協働の実際を理解す		
〔講義〕		る。			
	授業予定	1. 理学療法	上・作業療法士の活動および協働の実際を説明	1	
		する。			
第 8 回	到達目標	周産期(助産的	師)の活動および協働の実際を理解する。		
〔講義〕	授業予定	1. 周産期(日	助産師)の活動および協働の実際を説明する。		
第 9 回	到達目標	精神保健福祉	上の活動および協働の実際を理解する。		精神看護学方法 I
〔講義〕	授業予定	1. 精神保健社	畐祉士の活動および協働の実際を説明する。		第 14 回講義
第 10 回	到達目標	行政の活動お	よび協働の実際を理解する。		
〔講義〕	授業予定	1. 行政の活動	動および協働の実際を説明する。		
第 11 回	到達目標		助および協働の実際を理解する。	1	
〔講義〕	授業予定		の活動および協働の実際を説明する。		
第 1 2 回	到達目標		動および協働の実際を理解する。		
〔講義〕	授業予定	1. 学校保健	の活動および協働の実際を説明する。		

第 13 回	到達目標	事例において多職種の活動および協働の実際を考える	
〔講義〕	授業予定	1. 事例における多職種連携について考える:GW	
第 1 4 回	到達目標	事例において多職種の活動および協働の実際を考える	
〔講義〕	授業予定	1. 事例における多職種連携について考える: GW、発表	
第 15 回		まとめ 終講試験(50 分)	
成績評価の) 基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。	
使用教材	テキスト 参考 図書	①系統看護学講座 小児看護学概論 ②精神保健福祉	
	その他		
授業以外	の学習方法	・警察署、消防署の見学 ・講義3回〜12回は、各専門職の立場からの実際を聴く。	
履修上	の留意点		

科	目	区	分	専門分野	科	目	名	継続看護	単 位		1 È	単位			
対	象	学	年	2 学年	学		期	前期	時 間		15	時間			
•			1	la Sala arrivit	実	務;	経験	病院における看護師経験		1					
担	当	教	貝	貞清 瑞枝	関	連	資 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員							
				看護の対象は、	入院患	院患者だけではなく健康な時から一生を通じて生活者としてみていくことが大切である。2025年に									
目			的	は、わが国の高	齢者人	П	がピー	クを迎えるため病院と地域をつなぐ継続看護が重	重要となる。ここ	こでは	、専門	職業	人と		
-			•					支援の方向性や具体策について理解する。	,						
											DP ~	の対応	2		
				1 多様な生活	の場で	高。	給者の何	建康を支える看護について理解する。		DP	2 D	P 3	DP4		
目			標					族への看護について理解する。		DP	5 DF	6			
				3. 地域包括ケ	アシス	テ.	ムにお	ける在宅看護の位置付けと看護の役割について理	理解する。						
授	業	回	数							授	業に	関す	 ナる		
(方	法)					内容	使用教材	準	備	学	習		
	1		ョ	到達目標	継続	看	黄の重!	要性について理解する	テキスト①	•					
	(講 義) 授業予定		1			- 3017	, , , , ,								
•			•	1,45,144,75	継続	ガイダンス 継続看護と退院支援の定義について説明する									
								ける多職種連携について説明する							
第	2	?	日	到達目標	老年	看	葉にお!	ける生活の場の移動と看護の継続について理解	テキスト②						
	講)		する				テキスト③						
			-	授業内容	入院	溡	・入所	時・サービス開始時の援助と退院支援 退所支							
							って説								
第	3	}	回	到達目標	老年	看	隻におり	ける生活の場の移動と看護の継続について理解	テキスト②						
(〔講義〕		する				テキスト③								
				授業予定	看護	職	間の情報	報提供・目標の共有と評価について説明する	_						
					看護	<u>き</u> とり	个護の†	協働と連携について説明する							
第	4	Į.	回	到達目標	医療	的	ケアを	必要として退院する子どもと家族への看護を理	テキスト						
(講	義)		解す	- る			配布資料						
				授業予定	入院	生	舌からる	在宅への移行に向けた支援について説明する							
					多職	種	の連携	と社会資源の活用について説明する							
第	5	5	回	到達目標	医療	的	ケアを	必要として退院する子どもと家族への看護を理	特別講演						
(講	義)		解す	る									
				授業予定	在宅	療	養中の-	子どもと家族の支援について説明する							
					子と	* \$ 0	のセル	フケア行動の促進について説明する							
第	6	5	回	到達目標	医療	機	関との。	入退院時の連携について理解する	テキスト①						
(講	義)	授業予定	地域	漣	隽クリ.	ニカルパス・外来との連携・病棟との連携・退	テキスト⑥						
					院支	援	部門との	の連携・診療所との連携について説明する							
第	7	, _	回	到達目標	施設	<u>ل</u> ك ك	の入退	所時の連携について理解する	テキスト②						
(講	義)	授業予定	介護	保	剣施設	等の公的施設との連携・サービス付き高齢者向							
					け住	宅	等の民	間施設との連携について説明する							
第	8	3	回		まと	め									
					終講	試	倹(50 タ	分)							
					基準	:	履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。							
成	績	評イ	面の	基準と方法	方法	: :	終講	筆記試験 80% グループワークの参加状況	10% 出席状活	兄10	%				
								0%未満は再試験とする							
				テキスト				講座 成人看護学概論 ②系統看護学講座 老年		充看護	学講座	在	它看		
伸	用	教	材		護論	ì	4) 系統	活看護学講座 小児看護学概論・小児臨床看護学	総論 (医学書	院)					
~	, 14	•^	•	参考図書	@ t	<u>ز ک</u>	わかる)	退院支援 Gakken 配布資料、パワーオ	ポイント						
				その他											
				の学習方法	事例	展	開をし`	て、グループワークや発表会を行う							
履	修	<u> </u>	Ŀ	の留意点	教科	書	の予習	・復習をして実習に臨むこと							

地域·在宅看護論

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護概論	単位	1 単位
対象学年	1 学年	学期	後期	時間	15 時間
71 % 7 4	1.1.4	1 20	①病院における看護師・訪問看護ステーショ	1	
	①古賀 和枝	実務経験	(元) 大分県看護協会 会長	クにおりる有段的	,
担当教員	②田部 ゆかり	関連資格	②訪問看護認定看護師・鶴見病院訪問看護ス、	テーション看護師	fi .
	③木畑 孝子	・ と 専任教員			
	看護の対象とな		:送るための地域・在		
目 的	宅看護の役割に			- 11 37 2 - 1 - 1 - 1 - 1	
					DP への対応
→ >=	1. 地域・在宅	看護の対象と看	護活動の場を理解する。		DP2·3
目	2. わが国の保	健・医療・福祉	の動向を知り、地域・在宅看護に期待されるこ	とを理解する。	DP2 · 3 · 4
	3. 地域・在宅	看護における看	護師の役割を理解する。		$3: DP1 \cdot 2 \cdot 4 \cdot 5$
授業回数				使用教材	授業に関する
〔方法〕			内谷	使用教物	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	地域における。	人々の暮らしをイメージする。	テキスト	1年次 地域・在宅看
〔講義〕	授業予定	1. ガイダン	z.	DVD	護論実習Ⅰにおけ
(木畑)		2. 日本各地	こ暮らす人々の生活について、想像したこと		るまとめ資料を持
		を言葉にする。			参すること。
第 2 回	到達目標		1構造の変化・医療提供体制の変化を理解する。	テキスト	基礎看護学で学ん
〔講義〕	授業内容		変化を説明する。	国民衛生の動向	だ、人々の健康の
(木畑)			本制の変化を説明する。	PWP	概念について、学
		3. 地域・在	宅看護に求められる視点を説明する。		習内容を想起して
第 3 回	到達目標	地域 大字毛	進 の見付について理切よっ	テキスト	おくこと。
第 3 回 () () () () () ()	授業予定		護の展望について理解する。 	」フィスト 国民衛生の動向	
(木畑)	仅未了化				
(/ / / / / /		いて説明す	ケアシステムが推進される理由としくみにつ る。	PWP	
第 4 回	到達目標	地域で療養する対象者の特徴について理解する。 テキス			
〔講義〕	授業予定	1. 地域・在 ⁴			
(古賀)		人の観点か			
		・対象者の	寺徴		
		・対象者の	生活		
第 5 回	到達目標	地域で療養す	る対象者の家族や介護者の状況について理解	テキスト	家族看護論
〔講義〕		する。		国民衛生の動向	
(田邉)	授業予定	1. 地域・在宅	看護の対象とはどのような人々なのか、家族・	PWP	
			点から説明する。		
		12.0	養する対象者の家族や介護者の現状		
<i>₩</i> . □	初本口無		テム・家族のアセスメント・家族への支援	- 1 - 1	w女子=#
第 6 回	到達目標		生宅看護の提供の場とそれぞれの特徴を理解	テキスト	継続看護 専門職連携
〔講義〕 (田邉)	授業予定	する。 1 地域・左 2	宅における療養の場・看護の場について説明	国民衛生の動向 PWP	- 守川 東西
	12条了足	する。	七におりる原長の物・有設の物にラいて説明	1 771	
		・在宅看護	の提供方法		
			の移行 ・ 入院時・退院時の多職種連携		
第 7 回	到達目標		する人々の暮らしと、暮らしを支える人々に	テキスト	
〔講義〕		ついてイメ・		DVD	
(木畑)	授業予定	(グループワ	ー ク)		
		人々が可能な	限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを		
		人生の最期ま	で続けるために、看護職ができることについ		
		て考える。			
第 8 回		まとめ			
	I			ı	1

		終講試験(50分)			
成績評価の	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
790 198 III IIII 'S	E + 6 % E	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。			
	テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (医学書院)			
使用教材	参考図書	国民衛生の動向	国民衛生の動向		
	その他	配布資料 パワーポイント			
		日常の生活の中で、日ごろから学校周辺の地域の人々や、信	主んでいる地域の	人々とたくさんのコ	
極紫いめ	以外の学習方法	ミュニケーションをとりましょう。これらの活動を積極的に行うことや、地域・在宅看護概論の履			
1		修をとおして、2年次に学習する地域・在宅看護の方法 I の履	夏修に向けての課	題を具体的にイメー	
		ジすることができます。			
		本科目は、地域・在宅看護論の導入となる科目です。2年次	アにおける地域・	在宅看護の方法 I 、3	
 履修上		年次における地域・在宅看護の方法II・III、そして看護学校最	最後の実習となる	地域・在宅看護論実	
腹 修 上 	の留意点	習Ⅱ(訪問看護) につなぐものとなります。さらに、3年次後期に開講される地域・在宅看護の方			
		法IVでは、これらの知識を活用して事例を展開します。			

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護方法論 I	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	山本 幸子	実務経験 関連資格	主任介護支援専門員 地域包括支援センタ・ 認知症ケア専門士	一 管理者	
目 的	療養者とそのける。)家族が住み慣れた	地域で望む暮らしを実現するための、地域・福	在宅看護の展開に	必要な知識を身につ
目標	 療養者とそる。 訪問看護サ 	その家族が望む暮ら	の生活を支える周囲の人や関係機関を幅広く理解して実現するための法律・制度、社会資源に とと実現するための法律・制度、社会資源に と と と と と と と と と と と と と と と と と と と		DPへの対応 DP1 DP2・3 DP4・5 DP4・5
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標授業予定	- / - / /	たくな人々と、その暮らしを守る人々や関係 メージする。(1)	テキスト① 第4章 発表用の模造紙	地域・在宅看護論実 習 I・地域在宅看護 概論の学びを想起
		(演習)	活行護の対象を幅広くとらえ説明する。 、々と人々を支えている人・関係機関のつな ・整理する。	I	する。
第 2 回 〔講義〕	到達目標		たくな人々と、その暮らしを守る人々や関係機 ニージする。(2)	テキスト① 第4章	
	授業内容	(演習)	活行護の対象を幅広くとらえ説明する。 々と人々を支えている人・関係機関のつな 整理する	発表用の模造紙	
第 3 回	到達目標	_	ころう。 いる多様な場と役割について理解する。(1)	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	(演習)	される多様な場と役割について説明する。 される様々な場所とその機能・看護師の役割 べまとめる。	第 5 章	
第 4 回	到達目標	看護が提供され	しる多様な場と役割について理解する。(2)	テキスト①	第3回の演習のま
〔講義〕	授業予定	1) さまざま らし 2) おもな地	される多様な場と役割について説明する。 はな場、さまざまな職種で支える地域での暮 地域・在宅看護実践の場 記看護における多職種連携	第5章 PWP	とめになります。
第 5 回 〔講義〕	到達目標	地域・在宅看護 る。(1)	態にかかわる制度とその活用について理解す	テキスト① 第6章	関係法規および社 会福祉と関連の深
	授業予定		医療保険制度について説明する。 看護にかかわる医療提供体制について説明す	PWP	い目標です。各科 目の学修は、2年次 に同時進行となり ます。関連させな がら学習をすすめ ましょう。
第 6 回 〔講義〕	到達目標	る。(2)	にかかわる制度とその活用について理解す	テキスト① 第6章	
hita —	授業予定		制度について説明する。	PWP	
第 7 回 〔講義〕	到達目標	地域・在宅看護る。(3)	態にかかわる制度とその活用について理解す	テキスト① 第6章	5. 6. 7 につい ては、社会福祉で

	授業予定	4. 地域保健にかかわる法制度について説明する。	PWP	より詳しく学習し
	1人来 1 元	5. 高齢者に関する法制度について説明する。	1 ***1	ます。第5.6.
		6. 障害者・難病に関する法制度について説明する。		より。 あり. 0. 7回は、授業毎の
		7. 公費負担医療に関する法制度について説明する。		目標への到達度に
		8. 権利保障に関連する制度		より前後する可能
				性もあります。
第 8 回	到達目標	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働	テキスト②	
〔講義〕		について理解する。(1)	第5章	
	授業予定	1. 地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームで	PWP	
		の協働について説明する。		
		2. 医療・福祉・介護関係者との連携・協働について説明		
		する。		
		3. 医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働につちえ		
		説明する。		
第 9 回	到達目標	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働	テキスト②	関係法規
〔講義〕		について理解する。(2)	第5章	社会福祉
	授業予定	4. 地域共生社会を実現するために看護師ができることは	PWP	
		何かともに考える。		
第 10 回	到達目標	地域・在宅看護マネジメントについて理解する。(1)	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	1. 地域・在宅看護マネジメントとは何か説明する。	第6章	
		2. 多様な場における地域・在宅看護マネジメントについ	PWP	
		て説明する。		
		*事例の紹介		
第 1 1 回	到達目標	地域・在宅看護マネジメントについて理解する。(2)	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	2. 多様な場における地域・在宅看護マネジメントについ	第6章	
		て説明する。	PWP	
		*事例の紹介		
第 1 2 回	到達目標	地域・在宅看護活動の創造と今後の展望について考える。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	1. 地域・在宅看護活動の創造について説明する。	第7章	
		2. 暮らしの保健室の例について説明する。	PWP	
		3. さまざまな地域・在宅看護活動の展開例について説明		
		する。		
		4. 地域・在宅看護活動の創造のための考え方について説		
		明する。		
第 1 3 回	到達目標	1. 事例をとおして地域・在宅看護の展開について考え	テキスト(1)(2)	地域・在宅看護方
〔講義〕				法論Iの総まとめ
	授業予定	1. 事例における看護の展開	1	となります。第1
	122172	The state of the s		回目からの授業を
				とおして理解した
				ことを想起してお
				きましょう。
第 1 4 回	到達目標	1. 事例をとおして地域・在宅看護の展開について考え	テキスト①②	2 5 5 5 7 5
〔講義〕	- 1V- H M	3。		
, m, 4/4 /		2. まとめ		
_		1. 事例における看護の展開	1	
	12本 1 左	1. 手内におりる有成の成曲 2. まとめ		
第 1 5 回		まとめ		
M T 2 [변]		終講試験(50分)		
		基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。	1	
成績評価の	基準と方法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
		刀仏 : 松調手癿矾駅 100%、00%木両は円矾駅とする。		

		キスト
		②系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在宅看護の実践 第6版:医学書院 e テ
-	4 * 5 +	キスト
	参考図書	国民衛生の動向
その他		配布資料
		パワーポイント
授業以外の学習方法 グループワークを予定してい 学習準備を整えましょう。		グループワークを予定しています。時間外を活用して、各グループの連絡・スケジュール調整・
		学習準備を整えましょう。
履修上。	おなる。	1年次の地域・在宅看護論実習 I 、地域・在宅看護論概論の学習内容を復習して講義に臨みましょ
履修上。	の留意点	う。

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護方法論II	単 位	1	単位
対象学年	3 学年	学 期	前期	時 間	30	時間
	①岩尾 尚子	実務経験	①別府市医師会訪問看護ステーション 看護師	 师・看護師長	I	
担当教員	②木畑 孝子	関連資格			交 専任教員	1
		ı	ローーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	支術を基盤に、均	也域在宅で生	上活する療
目的	1	**********	の工夫を凝らした看護技術を学ぶ。			
	24 - 1 33	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	то установание у по		DP ~	 -の対応
目標	 1 在字で生活	する瘠養者と家族	族に提供する看護技術の特徴ついて理解する。		DP1	.,,,,
H W			疾のための日常生活援助の応用と工夫について野	里解する.	DP2 · 3	
授業回数		15 6/8/22 11 6/8/2		1/1/ 00		関する
〔方法〕			内容	使用教材	準備	学習
第 1 回		在字で生活する		テキスト	1 7.2	, ,
〔講義〕	7,217	方法を理解する		PWP		
\ m. +4 /	授業予定	1. ガイダン		1		
	12210 170		を支えるコミュニケーションの特徴を説明す			
		3.	2)2,20			
			の際の基本的姿勢(マナー)・心構えについて			
		学ぶ。				
第 2 回] 到達目標	療養者の呼吸を	を楽にする援助について理解する。	テキスト		
〔講義〕	授業内容	1	ける呼吸に関する看護技術を習得する。	PWP		
		(講義・演習	母)			
		・呼吸管理	・呼吸に関するアセスメント・呼吸への援助			
第 3 回] 到達目標	療養者とその多	家族が望む食生活、満足できる食生活について	テキスト		
〔講義〕		理解する。		PWP		
	授業予定	1. 在宅におり	する食生活・嚥下に関する看護技術を習得す			
		る。(講義・	演習)			
		・在宅にお	ける食生活の特徴			
		・食生活・	嚥下に関するアセスメントと援助			
第 4 回	到達目標	療養者とその領	家族が安心して受けられる排泄の援助について	テキスト		
〔講義〕		理解する。		PWP		
	授業予定	1. 在宅におり	ける排泄に関する看護技術を習得する。			
		(講義・演習)				
		・在宅での技	非泄の特徴とアセスメント			
			更秘・便失禁の予防と工夫			
第 5 回	到達目標	在宅における第	家屋構造をイメージした移動・移乗の援助につ	テキスト		
〔講義〕		いて理解する。		PWP		
	授業予定	1. 在宅におり	ける移動・移乗に関する看護技術を習得する。			
		(講義・演習)				
		1	ける移動・移乗の特徴とアセスメント			
		・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・移動・				
第 6 回			青潔援助の方法と物品について理解する。	テキスト		
〔講義〕	授業予定		ける清潔に関する看護技術を習得する。	PWP		
		(講義・演習)				
Arts			ナる清潔のアセスメントと援助の工夫	_, .		
第7回	到達目標		下がみられる療養者と家族の援助について理解	テキスト		
〔講義〕	はまって	する。	カボモンスとして出着ヤットウン・このったのと	PWP		
	授業予定		の低下がみられる療養者の在宅における援助を			
		説明する。	1. 71. 7 2 1			
			とアセスメント に陪宝がまで転業者。のか学手業			
AAAA O IIII	1 20/2-D4H		に障害がある療養者への在宅看護	ニナット		
第 8 回	到達目標	仕七で迎えるi	晨期を支える看護について理解する。	テキスト		

〔講義〕	授業予定	1. 在宅で人生の最期を迎える療養者と家族の看護について	PWP			
		説明する。				
		・在宅における終末期看護の特徴と終末期看護の展開				
第 9 回	到達目標	医療管理を必要とする療養者と家族の援助について理解す	テキスト			
〔講義〕		3. (1)	PWP			
(岩尾)		1. 在宅において医療管理を要する療養者と家族の援助の特				
() 1	12,7,7,0	徴と方法を説明する。				
		・褥瘡の予防とケア・尿道留置カテーテル				
		・ストーマ(人工肛門・人工膀胱)				
第 10 回	到達目標	医療管理を必要とする療養者と家族の援助について理解す	テキスト			
(講義)	乃廷日恢	る。[2]	PWP			
(岩尾)		1. 在宅において医療管理を要する療養者と家族の援助の特	1 **1			
	1又未了足					
		徴と方法を説明する。				
Art 1 1 🗔	刘本口栅	・経管栄養法・在宅中心静脈栄養法(HPN)		<u> </u>		
第 11 回	到達目標	医療管理を必要とする療養者と家族の援助について理解す	テキスト			
〔講義〕	िद्ध भार च्य	3. (3)	PWP			
(岩尾)	授業予定	1. 在宅において医療管理を要する療養者と家族の援助の特				
		徴と方法を説明する				
		・非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)				
		・在宅酸素療法(HOT)				
		・在宅人工呼吸療法(HMV)				
第 1 2 回	到達目標	療養者に気持ちのよい満足した援助を提供するための基本看	テキスト			
〔講義〕		護技術を応用した援助を理解する。〔1〕	参考図書			
	授業予定	1. 事例を用いた看護技術の実践				
		(演習)事例に対応した援助の工夫と準備・実施		##		
第 1 3 回	到達目標	療養者に気持ちのよい満足した援助を提供するための基本看	テキスト	第 14 回は 発表と		
〔講義〕			参考図書	なります。各グルー プで当日までに準備		
	授業予定	1. 事例を用いた看護技術の実践				
		(演習)事例に対応した援助の工夫と準備・実施		を整えておきましょ		
Art 4 4 111	7010	据装衣(是体)。 2. 班目 2. 经用途 用用 1. 4 2 2 5 4 1 元	- 1 1	う。		
第 1 4 回	到達目標	療養者に気持ちのよい満足した援助を提供するための基本看	テキスト			
〔講義〕	ि भार च न	護技術を応用した援助を理解する。〔3〕	参考図書			
	授業予定	1. 事例を用いた看護技術の実践				
Ant. 4 = 11		(演習)事例に対応した援助の工夫と準備・実施(発表)				
第 15 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
成績評価の	の基準と方法	基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
		方法: 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。	A*** - A**	** 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在	毛有護の美践	弟 6 版:医字書院 e ア		
	/s	キスト				
使 用 教 材	参考図書	west a Mental				
	その他	配布資料				
Int you		パワーポイント				
授業以外	の学習方法	科目時間外を活用して、看護技術の練習をしましょう。				
		1年次に学習した基本看護技術の知識・技術は習得している				
		宅看護の看護技術は、基礎看護の応用になりますから、既習知				
履 修 上	の留意点	臨みましょう。講義の後半では、事例を用いた看護技術の演習をしていきます。科目時間外を活用 して、十分な練習をしたうえで発表に臨みましょう。3年次の実習は、在宅における援助提供の本				
番となります。						

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護方法論Ⅲ	単 位	1 単位			
対象学年	3 学年	学 期	前期	時 間	30 時間			
De vir ant. E	①松永 希世子	実 務 経 験	①中村病院訪問看護ステーション 看護師・記	_ 方問看護認定看護	· 姜師			
担 当 教 員	②木畑 孝子 関連 資格 ②病院における看護師経験・別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員							
目 的	在宅で生活する	在宅で生活する療養者と家族の望む暮らしを支えるための訪問看護の展開方法を理解する。						
					DP への対応			
	1. 在宅看護の	介入時期と継続し	」 た看護の実際を理解する。		DP1 · 2 · 3			
目	2. 様々な事例	の訪問看護の実際	祭について理解する。		DP1 · 2 · 3			
	3. 在宅看護に	おける看護過程の	D展開方法を理解する。		DP1			
授業回数				使用教材	授業に関する			
〔方法〕			ri d	使用软机	準 備 学 習			
第 1 回	到達目標	療養者と家族の	Oアセスメントの要点を理解する。	テキスト	第1回目では、実			
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	ζ	参考図書	習で活用する記録用			
(松永)		2. 地域で生活	舌する療養者と家族のアセスメントの枠組みを	実習記録用	紙と課題事例を配布			
		説明する。		紙	します。第 11・12			
				PWP	回授業に向けて、各			
					自課題に取り組みま			
					しょう。			
第 2 回	到達目標		Dアセスメントの要点を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業内容		舌する療養者と家族のアセスメントについて説	参考図書				
(松永)		明する〔1〕		PWP				
		1	レアセスメント					
			里的側面のアセスメント					
AA* 0 🗔	加去口無		セスメント・生活のアセスメント ほか	- 1 - 1				
第 3 回 〔講義〕	到達目標		実のアセスメントについて理解する。 エナス度業者と完整のアルフィントについて著	テキスト				
(松永)	授業予定		1. 地域で生活する療養者と家族のアセスメントについて説 参考図書 明する〔2〕 PWP					
		, , , ,	レアセスメント	T VV F				
		1	レノゼヘグント 単的側面のアセスメント					
		2311	セスメント・生活のアセスメント ほか					
第 4 回	到達目標		と継続した看護について理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定		D介入の時期と看護の継続について説明する	参考図書				
(松永)	12.4.1.7.2	(1)	2) John John C. Hill Commission	PWP				
		1	から在宅への移行期					
		· 在宅療養の	O安定期・リハビリテーション期・急性増悪期					
第 5 回	到達目標	療養者の生活	舌と継続した看護について理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	1. 訪問看護	の介入の時期と看護の継続について説明する	参考図書				
(松永)		(2)		PWP				
		・終末期・ク	ブリーフケア					
		継続看護の	D意義と方法					
第 6 回	到達目標	事例をとおして	(訪問看護の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	ALS の療養者	と家族の看護について説明する。	参考図書				
(松永)				PWP				
第 7 回	到達目標	事例をとおして	(訪問看護の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	小児期にある頻	養者と家族の看護について説明する。	参考図書				
(松永)				PWP				
第 8 回	到達目標		(訪問看護の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	統合失調症の療	§養者と家族の看護について説明する。	参考図書				
(松永)	72111-4-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	± 100 × × · ·		PWP				
第 9 回	到達目標		(訪問看護の実際を理解する。	テキスト				
〔講義〕	授業予定	認知症のある療	寮養者と家族の看護について説明する。	参考図書				

(松永)			PWP
第 10 回	到達目標	事例をとおして訪問看護の実際を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	終末期にある療養者と家族の看護について説明する。	参考図書
(松永)			PWP
第 11 回	到達目標	在宅における看護過程の展開を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	課題事例看護の展開方法を説明する。	参考図書
(木畑)			DVD
			PWP
第 12 回	到達目標	在宅における看護過程の展開を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	課題事例の展開	参考図書
(木畑)			DVD
			PWP
第 13 回	到達目標	在宅における看護過程の展開を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	在宅看護過程の展開方法を説明する。	参考図書
(木畑)			DVD
			PWP
第 14 回	到達目標	在宅における看護過程の展開を理解する。	テキスト
〔講義〕	授業予定	在宅看護過程の展開方法を説明する。	参考図書
(木畑)			DVD
			PWP
第 15 回		まとめ	
		終講試験(50分)	
改繪並無 <i>(</i>) 基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。	
从模計画。	/ 基 年 こ 刀 仏	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。	
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在	宅看護の実践 第6版:医学書院eテ
		キスト	
使用教材	参考図書	国民衛生の動向	
	その他	配布資料	
	て の TE	パワーポイント	
授業以外	の学習方法		
		3 年次に行われる地域・在宅看護論実習 Ⅱ (訪問看護)では	、実際の療養者のご自宅に訪問しま
	の図書上	す。そこで行う看護は、基礎看護学で学んだ知識・技術・態度	度の応用と、各領域看護学・実習の統
限 1 多二	の留意点	合です。既習の学習を想起しながら学習に臨み、地域・在宅看	f護論実習Ⅱをイメージしながら履修
		しましょう。	

科目区分	専門分野	科目名	地域・在宅看護方法論IV	単 位	1 単位
対象学年	3 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
担当教員	岡部 裕美	実 務 経 験	病院における看護師経験	1	
担ヨ教員	四品 竹天	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	事例を用いて	訪問看護導入から	実施までの具体的な看護を展開し、地域・在	宅看護論における	看護の可能性を創造
н #7	する。				T
					DP への対応
目 標			貫れた地域で暮らし続けるための方法を理解す	る。	$DP1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5$
	2. 地域・在宅	における看護の同	可能性について創造する。	T	DP5 · 6
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回	到達目標	在宅看護の展開	桐の要点を理解する。	テキスト	地域・在宅看護概
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	Z.	参考図書	論、地域・在宅看
		2. 在宅看護の	D展開方法を説明する。	実習記録用紙	護の方法I・Ⅱ・
		・地域・在年	它看護過程の特徴・情報収集とアセスメント		Ⅲの知識、在宅看
		・目標の設定	定と計画・実施と評価		護論実習の学びを
					活用します。想
					起・復習しておき
*** ~ -	70.4 P P	High to 1 .	table 10 D. of IIII 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 1	ましょう。
第 2 回	到達目標	/// JC H = 1 - 1	家族が、住み慣れた地域で暮らし続けるための	テキスト	
〔講義〕	極紫山旁	方法を理解する	<u> </u>	参考図書 	
	授業内容	1. 事例の有記る。(演習:協	隻過程を創造と工夫をもって展開し説明す	実習記録用紙	
第 3 回	到達目標		四子百) 家族が、住み慣れた地域で暮らし続けるため	テキスト	
(講義)	判廷日际	の方法を理解す		参考図書	
(144 420)	授業予定	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	, つ。 蒦過程を創造と工夫をもって展開し説明す	実習記録用紙	
	[X来] 元	る。(演習:協		人日记到/11/12	
第 4 回	到達目標		x族が、住み慣れた地域で暮らし続けるため	テキスト	
〔講義〕	, , , , ,	の方法を理解す	する。	参考図書	
	授業予定	1. 事例の看護過程を創造と工夫をもって展開し説明す		実習記録用紙	
		る。(演習:協	同学習)		
第 5 回	到達目標	療養者とその家	家族が、住み慣れた地域で暮らし続けるため	テキスト	
〔講義〕		の方法を理解す	する。	参考図書 実習記録用紙	
	授業予定	1. 事例の看記	隻過程を創造と工夫をもって展開し説明する。		
		(演習:協同	司学習)		
第 6 回	到達目標		家族が、住み慣れた地域で暮らし続けるため	テキスト	第7回は、協同学
〔講義〕	Leg viiz. ⇒ · t ·	の方法を理解す		参考図書	習の成果を発表と
	授業予定		獲過程を創造と工夫をもって展開し説明す	実習記録用紙	なります。科目時
		る。(演習:協	问字智)		間外を活用して、
					発表できるよう整 えておきましょ
					えておさましょ
第 7 回	到達目標		家族が、住み慣れた地域で暮らし続けるため	テキスト	/ 0
(講義)	~1V_ H_NV	の方法を理解す		参考図書	
, m, 44 >	授業予定			実習記録用紙	
	***	る。(演習:協		2011000	
第 8 回		まとめ			
		終講試験(50分	(1)		
		基準 : 履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。	1	
成績評価の	基準と方法	方法 :			
		・協同学習にる	よるグループの看護過程 50% 筆記試験 50	% (合計 100%	5)

				(60%未満は再試験とする)
	テキ	7	L	①系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕地域・在宅看護の実践 第6版:医学書院 e テ
	7 +	· ス	Г	キスト
使用教材	参考	図	書	
	その		他	配布資料
	٠,	v)	TE	パワーポイント
授業以外	の学習	了方	法	
履修上	の留	ri nës	1-	地域・在宅看護の方法IVは、協同学習で展開した看護過程の評価(50%)と、筆記試験(50%)
履修上の留意点		Ж	で評価となります。グループで協力して頑張りましょう。	

成人看護学

科目区分	専門分野	科 目 名	成人看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
		実務経験	病院における看護師経験	1	<u> </u>
担当教員	小林 恭子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
	成人期は幅広く	、人口層が厚く	- 、社会の中でも重要な役割を担っている人々で	あることから、こ	の時期の人々の健康
目 的	問題を扱う成人	、看護学は重要な	位置を占めている。本科目では、成人看護学の	基本的な理解と、	成人期の健康と看護
	援助について、	看護モデルや看	護理論を用いて理解する。		
					DPへの対応
	1. ライフサイ	クルにおいて成	人期にある対象を成長、成熟、発達から、成人	各期の特性を理	DP2
目標	解する。				DP3
	2. 成人期にお	ける健康問題と	健康の維持増進のための保健活動について理解	する。	D P 4
	3. 成人期にお	ける看護の役割	と実際について理解する。		DP6
授業回数			内容	使 用 教 材	授業に関する
〔方法〕			134	L /11 4x 11	準 備 学 音
第 1 回	到達目標	1. 社会におい	いて生活を営む生活者としての成人を理解す	テキスト	皆さんは成人期を
〔講義〕		る。		配布資料	生きています。ど
			に心身ともに成長・成熟する過程について理	パワーポイント	んなことを考えな
	Fag alia 1 -	解する。	200 Hz (11,1114) 2 d+ (111, 200 Hz)	DVD	がら生活していま
	授業予定		の発達段階の特徴について説明する。		すか。どんな将来
		2. 放入期の	対象の生活について考える。		を過ごしたいです
					か。未来予想図を
					考えてきてくださ
第 2 回	到達目標	1 成人を取	り巻く環境と生活からみた健康について理解す	テキスト	い。 教科書の指定部分
衆 ∠ 凹 〔講義〕	判廷日保	る。	7名、現境と主信からみに健康に ブいて住所す	国民衛生の動向	教科書の指定部分 を 事前に読んでお
(m+ +x;)			もりはぐくむシステムについて理解する。	配布資料	くこと。
	授業内容		り巻く環境と生活の状況について説明する。	_ パワーポイント	・講義内容や練習
	汉朱门任		妻の状況について説明する。	7 4 1	問題を復習してお
			表に関する保健・医療・福祉システムの概要		くこと。
			いて説明する。		
第 3 回	到達目標	成人への看護	アプローチの基本を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 行動変容	を促進するアプローチについて説明する。	→ 配布資料	
		2. 健康問題	を持つ大人と看護師の人間関係について説明	パワーポイント	
		する。			
第 4 回	到達目標	成人への看護	アプローチの基本を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定	1. 集団にお	ける調和や変化を促す看護アプローチについ	P 107	
		て説明する。		配布資料	
		2. チームア	プローチについて説明する。	パワーポイント	
第 5 回	到達目標	成人の健康レ	ベルに対応した看護を理解する。	テキスト	ヘルスプロモーシ
〔講義〕	授業予定	1. ヘルスプ	ロモーションと看護について説明する。	配布資料	ョンについては2
			健康をおびやかす要因と看護を説明する。	パワーポイント	年後期の「保健指
		3. 健康生活。	の急激な破綻から回復を促す看護を説明する。		導論」にて看護の
Auto · ·		B. r			詳細は学ぶ。
第 6 回	到達目標	+	ベルに対応した看護を理解する。	テキスト	
〔講義〕	授業予定		ある患者の看護を説明する。	配布資料	
			の共存を支える看護を説明する。	パワーポイント	
			る人の生活とリハビリテーションについて説		
		明する。	切みしよと十とッ毛洗)。 - 、 → ※Ⅲ.エッ		
## F □	저마는 모 모		期のときを支える看護について説明する。		/A T田 55 Vil No
第一7回	到達目標		ける倫理上の問題と解決課程について理解す	テキスト	倫理的判断が求め
〔講義〕]	る。		配布資料	られる事例を活用

授業予定		1. 医療現場における倫理的課題について説明する。	パワーポイント	したグループワー		
		2. 倫理的判断の基盤と倫理的課題へのアプローチについ クを行う。				
		て説明する。				
		3. 意思決定支援と家族支援について説明する。				
第 8 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
☆綾荻蕉 ←	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
	/ 基単こ / 伝	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
	テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕 成人看護学総論	j:医学書院 e テ	キスト		
使用教材	参考図書	国民衛生の動向				
	その他	配布資料、パワーポイント				
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上	の留意点					

科	E	国区	分	専門分野	科目名	成人看護方法論 I	単 位	1 単位
		· 一		2 学年	学期	前期	時間	30 時間
7.1	~	. 1		①小野 直美	1 241	①国立病院機構西別府病院 看護師・慢性呼		
				②木原 康洋	実務経験	②国立病院機構別府医療センター 看護師	1%和水心有成的水	- 但 成 中 中
担	킬	当教	員	③秋吉 美希	関連資格	③国立病院機構別府医療センター 看護師		
				④日野 博之	~ ~ X II	④清瀬病院 看護師・透析看護認定看護師		
					 環器疾患、腎・	必尿器疾患の様々な機能障害が、日常生活に及	ひぼす影響を理解!	. 各機能障害を持つ
目			的			な知識・技術・態度を学ぶ。		
								DP への対応
				1. 主な症状と	その看護につい	て理解する。		DP2
目			標	2. 主な検査と	治療を受ける患	者の看護について理解する。		DP3
				3. 機能障害を	もちながら生活	する人の看護について理解する。		DP4
								DP6
授	ヺ	回	数			4.00	# m # 4	授業に関する
(7	5 法)			内容	使 用 教 材	準 備 学 習
第		1	回	到達目標	呼吸器疾患看記	進における看護師の役割を理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
ĺ	請	構 義)	授業予定	ガイダンス		配布資料	を 事前に読んでお
(/	\ 野)		呼吸器疾患を持	寺つ患者の経過と看護について説明する。	パワーポイント	くこと。
								講義内容を必ず復
								習しておくこと。
第		2	回	到達目標	主な呼吸器症	犬における看護について理解する。	テキスト①	
(ā	構 義)	授業内容	様々な症状に対	対する看護を説明する。	配布資料	
(/	\ 野)		(咳嗽・喀痰	血痰・喀血 胸痛 呼吸困難)	パワーポイント	
		3	口	到達目標	呼吸器疾患に	おける様々な検査や治療時の看護を理解す	テキスト①	
(ā	構 義)		る。		配布資料	
(/	\ 野)	授業予定	検査・治療を含	受ける患者の看護を説明する。	パワーポイント	
						競検査 肺組織の生検		
						療法 酸素療法 人工呼吸器装着		
					-	刃開 胸腔ドレナージ 手術療法	_	
第		4	回	到達目標		患の看護について理解する。	テキスト①	
		黄義		授業予定		寺つ患者の看護を説明する。	配布資料	
						気管支喘息 COPD 肺血栓塞栓症	パワーポイント	
		5		到達目標	+	患の看護について理解する。	テキスト①	
		構義		授業予定		寺つ患者の看護を説明する。	配布資料	
(/1	\ 野)			自症候群 睡眠時無呼吸症候群 肺がん	パワーポイント	
AAA:				刘孝口栅	自然気胸	# Jack) よっそ # 体は で 仏母 と 田知 よっ	-+-10	
		6 ⊯ ≄∗		到達目標		檴における看護師の役割を理解する。	テキスト②	
		構義 ド原		授業予定	ガイダンス	を持つ患者の経過と看護について説明する。	配布資料パワーポイント	
		7		到達目標	7,7,7,7,7,7,7,7,	と行う忠有の軽週と有暖にういて説明する。 犬における看護について理解する。	テキスト②	
		, 講義		授業予定		人におりる自設について達解する。 対する看護を説明する。	□ アイスト② 配布資料	
		上原		仅未了化		対する有護を武明する。 浮腫 呼吸困難 チアノーゼ 失神	パワーポイント	
(1	· //	,		四肢の疼痛)			
笋		8	口	到達目標	+	査や治療時の看護を理解する。	テキスト②	
		。 第 義		授業予定	+	受ける患者の看護	→	
		より		12 17 17		カテーテル法 心電図検査 運動負荷試験	パワーポイント	
`	- 1	/41	,			モニタリング 動脈血ガス分析 画像診断	, , , , , ,	
						療法 カテーテル治療 手術療法		
						盾環装置の装着		
第		9	回	到達目標		患の看護について理解する。	テキスト②	
- •		, 黄 義		授業予定	+	寺つ患者の看護について説明する。	□	

(木原)	(虚血性心疾患 心不全 血圧異常 不整脈 弁膜症)	パワーポイント				
第 1 0 回 到達目標	主な循環器疾患の看護について理解する。	テキスト②				
〔 講義 〕 授業予定	循環器疾患を持つ患者の看護について説明する。	配布資料				
(木原)	(心筋症 先天性心疾患 動脈系疾患 静脈性疾	パワーポイント				
	心臓リハビリテーション)					
第 1 1 回 到達目標	腎・泌尿器疾患看護における看護師の役割を理解する。	テキスト③				
〔講義〕		配布資料				
(秋好) 授業予定	ガイダンス	パワーポイント				
	腎・泌尿器疾患を持つ患者の経過と看護について説明す					
	3 .					
第 1 2 回 到達目標	主な症状における看護について理解する。	テキスト③				
〔講義〕	検査を受ける患者の看護について理解する。	配布資料				
(秋好) 授業予定	主な症状について説明する。	パワーポイント				
	(浮腫 高血圧 下部尿路症状 尿の性状異常					
	検査:尿検査 残尿測定検査 膀胱鏡検査					
	画像検査生検 尿流動態検査)					
第 1 3 回 到達目標	内科的治療を受ける患者の看護について理解する。	テキスト③				
〔 講義〕 授業予定	内科的治療を受ける患者の看護について説明する。	配布資料				
(日野)	(薬物療法 透析療法)	パワーポイント				
第 1 4 回 到達目標	内科的治療を受ける患者の看護について理解する。	テキスト③				
〔講義〕	泌尿器科的治療を受ける患者の看護について理解する。	配布資料				
(日野) 授業予定	腎疾患を持つ患者の看護について説明する。	パワーポイント				
	(I g A 腎症 糖尿病性腎症 ネフローゼ症候群					
	腎硬化症 アミロイド腎症 炎症性疾患 多発性嚢胞					
	性腎不全 慢性腎不全)					
	泌尿器科的治療:処置(導尿 カテーテル留置) 手術					
	療法・薬物療法・放射線療法 腎移植 性・生殖機能障					
	害のある患者の看護について説明する。					
第 1 5 回	まとめ					
	終講試験(50分)					
 成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。					
	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。					
	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔2〕呼吸器:医学書	葶院 e テキスト				
テキスト	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕循環器:医学書	i院 e テキスト				
使用教材	用 教 材 ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔8〕腎・泌尿器:医学書院 e テキスト					
参考図書						
その他	配布資料、パワーポイント					
授業以外の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。					
履修上の留意点						

科目区分	専門分野	科目名		単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
	①山田 里美		①国立病院機構別府医療センター 看護師	I	l
10 V/ 46 D	②坂本 律子	実 務 経 験	②九州大学病院別府病院 看護師		
担当教員	③三戸 里織	関連資格	③九州大学病院別府病院 看護師		
	④後藤 幸子		④九州大学病院別府病院 看護師・看護師長		
L	消化器疾患、内	分泌・代謝疾患、	アレルギー膠原病疾患の様々な機能障害が、	日常生活に及ぼす	影響を理解し、各機
目 的	能障害を持つ患	者の看護を実践	できる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。		
					DPへの対応
	1. 主な症状と	その看護について	て理解する。		DP2
目 標	2. 主な検査と	治療を受ける患	皆の看護について理解する。		DP3
	3. 機能障害を	もちながら生活	する人の看護について理解する。		DP4
				.	DP6
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕		,		22 713 37 17	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	+	息の看護について理解する	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		配布資料	を 事前に読んでお
(山田)		呼吸器疾患	を持つ患者の経過と看護について説明する。	パワーポイント	くこと。
					講義内容を必ず復
## 0 E	刘孝口栅	소소 W // 미 년 /	りょなりよフチボル のい イ田畑ナフ	= + - 1 (1)	習しておくこと。
第 2 回	到達目標		犬における看護について理解する。	テキスト①	
(講義)	授業内容		対する看護を説明する	配布資料 パワーポイント	
(шш)			おくび・胸やけ 吐き気・嘔吐 腹痛 吐 下痢 便秘 腹部膨満 食欲不振と体重減少	ハリーホイント	
		黄疸・肝性			
第 3 回	到達目標		31471E 3ける様々な検査や治療時の看護を理解す	テキスト(1)	
デース 四	判定目标	有し船妖忠にく	のりる豚々な快重で石原時の有茂を生肝す	配布資料	
(山田)	授業予定		受ける患者の看護を説明する	パワーポイント	
(12.4.1.2		留音波検査 CT・MRI 肝生検	, , , , , ,	
			鏡検査 造影検査		
			療法 化学療法 栄養療法・食事療法		
		手術	療法 胃瘻・空腸瘻 放射線療法		
第 4 回	到達目標	主な消化器疾患	息の看護について理解する	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	消化器疾患を持	持つ患者の看護を説明する	配布資料	
(山田)		食道疾患 【	胃・十二指腸疾患 腸・腹膜疾患	パワーポイント	
第 5 回	到達目標	主な消化器疾患	息の看護について理解する	テキスト①	
〔講義〕	授業予定	肝臓・胆嚢疾患	息 膵臓疾患	配布資料	
(山田)				パワーポイント	
第 6 回	到達目標	主な内分泌・作	弋謝疾患の看護について理解する	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		配布資料	
(坂本)		内分泌・代詞	射疾患を持つ患者の経過と看護について説明	パワーポイント	
		する			
第 7 回	到達目標	内分泌疾患患者	皆に看護について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定		付する検査を受ける患者の看護について説明	配布資料	
(坂本)		する。		パワーポイント	
Auto - ·			見者の看護 甲状腺疾患患者の看護		
第 8 回	到達目標	+	f護について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定		看護について説明する。 たれなっては、	配布資料	
(坂本)	graph hadra seen it seen		息患者の看護 副腎疾患患者の看護	パワーポイント	
第 9 回	到達目標	+	こ看護について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	代謝疾患の看記	隻について説明する。	配布資料	

(坂本)	糖尿病患者の看護 脂質異常症患者の看護	パワーポイント			
	尿酸代謝異常患者の看護				
第 1 0 回 到達目標	アレルギー・感染症疾患の看護について理解する。	テキスト③			
〔 講義〕 授業予定	ガイダンス	配布資料			
(三戸)	アレルギー・感染症の看護について説明する。	パワーポイント			
	<アレルギー>				
	疾患の経過と看護 症状に対する看護(呼吸器症状 消				
	化器症状など) 治療を受ける患者の看護 疾患を持つ				
	患者の看護(気管支喘息 アレルギー性鼻炎 アトピー				
	性皮膚炎など)				
	<感染症>感染予防症状に対する看護(発熱 発疹 下				
	痢)検査・治療における看護 疾患を持つ患者の看護				
	(HIV/AIDS 敗血症 日和見感染など)				
第 1 1 回 到達目標	膠原病疾患の看護について理解する。	テキスト③			
〔講義〕 授業予定	膠原病疾患の経過と看護について説明する。	配布資料			
(三戸)	症状に対する看護	パワーポイント			
	(発熱 関節症状 皮膚・粘膜症状など)				
	検査・治療を受ける患者の看護				
第 1 2 回 到達目標	膠原病疾患の看護について理解する。	テキスト③			
〔講義〕 授業予定	膠原病疾患の看護について説明する	配布資料			
(三戸)	関節リウマチ 全身性エリテマトーデス 全身性強皮症	パワーポイント			
	多発性筋炎 シューグレン症候群 ベーチェット病				
第 1 3 回 到達目標	血液・造血器疾患の看護について理解する	テキスト④			
〔講義〕 授業予定	ガイダンス	配布資料			
(後藤)	血液・造血器疾患の経過と看護について説明する	パワーポイント			
	症状に対する看護(貧血 出血傾向 易感染)				
第 1 4 回 到達目標	血液・造血器疾患の様々な検査を受ける患者の看護につい	テキスト④			
〔講義〕	て理解する。	配布資料			
(後藤) 授業予定	様々な検査を受ける患者の看護について説明する。	パワーポイント			
	治療方針決定と治療のプロセスにおける検査				
	造血器腫瘍患者の看護				
	(意思決定支援 がん薬物療法 放射線療法				
	造血幹細胞移植 輸血 白血病・悪性リンパ腫など)				
第 1 5 回	まとめ				
	終講試験(50分)				
│ │成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
/ / / / /	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器:医学				
	②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔6〕内分泌・代謝				
使用教材	③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔11〕アレルギー・				
	④系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔4〕血液造血器:	医学書院 e テキスト			
参考図書	WELL Market				
その他	配布資料、パワーポイント				
授業以外の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上の留意点					

科目区分	専門分野	科目名	成人看護方法論Ⅲ	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
	①佐藤 由望		①国立病院機構別府医療センター 看護師	1	•
10 V +/L =	②中村 香那	実 務 経 験	②国立病院機構別府医療センター 看護師		
担当教員	③是松 明日香	関連資格	③国立病院機構別府医療センター 看護師		
	④阿部 明美		④国立病院機構別府医療センター 看護師		
n 44	脳神経疾患、運	動器疾患、女性生	生殖器疾患、皮膚疾患の様々な機能障害が、日	常生活に及ぼす景	/響を理解し、各機能
目 的	障害を持つ患者	の看護を実践で	きる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。		
					DP への対応
	1. 主な症状と	その看護につい	て理解する。		DP2
目 標	2. 主な検査と	治療を受ける患	者の看護について理解する。		DP3
	3. 機能障害を	もちながら生活	する人の看護について理解する。		DP4
					DP6
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕			ri d	使用教物	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	脳・神経疾患に	こおける看護について理解する。	テキスト①	教科書の指定部分
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		テキスト①	を 事前に読んでお
(講師①)		脳・神経疾患	患の経過と看護について説明する。	配布資料	くこと。・講義内
				パワーポイント	容や練習問題 を復
					習しておくこと。
第 2 回	到達目標	脳・神経疾患の	の主な症状における看護について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業内容	脳・神経疾病	患の症状に対する看護について説明する	配布資料	
(講師①)		(意識障害	言語障害 認知症 運動麻痺など)	パワーポイント	
第 3 回	到達目標	脳・神経疾患の	のさまざまな治療や処置を受ける患者の看護	テキスト①	
〔講義〕		について理解で	する。	配布資料	
(講師①)	授業予定		患のさまざまな治療や処置を受ける患者の看	パワーポイント	
		護について説明			
			薬物療法 化学療法・放射線療法		
第 4 回	到達目標		矢患の看護について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定		経疾患の看護について説明する。 ************************************	配布資料	
(講師①)			出血 脳梗塞 脳腫瘍 下垂体腺腫 頭部外	パワーポイント	
A44: = 1-3	70.4 P F	傷	tarte	-, , ,	
第 5 回	到達目標	†	実患の看護について理解する。	テキスト①	
〔講義〕	授業予定		経疾患の看護について説明する。 	パワーポイント	
(講師①)			コフィー 重症筋無力症 多発性硬化症		
Art (D	701		ノン病 筋委縮性側索硬化症 髄膜炎	~ 1	
第 6 回	到達目標		賃護について理解する。	テキスト②	
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		テキスト②	
(講師②)		連動器疾患	を持つ患者の経過と看護について説明する	配布資料	
笛 7 同	到達日無	ナカ海	事の庁仆にもける手港にへいて珊瑚ナ っ	パワーポイント	
第 7 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	+	患の症状における看護について理解する。 おもな知識と技術について説明する。	│ テキスト② │ │ 配布資料	
(講師②)	投耒下ル		おもな知識と技術について説明する。 新 ADLの評価	パワーポイント	
			Ⅲ ADEの計画 良肢位と廃用症候群の予防など	777 177	
			を放立と廃ಗ症候析の下的なと 看護について説明する。		
			ョ酸に ブル C 武功する。 ・神経障害 出血性ショック 感染管理		
第 8 回	到達目標		* 神経障害 山皿はショクラ 恋呆自生さまざまな検査・治療を受ける患者の看護を	テキスト②	
第 0 凹 [2) 压口惊	理解する。	こよこよな1大旦 旧源で入りる芯目の目渡を	配布資料	
(講師②)			画像検査)・治療(保存療法 手術療法)を受	パワーポイント	
(m+ pr (4) /	1X未了化		当塚快宜)・石原(休任原伝 - ナ州原伝)を文 隻について説明する。	7 441 21	
第 9 回	到達目標		要について説明する。 隻について説明することができる	テキスト②	
第 9 回	判 建日僚	土な妖忠の有語	皮に ノマッ └試明り るし ⊂ スタ じさ る	14014	

〔講義〕	授業予定	大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 腰痛	配布資料			
	1人来了足					
(講師②)			パワーポイント			
第 10 回	到達目標	女性生殖器の看護における看護師について理解する。主要	テキスト③			
〔講義〕		症状に対する看護を説明できる	テキスト③			
(講師③)	授業予定	ガイダンス	配布資料			
		女性生殖器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する	パワーポイント			
		症状に対する看護				
		(ショック状態 性器出血 帯下・瘙痒感 疼痛など)				
第 11 回	到達目標	主な女性生殖器疾患の看護について理解する。	テキスト③			
〔講義〕	授業予定	女性生殖器疾患の看護について説明する。	配布資料			
(講師③)		外陰部疾患 膣疾患 子宮疾患 卵管疾患 卵巣疾患	パワーポイント			
		骨盤腔内疾患 乳房疾患				
第 1 2 回	到達目標	主な女性生殖器疾患の看護について理解する。	テキスト③			
〔講義〕	授業予定	女性生殖器疾患の看護について説明する。	配布資料			
(講師③)		月経異常・月経随伴症状 不妊症 不育症	パワーポイント			
		高齢女性におこりやすい女性生殖器疾患				
第 1 3 回	到達目標	皮膚疾患の看護にについて理解する。	テキスト④			
〔講義〕	授業予定	ガイダンス	テキスト④			
(講師④)		皮膚科疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。	配布資料			
		症状に対する看護(瘙痒 疼痛 鱗屑・落屑など)	パワーポイント			
		検査・治療・処置を受ける患者の看護 手術を受ける患者				
		の看護				
第 1 4 回	到達目標	皮膚科疾患の看護について理解する。	テキスト④			
〔講義〕	授業予定	検査・治療・処置を受ける患者の看護について説明する。	- 配布資料			
(講師④)		疾患を持つ患者の看護(アトピー性皮膚炎 - 尋常性乾癬	パワーポイント			
		難治性潰瘍など)				
第 1 5 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
成 積 評 価 の) 基準と方法	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
		①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経:医	学書院 e テキスト			
		②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔10〕運動器:医气	学書院 e テキスト			
Ada 1771 AMI. 1.1	テキスト	③系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (9) 女性生殖器:医学書院 e テキスト				
使用教材		④系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔12〕皮膚:医学				
	参考図書	病気がみえる 婦人科・乳腺外科:メディックメディア				
	その他	配布資料、パワーポイント				
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
	の留意点					

科目区分	専門分野	科目名		単 位	1 単位		
対象学年	2 学年	学期	後期	時間	30 時間		
<u> </u>	①竹村 陽子	1 20	①大分赤十字病院 看護師・がん看護専門看		20 #4 [6]		
担当教員	②土居 由紀	実 務 経 験	②国立病院機構別府医療センター 看護師	i> Cuh			
担当权员	③川野 明子	関連資格	③病院における看護師経験・別府市医師会立り	训府害山毛灌学校	亩任数目		
			し疾患における様々な機能障害が、日常生活に が疾患における様々な機能障害が、日常生活に				
目 的	の患者の看護を	大は チャン音 で 生所	し、日後比学日で刊				
П н7			多様な健康状態・障害に対するアセスメント力、	看護展開の基礎	的能力を学習する。		
	7,0,0 a a a	MANUAL THE CHARGE OF SERVICE PLANTS OF SERVICE PROPERTY.					
	 1 主か症状と	その看護につい゛	で理解する。		DP への対応 D P 2		
目 標			どかれた。 皆の看護について理解する。		DP3		
- ~			する人の看護について理解する。		DP4		
					DP6		
授業回数					授業に関する		
〔方法〕			内容	使用教材	準 備 学 習		
第 1 回	到達目標	眼科疾患の看言	隻にについて理解する。	テキスト①	教科書の指定部分		
〔講義〕			D看護について説明できる	配布資料	を 事前に読んでお		
(土居)	授業予定	ガイダンス		パワーポイント	くこと。・講義内		
		眼科疾患を持つ	つ患者の経過と看護について説明する。		容や練習問題 を復		
		症状に対する看	看護(視力障害 視野障害 充血 流涙な		習しておくこと。		
		ど)					
第 2 回	到達目標	眼科疾患患者の	D看護について理解する。	テキスト①			
〔講義〕	授業内容	診察・検査・治	台療・処置を受ける患者の看護について説明	配布資料			
(土居)		する。 手術を	と受ける患者の看護 疾患を持つ患者の看護	パワーポイント			
		(白内障 緑戸	内障 網膜剥離など)				
第 3 回	到達目標	耳鼻科疾患の利	f護について理解する。	テキスト②			
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		配布資料			
(土居)		耳鼻科疾患を持	寺つ患者の経過と看護を説明する	パワーポイント			
		症状に対する	旨護(耳痛・耳漏 耳鳴 めまいなど)				
第 4 回	到達目標	耳鼻科疾患の	들護について理解する。	テキスト②			
〔講義〕	授業予定	検査・治療・如	U置を受ける患者の看護について説明する	配布資料			
(土居)		手術を受ける点		パワーポイント			
		疾患を持つ患る	皆の看護(難聴 慢性中耳炎 メニエール病				
		など)					
第 5 回	到達目標	口腔・咽喉疾患	息の看護について理解する。	テキスト③			
〔講義〕	授業予定	ガイダンス		配布資料			
(土居)			隻について説明する。	パワーポイント			
		, ,,,,	質口腔機能障害)				
			ける患者の看護(診療の準備・介助 保存療法				
			E歯科治療 小児・高齢者の看護)				
			者の看護(口腔がん 顎変形症 唇顎口蓋裂				
.		顎嚢胞)	the second secon				
第 6 回	到達目標		大と看護について理解する。	テキスト④			
〔講義〕	授業予定		く状況について説明する。	配布資料			
(竹村)			リスク要因について説明する。	パワーポイント			
			早期発見について説明する。 5.誰実味について説明する				
			看護実践について説明する。 はなについて説明する。				
佐 7 🖂	初達口冊		対応について説明する。 #について理解する	テセフレの			
第 7 回 (到達目標		隻について理解する。 もも思いのいて説明せて	テキスト④			
〔 講 義 〕 (竹 村)	授業予定		象と場について説明する。	配布資料 パワーポイント			
(11 付)	1	かん思有の古術	番のマネジメントについて説明する。	ハッーゕイント			

		がん患者に対する心理的・社会的サポートについて説明す				
		ప .				
第 8 回	到達目標	がん治療の看護について理解する。	テキスト④			
〔講義〕	授業予定	がん治療における看護の重要性について説明する。	配布資料			
(竹村)		がん治療における看護について説明する。	パワーポイント			
		がん患者の療養支援について説明する。				
第 9 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(情報収集・アセスメントの視点)				
第 10 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(アセスメントの実際)				
第 11 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(アセスメントの実際)				
第 1 2 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(関連図)				
第 1 3 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(看護計画立案)				
第 1 4 回	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料			
〔講義〕	授業予定	事例展開について説明する	パワーポイント			
(川野)		(看護計画実施・評価)				
第 15 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
成績評価の	基準と方法	基準: 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
	<u> </u>	方法: 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
		①系統看護学講座 成人看護学〔13〕眼:医学書院 e テキス ②系統看護学講座 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉:医学書院 e				
	テキスト	③系統看護学講座 成人看護学〔15〕歯・口腔:医学書院 e				
使用教材		④系統看護学講座 別巻 がん看護: 医学書院 e テキスト	7 + 4			
	参考図書	「周術期と看護」に準ずる				
	参考 図 音 「 「					
授業以外	で	能定した教科書を事前に読んでおくこと。				
***	の留意点					
/K 19 L	~ H W W					

老年看護学

科目区分	専門分野	科 目 名	老年看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
担当教員	岡部 裕美	実 務 経 験	病院における看護師経験	•	
担ヨ教員	門部 俗美	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	場には、様々な	な課題が生じてい	地域包括ケアシステムの導入を控えており、保 る。それらの課題を解決するうえで、看護師の果	具たす役割は大き	い。そこで、その人
	の生活史を知りな知識を学ぶ。		を失わないケアを提供するために必要な高齢者 <i>の</i>) 理解と、住会負	DP への対応
	1 喜齢者の名	※	変化、および加齢への適応の過程について理解す	<u> </u>	DP1.2.3
目 標		疾病と加齢に伴う!	身体的・心理的・社会的変化を考慮したうえで、		DP3
ם ייי			知ることで、その人らしい生活について理解する	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	DP5
		の役割について理解			DP3,
			果題について理解する。		DP1,2,4,5
	6. 高齢者のこ	これまでの生活史	(ライフヒストリー)を理解する。	Т	DP1,6
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備 学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	老年期の発達認過程について理	果題と役割機能の変化、および加齢への適応の 里解する。	テキスト① P2~18	テキストを熟読する
	授業予定	1. ガイダンス		P58	
			る人のライフサイクルにおける発達課題から	ワークシー	
		役割機能の変化		F	
			による影響として喪失体験、サクセスフルエ		
			イジズム、スティグマ,スピリチュアリティにつ		
		いて説明する。			
	**** = 13°		立支援や多様な価値観について説明する。	W 41	
第 2 回	到達目標		とを調査し、高齢者の人生を理解する。	学生のレポ	
〔講義〕	授業内容		きてきた人生を年表にし、生きてきた時代や	ートを活用	
			終してきた価値観、生きがいや役割意識などに	した共有会 D00 コラィ	
数 2 回	刘孝口栅		グループワークと発表を通して説明する。	P90 コラム テキスト②	> ツ岸井は仕根町まぎ
第 3 回 〔講義〕	到達目標	向即有疑似体験 的変化について	策を通し、加齢に伴う身体機能、心理的・社会 ・ 囲紀する	P18~45	※学生は体操服を着用しておくこと。体
(M) 10% J			、程所する。 体験を通して、加齢と老化の影響について説	ワークシー	操服の上に高齢者疑
	汉未了足	明する。			似体験スーツを着用
			患の特徴、高齢者の生じやすい生活上の問題	' ※高齢者疑	する。
		を説明する。	NO HAM HART SECTION OF THE SHADE	似体験スー	
		2 101 71 7 0 8		ツ(おいたろ	
				う)装着	
第 4 回	到達目標	高齢者の健康と	と疾病、および加齢に伴う身体的・心理的・社	テキスト①	関係法規
〔講義〕		会的変化につい 理解する。	ゝ ての学びをとおして、高齢者の健康について	P24~35 ワークシー	領域横断科目 専門職連携
	授業予定	1.高齢者の事例	を通して生活について知り、統計学的な傾向	ŀ	
		を考える。		ミニテスト	
		2. 高齢者疾患 明する。	の特徴と生じやすい生活上の問題について説		
第 5 回 〔講義〕	到達目標	高齢者の生活に い生活について	- 関する保健医療福祉制度を知り、その人らし C理解する。	テキスト① P36~54	領域横断科目 家族看護
	授業予定	1. 高齢者の保 険制度など) を	健医療福祉制度と変遷(医療保険制度、介護保 ご説明する。	ワークシー ト	
		2. その人らし て説明する。	い生活を送るために多職種との連携協働につい	ミニテスト	

第 6 回	到達目標	高齢者の権利擁護と倫理的課題について理解する。	テキスト①	基礎看護学		
〔講義〕	授業予定	1. 高齢者差別や高齢者虐待の防止と権利擁護(アドボカシ	P54~66	看護と倫理		
		ー)を説明する。	ワークシー	領域横断科目		
		3. 看護者の倫理的責任を説明する。	1	終末期と看護		
		4. ノーマライゼーションについて説明する。	ミニテスト			
第 7 回	到達目標	老年看護の役割について理解する。	テキスト①	領域横断科目 家族		
〔講義〕	授業予定	1.高齢者の生活史と家族構成とニーズの変化を説明する。	P70~83、	看護		
		2. 老年看護の概念(エンパワメント、ストレングスモデ	P86∼94			
		ル、コンフォート理論)を説明する。	ワークシー			
		3. 老年看護学教育の発展について説明する。	F			
		4. 生活習慣、生活様式を理解する。	ミニテスト			
		5. ICF,CGA などの生活機能評価を説明する。				
第 8 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
		終講筆記試験 80%、				
		課題レポート 20%➡課題①②評価は配布したルーブリック評価を使用します。				
		課題①高齢者の生活史レポートを『お手本資料』を基に作成し、A4 サイズに印刷して提出。文字制				
成績評価の	基準と方法	限なし。10%評価				
		課題②高齢者をキーワードにして興味・関心のある情報を調査し、自分の考えを述べる。題目をつ				
		け、考えたことをWord文書 A4 サイズ 800 字以	(上にまとめて提	出。引用・参考文献を		
		つけること。(調査のもとになった記事をつけて、	印刷して提出)	10%評価		
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 II 老年看護学 : 医学書院 e デ	・キスト			
使用教材	/ T / T	②系統看護学講座 専門分野 II 老年看護学 病態・疾病論	:医学書院 e テ	キスト		
医用软物	参考図書					
	その他	配付資料				
		高齢者との関わりを意図的に持つことが重要な学びに繋がりま	す。			
授業以外	の学習方法	高齢者が自らの生活史を語る機会を設けましょう。				
		高齢者の関わる情報をニュースや新聞で収集し、高齢者の問題	[について考える	習慣をつけましょう。		
履修上	の留意点					

科目区分	専門分野	科目名	老年看護方法論 I	単 位	1 単位
対象学年		学期	前期	時間	30 時間
V1 % T T	7 1 —	実務経験	病院における看護師経験	M) [R]	20 1/1/11
担当教員	貞清 瑞枝		別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
	高齢者は健康な	1	を患い、治療が必要な時もある。健康であっても		
目的			の障害を抱えながら生活していることも多い。こ		
	を併せ持つ高齢	者の生活を整える	るために必要な基本的知識・技術を学ぶ。		
					DP への対応
	1. 高齢者に特	徴的な疾患・症料	犬・障害に応じた看護について理解する。		DP3
	2. 高齢者疑似	体験をとおして、	加齢変化による不自由さ困難さを理解する。		DP1,2,6
目 標	3. 高齢者の生	活機能を整える7	ために必要な基本的援助技術を理解する。		DP1,3
	1		こある高齢者の看護を理解する。		DP3,4
			方について理解する。		DP3,5,6
		スクマネジメン	トについて理解する。	T	DP3.5
授業回数			内容	使用教材	授業に関する
〔方法〕	加卡口無	==\\ +\ +\ - +\ +	2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	1 @	準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標		な症候・疾患・障害と必要な看護について理解	テキスト②	
し 講 我 丿	授業予定	する。	7		
	仅未了化		^ 寺徴的な疾患(骨折、骨粗鬆症、廃用症候群)		
			要について説明する。		
第 2 回	到達目標	-	を支える「移動」の基本的援助技術を理解する。	テキスト①	基本看護技術 I
〔演習〕	授業内容		デルを装着し、高齢者疑似体験を通して活動の	, , , , ,	活動と休息
, , , , ,			困難さについて説明する。		
		2. 事例の症例	髸をアセスメントし、高齢者の特徴を踏まえた		
		歩行、移動、	姿勢保持の看護の方法について説明する。		
		3. 褥瘡のある	る高齢者への看護について説明する。		
第 3 回	到達目標	高齢者に特有な	な症候・疾患・障害と必要な看護について理解	テキスト①	
〔講義〕		する。		テキスト②	
	授業予定	1. 脱水・皮膚	தの障害(老人性瘙痒症、白癬)の特徴と看護		
		について説明			
			章害のある高齢者の看護について説明する。		
第 4 回	到達目標		を支える「清潔・衣生活」の基本的援助技術を	テキスト①	基本看護技術Ⅱ
〔演習〕	極楽った	理解する。	고ᅔᄝᆞᆿᆝᆞᆡᆝᅠᆖᄡᄼᄫᇬᆄᄱᆄᄼᄜᄼᅩᄼᆞ		清潔と衣生活
	授業予定		戻をアセスメントし、高齢者の特徴を踏まえた トケア)、身だしなみ、衣生活の看護について		第3,4回目
		説明する。	「グノノ、対だしなみ、X土山の有談にラバー		
		200747	ど人性瘙痒症)のある高齢者の看護について説		
		明する。			
第 5 回	到達目標	高齢者に特有な	な症候・疾患・障害と必要な看護について理解	テキスト①	
〔講義〕		する。		テキスト②	
	授業予定	1. 高齢者の『	章害(低栄養、誤嚥性肺炎、尿失禁、便秘、下		
		痢)の特徴る	と看護について説明する。		
第 6 回	到達目標	高齢者の生活を	を支える「食事・排泄」基本的援助技術を理解	テキスト①	基本看護技術II
〔演習〕		する。			排泄,食事援助
	授業予定		デルを装着し、高齢者疑似体験を通して食事・		
			困難さについて説明する。		
			実をアセスメントし、食生活(自助具の活用・ (な) なけば (ななって) のごまた。 マニギロ		
			Q) や排泄(おむつ交換)の看護について説明		
年 7 日	如本口柵	する。	と庁紀・応申・陪宝しひ西と毛港について四切	ニナフェの	
第 7 回	到達目標	尚鄙者に特有な	な症候・疾患・障害と必要な看護について理解	テキスト①	

(=== ===)		وعد	1 @	-
〔講義〕	14 Mr = 11	する。	テキスト②	
	授業予定	1. 認知症やせん妄のある高齢者の特徴と看護について説明		
		する。		
		2. 視聴覚障害のある高齢者の特徴と看護について説明す		
		ప .		
第 8 回	到達目標	高齢者の生活を支える「コミュニケーション」の基本的援助	テキスト①	基本看護技術 I
〔演習〕		技術について説明する。		コミュニケーション
	授業予定	1. 高齢者モデルを装着し、高齢者疑似体験を通して視聴覚		
		機能低下によるコミュニケーションの困難さを説明する。		
		2. 事例の症候をアセスメントし、高齢者の特徴を踏まえた		
		コミュニケーションについて説明する。		
第 9 回	到達目標	認知症高齢者のコミュニケーションについて理解する。	テキスト①	基本看護技術 I
	授業予定	1. 認知症の症状に応じたコミュニケーション(パーソンセ	, , , , , ,	コミュニケーション
(1845 45%)	1人来了足	ンタードケア、ユマニチュード)について説明する。		
AAT 1.0 EI	动生口無		1 @	
第10回	到達目標	高齢者に特有な症候・疾患・障害と必要な看護について理解	テキスト②	
〔講義〕		する。		
	授業予定	1. 高齢者の特徴的な疾患(心不全、パーキンソン症候群、		
		睡眠障害)の特徴と看護について説明する。		
第 11 回	到達目標	高齢者の生活を支える「活動と休息・社会参加」の基本的援	テキスト①	基本看護技術 I
〔講義〕		助技術を理解する。		活動と休息
	授業予定	1. 高齢者の社会参加、性(セクシュアリティ)、生活リズム]	
		の調整、アクティビティケアについて説明する。		
		2. 事例を基に、高齢者の特徴を踏まえた活動と休息、性、		
		社会参加への看護について説明する。		
		3. 睡眠障害がある高齢者への看護について説明する。		
第 1 2 回	到達目標	急性期・回復期・慢性期にある高齢者の受療状態に応じた看	テキスト①	領域横断科目
	为是自你	護を理解する。		終末期と看護
(1974-49%)		1. 高齢者のヘルスアセスメントについて説明する。		第6,7回目
	1又未了足	2. 高齢者の強みを活かした、意思決定支援(ACP)について		領域横断科目
				周術期と看護
		説明する。		7 71117/4 11 11 11 11
		3. 外来を受診する高齢者、検査を受ける高齢者への看護に		第9回目
		ついて説明する。		領域横断科目
		4. 高齢者の生活機能の維持向上とリハビリテーションにつ		薬物療法と看護
		いて説明する。		第2回目
第 1 3 回	到達目標	高齢者の自立支援・介護予防について理解する。	テキスト①	領域横断科目
〔講義〕	授業予定	1. 老年症候群を理解し、フレイル、サルコペニア、ロコモ	テキスト②	保健指導論
		ティブシンドロームの状態について説明する。		第 10 回目
		2. 高齢者の廃用症候群予防と介護予防について説明する。		
第 1 4 回	到達目標	高齢者のリスクマネジメントについて理解する。	テキスト①	基本看護技術II
〔講義〕	授業予定	1. 高齢者の生活上のリスク(転倒、誤嚥や窒息、熱中症、	1	安全予防と感染管理
		被災)を理解し、状況に応じた看護について説明する。		
		2. 高齢者のリスクマネジメントについて説明する。		
第 1 5 回		まとめ 終講試験(50分)		
77 I U				
成績評価の) 基準と方法	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。		
		方法 : 終講筆記試験80%、演習20%(60%未満は再試験と		
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野II 老年看護学 : 医学書院 e 🤊	テキスト	
届田野 サ		②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 病態・疾病論	:医学書院 e	テキスト
使 用 教 材	参考図書	病院・在宅・訪問で使える高齢者のフィジカルアセスメント	角濱春海 メラ	ディカ出版
	その他	配布資料、高齢者モデル「おいたろう」		
授業以外	の学習方法			
履修上		基礎看護学で学習した看護技術を基本に高齢者への援助を実施	ー あします。復習が	
	~ m ~ ~ ~	上売日成1~1日のた日成人間で全年で同間日 ツ放りで大川	2 - 5 / 6 及日で	

科目区分	専門分野	科目名	老年看護方法論Ⅱ	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
担当教員	貞清 瑞枝	実 務 経 験 関 連 資 格	病院における看護師経験 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	重要である。そ	こで、高齢者の生	導入に向けて、住み慣れた地域で自分らしい暮 生活の場を理解し、途切れることなくケアを継続 習してきた高齢者の特徴を踏まえ、看護過程の原	売するために必要	でな基本的知識を理解 で接について学ぶ。
目標	 別府市内で生等) 高齢者の生活 	生活する高齢者の 活機能から見たる	高齢者の暮らしと看護について理解する。 の生活を調査し、その生活について理解する。(主) ど年看護過程の展開について理解する。(目標志) のに必要な意思決定支援(ACP)について理解す	向型)	DPへの対応 DP2, 3, 5 DP2, 3, 5, 6 DP3, 4 DP1, 2, 3, 5
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕	到達目標授業予定	る。 1. ガイダン	完する高齢者の暮らしと看護について理解す ス の種類と特徴を知り、入院する高齢者の暮らし	テキスト①	
		3. 長期入院部	隻の役割について説明する。 高齢者の看護について説明する。		
第 2 回 〔講義〕	到達目標	介護保険施設を理解する。	などに入所する高齢者の暮らしと看護について	テキスト①	社会福祉 第8,13回目
	授業内容	2. 入所者の暮	施設等の種類と特徴を説明する。 暮らしの特徴と看護の役割を説明する。 高齢者の看護・福祉用具、介護用品の活用につ る。		
第 3 回 〔講義〕	到達目標	地域密着サールと看護について	ごス・居宅サービスを利用する高齢者の暮らし C理解する。	テキスト①	社会福祉 第8,13回目
	授業予定	る。	サービス、居宅サービスの種類と特徴を説明す を利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割 用する。		
第 4 回 〔講義〕	到達目標	して理解する。		テキスト① 資料	社会福祉 第8,13回目
After 5 153	授業予定	特徴、諸サー	高齢化率を調査し、高齢者の入所施設の状況と - ビスの活用状況について説明する。	4x 1/01	AL A February
第 5 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	して理解する。 1. 別府市の高 特徴、諸サー	高齢化率を調査し、高齢者の入所施設の状況と - ビスの活用状況について説明する。	· 資料 -	新名,13回目 第8,13回目
第 6 回	到達目標		をグループ内で共有するために説明する。 す高齢者の生活(老人福祉施設他)の調査を通	資料	社会福祉
〔講義〕	授業予定	特徴、諸サー	高齢化率を調査し、高齢者の入所施設の状況と - ビスの活用状況について説明する。 をクラス内で共有するために説明する。		第8,13回目
第 7 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	看護過程(目標	志向型) の考え方を理解する。 から見た老年看護過程を説明する。	参考図書①	基本看護技術 II 看護過程

	T	0 東洋機化よど日と毛港短知の株式画主と翌田よう		<u> </u>
		2. 生活機能から見た看護過程の構成要素を説明する。		
		3. 目標志向型の看護過程の特徴を説明する。	6 H - + 0	44.1 - 744.11 (10-1-
第 8 回	到達目標	看護過程の展開(アセスメント)を理解する。	参考図書①	基本看護技術Ⅱ
〔講義〕	授業予定	1. 生活機能を重視したアセスメントの方法を説明する。		看護過程
第 9 回	到達目標	看護過程の展開(関連図)を理解する。		基本看護技術 II
〔講義〕	授業予定	1. 病態、生活機能関連図の作成を説明する。		看護過程
第 10 回	到達目標	看護過程の展開(問題の明確化)を理解する。		基本看護技術 II
〔講義〕	授業予定	1. 病態、生活機能関連図の作成により、看護の焦点の明確 化について説明する。		看護過程
第 11 回	到達目標	看護過程の展開(計画立案・評価)を理解する。		基本看護技術 II
〔講義〕	授業予定	1. 具体策を考え、特徴を踏まえた計画の工夫・留意点、または評価方法について説明する。		看護過程
第 12 回	到達目標	高齢者が地域で生活するために必要な意思決定支援 (ACP)		領域横断科目
〔講義〕		を理解する。		専門職連携
	授業予定	1. 加齢による疾患や障害を持ちながらも、地域でどのよう		第6回目
		に生活をしたいのか、希望と現実を確認しながら退院に向		領域横断科目
		けての意思決定をする過程を説明する。		継続看護
		2. ACP における多職種との協働について説明する。		第 2,3 回目
第 13 回	到達目標	高齢者が地域で生活するために必要な意思決定支援(ACP)		領域横断科目
〔講義〕		を理解する。		専門職連携
	授業予定	1. 加齢による疾患や障害を持ちながらも、地域でどのよう		第6回目
		に生活をしたいのか、希望と現実を確認しながら退院に向		領域横断科目
		けての意思決定をする過程を説明する。		継続看護
		2. ACP における多職種との協働について説明する。		第 2,3 回目
第 14 回	到達目標	高齢者が地域で生活するために必要な意思決定支援(ACP)		
〔講義〕		を理解する。		
	授業予定	1.グループで考えた ACP について説明する。		
		2. グループで考えた多職種との連携について説明する。		
第 15 回		まとめ		
		終講試験(50分)		
		基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。		
成績評価の	り基準と方法	方法 : 終講筆記試験 40% 、看護過程 30% 、グループワー 再試験)	・ク 30% (合計点	ほが 60%未満の場合は
	 テ キ ス ト	①系統看護学講座 専門分野 II 老年看護学 : 医学書院 e ラ		
		②系統看護学講座 専門分野 II 老年看護学 病態·疾病論	: 医学書院 e	テキスト
使用教材	参考図書	①第4版 生活機能から見た老年看護過程 山田律子 医学書	書院	
		②患者家族の寄り添うアドバンスケアプランニング 角田ます	トみ メジカル	フレンド社
	その他			
授業以从	の学習方法	第4講義までに実習施設をはじめとして、別府市内の介護老力	【福祉施設に協力	力いただき、高齢者の
以未必外		生活について調査し、第6講義までにまとめて発表をする。		
履修上	の 留 意 点			

小児看護学

科目区分	専門分野	科目名	小児看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
		実務経験	病院における看護師経験	7	
担当教員	甲斐 有美子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
	小児看護の対象	である子どもに	ついて理解を深めるための成長・発達の特徴を学ぶ	ぶことは欠かせな	い。さらに、少子
目 的	高齢社会となっ	た今、子どもを	取り巻く環境は変化をしている。現代の家族の状況	元や保健・医療・	福祉の動向や、子
	どもの最善の利	益を守るための	看護を学ぶことを目的とする。		
					DP への対応
	1. 小児と小児	看護について基	本的な考え方を理解する。		DP1
目 標	2. 子どもの成	長・発達を理解	し、小児各期の特徴に適した生活と養護を理解する	ó.	DP1 DP3
	3. 小児を取り	巻く家族の状況	と保健・医療・福祉の動向を理解する。		D P 5
	4. 小児が尊重	される存在であ	り最善の利益を守るための考え方を理解できる。	T	DP4
授業回数			内容	 使用教材	授業に関する
〔方法〕		T		2 /13 32 13	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	小児看護の特征	数と理念について理解する	テキスト①	母性看護学概論
〔講義〕	授業予定	1. ガイダン			第5回目授業
			・小児看護の変遷と課題について説明する。		
** • •	711 + P 175		疾の諸統計について説明する。 ************************************		
第 2 回	到達目標		・発達について理解する(1)	テキスト①	
〔講義〕	授業内容		成長・発達の原理と影響因子について説明する。 ************************************		
			達と心理社会的発達について説明する。 成長・発達のアセスメントと評価について説明す		
		3. 丁ともの)	以反・光達のテセスメントと計画について説明す		
			こおける理論について説明する。		
第 3 回	到達目標		・発達について理解する (2)	テキスト①	母性看護の方法 I
〔講義〕	授業予定		おける成長・発達の特徴と養育・看護について説	胎便モデル	第7・8回目授業
(HIT 424)	汉术了之		生児・乳児)	新生児人形	領域横断
		713 30 (4)	10/0/		保健指導論
					第6回目授業
第 4 回	到達目標	子どもの成長	・発達について理解する(3)	テキスト①	領域横断
〔講義〕	授業予定	1. 小児期に	おける成長・発達の特徴と養育・看護について説		保健指導論
		明する。(幼	児・学童期・思春期)		第7回目授業
第 5 回	到達目標	遊びの機能と	発達について理解する	第4回まで	
〔講義〕	授業予定	1. 担当年齢の	の遊びの展開をすることで成長・発達について説	の授業資料	
		明する。		チャイルド	
		2. 遊びの展	開を行う中で、子どもの安全と事故防止について	マウス・ビ	
		説明する。		ジョン	
第 6 回	到達目標	4 - 0 - 1,1,10 1	を取り巻く社会を理解する	テキスト①	領域横断
〔講義〕	授業予定		数とアセスメントについて説明する。		家族看護
		2. 保健・医療	療・福祉に関する法律と制度について説明する。		第1~3回目授業
					母性看護学概論
<u>445 7 ⊟</u>	제 누 ㅁ Ι표	よ旧毛港により	ナフ 公田 このいて田 ^{は77}		第5回目授業
第 7 回	到達目標		ナる倫理について理解する		
〔講義〕	授業予定		ける小児の権利擁護について説明する。 列を守り安全・安楽となるよう配慮したうえ		
			Mを可り女主・女衆となるより配慮したりえ 獲行為を行う考え方を説明する。		
第 8 回		まとめ	区口が9で11 ノサ 人刀 で 肌切り る。		
ᅏᅄᄜ		まこめ 終講試験(50 分	})		
			リ/ 規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。	<u> </u>	<u>l</u>
成績評価の	基準と方法		然だが 25 米に焼だりる計画基準に平りる。 筆記試験 100% 60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト		事に武衆 100% 00%不過は行武衆こする。 講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護		

		スト
	# A #	国民衛生の動向 2023/2024
	参考図書	②ナーシング・グラフィカ 小児の発達と看護 第6版 (メディカ出版)
	その他	
授業以外の	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
履修上の留意点		授業出席時間3分の2以下は、終講試験を受ける資格がありません。欠席する場合は、出席時間数
NQ 118 上(の留息尽	の計算をしておいてください。

科目区分	専門分野	科目名	小児看護方法論 I	単位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
7, 2, 2, 1	①古賀 寛史	, ,,,,	①医師	1.4	1114
	②今井 一秀		②医師		
	③植村 篤実	実務経験	③医師		
担当教員	④有馬 明子	関連資格	④医師		
	⑤阿部 奈津樹	医连貝帽	⑤国立病院機構別府医療センター 看護師		
	6桂木 謙治		⑥別府発達医療センター 看護師		
			0	1.) 1. 二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			夏及び診断・治療に関する基礎的知識を学ぶこ。 夏双素とははスーキンに名声に変化しの中央に		
H 44			長発達し続ける。さらに急速に変化しやすい症料 関いは似れたなたです。 これ、 これ、 トル・バナ		
目 的			明に特徴的な健康障害の病態・症状・検査・治療		
		識を身につける。	引き続いて様々な状況にある子どもと家族に対	付しての看護を与	どぶことを目的とす
	る。				T
					DP への対応
	1. 小児期に特	徴的な健康障害の	の病態・症状・検査・治療について理解す		D P 3
 目 標	る。				D P 3
II	2. 小児の死亡	原因を理解し、フ	下慮の事故や外傷に対する治療や処置を理解す <i>。</i>	る。	D P 3
	3. 様々な状況	にある子どもとタ	家族への看護について理解する。		DP3
	4. 小児期にお	ける主な疾患のネ	昏護について理解する。		
授業回数				使用教材	授業に関する
〔方法〕			L144	医 用 教 相	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	(1)染色体影	異常・胎内環境により発症する先天異常につい	テキスト	
〔講義〕		て理解する			
(古賀)		(2)新生児の	0異常について理解する		
	授業予定	1. ガイダン	ζ		
		2. 染色体異常	常(常染色体、性染色体)について説明する。		
			台児病について説明する。		
			実患と低出生体重児について説明する。		
			異常症について説明する。		
第 2 回	到達目標	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患について	テキスト	
〔講義〕	ZIZERN	理解する	S. T. T. T. MOS. J. T. T. E. MISSELLE S. T. C.	, , , , , ,	
(古賀)			こついて理解する		
			実患について理解する		
	授業内容		- の分類を知り小児期に特徴的な疾患を説明す		
	1又未17日		レルギー、気管支喘息、原発性免疫不全症、		
		リウマチ性症			
			感染に関する基礎知識をふまえ主な疾患を説明		
		,	ルス感染症、細菌感染症、真菌感染症)		
			器疾患を説明する。(上気道の疾患、気管支・		
Andrea - III	70+ P F	肺・胸膜疾患		_ , ,	
第 3 回	到達目標		矢患について理解する	テキスト	
〔講義〕		, ,	矢患について理解する	_	
(古賀)	授業予定		後天性心疾患について説明する。		
			然死症候群について説明する。		
			と器疾患について説明する。(唇裂・口蓋裂、		
		食道閉鎖症、	肥厚性幽門狭窄症、ヒルシュスプルング病、		
		鎖肛、胆道	閉鎖症、腸重積、ヘルニア)		
			見下痢症・胃腸炎について説明する。(ロタ・		
		ノロウイルス	ス感染症)		
第 4 回	到達目標	(1) 血液・対	造血器疾患・悪性新生物について理解する	テキスト	
〔講義〕		(2)運動器療	 		
(古賀)		(3)事故とタ	小傷について理解する		
,	I .			1	<u> </u>

				1. 貧血と出血性疾患について説明する。(血友病、ビタミ		
			******	ン K 欠乏症、特発性血小板減少性紫斑病)		
				2. 悪性新生物について説明する。(白血病、脳腫瘍、神経		
				芽腫、ウィルムス腫瘍)		
				3. 運動器疾患について説明する。(先天性疾患、脊柱側彎		
				症、骨折、脱臼)		
				4. 事故と外傷について説明する。(頭部外傷、誤飲・誤		
				嚥、溺水、熱傷、熱中症)		
第	5	回	到達目標	(1) 代謝性疾患について理解する	テキスト	
(講義)		(2) 内分泌疾患について理解する		
	今井	· -	授業予定	1. 代謝性疾患について説明する。(糖尿病、低血糖症)		
,		•	******	2. 内分泌疾患について説明する。(下垂体疾患、甲状腺疾患、		
				副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺の異常)		
第	6	回	到達目標	腎・泌尿器および生殖器疾患について理解する	テキスト	
	講義	-	授業予定	1. 先天性腎尿路異常、腎・泌尿器疾患について説明する。	, , ,	
	植村		1人术 1 元	(急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、尿細管間質		
,				疾患、慢性腎臓病)		
				2. 生殖器・外性器の疾患について説明する。(停留精巣)		
第	7	回	到達目標	神経疾患について理解する	テキスト	
	講義		授業予定	1. 神経系の先天異常について説明する。(二分脊椎、水頭		
· ·	植村		122/6 1 76	症、キアリ奇形)		
,				2. 痙攣性疾患および神経・筋疾患について説明する。(て		
				んかん、熱性けいれん、脳性麻痺、筋ジストロフィ)		
第	8	回	到達目標	精神疾患について理解する	テキスト	
	講義	-	授業予定	1. 発達障害について説明する。	, , , , , ,	
· ·	有馬		[大木] 元	2. 神経症圏の疾患について説明する。		
\				3. 行動上の障害について説明する。(不登校、反社会的行		
				動、いじめ)		
箪	9	回	到達目標	染色体異常・先天性疾患のある小児の看護を理解する		領域横断
	講義	-	授業予定	1. 染色体・先天異常のある子どもの看護を説明する。		周手術期と看護
	阿部		1人术 1 元	(ダウン症、先天奇形、心疾患、内分泌・代謝性疾患、		7.4 1 1117/13 = 12 112
`				消化器疾患)		
第	1 0	同	到達目標	急性期にある子どもと家族への看護について理解する(1)		
	講義	-	授業予定	1. 急性症状(発熱、痛み、脱水、下痢、嘔吐、呼吸困難、		
	阿部		122/6 1 76	けいれん等)のある子どもの看護について説明する。		
,				2. 救急救命処置(誤飲・誤嚥・溺水・熱傷・蘇生法等)が		
				必要な子どもと家族への看護について説明する。		
第	1 1	回	到達目標	急性期にある子どもと家族への看護について理解する(2)		
	講義	-	授業予定	1. 主な急性疾患(川崎病、ウィルス性疾患、腸重積、急性		
	阿部		122/6 1 76	糸球体腎炎感染症等)について説明する。		
	1 2		到達目標	慢性的な疾患がある子どもと家族への看護について理解する		
	講義	-	授業予定	1.慢性疾患(I型糖尿病、ネフローゼ症候群、てんかん、		
	阿部		1// 1 /C	腎臓病、喘息等)について説明する。		
`	. —	,		2. 運動器疾患について説明する。		
第	1 3	回	到達目標	特別な状況にある子どもと家族への看護について理解する		
	講義	-	授業予定	1. 虐待を受けている子どもと家族および災害を受けた子ど		
	阿部		22/03/10	もと家族への看護		
	1 4		到達目標	心身障害のある子どもと家族の看護について理解できる		
	講義		授業予定			
	植木		2210 1 /2	重症心身障害児の看護		
	1 5			まとめ		
_^,				5 2		

			終講試験(50分)
成績評価の	基準と方	法	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100% 60%未満は再試験とする。
使用教材	テキスト		系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護学総論 第 13 版:医学書院 e テキスト 系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 :医学書院 e テキスト
使用教物	参考図	書	国民衛生の動向 2021/2022 ナーシング・グラフィカ 小児の発達と看護 第6版 (メディカ出版)
	その	他	
授業以外	の学習方	法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
履修上	の留意	点	皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科疾患については疾病論Vで学習する。

対象学年 2 学年 学期 後期 時間 担当教員 羽田野京子 実務経験 病院における看護師経験 関連資格 別府市医師会立別府青山看護学校専任教員	30 時間
担当 教員 羽田野 京子 実務経験 病院における看護師経験	
相 当 教 員 羽田野 京子 **********************************	
人間のライフサイクルの中で、小児期は最も成長発達の著しい時期であり、健康障害や苦痛を最小限に	することは、
健やかな成長発達への支援として重要である。また、健康障害を持ちながら成長発達する小児を理解し、	、養育環境を
あ より安定したものとなるための知識を深めることが看護師の役割として求められる。本科目では、様々に	な状況にある
子供とその家族、発達段階に応じた看護をするために必要な看護技術と対象を理解し看護を展開する考	え方について
修得する。	
DI	への対応
1. 様々な状況にある子どもと家族への看護について理解する。 DP3	
口 1	
3. 健康障害をもつ子どもの事例展開の方法を理解する。 DP3	
授業回数 内容 使用教材 授業	に関する
[方 法]	備学習
第 1 回 到達目標 病気・障害をもつ子どもと家族の看護について理解する。 テキスト①	<u></u>
〔 講 義 〕 授業予定 1. ガイダンス	
2. 病気・障害が子どもと家族に与える影響を説明する。	
3. 子どもの健康問題と看護について説明する。	
4. 健康問題をもつ子どもの家族の看護について説明する。	
第 2 回 到達目標 子どもの状況 (環境) に特徴づけられる看護について理解す テキスト①	
〔講義〕 る。	
授業内容 1. 入院中の子どもと家族の看護について説明する。	
2. 外来における子どもと家族の看護について説明する。	
3. 在宅療養中の子どもと家族の看護について説明する。	
4. 災害時の子どもと家族の看護について説明する。	
	護学概論
	目授業
	目授業
第 4 回 到達目標 検査や処置を受ける子どもと家族への看護について理解す テキスト① 臨床薬 【講義】 る。① 第2回	
	l仅未
授業予定1. 子どもにとっての検査・処置体験について説明する。2. 与薬における看護の実際について説明する。	
2. 子栄におりる有護の美際について説明する。 3. プレパレーションについて説明する。	
第 5 回 到達目標 検査や処置を受ける子どもと家族への看護について理解す テキスト①	
(講義)	
授業予定 1. 検体採取における看護の実際について説明する。	
2. 呼吸症状の緩和における看護の実際について説明する。	
第 6 回 到達目標 検査や処置を受ける子どもと家族への看護について理解す テキスト①	
[講義] る。③	
授業予定 1. 子どもに対する日常生活援助技術における看護の実際に	
ついて説明する。	
第 7 回 到達目標 小児看護技術について理解する。① テキスト①	
〔演習〕 授業予定 バイタルサイン測定、身体計測、与薬方法、点滴固定、	
採尿方法、採血時の固定、経管栄養、吸入、吸引	
第 8 回 到達目標 小児看護技術について理解する。② テキスト①	
〔演習〕 授業予定 バイタルサイン測定、身体計測、与薬方法、点滴固定、	
採尿方法、採血時の固定、経管栄養、吸入、吸引	
第 9 回 到達目標 事例において 看護過程の展開ができる。① 授業資料	
〔演習〕 (情報収集・アセスメントの視点がわかる)	
授業予定 1. 事例展開方法 (気管支喘息)を説明する。	

		2. 子どもを理解するための情報収集の視点やアセスメント					
		の視点が分かる。					
第 10 回	到達目標	事例において 看護過程の展開ができる。②	演習				
〔演習〕		(アセスメント・計画・実施・評価)					
	授業予定	1. 各自で情報収集し、情報整理の考え方が分かる。					
		2. アセスメントの視点に沿って取り組み考え方が分かる。					
		3. 子どもに対する看護計画・実施・評価の視点が分かる。					
第 11 回	到達目標	症候をとらえ実践につなぐ思考が理解できる。①	配布資料	小児看護学概論			
〔講義〕	授業予定	1. 子どもの成長・発達段階に応じて症候の表出が異なるこ		第2回目授業			
		とを説明する。		小児看護方法 I			
		2. 症候の観察及び問診、緊急度についての考え方を説明す		第12回授業			
		ప .					
第 12 回	到達目標	症候をとらえ実践につなぐ思考が理解できる。②	配布資料				
〔演習〕	授業予定	1. 事例を通して思考の整理ができる。					
第 13 回	到達目標	症候をとらえ実践につなぐ思考が理解できる。③	配布資料				
〔演習〕	授業予定	1. 事例を通して思考の整理ができる。					
		2. グループで話し合い、思考を深めることができる。					
第 1 4 回	到達目標	症候をとらえ実践につなぐ思考が理解できる。	配布資料				
〔演習〕	授業予定	1. 事例を通して思考の整理ができる。					
		2. グループで話し合い、思考を深めることができる。					
		3. クラスで共有し、思考を深めることができる。					
第 15 回		まとめ					
		終講試験(50分)					
		基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。					
成績評価の	の基準と方法	方法 : 終講筆記試験 50% 看護過程レポート 20% 臨床	判断レポート 2	20% 技術の課題 10%			
	1	60%未満は再試験を行う。					
	テキスト	①系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看		芒書院 e テキスト			
使 用 教 材	<u> </u>	②ナーシング・グラフィカ 小児の発達と看護 第6版 ()	メディカ出版)				
	そ の 他						
授業以外	の学習方法	生 指定した教科書を事前に読んでおくこと。					
		本単元では小児看護における看護技術を学ぶにあったって基礎看護技術における知識は熟知してお					
│ │履修 ⊦	の留意点	く必要がある。					
,2 ,5	- 14 /05 /11	また、看護過程の展開、臨床判断では子どもの発達段階および		、疾患の理解と看護に			
		ついて理解しているとして授業を進めるため復習をしておくこ	こと。				

母性看護学

科目区分	専門分野	科目名	母性看護学概論	単 位	1単位	
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間	
担当教員	清岡 佳子	実務経験 関連資格	臨床看護経験:①産婦人科 ②一般内科 ③ 臨床助産師経験 教育経験: ①助産師養成所:助産論、実習 ②看護師養 母性看護学方法論、実習 ③大学・大学院: 実習	成所:看護学概論		
目 的	康の保持増進を	母性看護の役割拡大を踏まえ、母性看護の基盤となる概念を理解し、実践活動に活用できる。ま 康の保持増進を目指した次世代の育成について理解し、個別性の高い看護実践ができるよう、統 る家族を対象に、母性看護の支援について学ぶ。				
目標	 4. 母性看護を 3. 女性のライ 進、健康問題 4. 母性看護の 	取り巻く社会の3 フサイクルを通し の理解をする。 基盤となるマタニ	する倫理的諸問題について理解する。 変遷と現状の理解をする。 して、リプロダクティブヘルツ/ライツに関する ニティサイクルにおける健康保持増進、健康障 厚性について理解する。		DPへの対応 DP1,4 DP2.3 DP3 DP5,6	
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する	
第 1 回 〔講義〕	到達目標授業予定	会的特徴から 2. 人間の性を な価値観やJ 1)家族の歴史 2)母性とは何 3)性について る。 ルをとおした性	はにかについて、母性の身体的・心理的、社の理解できると示すセクシャリティについて理解し、多様と観を有している人々を尊重できる。 というなどのできます。 というなどはないで考える。 ので選について考える。 のかについて定義から説明できる。 に生物学的性と社会文化的な性を説明できる。 の発達について説明できる。	母性看護概論	日本の41制度 母性の諸定義 統合体としての人間(生物学的・精神的・社会的) 性的マイノリティ 日本女性の馬詰、自身の母性観	
第 2 回〔講義〕	到達目標 授業内容	ルについて理 1)女性生殖器 2)女性のライ	対象について理解する。女性のライフサイク 世解する 骨の形態と機能について説明できる イフサイクルについて説明できる Eと母性、父性、親性について説明できる	母性看護概論	母性保護論争:与 謝野晶子&平塚ら いてうについて事 前学習	
第 3 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	リプロダクティ 1) リプリダク 2) リプロダク 説明できる	プールツ/ライツについて理解する フティブ/ライツの定義を説明できる フティブヘルツ/ライツの世界的動向について フティブライツの課題について考えることが	母性看護学顔論	リプロダクティブ ヘルツ/ライツの定 義 課題レポート 1「リプロダクテ ィブヘルス/ライツ の現状と世界的動 向」	
第 4 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	1)女性のライえることがで	+イクルと健康問題について理解する。 イフサイクルから見た女性の健康について考 できる。 イフサイクル各期の健康問題を概観できる。	母性看護概論 女性のライフ スタイルと健 康問題 PC	女性のライフステ ージとホルモンの 変化	
第 5 回 〔講義〕	到達目標授業予定	向を理解する 1)母性看護の 2)戦後の復興	川度及び政策の歴史から母性看護の現状と動 の起源とその後の変遷について説明できる 眼と母子保健基盤整備について説明できる だ計から健康や課題について説明できる	看護概論 国民衛生の動向	①看護の歴史を復 習しておく 国民 衛生の動向から母 子保健に関する部 分を調べておく課	

		4)母子の健康問題に関して国や自治体の取り決めにして説		題レポート		
		明できる		②「自分の母子健		
				康手帳の記載内容		
				を見ておく、自分		
				の誕生について両		
				親・家族から聞い		
				ておく」		
第 6 回	到達目標	母性看護における生命倫理と看護倫理について理解できる	母性看護概論	看護師の日常のケ		
〔講義〕	授業予定	1) 女性の意思決定について考えることができる		アで感じている倫		
		2) 倫理上の問題に関する看護者の行動について考えるこ		理上の問題につい		
		とができる		て調べておく(教		
		3) 生殖医療と生命倫理について考えることができる		科書参照) 最新		
				の生殖医療につい		
				て調べておく		
第 7 回	到達目標	母子保健の国際化について理解できる	母性看護概論	現在の国際化と母		
〔講義〕	授業予定	1)国際化の現状と問題点について説明できる		子保健問題や在日		
		2) 国際的視点を持つことに意義について理解できる		外国人の母子保健		
		3) 外国人、在日韓国人へのケアが分かる		に関する動向を調		
				べておく		
第 8 回		まとめ				
		終講試験(50分)				
成績評価の) 基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
794 /194 HT 1144		方法 : 筆記試験 (80点) 課題レポート・学習態度 (20)点)を総合して	評価する。		
		①系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔1〕母性看護学概論	i:医学書院 e テ	キスト		
	テキスト	②病気がみえる(メディックメディア)				
		③周産期ケアマニュアル(サイオ出版)				
使用教材		④国民衛生の動向				
	参考図書	①女性生殖器(医学書院) ②国民衛生の動向				
	> 7 L	③母性看護学(メディカ出版) ④母性看護技術				
	その他					
授業以外	の学習方法	全体で 45 時間であることから、講義 15 時間、予習・復習 30 時間となる。				
 履 修 上	の留意点	履修認定は1単位である。1単位は、全体で予習・復習、講義	• • • • • • • • • • • • • • • • • •	間とする。 課題レポ		
/64 15 IL		ートの提出は期限以内に提出できなかった場合は、評価しない	いこととする。			

科目区分	専門分野	科目名	母性看護方法論 I	単位	1 単位	
対象学年				時間		
刈象子 年	2 学年	学 期	前期		30 時間	
	①三重野 真美 ②高野 かおり	chr 37/r 4/7 BA	①病院における助産師経験・看護師経験・看	要子仪における教	以貝栓駚	
担当教員		実務経験	②あおい産婦人科助産師・看護師長			
	③甲斐 洋子	関連資格	③大分県立病院 助産師・看護師長	> - 4-2#.6=		
H 44	④深井 昌子) - o bl.) 4-7-t)	④大分県立病院 助産師・新生児集中ケア認知			
目 的	女性の生涯を地	しての性と生殖に	に関する健康を守り、次世代の健全育成の看護を	と子ふ	DD stirt	
	1 44.05.2		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	田 よこしゃぎからは、	DP への対応	
目標		ノザイクルにおり 族の看護につい [~]	ナる性と生殖機能の顕著な妊娠・分娩期・産褥期 マ 田曜 ナス	切 および利生	DP1,2,3,4,5,6	
			└哇牌りる。 変化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、			
英米回券	利生光の生産	的特徴を習得する	٥.	1		
授業回数			内容	使用教材	授業に関する	
〔方法〕	如本口冊	1 7100 4.0	とりないマギルチの知り 「「知」によりとし、	() 佐 1 辛	準備学習	
第 1 回	到達目標		産み育てる意味を理解し、母親になることに	①第1章	①授業の範囲を予習	
〔講義〕	쨘짜 그 스		こついて理解する。	P29	する。	
(三重野)	授業予定		み育てることの意味、 			
			こととそれに対する看護			
** 0 II	初井口坪		み育てることへの看護を学習する準備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 1 · · · · · · ·	唐尼以尼由。 2.155日	
第 2 回	到達目標		らのリプロダクティブヘルスケアについての	テキスト①	遺伝性疾患の危険因	
(講義)		必要性を理解	• • • •		子について復習して	
(三重野)			となってるにあたり、生じる遺伝・不妊の問題		おく。	
	155 MK -L -L-		を接について理解する。	-		
	授業内容		ティブヘルスの必要性、②遺伝 ③不妊治療と			
Mr. 0 17	70+ P FF	看護		Of the order		
第 3 回	到達目標	1. 出生前かり 必要性を理解す	らのリプロダクティブヘルスケアについての	①第2章 P14~61	①授業の範囲を予習	
〔講義〕		する。				
(三重野)						
	[전짜 그 스	題や自己決定支援について理解する。				
	授業予定	①リフロタクラ 看護	ティブヘルスの必要性、②遺伝 ③不妊治療と			
\$\$\$± 4 □	如本口冊		1. A.	①答 2 苯	①極要の第四2. マ羽	
第 4 回	到達目標		本的、心理・社会的特性>	①第3章	①授業の範囲を予習	
〔講義〕			身体的特性について理解する。 心理・社会的特性について理解す	P62~91	する。	
(三重野)		. , , , ,	い生・任会的特性について理解す	(29)	②女性生殖器の解剖	
	極業又ウ	る。	14日の改立したの仕頭	-	生理の復習をする	
	授業予定		胎児の発育とその生理 妊婦と家族および社会			
一	到達目標	-	カアセスメント>	①笠2咅	①授業の範囲を予習	
第 5 回 〔講義〕	判廷日际		リノセスメントン 『このアセスメントについて理解する。	①第3章 P92~	する。	
(三重野)	授業予定		多断 ②妊娠期の検査 ③胎児の発育 ④妊婦	132(40)	②看護過程展開の復	
(一里刃)	1人来了足		D診断とアセスメント	132(40)	習をする。	
第 6 回	到達目標		り、心理・社会的特性のアセスメント>	①第4章	①授業の範囲を予習	
「講義〕	判廷日保	1	5、心理・社会的特性のデモスノンドン 行と産婦の身体的、心理・社会的変化について	P211~	する。	
(三重野)		理解する。	10座がの分体が、心壁・性云的変化について	226(15)	9 00	
(一里ガノ			では、家族のアセスメントについて理解する	220(13)		
	授業予定		②分娩経過 ③産婦・胎児、家族のアセスメ	-		
	汉未了是	① 万焼の安糸 ント	シカが性地 砂生畑・加九、豕状ツチェヘ人			
第 7 回	到達目標		帚の身体的、心理社会的特性とアセスメント	①第5章	①授業の範囲を予習	
^第	7月) 走日保		〒の 写体的、心理任会的特性とノセスメント 目の生理とアセスメントについて理解する。	①第 5 早 P262~	する。	
(高野)			この生理とテセスメントについて理解する。 とアセスメントについて理解する。	304(42)	y つ。	
人間 料 /			里 ②新生児のアセスメント	第6章		
	1又来了正	① 刺生児の生物	エ 少州生元のノゼヘメノト	おり早		

		③産褥経過 ④褥婦のアセスメント	P322∼	
		少生時柱週 (学) 時帰り デモハグット	345(23)	
第 8 回	到達目標	 <妊婦と家族の看護>	①第3章	①授業の範囲を予習
赤	为是日际	1. 妊婦が受ける保健サービスについて理解する。	P133~	する。
(高野)		2. 妊婦の健康相談・教育について理解する。	183(50)	②妊娠経過について
		3. 親になるための準備教育について理解する。	103(30)	復習する。
	授業予定	①妊婦が受ける母子保健サービス ②妊婦の健康相談・教	_	(A) 3°
	[X来]	育の実際 ③親になるための準備教育		
第 9 回	到達目標	<産婦と分娩期の看護>	①第4章	①授業の範囲を予習
〔講義〕		1. 産婦と家族の看護について理解する。	P227~	する。
(髙野)		2. 分娩期の看護について理解する。	261(34)	②分娩経過について
	授業予定	①産婦と家族の看護 ②分娩期の看護の実際	` ´	復習する。
第 10 回	到達目標	<新生児・産褥期の看護>	①第5章	①授業の範囲を予習
〔講義〕		1. 新生児の看護について理解する。	P305~	する
(高野)		2. 褥婦と家族の看護	320(15)	②新生児の生理的変
(14 24)		3. 施設退院後の看護について理解する。	①第6章	化、褥婦の身体的、
	授業予定		P345∼	心理・社会的変化に
	2011 772	①新生児の看護 ②褥婦と家族の看護	366(21)	ついて復習する。
		③産後の生活調整、④育児不安、⑤産後健診 ⑥子育て支援	①第6章	
		⑦職場復帰	P367∼	
			379(12)	
第 1 1 回	到達目標	<妊娠・分娩の異常と看護>	①第7章	①授業の範囲を予習
第 1 3 回		1. 妊娠の異常と看護について理解する。	P380∼	する
〔講義〕		2. 分娩の異常と看護について理解する。	464(84)	
(甲斐)		<産褥の異常と看護>		
		3. 産褥期の異常と看護について理解する	①第7章	
		<メンタルヘルスの問題を抱える母親の支援>	P514~	
		4. メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援について理	540(26)	
		解する		
	授業予定	1.	第7章	
		①ハイリスク妊娠 ②妊娠期の感染症 ③妊娠疾患 ④多胎	P541∼	
		妊娠 ⑤妊娠持続期間の異常 ⑥異所性妊娠 ⑥ハイリスク	550(9)	
		妊婦の看護		
		2.		
		①産道の異常 ②娩出力の異常 ③胎児の異常による分娩障		
		害 ④胎児の附属物の異常、⑤胎児機能不全、⑥分娩時の損		
		傷 ⑦分娩時異常出血、⑧産科処置と産科手術 ⑨異常のあ		
		る産婦の看護 ⑩異常分娩時の産婦の看護 ⑪分娩時異常出		
		血のある産婦の看護		
		3.		
		①子宮復古不全 ②産褥期の発熱 ③産褥血栓症 ④精神障		
		書 ⑤異常のある褥婦の看護 ⑥育児困難さをかかえる母親		
		への看護⑦児を亡くした褥婦・家族の看護		
		4.		
Mr. 1 0 -	7:11\+ 1= 1=*	①妊娠・出産・育児への影響 ②治療および看護	() ktr = -t-	
第 1 3 回	到達目標	<新生児の異常と看護>	①第7章	①授業の範囲を予習
第14回		1. 新生児の異常と看護について理解する。	P489~	する
〔講義〕	Fig. aiv → · i ·	2. 先天性異常時の看護について理解する。	513(24)	
(深井)	授業予定	1-①新生児仮死 ②分娩外傷 ③低出生体重児 ④高ビリ		
		ルビン血症 ⑤新生児・乳児ビタミン K 欠乏症 2-①先		
		天異常の概要 ②先天性疾患児の看護		

第 1 5 回	まとめ			
	終講試験(50分)			
成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。			
成種評価の基準と方伝	方法 : 筆記試験 (80%)、沐浴実施試験 (20%)、60%未満は再試験を行う。			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学 〔2〕母性看護学各論:医学書院 e テキスト			
	②病気がみえる 産科:メディックメディア			
使用教材 参考図書	ナーシング グラフィカ 母性看護学 母性看護技術 メディカ出版、			
その他				
授業以外の学習方法	継続看護、社会資源の活用について調査			
	履修規程の必用条件について理解しておくこと。母性看護は、リプロダクティブヘルス/ライツに			
履修上の留意点	関することを特徴としています。生命の誕生から看護に携わることから専門職業人として、倫理的			
	態度を求められます。その観点から授業態度は、適切な態度であるか評価します。			

科	ı	1区	分	専門分野	科目名	母性看護方法論Ⅱ	単 位	1 単位
対	4	東 学	年	2 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
						①国立病院機構別府医療センター 助産師	l	ı
担	<u> </u>	当教	員	①田邉 朋美	実務経験	1(2)助産帥・臨床看護・臨地実習指導・母性看護	嬳学教員の経験	
				②清岡 佳子	関連資格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員	Į	
П			的	妊婦・産婦・褥	婦、新生児の観	察と援助に必要な看護技術を習得する。		
目			пу	母性看護におけ	るウェルネスの	視点で看護過程展開について学ぶ。		
								DP への対応
				1. 妊婦・産婦	・褥婦、新生児	の観察をとおしてアセスメントできる。		DP1,2,3,4
目			標			の観察と援助に必要な看護技術を習得する。		DP3,4
_						点の看護過程の展開について理解する。		DP3
						厳や女性のマタニティサイクルの健康課題や育り	見支援について	DP6
			No.	自己の考えを深	めることができ	<u> న.</u>	1	Led Mile . Hill a
		美 回				内容	使用教材	授業に関する
		5 法		刘朱口栖	ゼ 婦の知察)を	ソ亜を甘土井体パーとフ	스코 N-1	準備学習
-,-		1 構義	-	到達目標	+	必要な基本技術ができる。	資料	女性生殖器の解剖生 理を復習しておく。
		p 我 ∃ 漫		授業予定		診、妊娠反応、触診、内診、超音波診断法、ノスト、各種検査		性を復音しておく。
第		2		到達目標		のアセスメントができる。	資料	妊娠期の正常な経過
-,-		* 義		月左日保	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(のアセスメントができる。	具作	を復習しておく。分
		日邉				重測定、腹囲測定、子宮底測定、モニター装	-	娩期の正常な経過を
`	•	~		[大木] 1日		ラムの見方、妊婦疑似体験 ②分娩期:分		復習しておく。
						測定、児心音測定、圧迫法、マッサージ、呼吸		
					法、胎盤測定			
第		3	回	到達目標	産褥経過のア	セスメントができる。	資料	産褥期の経過を復習
(冓 義)	授業予定	産婦・褥婦の	観察:バイタルサイン、子宮底測定、悪露の観		しておく。
(E	日邉)		察、外陰部の	観察他、		
第		4	回	到達目標	新生児のアセ	スメントができる。	資料、	新生児期の生理的経
ĺ	Ī	冓 義)	授業予定	授業予定 新生児の全身観察:意識状態、全身状態、バイタルサイン測 沐浴物品、 定、身体計測、身体各部のアセスメント、反射、検査、臍 新生児体重			
ĺ	E	田邉)					
					処置、ビリ	ルビン測定、沐浴(演習)	計	
第		5	回	到達目標		をし、安全に沐浴ができる	沐浴に必要	新生児の観察とアセ
		構 義		授業予定	新生児の観察	、体重測定、沐浴、更衣、水分補給	な物品	スメントの復習をし
	_	日邉						ておく。
第			回	到達目標	新生児の観察	をし、安全に沐浴技ができる。	沐浴に必要	沐浴の目的、注意
		構義 日邉		授業予定	新生児の観察	、体重測定、沐浴、更衣、オムツ交換、水分補	な物品	点、沐浴の頻度、手順、沐浴後のケアに
Ĺ	-	山地	,		給			ついて学習する。
笛		7	同	到達目標	新生児の観察	をし、安全な沐浴ができる。	沐浴に必要	なぜ、大人と一緒に
		· 冓 義		授業予定	がユルッドス	EUN XIIIAMA CCO.	な物品	お風呂に入ってはい
		日邉		12,7,7,7	新生児の観察	、体重測定、沐浴、更衣	S 13 HH	けないのか考えまし
,					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			よう。
第		8	回	到達目標	母乳育児支援	に必要な基本的な指導ができる	資料	乳汁分泌について復
(Ī	冓 義)	授業予定	口의 국ロナゼ	リアナット 7 極助士法介(海珈)	1	習しておく。
(_	日邉)_		以 4 4 4 5 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	における援助方法①(演習)		
第		9	回	到達目標	退院後の生活	に必要な指導、1 か月後の健診の指導ができ	資料	退院後生活環境、社
		冓 義			る。			会資源について学修
(E	日邉)	授業予定	退院先、退院	時の生活、育児		しておく。
		1 0		到達目標	周産期におけ	るウェルネスの看護過程展開について理解す	資料	看護過程の復習をす
		冓 義			る。			る。
ĺ	ì	青岡)	授業予定	対象のアセス	メント、看護診断、計画立案、実施、評価		

第	1 1	回	到達目標	事例を用いて、グループで看護過程を展開する。	資料			
()	講義)	授業予定	グループワーク				
(清 岡)						
第	1 2	旦	到達目標	看護過程展開のグルプワーク	グループで			
()	講義)		事例を用いて、看護過程を展開することができる。	作成した資			
(清 岡)	授業予定	グループワーク	料			
第	1 3	回	到達目標	看護過程展開の発表をし、意見交換ができる。	グループで			
()	講義)	授業予定	が、 プーク よ 毛港 垣和 も 改士	作成した資			
(清岡)		グループで行った看護過程を発表	料			
第	1 4	回	到達目標	産科の医療事故事例から安全確保、妊産褥婦と家族への対応	資料	妊娠・出産における		
()	講義)		について理解する		医療事故の種類につ		
(清 岡)	授業予定	事故事例の分析、産婦の死亡、胎児・新生児の死亡等、事故		いて予習しておく。		
				発生時の対応(緊急連絡、説明)				
第	1 5	回	到達目標	<まとめ><母性看護学Ⅱ の筆記試験>	自分で用意	レポート作成し、提		
				母性看護学の学びをとおして、専門職としての母性看護の役	図書室利用	出		
				割についてレポートにまとめる。	可			
			授業予定	まとめ				
				終講試験(50分)				
				①まとめのレポート提出 ②筆記試験は、2 人の講師の配分				
				をきめて問題作成する。60 点以上を合格とする。				
				基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
成績	漬 評	価の	基準と方法	方法 : 沐浴の実施試験:20% 終講筆記試験 80%	レポート1	0 %、全体 100%の		
				内、60%未満は再試験とする。				
			テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔2〕母性看護各論:医	学書院 e テキス	F		
			, , , ,	ほか適宜提示				
使,	用教	材	参考図書	適宜提示				
			, , , ,	小林康江、中込さと子:ナーシング・グラフィカ母性看護学				
			その他	資料、パワーポイント、参考図書の提示				
授:	 授業以外の学習方法		の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。演習時間内では、技	技術の修得は困難	進です。		
				自己学習時間を利用して実習に備えて下さい。				
				母性看護の援助技術の中でも安全、科学的根拠に基づいた技術		. ,		
履	履修上の留意点							
				は科学的根拠に基づいた技術を修得するように知識を活用した	にがらトレーニン	/グしてください。		

精神看護学

担当教員 影山隆之 実務経験 大分県立科学大学 精神看護学研究室 教授 精神の健康とは何か、精神が健康であるためにはどの様な力が必要かについて学び、精神の障害とは 定義や捉え方を理解する。また、ストレスや精神の健康における危機とは何かを理解し、精神障害につ 予防に必要な力や支援について学ぶ必要がある。そして、人格の発達に関する代表的な理論を学び、人 と発達、対象との関係の中で自己が形成される過程を理解する。また、現代社会における精神保健・看はまりの背景を知り、精神の健康の概念と精神看護を実践するものとしての視点や態度を学ぶ。 DI	ながる危機の 間の心の構造 護ニーズの高 P への対応
上野	ながる危機の 間の心の構造 護ニーズの高 P への対応
精神の健康とは何か、精神が健康であるためにはどの様な力が必要かについて学び、精神の障害とは 定義や捉え方を理解する。また、ストレスや精神の健康における危機とは何かを理解し、精神障害につ 予防に必要な力や支援について学ぶ必要がある。そして、人格の発達に関する代表的な理論を学び、人 と発達、対象との関係の中で自己が形成される過程を理解する。また、現代社会における精神保健・看 まりの背景を知り、精神の健康の概念と精神看護を実践するものとしての視点や態度を学ぶ。 DI 1. 精神保健の基本と保持・増進に向けた基本的な看護について理解する。 DD2、I	ながる危機の 間の心の構造 護ニーズの高 P への対応
1. 精神保健の基本と保持・増進に向けた基本的な看護について理解する。 Dp2、I	
Dp2,I Dp 5	Dp3、Dp4、D Dp3、Dp4、
	i に 関 す る 備 学 習
第 1 回 到達目標 精神の健康の概念、心の機能と発達を理解する テキスト	
【講義】 授業予定 1. ガイダンス 2. 精神の健康の定義、精神障害の一次予防、二次予防、三次予防、精神と情緒の発達、自我の機能、防衛機制、精神力動、転移感情について説明する	
第 2 回 到達目標 精神の健康に関する普及啓発、危機(クライシス)を理解す テキスト 【 講 義 】 る	
授業内容 偏見、差別、スティグマ、精神保健医療福祉の改革ビジョン、危機(クライシス)の概念、予防、危機介入、ストレスと対処、適応理論について説明する。	
第 3 回 到達目標 身体と心は密接なつながりを持つ事、精神科看護においても 身体のケアに関する高度な知識や技術が必要である事を理解 する。 テキスト	
授業予定 心身相関と健康、身体・精神疾患がある者の精神の健康、患者と家族の精神の健康、保健医療福祉に従事する者の精神の健康、ホリステックケアについて説明する。	
第 4 回 到達目標 災害による人的被害を最小限にする方策と、危機に直面した テキスト 【講義】 人々への心理ケアについて理解する。	
授業予定 災害時の精神保健医療活動、災害時の精神保健に関する初期 対応と治療の継続について説明する。	
第 5 回 到達目標 精神科以外で精神保健看護の知識や技術を生かして活躍する テキスト 【 講 義 】 リエゾン精神看護専門看護師の役割について理解する。	
授業予定 リエゾン精神看護、患者、家族、保健医療福祉の専門職間の 連携促進について説明する。	
第6回 到達目標 1. オレムのセルフケア不足看護理論の考え方を理解する。 テキスト (講義) 2. セルフケアへの実際の援助や、生きる力と強さに着目した援助の考え方を理解する。 概要子室 食物・水公の摂取・原吸・排泄・海辺ト身がしなり、活動し	
授業予定 食物・水分の摂取、呼吸、排泄、清潔と身だしなみ、活動と 休息、対人関係、安全、レジリエンス、リカバリ(回復)ストレングス(強み、力)エンパワメントについて説明する。	
第 7 回 到達目標 ケアの関係の中心が感情である事、その感情を手掛かりにして自分を知り、相手を理解する事がケアの人間関係のもとになる事を理解する。また、関係をアセスメントする事の意味と方法、プロセスレコードの書き方と読み方を理解する。	
授業予定 感情を通して自分を知り相手を知る事、ケアの原則、ケアの	

		方法、なぜ関係のアセスメントが必要なのかについて考え、
		患者-看護師関係における感情体験、対処の難しい場面、医
		療の場のダイナミクスについて説明する。
第 8 回		まとめ
		終講試験(50分)
成績 載 価 σ	基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。
八根計画り	/ 基単こ / 伝	方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎:医学書院 e テキスト
	/ + /	②系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔2〕精神看護の展開:医学書院 e テキスト
使用教材	参考図書	③精神保健福祉 ④公衆衛生 ⑤社会保険 社会福祉 ⑥成人看護学 ⑦心理学 ⑧看護の統合と
	参 考 凶 音	実践 ⑨家族看護学 ⑩臨床薬理学 ⑪人間関係論
	その他	
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
履修上	の留意点	

科目区分	専門分野	科目名	精神看護方法論 I		1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時間	·
担当教員	影山 隆之	実務経験関連資格	大分県立看護科学大学 精神看護学研究室	教授	1
目 的	精神障害者支援 症の増加と言う	法の法制度も更業 新たな問題も出現 正常範囲の心理	大況は急速に変化している。急性期治療中心 所されてきたが、現実には長期入院患者の数 見している。それに伴い精神科医療の果たす ・精神的反応から、明らかに病的状態までの	は多く、高齢化に べき役割は量的に	よる身体合併症や認知 も質的にも極めて大き
目標	く看護につい 2. 精神疾患障 3. 精神障害が	て理解する。 害のある者の人材 どの様に受け止ぬ	勿・心理・社会的側面に注目した、多角的ア 権を守り、回復を支援する看護について理解 められ、精神障害者がいかなる扱いをされて 青神障害を持つ人を守る法・制度について理	する。 きたのか、精神医	DP への対応 Dp3 Dp2、Dp3、Dp4、 Dp5 Dp3、Dp5
授業回数〔方法〕			内容	使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	いて理解する。 1. ガイダンス 2. 脳の部位と 用、ストレス		作	
第 2 回 〔講義〕	到達目標授業内容	われているかり また、人にとっ ミクスについて 個人精神療法、	集団精神療法、集団療法、心理教育的アプ 助療法、生活機能技能訓練、電気けいれん療	か。 ナ	
第 3 回 〔講義〕	到達目標授業予定	精神障害を持っ を理解す る。 リハビリテージ 者の退院支援、	の人々の回復を支える様々な治療的アプロー ションの概念、国際生活機能分類、長期入院 精神科デイケア、精神科ナイトケア、精神 引看護について説明する。	患	
第 4 回 〔講義〕	到達目標授業予定	て、様々なプロ 事が出来る。 困難事例に関す	生活機能の回復を目的に外来治療の一環とし コグラムに従って治療を受けられる様に考え する行政(保健所、市町村、精神保健福祉セ 集について事例検討	3	
第 5 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	家族は単なる見る事を理解し、い事を理解する家族のストレス	患者の背景ではなく、ケアが必要なクライエントで家族をケアする際に気をつけなければならる。 スと健康状態のアセスメント、家族の対処力ポートのアセスメント、家族システムのアセ	な と	
第 6 回 〔講義〕	到達目標授業予定	地域で生活をないて、考える事	する統合失調症の患者を支える家族の支援に		

第 7		到達目標	精神障害者が地域で生活し、包括的かつ継続的なサービスの	テキスト	
〔講義)		提供を可能にする為の社会資源やサービスについて理解す		
			ప .		
		授業予定	精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方、社会資		
			源の活用とソーシャルサポート、セルフヘルプグループ、自		
			立支援医療、居宅介護、同行援護及び行動援護、重度訪問介		
			護、生活介護について説明する。		
44× 0	ᇤ	지수 다 든		ニナット	
• •	回	到達目標	精神障害者が地域で生活し、包括的かつ継続的なサービスの	テキスト	
〔講義	۱ ۱		提供を可能にする為の社会資源やサービスについて理解す		
			る。		
		授業予定	短期入所、共同生活介護、生活訓練、就労移行支援、就労継		
			続支援 A 型・B 型、共同生活援助、地域生活支援事業、精		
			神障害者保健福祉手帳について説明する。		
第 9	回	到達目標	精神障害者が地域で生活する為にどの様な調整が必要なのか	テキスト	
〔講義	1		を考え、社会資源やサービスの提供考える事が出来る。		
\ mv	´ -		社会資源の活用とケアマネジメントについて事例検討		
第 10	同	到達目標	人権と治療とのバランスの上に立つ「安全」について、基本	テキスト	
- •		判廷目际	へ惟と石原とのハノンスの上に立つ「女宝」について、基本 的な考え方を知り、患者の安全を守る為のリスクマネジメン	ノイグド	
〔講義	۱ ۱				
			トについて理解できる。自殺や自殺企図、自傷行為などの緊		
			急事態にどう対処すべきか、また、その予防について理解す		
			る。		
		授業予定	安全管理(病棟環境の整備と行動制限、自殺企図、自傷行		
			為、攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム、災害時の精神		
			科病棟の安全の確保)について説明する。		
第 11	田	到達目標	自由や権利を制限せざるを得ない状況にある精神科治療にお	テキスト	
〔講義	1		いて、精神障害や精神疾患を抱えた人の尊厳をいかにして守		
(m) 44			るかについて理解する。		
	-	授業予定	患者の権利擁護(当事者の自己決定の尊重、入院患者の基本		
		汉未了足			
			的な処遇、精神医療審査会、安全確保の為の隔離、身体拘		
***	_		東、行動制限)について説明する		
第 12		到達目標	保護室に入所し身体拘束の必要な患者の、自律性の尊重やプ	テキスト	
〔講義) [ライバシーについて考える事が出来る。		
		授業予定	患者の権利擁護について事例検討		
第 13	回	到達目標	精神医療と看護の歴史的変遷を知り、その歴史の中で精神医	テキスト	
〔講義)		療や看護を発展させた人物を学ぶ。また、精神疾患・障害と		
			地域・文化との結びつきを知り、その多様性と普遍性を理解		
			し、精神科看護師として知っておくべき法制度について理解		
			する。		
		授業予定	諸外国における精神医療の変遷(フィリップ・ピネル、ウィリアム・テュー		
		1X未了化			
			ク、クリフォート・W・ビアース、 エミール・クレヘ゜リン、ジークムント・フロイト、ユーゴ・		
			fェルルッティ、エガ ス・モニス)、日本における精神医療の変遷(相馬誠		
			胤、呉秀三)、精神保健医療福祉における看護師の役割につ		
			いて説明する。		
第 14	回	到達目標	個人としての精神障害者の権利を保障する法律について理解	テキスト	
〔講義)		する。		
		授業予定	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の基本的な考え		
			方、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院の		
			形態、精神保健指定医について説明する。		
第 15	同		まとめ		
NA TO	121				
	ļ		終講試験(50分)		

			方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。
	テキス	۳	①系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎:医学書院 e テキスト
	/ 1 /	I.	②系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔2〕精神看護の展開:医学書院 e テキスト
使用教材	参考図:	#	③精神保健福祉 ④公衆衛生 ⑤社会保険 社会福祉 ⑥成人看護学 ⑧看護の統合と実践 ⑨家
	少与囚	書	族看護学 ⑪人間関係論 ⑫在宅看護論 ⑬看護関係法令
	その	他	
授業以外の学習方法			指定した教科書を事前に読んでおくこと。
履修 上	の留意	点	

科目区分	専門分野	科目名	精神看護方法	ŧ論Ⅱ	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学期	後期	a Him as	時間	30 時間
担当教員	岩本 祐一	実務経験関連資格	大分大学医学部看護学科	基礎看護学講座精神		00 M/H
目 的	げる。また、精 の診断と分類、	「精神を病む」を神機能(思考・原 をれに基づく様々	本験とはどの様なものかを知 感情・意欲・知覚・意識・記 やな精神障害についても理解 台療については正確で安全な	2憶など)の障害であ なする。そして、精神	る様々な精神症 神科ではどの様な	E状を学び、精神障害 な治療が行われている 逐法、社会療法の実際
目標	看護における「	症状のとらえ方」 ・障害の特徴とネ	 賃護について基本的な知識を		と理解し、精神	DP への対応
授業回数〔方法〕			内容		使用教材	授業に関する
第 1 回 〔講義〕	到達目標授業予定	の「生きる」。 事で「症状のる 様々な病気の記	とはどう言うものなのか、 と言う文脈の中で考え、様々 とらえ方」を理解する 説明の仕方をさぐる、精神症 様々な精神症状について説明	な精神症状を知る	テキスト	
第 2 回	到達目標		大を知る事で「症状のとらえ		テキスト	
〔講義〕	授業内容	症状とは何か、	様々な精神症状について説	き明する		
第 3 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	について理解す	充合失調症障害および妄想性 する 症状、病型とその分類、疫学		テキスト	
		病と回復のプロ	コセスについて説明する			
第 4 回 〔講義〕	到達目標 授業予定	について理解で 統合失調症の振	充合失調症障害および妄想性 する 定状、病型とその分類、疫学 コセスについて説明する		テキスト	
第 5 回 〔講義〕	到達目標	気分(感情) 『	章害,双極性障害の症状と看記		テキスト	
	授業予定		章害の歴史、病の体験、主要: 台療について説明する	症状、経過と予後、		
第 6 回 〔講義〕	到達目標	疾患について			テキスト	
	授業予定		章害、強迫性障害、重度スト 章害、身体表現性障害、そ <i>の</i> する			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	理解する	よび身体的要因に関連した行		テキスト	
Adr. 0 □	授業予定	全、性同一障害	民障害(精神的要因によるも 害などについて説明する ・ 歴史・ 羽舞なななが無いな	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- h - 1	
第 8 回 〔講義〕	到達目標	神遅滞)、心理	ィ障害、習慣および衝動の障 的発達の障害についての看言 ィ障害の分類、アルコール症	護を理解する	テキスト	
第 9 回 〔講義〕	到達目標	精神科ではどの	能力障害について説明する □様な治療が行われているか 寮について学び、正確で安全		テキスト	

	授業予定	精神科における治療、薬物療法・電気けいれん療法について	
		説明する	
第 10 回	到達目標	精神科ではどの様な治療が行われているかを学ぶ。精神科に	テキスト
〔講義〕		おける薬物治療について学び、正確で安全な薬について理解	
		する	
	授業予定	精神科における治療、薬物療法・電気けいれん療法について	
		説明する	
第 1 1 回	到達目標	精神科治療の薬物療法と並ぶ柱である精神療法とはどの様な	テキスト
〔講義〕		ものか、実際どの様に用いられているのか理解する	
	授業予定	個人療法、集団精神療法、家族療法、環境療法・社会療法に	
		ついて説明する	
第 1 2 回	到達目標	小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害について理解す	テキスト
〔講義〕		3	
	授業予定	自閉症スペクトラム障害、コミュニケーション障害群、注意	
		欠如・多動性障害、限局的学習障害、運動障害群について説	
		明する	
第 13 回	到達目標	オレムのセルフケア不足看護理論(看護過程)を理解する	テキスト
〔講義〕	授業予定	事例検討(統合失調症-成人期・急性期、双極性障害-慢性	
		期)	
第 1 4 回	到達目標	オレムのセルフケア不足看護理論(看護過程)を理解する	テキスト
〔講義〕	授業予定	事例発表(統合失調症-成人期・急性期、双極性障害-慢性	
		期)	
第 15 回		まとめ	
		終講試験(50分)	
改善部件) 基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。	
	/ 基 华 C 刀 伝	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。	
	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎	:医学書院 e テキスト
 使 用 教 材		②系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔2〕精神看護の展開	: 医学書院 e テキスト
使用教物	参考図書		
	その他		
授業以外	の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
履修上	の 留 意 点		

看護の統合と実践

科目区分	専門分野	科目名	看護マネジメント	単 位	1 単位
対象学年	3 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
De 112 441. E	①眞弓 恵美子	実 務 経 験	①九州大学病院別府病院 副院長・総看護師長	- 분	•
担当教員	②濱砂 勇矢	関連資格	②新別府病院 看護師		
	看護の機能を充っ	分に発揮できる。	ようにチーム医療及び多職種との協働の中で、看	 重護におけるマネ	ベジメント及び看護師
目 的	としてのメンバ	ーシップやリータ	マーシップの基礎を理解する。また、災害看護を	を学び、看護の場	湯に応じた基礎的能力
	を養う。				
					DP への対応
	1. 看護をしく	みととらえ、より)よい看護の提供を追求するために人的・物的・	・財的資源の有	DP1.3.4.5.6
目 標	効利用を考え	、それを維持・清	5月するためのしくみを理解する。		D P 2,3,4,6
	2. 看護職に求	められるグローィ	バルな視点を理解する		
	3. 災害医療の	概要と、災害看護	隻に関する知識・技術を理解する		D P 1,2,3,4,5,6、
授業回数			内容	 使 用 教 材	授業に関する
〔方法〕			1144	E /11 4X 14	準 備 学 習
第 1 回	到達目標	看護における。	マネジメントを理解する	テキスト①	教科書の指定部分を
〔講義〕	授業予定	1. ガイダンス	ζ	配布資料	事前に読んでおくこ
(眞弓)		2. 看護マネシ	ジメントの概念について説明する		と
		3. 看護のマネ	トジメントが行われる場について説明する		
		4. 看護におり	けるマネジメントの考え方について説明する		
第 2 回	到達目標		けるマネジメントを理解する	テキスト①	医療安全と看護
〔講義〕	授業内容		川の尊重、意思決定の支援について説明する	配布資料	
(眞弓)		2. 安全管理、	医療事故対策、院内感染対策について説明す		
		3			
			:対応、チーム医療について説明する		
第 3 回	到達目標] アマネジメントを理解する	テキスト①	看護学概論 第 14
〔講義〕	授業予定		ドャリア形成について説明する	配布資料	回目
(眞弓)			トジメントについて説明する		
# 4 E	初本日無		マネジメントについて説明する	1 0	
第 4 回 〔講義〕	到達目標		こおけるマネジメントを理解する	テキスト① 配布資料	
(眞弓)	授業予定	1. 組織として	この看護サービスマネジメントについて説明す	即仰貝科	
(典句)		_	ごス提供のしくみ(人材・施設設備・物品・情		
		4) について			
			けるリスクマネジメントについて説明する		
			平価について説明する		
第 5 回	到達目標		こ必要な知識と技術を理解する	テキスト①	
〔講義〕	授業予定		トジメントについて説明する	配布資料	
(眞弓)			ノップとマネジメントについて説明する		
			冬について説明する		
第 6 回	到達目標	看護を取り巻く	、諸制度を理解する	テキスト①	看護学概論 第13
〔講義〕	授業予定	1. 看護職の専	厚門性について説明する	配布資料	回目・14回目
(眞弓)		2. 医療制度に	こついて説明する		
		3. 看護政策と	:制度について説明する		
第 7 回	到達目標	看護マネジメン	/ トにおける一看護師としての役割と責任を理	配布資料	K J 法を用いて、グ
〔講義〕		解する			ループで課題に取り
(眞弓)	授業予定	1. 看護者の専	厚門性と責任について説明する		組むため、教材を集
		2. グループで	での考えをまとめ、プレゼンテーションを行う		めておくこと
		(演習)			
第 8 回	到達目標	災害医療におり	ける基礎知識を理解する	テキスト②	テキスト②P2~16
〔講義〕	授業予定	1. 災害の種類	頁と健康障害について説明する	配布資料	は講義開始前に必ず
(濱砂)		2. 災害医療の)特徴について説明する		読むこと

		2 《字)、桂切について説明さて	1	<u> </u>		
		3. 災害と情報について説明する				
		4. DMAT について説明する				
	到達目標	災害看護における基礎知識を理解する	テキスト②	第2回目講義		
〔講義〕		1. 災害看護の特徴と看護活動について説明する	配布資料			
(濱砂)		2. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護について説				
		明する				
第 10 [到達目標	災害看護の展開を理解する	テキスト②	演習は体操服で参加		
〔講義〕	授業予定	1. トリアージについて説明し、体験する	付録	のこと		
(濱砂)		2. 応急処置について説明し、体験する	DVD 学習			
			トリアージ			
			タッグ			
第 11 [到達目標	災害看護の展開を理解する	テキスト②	演習は体操服で参加		
〔講義〕	授業予定	1. トリアージについて説明し、体験する	付録	のこと		
(濱砂)		2. 応急処置について説明し、体験する	DVD 学習			
			トリアージ			
			タッグ			
第 1 2 [到達目標	被災者特性に応じた災害看護を理解する	テキスト②			
〔講義〕		1. 対象に対する災害看護について説明する	- 配布資料			
(濱砂)		(子ども・妊産婦・高齢者・障害者・精神障害者・				
, ,		慢性疾患患者・在日外国人)				
第 1 3 [到 到達目標	災害とこころのケアについて理解する	テキスト②			
〔講義〕		1. 被災者のこころのケアについて説明する	配布資料			
(濱砂)		2. 遺族のこころのケアについて説明する	起师莫不			
((((((((((((((((((((3. 被災救援者、救援者のこころのケアについて説明する				
第 1 4 [1 到達目標	国際看護の概要を理解する	テキスト②			
		看護とグローバル化した社会について考え、理解する	配布資料			
(濱砂)		1. 看護職に求められるグローバルな視点、グローバルヘル				
	1人来了足	スについて説明する				
		2. 文化を考慮した看護について説明する				
		2. 文化を考慮した有談について記切する 3. 国際協力のしくみ、国際救援と看護、災害被害の国際化				
AAC 1 F G	=1	について説明する				
第 1 5 [i 	^레	まとめ				
		終講試験(50分)				
成績評価	の基準と方法	基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。				
	1	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
	テキスト	①系統看護学講座 看護の統合と実践〔1〕看護管理:医学書院 e テキスト				
 使用教相	/	②系統看護学講座 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学:医学書院 e テキスト				
~ /13 3/ 1	参考図書					
	その他	配布資料、DVD(災害看護)、トリアージタッグ				
授業以外	外の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上	の留意点	講義内での演習や課題に主体的に取り組んでください。				

科目	区	分	専門分野	科 目 名	医療安全と看護		単位	1 単位
対 象	学	年	2 学年	学 期	前期		時 間	30 時間
Det Ale	. n.		①中谷 直美	実 務 経 験	①国立病院機構西別府病院 看	護師・看護師長		
担当	教	貝	②服平 敏枝	関連資格	②病院における看護師経験・別	府市医師会立別	府青山看護学校	交 専任教員
目		的	医療安全の基礎	的知識を理解し、	その知識を基に安全に医療看護	を提供できる基	礎的能力を養う)
-		land						DP への対応
目		慓	医療安全に関す	る最新の知識を	学び、主体的に安全を守る技術を	理解する		DP3, 4
授 業	口	数					 	授業に関する
〔方	法				内容		使用教材	準 備 学 習
第 1	1	田	到達目標	医療安全と看記	隻の理念を理解する		テキスト①	教科書の指定部分を
〔講	義		授業予定	1. ガイダンス	ζ		配布資料	事前に読んでおくこ
(服	平)		2. 医療安全の	D意味とその重要性について説明	する		٤
				3. 医療事故の	D定義と看護業務について説明す	る		
				4. 看護職の活	去的規定と医療安全について説明	する		
第 2	2	回	到達目標	看護事故のメカ	カニズムと看護事故防止の考え方	を理解する	テキスト①	
〔講			授業内容	1. 事故発生の	Dメカニズムについて説明する		配布資料	
(服	平)		2. ヒューマン	/エラーについて説明する			
				3. 人間特性	こついて説明する			
第 3		回	到達目標	第2回と同じ			テキスト①	
〔講			授業予定	4. 事故分析	こついて説明し、演習する		配布資料	
(服)						
第 4		回	到達目標		こおける事故防止について理解す		テキスト①	
〔講			授業予定		こ関する看護業務の事故防止につ		配布資料	
(服				1. 転倒・転落				
第 5		回	到達目標		患者に投与する看護業務における	事故防止につ	テキスト①	
〔講				いて理解する			配布資料	
(服	平)	授業予定		る業務における事故防止について	説明する		
Mr /			加去口標		2. 医療機器 3. 輸血		11 	
第 6		回	到達目標	第5回と同じ	2 类型 = 1.11.2	=2410.1- >	配布資料	
〔 講 (服			授業予定		る業務における事故防止について			
			 到達目標	4. 内服与薬茅	養務 5.経管栄養 6.チ 共通する事故防止について理解す	ューブ管理	テキスト①	
第 7 〔 講		回			^も 通する事故防止について達解す とて共通する事故防止について説		配布資料	
(服			授業予定	1. 関域をこと 1) 患者間違		1971 9 3	癿仰貝竹	
(AIX	•	´		, , , , , , ,	±v· <u></u> 夏やタイムプレッシャー			
				,	なと行動パターン			
				· ·	事故防止について説明する			
第 8	3	口	到達目標		ミュニケーションについて理解し	、危険予知ト	テキスト①	演習においてグルー
〔講				レーニングを写			配布資料	プと協力し、自分の
(服		ŀ	授業予定	1. チームスラ		3		意見が述べられるよ
				2. KYT 演習	について説明し、演習する			うにしておくこと
第 9	9	回	到達目標	第8回と同じ			テキスト①	η
〔講	義)	授業予定	第8回と同じ			配布資料	
(服	平)						
第 1	0	口	到達目標	安全管理体制	と医療安全対策の国内外の潮流に	ついて理解す	テキスト①	
〔講	義			る			配布資料	
(服	平)	授業予定	1. 組織の安全	全管理体制について説明する			
				2. 医療安全效	付策の国内外の潮流について説明	する		
第 1	1	回	到達目標	医療安全への耳	又り組みと事故発生のメカニズム	に関わるリス	テキスト①	
〔講	義)		クマネジメント	、の実際を理解する			
(中	谷)	授業予定	1. 国の医療領	安全への取り組みについて説明す	3		

	2. 看護職能団体の取り組みについて説明する				
	3. リスクマネージャーの役割とリスクマネジメントについ				
	て説明する。				
第 1 2 回 到達目標	看護における医療事故と安全対策を考え、事故分析について	テキスト①			
〔講義〕	理解する				
(中谷) 授業予定	1. 看護業務と事故発生要因について説明する				
	2. 臨床におけるインシデントや医療事故の種類と対策につ				
	いて説明する				
	3. 事故分析を説明する。				
第 1 3 回 到達目標	医療事故後の対応を理解する	テキスト①			
〔講義〕 授業予定	1. 医療事故発生時の初期対応の考え方と方法について説明				
(中谷)	する				
	2. 紛争化の防止対策について説明する				
	3. 専門職としての備えについて説明する				
第 1 4 回 到達目標	医療の質の評価を理解する	テキスト①			
〔講義〕 授業予定	1. 医療事故の報告制度、医療の質の評価について説明する				
(中谷)					
第 1 5 回	まとめ				
	終講試験(50分)				
成績評価の基準と方法	基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。				
	方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。				
使用教材 テキスト	系統看護学講座 看護の統合と実践〔2〕医療安全:医学書院 e テキスト				
参考図書					
その他	配布資料、DVD (医療安全)				
授業以外の学習方法	指定した教科書を事前に読んでおくこと。				
履修上の留意点	講義内での演習や課題に主体的に取り組んでください。				

科	目区	分	専門分野	科	 目 名	看護実践演習	単位	1 単位	
	象学		3 学年	学	期	後期	時間	30 時間	
					経験	病院における看護師経験	1.4	2. 31.4	
担	当 教	員	服平 敏枝		資格				
			人々を理解する	力、人々	中心の	ー ケアを実践する力、看護の質を改善する力とい	う看護実践能力を	ま身につけ、複雑な状	
目		的	況下での看護場	面を想定	どし、適	切な看護判断ができる能力を養う。			
								DP への対応	
			1. 基本的な看	護技術を	:活用し	、対象にあった援助を考え安全安楽に実施するこ	ことを理解する	DP1.2.3.4.6	
目		標	2. 既習学習や	臨地実習	で得た	知識や技術を統合し、看護援助を提供することを	を理解する	D P 1,2,3,4,5,6	
_		μ,		即したり	汁況での	看護実践を行い、自己の看護技術を振り返り課題	題を見出すこと	D P 1,2,3,4,6	
			,,,,	を理解する					
Lett	- AUL	Met.	4. クリティカ	ルケア看	護の基	本的概要を理解する	# m # #	DP3,4	
	業回去は					内容	使 用 教 材 	授業に関する	
第	方 法 1	<u>」</u> 回	到達目標		***	能力を理解する	①配布資料	準 備 学 習 <td <="" rowspan="2" th=""></td>	
- •	講義		型達日標 授業予定		で表践		②課題プリ	判断"の講義資料を	
	神 表	,	1又来了た	_ • • •		へ 実践能力について説明する	ントA	準備し、復習してお	
				_		☆体像をとらえる1 について説明する		子間で、後日でで	
第	2	回	 到達目標			をとらえることについて理解する	1)(2)	課題プリントAに	
-,-	講義		授業内容					ついての調べ学習を	
·						別性をふまえた援助について説明する		しておく	
								・グループ学習	
第	3	口	到達目標	対象の	変化に	応じた看護を考え、理解する	③課題プリ	・課題に必要な学習	
(講義)	授業予定	対象の	変化に	応じた看護について説明する	ントB	の準備をしておく	
第	4	口	到達目標	対象の	変化に	応じた看護を考え、理解する	3	・課題プリントBに	
(講義)	授業予定	対象の	変化に	応じた看護について説明する		ついての調べ学習を	
								しておく	
								・グループ学習	
第	_	回	到達目標			ケア看護が必要な対象の特徴と援助を理解する	①、④	・既習した基礎看護	
Ĺ	講義	J	授業予定	-	-	カルケア看護の専門性について説明する CLS について説明し、体験する(演習)	DVD視聴 CPR 器具	技術の復習をしてお く	
				2. D	LS, A	こと3 について説明し、体験する(便音)	AED	` ・グループ学習	
笛	6	同	到達目標	クリテ	・ィカル	ケア看護が必要な対象の特徴と援助を理解する	(1)	・既習した基礎看護	
	講義		授業予定	+		カルケア看護の専門性について説明する	CPR 器具	技術の復習をしてお	
,		-	2010470			CLS について説明し、体験する(演習)	AED	<	
								・グループ学習	
第	7	回	到達目標	対象の	変化に	応じた看護を考え、理解する	123	・看護実践演習に向	
(講義)	授業予定	対象の	変化に	応じた看護について説明し、体験する(演習)		けた準備と練習をグ	
								ループで行う	
	8	回	到達目標	対象の	変化に	応じた看護を考え、理解する	123	・看護実践演習に向	
(講義)	授業予定	対象の	変化に	応じた看護について説明し、体験する(演習)		けた準備と練習をグ	
***								ループで行う	
第		回回	到達目標	+		応じた看護を考え、理解する	123	・看護実践演習に向	
Ĺ	講義	J	授業予定	対象の) 変化に	応じた看護について説明し、体験する(演習)		けた準備と練習をグ	
笄	1 0	同	到達目標	対象の	変化に	応じた看護を考え、理解する	(1)(2)(3)	ループで行う ・看護実践演習に向	
	講義		授業予定			心した有護を考え、垤肝する 応じた看護について説明し、体験する(演習)		けた準備と練習をグ	
	भाग चंद्र	,		V13/0	火ルに			ループで行う	
第	1 1	回	到達目標	オリエ	ンテー	ションを受け、シミュレーションテストに向け	⑤シミュレ	・既習学習の臨床判	
	講義		- 400 H M		・・ に備を理		ーションテ	断を復習しておく	
`	,4	-	授業予定			ーションテストについて説明する	スト要項		
				1			1	l	

					2. 知識確認テストについて説明し、実施する								
第	1	2	口	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	234	・事例に応じた看護						
(講	義)	授業予定	シミュレーションテストの実施	⑥卒業時目	実践について学んだ						
						標到達度表	ことを復習しておく						
第	1	3	回	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	2346	・事例に応じた看護						
(講	義)	授業予定	シミュレーションテストの実施		実践について学んだ						
							ことを復習しておく						
第	1	4	回	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	2346	・事例に応じた看護						
(講	義)	授業予定	シミュレーションテストの実施		実践について学んだ						
							ことを復習しておく						
第	1	5	回		まとめ	⑦リフレク	・自己の看護実践を						
					終講試験(50分)	ションシー	振り返り、再度学習						
						ŀ	を深める						
					基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。								
成	績	評(囲の	基準と方法	方法 : レポート10%、知識確認テスト30%、シミュレー	-ションテスト 6	0 %、						
					以上の合計100%で60%未満は再試験とする。								
				テキスト									
使	用	教	材	参考図書									
				その他	①配布資料、②課題プリントA、③課題プリントB、④D V D急変時の看護								
授	業	以	外	の学習方法	積極的に事例検討と看護実践のトレーニングを行ってください	(,,0							
履	僧	· -	Ŀ	の 留 意 点	講義内での演習や課題に主体的に取り組んでください。								

臨地実習

科	目区	3 分	専門分野	科目名	基礎看護学実習I	単 位	1 単位							
対	象学	牟年	1 学年	学 其	後期	時 間	45 時間							
押	当 教	t 昌	岡部 裕美	実 務 経 駅	病院における看護師経験									
15	J 32	^ ~	1号67 旧人	関連資	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員									
			初めて「看護の	D場」を体感し	、そこが治療の場であるとともに生活の場である	ことに気づき、	環境が患者に与える影							
目		的		.,.,.	ことが出来ることを目的とする。また、患者とコ	•								
-				り能力を養う。病院で行われている看護に初めて触れる実習である。 看護師だけではない多職種と共に										
			行われるチーム											
							DP への対応							
			1.入院患者の生活	DP1 · 2 · 3										
目		標	2. 患者の生活の	•		DP1 · 2 · 3								
				•	:図ることができる。		DP1							
					後の学習の動機付けにできる。		DP5 · 6							
					こることができる。		DP1 · 4							
概		要		・病院の組織・構造・機能、看護の機能と役割について見学及び説明を受け理解する。 ・看護師と共に行動し、看護活動の実際を理解する。										
			・看護師と共に行	行動し、看護:	舌動の実際を理解する。									
方		法	病棟単位に実習	を行う										
実	習場	,所	国立病院機構西原											
			九州大学病院別	府病院										
				基準 : 履修規定第29条に規定する評価基準に準ずる。										
成	績 評	価の	ン基準と方法		に評価項目を定め、それに沿って評価する。									
			1		点以上が合格、60点未満は別紙に定めるとおり刊	再実習を行う。								
			テキスト	看護学概論	医学書院)、基礎看護技術 I ・ II (医学書院)									
使	用教	女材	参考図書											
			その他											
臨	地 実	習以	外の学習方法	実習に必要な事前学習にしっかりと取り組みましょう。										
				これまで学んできた知識、技術を復習し、実習の中で使えるようにしましょう。										
履	修	上	の留意点	i 看護の基礎となる実習です。実習の中での「気づき」を今後につないでいきましょう。										
				実習は、メ	/バー、指導者、教員の力を大いに活用しましょ	う。								

科目区	分	専門分野	科	目	名	基礎看護学実習Ⅱ	単	位	2 単位			
対象学	年	2 学年	学		期	前期	時	間	90 時間			
担当教	ш	岡部 裕美	実	務経	験	病院における看護師経験						
担当教	只	岡即 竹夫	関	連資	格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員						
目	的	は、病気や障害、援を行う技術である。今患者にある。今患者にある。	加齢をし、	や具体に	弱ない・睡	可かを考え、生活を整える援助を理解する実習で どの理由から自力では日常生活に支障をきたす。 は、生活・療養環境を整え、身体の清潔を保ち、 民をとり、姿勢を保ったり体位を変えたり移動。 - ドは何か、必要としている援助は何かを見出し 意し、自立を促す方法で考え、指導者とともに気	患者に対して 適切な衣服・移乗したり 、患者に合	、 を する った	その必要度に応じた支 選んで更衣・整容を行 ることへの援助技術で 日常生活援助を、安			
									DP への対応			
目	標	1.受け持ち患者とコミュニケーションをとることができ、良好な援助関係について考えることができる。 DP1 2.患者に必要な日常生活援助を理解できる。 DP2・3 3.患者に必要な日常生活援助を安全・安楽・自立に向けて、援助計画を立案できる。 DP2・3 4.患者に必要な日常生活援助を指導者とともに実施し、評価・考察できる。 DP2・3 5.自分の言動に責任を持つことができる。 DP4 6.医療チームの一員として、病棟内スタッフとの連携の必要性が理解できる。 DP5 6.看護実践をとおして、援助の意味を考えることができる。 DP3・6										
						患者に必要な日常生活援助を指導者とともに実施	ニューニー 新する		D13 0			
概	要	・コミュニケージ・自分の言動に	ショニ責任さ	/をと を持つ	おし、	て良好な人間関係を図る。 から、援助の意味を考える。						
方	法	病棟単位に実習る	を行っ	5								
		受け持ち患者を	1 名排	旦当し	、援助	助を考える。						
実 習 場	所	国立病院機構西原 九州大学病院別府										
成績評	価の	九州人子柄阮州府柄院 基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 別に評価項目を定め、それに沿って評価する。 60 点以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり再実習を行う。										
		テキスト	看記	隻学概	論(医	学書院)、基礎看護技術 I ・ II (医学書院)						
使用教	材	参考図書										
		その他										
臨地実習	引以	外の学習方法	実	習に必	要な事	事前学習にしっかりと取り組みましょう。						
履修	Ŀ	これまで学んできた知識、技術を復習し、実習の中で使えるようにしましょう。 の 留 意 点 看護の基礎となる実習です。実習の中での「気づき」を今後につないでいきましょう。 実習は、メンバー、指導者、教員の力を大いに活用しましょう。										

科	目区分	専門分野	科	目 名	基礎看護学実習Ⅲ	単 位	2 単位							
対	象学年	2 学年	学	期	後期	時 間	90 時間							
担	当教員	岡部 裕美	実 矟	経験	病院における看護師経験									
	-	F 411 112	関連	資 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員									
		医療機関で健康	康障害によって入院治療を受けている患者を 1 名受け持ち、看護過程を展開する基礎的な能力と看護											
					的には日常生活援助技術を用いて患者の生活を鏨									
目	的		するための援助を計画											
		に基づいて実践する。また、実践した自らの看護を振り返ることで、個別性に応じた援助と看護職者にふさわしい態度												
	や学習姿勢について学ぶ。													
							DP への対応							
			な情報	又集、ア	セスメント、看護問題の特定、看護計画の立案、	実施、評価が								
目	標	できる。					DP3							
				選を通して、看護職者としてふさわしい態度を身につけることができる。 DP1・2・3・4										
			3. 患者との関りを通して、患者の療養生活と看護のつながりについて考えることができる。 DP1・2・3・5・6											
		・受け持ち患者を1名担当し、看護過程を展開する。												
概	要	・看護実践の中の「気づき」を活用し、援助に反映できる。 ・看護チームの一員であることを自覚し、責任ある行動をとる。												
				あること	を目覚し、責任ある行動をとる。									
方	法	病棟単位に実習	- 1	les ==										
		受け持ち患者を			***									
実	習場所	国立病院機構別府医療センター												
		国立病院機構西別府病院												
_A.	Maria Maria	. # 3# 1 1- 14	'		多規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。									
队;	複評価の) 基準と方法	力法		こ評価項目を定め、それに沿って評価する。 - トローバム セーベルト サル門 (1977) マイント りょ	五世初3 / / >								
		1	ac =#:		点以上が合格、60点未満は別紙に定めるとおり	与 美容を行う。								
		テキスト	有謢	子慨論(1	医学書院)、基礎看護技術 I ・II (医学書院)									
使	用教材	参考図書												
mbr J	ik eta 전로 N	その他	संस्त्राच	- V == 4	古坐丛羽(2) 2 6 1 15 1 6 1 7 2 2 1 >									
叫 J	10 美 曾 以	外の学習方法			事前学習にしっかりと取り組みましょう。	1. > 1 1 1	-							
	Mr I.	o 67 - ≠ .⊩		•	できた知識、技術を復習し、実習の中で使える。		*							
腹	11岁上	の留意点	点 看護の基礎となる実習です。実習の中での「気づき」を今後につないでいきましょう。 実習は、メンバー、指導者、教員の力を大いに活用しましょう。											
			天習	ょ、メン	ハー、指导有、教具の刀を天いに活用しましょ	<i>)</i> 。								

科目区分	専門分野	科	目	名	地域・在宅看護論実習 I	単	位	2 単位						
対象学年	1 学年	学		期	前期	時	間	90 時間						
中 小 李 昌	太畑 孝之	実	務経	験	病院における看護師経験									
担 当 教 員 	木畑 孝子	関	連資	格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員									
目 的	地域の様々な	ライ	フステ	ージに	こある多様な人々の日々の生活を知り、人々の何	健康上の謬	果題や	人々の暮らしを支える						
= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ものについて理解	解す	る。ま	た、看	旨護の道への学習意欲を高め看護学生として学ぶ	ぶべきこと	を明確	にする。						
								DPへの対応						
	1. 地域に暮らる	す人	々と、	適切力	な言葉遣いと内容でコミュニケーションを図る。			DP1						
	2. 地域に暮らる	す多	様な人	々のE	日々の活動を理解する。			DP2 · 3 · 4						
目 標	3. 地域に暮らる	す多	様な人	々の仮	建康上の課題を理解する。			DP2 · 3 · 4						
	4. 地域住民の	建康	な暮ら	しをラ	支える人々の活動を理解する。			DP2 · 3 · 4 · 5						
	5. 看護学生と	5. 看護学生としての自覚をもち、責任ある行動をとる。 DP4												
	6. 看護を学ぶ	DP6												
	入学後早期の	5月	末から	6月1	はじめに設定し、医療・看護における知識がほる	とんどない	状態で	ご 臨む見学を中心とし						
	た実習である。ス	と実習である。本実習では、地域の人々が生活する様々な場に足を運び、人々の生きるための活動、生活を支えるた												
	めの活動を知る	こと・	で、地	域に暮	暮らす人々が支え合いの中で生きていることを、	五感をと	おして	「感じながら人々の暮						
概 要	らしについて想信	らしについて想像し、看護の対象として意識していくことをねらいとしている。同時に、様々な活動の場で展開する												
	実習はグループで計画・行動することを基本としながら自ら考え行動できる力を養い、今後の学習や学校生活を送る													
	ために必要な協調性や主体性を身につけるための導入となること、人々の健康な暮らしを支える看護への期待を膨ら													
	ませ看護を学ぶ	ませ看護を学ぶ目的を明確にすることを期待している。												
方 法	臨地実習(見学)	臨地実習(見学実習)・学内実習												
	別府市内自治会	・老	人クラ	ブ等名	各種団体 (別府市 健康推進課)									
	児童館・子育て支援センター													
	・北部児童館・西部児童館・子育て支援センター・南部児童館・子育て支援センター													
	社会福祉協議会													
実習場所	別府市医師会地均	別府市医師会地域保健センター												
	別府市内診療所													
	・岡田眼科医院	・か	めがわ	耳鼻叫	因喉科・矢田こどもクリニック・おおさわクリニ	ニック・岡	島医院	Ē						
	・佐藤整形外科	医院	・平井	整形外	小科医院									
	別府市内病院				Latinia della dini									
	・内田病院・児				や病院・村橋病院									
					規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。									
成績評価の)基準と方法	方	去 :		評価項目を定め、それに沿って評価する。									
	l				以上が合格、60点未満は別紙に定めるとおり事	事実習を行	「う。							
	テキスト	系統	統看護	学講座	蓝 統合分野 在宅看護論(医学書院)									
使 用 教 材	参考図書													
臨地実習以	外の学習方法													
履修上	の留意点		- / -	/	人々の生活の場で展開される実習です。気持ち <i>の</i>	Dよい挨拶	をはじ	ぬとし、基本的な姿						
		勢	・態度	には	十分心がけ実習に臨みましょう。									

科目区分	専門分野	科	1 名	地域・在宅看護論実習Ⅱ	単 位	2 単位					
対象学年	3 学年	学	期	後期	時 間	90 時間					
担当教員	木畑 孝子		経験資格	病院における看護師経験 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員							
目 的	度を身につける。	こと、ま	た、(医	族の多様な生活を理解し、地域において看護を実 療や介護が必要な)人々が可能な限り住み慣れ ための包括的な支援や看護の役割について深くま	た地域で、自分	らしい暮らしを、人生					
目標	1. 在宅で療養する人とその家族・周囲の人々と良い人間関係を築く。 2. 地域で療養する人とその家族・周囲の人々の様々な価値観を知り、個別に応じた看護を実践する。 3. 在宅で療養する人とその家族の望みを尊重し、科学的根拠に基づいた看護を実践する。 4. 在宅で療養する人とその家族の暮らしを支える多職種との連携・協働の必要性と看護師の役割を理解する。 5. 在宅で療養する人とその家族が望む暮らしを実現するために必要な法律・制度を理解する。 6. 専門職業人としての倫理や責務について考え、すべての人々に対して誠実な態度で接する。 7. 看護職としての将来像を描く。 DP1 DP2・3 DP5 DP5 DP5										
概要	3年次の9月~ 識・技術を応用 を実現するための て、自助・互助 いくことをねらい らしは人と人との	~10月と し、居宅 の地域 ・共め いさ の 自己 の もこの	看護学(在宅)2括ケア公助のいいる。支価値観	次3年間の集大成となる時期に位置づけている。 や施設で療養する人とその家族の看護、住み他 システム、システムの中で活躍する多職種の連携 観点から人々の生活を幅広く理解し、専門職とし 人は、地域で生まれ、地域で最期の時を迎える、 え合いによって成り立っていることを理解してい に新たな気づきを得ること、看護師としての姿勢	貫れた地域や居年 関の実際を学び、 しての看護師の役 人々の暮らした いく中で、いのも	とおして培ってきた知 さ(在宅)での暮らし その過程をとおし 设割を明確に自覚して は地域にあり、その暮 らの尊厳、人々の価値					
方 法	臨地実習										
実 習 場 所	別府市内・外訪問 別府市地域包括 高齢者福祉施設			ョン							
基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 成績 評価の基準と方法 方法 : 別に評価項目を定め、それに沿って評価する。 60 点以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり再実習を行う。											
使用教材テキスト系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 (医学書院)参考図書その他講義資料											
臨地実習以外の学習方法											
履修上の留意点 気持ちのよい挨拶をはじめとし、基本的な姿勢・態度には十分心がけ実習に臨みましょう。 た、地域・在宅看護論実習Ⅱは、基本的な看護技術の応用の極みとなります。安全・安楽な扱 提供するために十分な学習・練習をしてから実習に臨みましょう。											

科目区分	専門分野	科目	名	成人・老年看護学実習 I	単位	立	2 単位					
対象学年	3 学年	学	期	前期	時間	副	90 時間					
担当教員	小林 恭子	実 務 経	験	病院における看護師経験								
		関連資	格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員								
	健康レベル別に	見た急性期	月にお	ける看護を学ぶ。病態や症状が急激に変化した	状態の患者や	, Ξ	手術を受ける患者、検					
目 的	査を受ける患者を	を受け持ち、	、治療	寮や看護によって回復に向かう患者を身体的・*	青神的・社会的	勺側	面から理解していく。					
	看護を展開する「	中で、患者	に必要	要な援助を考え、良い方向に向かうことができる	るよう看護を算	美践	する。					
							DP への対応					
	1. 急性期(周征	1. 急性期(周術期)にある対象の特徴を理解できる。 2. 急性期(周術期)にある対象が危機的状況から回復する過程に応じた看護過程の展開がで										
	2. 急性期(周征											
目標	きる。						DP1 · 2 · 3					
	3. 医療チームの	の中で多職	種と抗	茘働・連携について理解できる。			DP5					
	4. 実習体験を記	4. 実習体験を通して、自己の看護観を述べることができる。										
	5. 看護者として、対象への倫理的配慮ができ、医療チームの一員として、責任ある行動をと											
	ることができる	る。					DP4					
概要			族を理	里解し、健康回復に向けた看護を実践するため <i>の</i>)基礎的能力を	と習	得する。					
方 法	臨地実習・学内第	実 習										
	中村病院											
	別府医療センター											
実 習 場 所		九州大学病院別府病院										
	新別府病院											
	大分医療センタ-											
		'	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。								
成績評価の	ン基準と方法	方法 :		評価項目を定め、それに沿って評価する。								
			60 爿	以上が合格、60点未満は別紙に定めるとおり事	事実習を行う。							
	テキスト											
使 用 教 材	参考図書											
その他												
	臨地実習以外の学習方法											
履修上	の留意点											

科	目	区	分	専門分野	科	目	名	成人・老年看護学実習Ⅱ	単	位	2 単位
対	象	学	年	3 学年	学		期	前期	時	間	90 時間
担	当	数	昌	岡部 裕美	実	務経	験	病院における看護師経験			
15		17	7		関	連資	格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員			
				治療が終了、又	てはぇ	台療を終	続ける	る中で身体の状態が安定してきた慢性期にある!	君の看護	葉を展開	する。その中で、患者
目			的	の身体機能やよ	り良	い生活	が向	上するための援助を考え実践し、患者が健康な	生活を取	り戻し	ていく過程を支援する
				看護の役割につい	いて	考えて	いく。				
											DP への対応
				1. 慢性期にある	る対	象の特	徴を理	里解できる。			DP1 · 2 · 3
				2. 慢性期にある	る対	象がそ	の人に		DP1 · 2 · 3		
目			標	3. 医療チームの	の中	で多職	種と†		DP5		
				4. 実習体験を過	通し	て、自	己のネ		DP6		
				5. 看護者として	C. ;	対象へ	の倫理	めをと			
				ることができる	3						DP4
				治療が終了、又は	る。その中で、患者						
概			要	の身体機能やより	り良	い生活	が向_	上するための援助を考え実践し、患者が健康など	上活を取り	戻して	いく過程を支援する
				看護の役割につい	いて	考える	0				
方			法	臨地実習・学内学	実習						
				別府医療センター	_						
				九州大学病院別府	存病	院					
実	習	場	所	大分医療センター	_						
				中村病院							
				新別府病院							
					基	隼 :	履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。			
成	績	評(画の	基準と方法	方	去 :	別に	評価項目を定め、それに沿って評価する。			
							60 爿	以上が合格、60点未満は別紙に定めるとおり	再実習を行	う。	
				テキスト							
使	用	教	材	参考図書							
				その他							
臨	地多	美 翟	以:	外の学習方法							
履	修	£ _	Ł	の 留 意 点							

科目区分	専門分野	科	目	名	成人・老年看護学実習Ⅲ	単	位	2 単位			
対象学年	3 学年	学		期	前期	時	間	90 時間			
担当教員	服平 敏枝	実	務経	験	病院における看護師経験						
* * *	732 1 3732	関	連資	格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員						
					みが難しい患者や、病気が末期の状態にあり、い						
目 的					患者が気持ちよく、その人らしく、満足した日			できるような援助を考			
	え実践する中で、	. 命(の可能	性とも	^命 の尊厳、そして限りない看護の可能性についっ	て考える。					
								DP への対応			
	1. 終末期にあ							DP1 · 2 · 3			
	2. 終末にある		DP1 · 2 · 3 DP5								
目 標		3. 医療チームの中で多職種と協働・連携について理解できる。									
					看護観を述べることができる。 			DP6			
		5. 看護者として、対象への倫理的配慮ができ、医療チームの一員として、責任ある行動をと									
	ることができ				and the second s		//. WI	DP4			
					みが難しい患者や、病気が末期の状態にあり、 い						
概 要					る。患者が気持ちよく、その人らしく、満足した			ができるような援助			
	- *		命の	可能性	生と命の尊厳、そして限りない看護の可能性につ	ついて考え	える。				
方 法	臨地実習・学内領	美 習									
	中村病院										
44 20 TH 25	村橋病院										
実習場所	別府中央病院	大量	, _								
	九州大学病院別月 鶴見病院 緩和										
	晦兄奶炕 板们			屋 仮	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。						
成績) 基準と方法			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	祝た						
从模式画。) 塞 年 C 刀 仏	731	Δ.		武以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり	五宝翌かる	行る				
	11) 0										
テキスト											
C /11 4X 41	その他										
臨地軍習以	外の学習方法										
	履修上の留意点										
/BC 119 IL	-> m 10v m										

科目区分	専門分野	科	目 名	小児看護学実習	単(立	2 単位					
対象学年	3 学年	学	期	前期	時	間	90 時間					
担当教員	羽田野 京子	実 發	経験	病院における看護師経験								
担当教員	甲斐 有美子	関連	資 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員								
目 的	小児期にある。 得する。	子ども、	とその家	族を理解し、成長・発達段階、健康段階に応じた	:看護を実践す	37	ための基礎的能力を習					
		DPへの対応 1. 小児各期における身体的・精神的・社会的な成発達の特徴を理解できる。 DP1・2・3 2. がまます場合を発酵するとなる。 DP1・2・3										
目標	- 1 10,71 31 7 2	, ,,,,,,		る小児への成長発達を促す援助方法が理解でき 解し、対象に応じた看護の実際を理解できる。	る。		$\begin{array}{c} DP1 \cdot 2 \cdot 3 \\ DP1 \cdot 2 \cdot 3 \end{array}$					
			• • • • • •	と家族に及ぼす影響を考えることができる。			$DP1 \cdot 2 \cdot 3$					
	5. 小児を取り	巻く多り	戦種の連	携の中で小児看護の役割について考える。			DP5 · 6					
概要	<病院外来実習 急性症状を呈し 学ぶ。そのうえ <病院実習> 小児期にある子	> た子ど [*] で、小! どもが	もの、状! 見看護に 家族と分	に、まず健康な子どもの保育活動を通して、成態観察や対応について学ぶ。また、病気や治療おける知識や看護技術・態度を学ぶ。 難し治療・長期療養することで成長・発達に与 養技術・態度を学ぶ。	処置が与える言	子と	も及び家族の影響を					
方 法	臨地実習・学内	実習										
実 習 場 所	<保育所> 中央保育所・鶴見保育所・内竈保育所 <病院外来>											
基準 : 履修規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。												
	テキスト											
使用教材	参考図書											
	その他											
臨地実習以	外の学習方法											
履修上	の 留 意 点											

科	目区	分	専門分野	科	目 名	母性看護学実習	単 位	2 単位				
対	象学	年	3 学年	学	期	前期	時間	90 時間				
担	当 教	昌	貞清 瑞枝	実 矟	务経 験	病院における看護師経験						
15	— 474		只有 侧纹	関連	関連 資格 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員							
目		的	生児期の看護過程	星の展	開を修得	でマタニティサイクル期にある女性・新生児をすする。女性のライフイベントであるマタニティー型的変化・成長について理解し、最適な生活支援	サイクル期にお	ける身体的・心理的・社				
		DP への対応										
			1. マタニティ: きる。	サイク	ル期にあ	る対象者の特徴を踏まえ、援助的人間関係を構	築することがて	,-				
			2. マタニティ			る対象者が妊娠・分娩・産褥期を正常な経過を た看護展開ができる。	たどり、最適な	DP3 • 5 • 1				
			3. 新生児が胎タ	DP1 · 3								
_			4. 子どもの誕生	生を受	け入れる	ための家族支援方法が説明できる.		DP1 · 3				
目		標	5. 母子とその3	家族の	健全な育	成支援に向けて、退院後の生活、継続看護の必	要性、活用でき					
			る社会資源につ	ついて	説明でき	る		DP1 • 4				
			6. マタニティ	サイク.	ルにある	対象者の状態に適したセルフケアと健康支援が	できる。	DP1 · 5				
			7. 医療チームの]								
			性について考察	察でき	る。			DP4 · 5				
			8. 生命の誕生る	DP5 · 6								
			9. 実習全体を排	辰り返	り、学び	DP5 · 6						
概		要	1. 受け持ち褥如	帚・新	生児の看	護過程を展開する。						
			2. 母性看護の基	基本援	助技術を	理解し、一部実践する。						
方		法	臨地実習・学内領	美習								
			国立病院機構別府		センター							
実	習場	所	あおい産婦人科									
			大分県立病院	++ >#+	⊨ lda							
-1-	(金) (1)	# 0	. # * 1. + *		7.2-41.2	規定第29条に規定する評価基準に準ずる。						
以	榎評	個の	・基 準 と 方 法 	力法		評価項目を定め、それに沿って評価する。	五中羽みたる					
			ニャット	中羽		点以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり 叶手蓮岩畑学、四州手蓮岩々学、手蓮ぶりとフ		ı fa				
紬	用教	++	テキスト 実習要項、母性看護学概論、母性看護学各論、看護がみえる、国民衛生の動向									
IX.	лл 4 53	. 123	参考図書									
			TE V				1 11 11 11 11					
臨	地実	習以:	外の学習方法	看護過程展開の記録は、病棟において受け持ちの情報収集・アセスメントを終了し、看護診断、看 護計画の立案は自宅学習とする。母性看護の基本技術は、自己練習をして実習に臨む。								
履		F	の留意点			合は、事前に実習担当教員へ理由をそえて欠席		<u>. u Mill O 0</u>				
/100	19	<u> </u>	- H VDV VVV	/ V //	_ / J -//J	日本、元明一八日本日本人民 工田ででんで八川	д степт					

科	目目	区 :	分	専門分野	科	目	名	精神看護学実習	単	位	2 単位		
対	象	学:	年	3 学年	学		期	前期	時	間	90 時間		
却	当	W r	ш	川野 明子	実	務績	圣験	病院における看護師経験・大学非常勤講師経	験				
111	= =	秋.	7	川封明	関	連う	筝 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員					
				1. 受持ち患者	との	かかれ	っりをネ	通して、患者理解及び自己理解を深め、治療的	人間関係を棒	構築す	†る能力を養う。		
目		١	的	2. 精神疾患を持	寺つ。	人を身	r体的·	・精神的・社会的側面から総合的に理解するとま	に、地域で	生活	する精神障害者支援の		
				様々な場を知	り、	回復才	友援に~	ついて学ぶ。					
				DP への対応									
				1. 対象者との	出会	いから	っ相互作	作用を通して、看護者としての自分自身を振りる	返り、自己活	同察	DP 1		
				を深めること	を深めることで自己の課題を明確にし、患者-看護師関係を築き、発展させる。								
				2、精神科医療	こお	ける現	環境や注	去律・制度について理解できる。			DP 3		
				3. 看護過程を見	展開	し、看	≨護に、	ついて考えを深める。			DP2, 3		
目		,	票	4. 対象が生き	くい	くため	りに必要	要な社会資源を理解し、地域社会とのつながり	について考え	え	DP2, 3, 4		
		1	×	る。		DP4, 5							
				5. 精神医療チャ	ーム	の一員	しとして	ての看護の役割について説明できる。					
				<デイケア>							DP2, 3, 4		
				1. 精神科デイ	つ人								
				の地域生活を	里解	する。					DP3, 4, 5		
				2. 地域で生活									
				および連携を	印る。)							
				<病棟>									
概]	要	統合失調症また	過程を	と展開する。							
"				<デイケア>									
						てチー	-ムケ	ア(多職種連携)の必要性と看護師の役割を知	る。				
方			去	臨地実習・学内領									
実	習:	場)	折	山本病院・鶴見									
							7.5-41.5	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。 評価項目を定め、それに沿って評価する。					
成	續評												
	60 点以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり再実習を行う。												
l	テキスト 												
使	用	教	材	参考図書									
				その他									
	臨地実習以外の学習方法												
履	修	<u> </u>	: (の留意点									

科目区分	専門分野	科	1 名	統合実習	単	位	2 単位	
対象学年	3 学年	学	期	後期	時	間	90 時間	
担当教員	服平 敏枝	実 務 経 験 病院における看護師経験						
担当软员	/IX 1 4X1X	関連	資 格	別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員				
目 的	看護の知識・技術・態度を統合し、看護チームの一員として看護を実践する基礎的能力を養う。							
							DP への対応	
	1. 対象との人間関係を築くことができる。						DP1, 2, 4	
	2. 複数の対象の状況に応じ、根拠に基づいた看護の実践をすることができる。						DP1, 2, 3,	
	1) 複数の対象の状況をアセスメントし、全体像をとらえる。						4, 6	
	2) 複数の対象の状況に応じた看護計画を立案する。							
	3)複数の対象の状況に応じた看護を安全安楽に実施する。							
 目 標	3. 病院における看護管理の実際、多職種との連携・協働の実際を知り、看護師の役割と責任							
C	を理解することができる。						DP1,4,5	
	4. 倫理観を養い、将来の看護師としての自己の課題を明確にすることができる。						DP4,6	
	5.専門職業人としての基本的態度を認識し、身につけることができる。						DP1 \sim 6	
	1)専門職業人としての態度が備わる。							
	2) 学習に臨む姿勢がある。							
	3) 倫理に基づいた行動をとる。							
	4) グループの一員として責任ある行動をとる。							
	複数の対象の状況	況に応じ、根拠に基づいた看護の実践をするための基礎的能力を習得する。						
概 要	看護管理の実際の	看護管理の実際や多職種連携の実際をとおし、看護チームの一員として看護を実践するための基礎的能力を習得す						
	る。							
方 法	臨地実習							
	国立病院機構西別府病院							
実 習 場 所	新別府病院							
	九州大学病院別府病院							
	中村病院							
		基準	: 履修	規定第 29 条に規定する評価基準に準ずる。				
成績評価の	・基準と方法 方法 : 別に評価項目を定め、それに沿って評価する。							
	60 点以上が合格、60 点未満は別紙に定めるとおり再実習を行う。							
使用教材	テキスト							
	参考図書							
	その他							
臨地実習以外の学習方法								
履修上の留意点								

